

2019  
講義要綱  
SYLLABUS

北翔大学短期大学部 1 年次  
HOKUSHO COLLEGE



## 2019年度 北翔大学・北翔大学短期大学部 学事日程

月	火	水	木	金	土	日	備考
4/1	4/2 在学オリエンテーション	4/3 入学式	4/4 オリエンテーション	4/5 オリエンテーション	4/6	4/7	
4/8 ①	4/9 ①	4/10 ①	4/11 ①	4/12 ①	4/13	4/14	
4/15 ②	4/16 ②	4/17 ②	4/18 ②	4/19 ②	4/20	4/21	
4/22 ③	4/23 ③	4/24 ③	4/25 ③	4/26 ③	4/27	4/28	
4/29 昭和の日	4/30 休日	5/1 祝日	5/2 休日	5/3 憲法記念日	5/4 みどりの日	5/5 こどもの日	教育学科養護教諭コース3年次 養護実習：4/8～4/26 こども学科2年次 教育実習：5/13～5/31
5/6 振替休日④	5/7 ④	5/8 ④	5/9 ④	5/10 ④	5/11	5/12	
5/13 ⑤	5/14 ⑤	5/15 ⑤	5/16 ⑤	5/17 ⑤	5/18	5/19	
5/20 ⑥	5/21 ⑥	5/22 ⑥	5/23 ⑥	5/24 ⑥	5/25	5/26	
5/27 ⑦	5/28 ⑦	5/29 ⑦	5/30 ⑦	5/31 ⑦	6/1	6/2	
6/3 ⑧	6/4 ⑧	6/5 ⑧	6/6 ⑧	6/7 ⑧	6/8	6/9	
6/10 ⑨	6/11 ⑨	6/12 ⑨	6/13 ⑨	6/14 ⑨	6/15	6/16	
6/17 ⑩	6/18 ⑩	6/19 ⑩	6/20 ⑩	6/21 ⑩	6/22	6/23	健康福祉学科(介護)4年次 訪問介護実習：6/18～6/28
6/24 ⑪	6/25 ⑪	6/26 ⑪	6/27 ⑪	6/28 ⑪	6/29	6/30	健康福祉学科(介護)2年次 介護基礎実習：6/26～28
7/1 ⑫	7/2 ⑫	7/3 ⑫	7/4 ⑫	7/5 ⑫	7/6	7/7	教育学科養護教諭コース2年次 看護学臨床実習：7月～9月
7/8 ⑬	7/9 ⑬	7/10 ⑬	7/11 ⑬	7/12 ⑬	7/13	7/14	
7/15 海の日⑭	7/16 ⑭	7/17 ⑭	7/18 ⑭	7/19 ⑭	7/20	7/21	
7/22 ⑮	7/23 ⑮	7/24 ⑮	7/25 ⑮	7/26 ⑮	7/27	7/28	
7/29 補講・試験日(月)	7/30 補講・試験日(火)	7/31 補講・試験日(水)	8/1 補講・試験日(木)	8/2 補講・試験日(金)	8/3	8/4	こども学科2年次 保育実習(保育所)：8月～9月 心理カウンセリング学科4年次 精神保健福祉援助実習：8月～9月
8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11 山の日	
8/12 振替休日	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18	
8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	教育学科4年次 保育実習Ⅱ又は保育 実習Ⅲ：8/19～8/31
8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	9/1	教育学科3年次 教育実習Ⅰ(幼・小)： 幼稚園8/19～9/6 小学校8/19～9/13
9/2	9/3	9/4	9/5 創立記念日	9/6 5/6の振替休日	9/7	9/8	
9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	健康福祉学科(介護)3年次 介護実習Ⅱ：8/19～9/27
9/16 敬老の日	9/17 7/15の振替休日	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22	健康福祉(他)3年次・ 健康福祉(介)4年次 相談援助実習：8月～9月
9/23 秋分の日	9/24	9/25	9/26 オリエンテーション	9/27 大学祭準備	9/28 大学祭	9/29	
9/30 ① 新学期学位記授与式	10/1 ①	10/2 ①	10/3 ①	10/4 ①	10/5	10/6	
10/7 ②	10/8 ②	10/9 ②	10/10 ②	10/11 ②	10/12	10/13	
10/14 体育の日	10/15 ③	10/16 ③	10/17 ③	10/18 ③	10/19	10/20	こども学科2年次 保育実習(施設)：10月～12月
10/21 ③	10/22 祝日	10/23 ④	10/24 ④	10/25 ④	10/26	10/27	
10/28 ④	10/29 ④	10/30 ⑤	10/31 ⑤	11/1 ⑤	11/2	11/3 文化の日	
11/4 振替休日⑤	11/5 ⑤	11/6 ⑥	11/7 ⑥	11/8 ⑥	11/9	11/10	
11/11 ⑥	11/12 ⑥	11/13 ⑦	11/14 ⑦	11/15 ⑦	11/16	11/17	
11/18 ⑦	11/19 ⑦	11/20 ⑧	11/21 ⑧	11/22 ⑧	11/23 勤労感謝の日	11/24	
11/25 ⑧	11/26 ⑧	11/27 ⑨	11/28 ⑨	11/29 ⑨	11/30	12/1	
12/2 ⑨	12/3 ⑨	12/4 ⑩	12/5 ⑩	12/6 ⑩	12/7	12/8	
12/9 ⑩	12/10 ⑩	12/11 ⑪	12/12 ⑪	12/13 ⑪	12/14	12/15	
12/16 ⑪	12/17 ⑪	12/18 ⑫	12/19 ⑫	12/20 ⑫	12/21	12/22	
12/23 ⑫	12/24 ⑫	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	
12/30	12/31	1/1 元旦	1/2	1/3	1/4	1/5	
1/6 ⑬	1/7 ⑬	1/8 ⑬	1/9 ⑬	1/10 ⑬	1/11	1/12	
1/13 成人の日	1/14 11/4の振替休日	1/15 ⑭	1/16 ⑭	1/17 ⑭	1/18	1/19	
1/20 ⑭	1/21 ⑭	1/22 ⑮	1/23 ⑮	1/24 ⑮	1/25	1/26	
1/27 ⑮	1/28 ⑮	1/29 補講・試験日(水)	1/30 補講・試験日(木)	1/31 補講・試験日(金)	2/1	2/2	心理カウンセリング学科3年次 精神保健福祉援助実習：2月～3月
2/3 補講・試験日(月)	2/4 補講・試験日(火)	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	
2/10	2/11 建国記念の日	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16	教育学科3年次 保育実習Ⅰ(保育所)：2/10～2/22
2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23 (天皇誕生日)	健康福祉学科(介護)2年次 介護実習Ⅰ：2/17～3/13
2/24 振替休日	2/25	2/26	2/27	2/28	2/29	3/1	
3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/8	教育学科3年次 保育実習Ⅰ(施設)：3/2～3/14
3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	
3/16	3/17	3/18 学位記授与式	3/19	3/20 春分の日	3/21	3/22	
3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	
3/30	3/31						

# 講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2019年度に開講される授業科目の概要が記載されています。

授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

- ・ 授業のねらい
- ・ 到達目標
- ・ 授業計画
- ・ 準備学習の内容（事前・事後の学習）
- ・ 使用するテキスト（教科書）や、参考書
- ・ 成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
- ・ 質問への対応（連絡先など）
- ・ その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

## 《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

### 学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。○○発表会、○○報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（3人から6人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返り	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実にかかる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。



# 教育課程表



短大共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
基礎教育セミナーⅠ	演習	②		担当教員	ライフデザイン学科		1
				担当教員	こども学科	[こ]保育士_必修	2
基礎教育セミナーⅡ	演習		②	担当教員	ライフデザイン学科		3
				担当教員	こども学科		4
英語コミュニケーションⅠ	演習	②		田光子	ライフデザイン学科		5
				ロバート ニューマン	こども学科	[こ]幼・小2種_必修、保育士_必修	6
情報機器操作Ⅰ	演習	②		平井伸之	ライフデザイン学科		7
				大関 慎			
				湯澤直樹	こども学科	[こ]幼・小2種_必修、保育士_必修	8
健康体育(実技を含む)	講義実技	2		花井篤子	こども学科	[こ]幼・小2種_必修、保育士_必修	9
				長尾明也			
				畠山孝子			
日本国憲法	講義	2		菊地達夫	ライフデザイン学科		10
				菊地達夫	こども学科	[こ]幼・小2種_必修、保育士_選択	
外国の歴史と文化	実習	2	2	担当教員	集中講義		11

外国人留学生科目

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
日本語	講義	2		田光子	留学生対象		12
現代日本の文化	講義		2	菊地達夫	留学生対象 集中講義		13

ライフデザイン学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
<b>基礎ユニット群</b>							
英語コミュニケーションⅡ	演習		②	田 光子			15
情報機器操作Ⅱ	演習		②	平井伸之			16
				大関 慎			
キャリアデザイン	講義	②		田口智子			17
<b>ライフデザインユニット群</b>							
ライフデザイン	講義	②		大関 慎			18
ライフデザイン演習	演習		②	平井伸之			19
				大関 慎			
				田口智子			
				田 光子			
				湯澤直樹			
キャリアデザイン演習	演習		②	湯澤直樹	地域貢献科目		20
カラーコーディネート	講義	2		勝田信吾			21
陶 芸	演習	2		對馬賢二			22
デジタルイメージ	演習	2		浅井貴也			23
デジタルデザイン	演習		2	森井 綾			24
グラフィックデザイン	演習		2	田 恩 蒨			25
基礎デザイン	実習	1		勝田信吾	芸術学科同時展開		26
フィットネスプログラム	実技		1	花井篤子			27
インターンシップⅠ	演習		2	田口智子	集中講義		28

ライフデザイン学科 学科専門科目 コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
<b>キャリアデザインコースユニット群</b>							
コミュニケーション論	講義	2		田口智子			29
地域学Ⅰ	講義	2		佐々木孝一			30
地域学Ⅱ	講義		2	佐々木孝一			31
情報学基礎	講義	2		大関慎			32
情報社会及び情報倫理	講義		2	大関慎			33
秘書概論	講義	2		田口智子			34
秘書実務Ⅰ	講義		2	田口智子			35
簿記原理A	講義	2		湯澤直樹			36
簿記原理B	講義		2	湯澤直樹			37
プロジェクトワーク	講義		2	田口智子			38
3RショップA	演習	2		湯澤直樹			39
3RショップB	演習		2	湯澤直樹			40
コンピュータ会計	実習	1		湯澤直樹			41
ビジネスワークショップⅠ	演習	2		田口智子			42
ビジネスワークショップⅡ	演習		2	田口智子			43
<b>ファッション舞台アートコースユニット群 ファッションユニット群</b>							
衣服素材	講義		2	北村悦子			44
服飾造形論	講義・演習	2		辻美恵子	芸術学科同時展開		45
ドレスコーディネート論	講義・演習		2	富田玲子			46
パターンメイキング基礎	実習	1		富田玲子			47
ファッションデザイン	講義・演習		2	北村悦子			48
ファッションビジネス	講義	2		加藤万紀			49
ファッション画	実習	1		田恩蘋	芸術学科同時展開		50
ファッション造形実習Ⅰ	実習	2		辻美恵子			51
ファッション造形実習Ⅱ	実習		2	辻美恵子			52
アクセサリークラフトA	実習		1	辻美恵子			53
アパレルCAD	実習		1	富田玲子			54
染色	実習		1	米坂豊樹			55
<b>ファッション舞台アートコースユニット群 舞台芸術ユニット群</b>							
ミュージカル研究	実習		1	田光子			56
				平井伸之			
				村松幹男			
				竹内聡実			
ダンス	実技	1		村松幹男	札幌円山キャンパス実施科目 芸術学科同時展開		57
				田光子			
				平井伸之			
				竹内聡実			

ライフデザイン学科 学科専門科目 コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
<b>ファッション舞台アートコースユニット群 舞台芸術ユニット群</b>							
声優トレーニング	実習		1	平井伸之			58
				村松幹男			
				小林なるみ			
俳優トレーニング	実習	1		平井伸之	札幌円山キャンパス実施科目 芸術学科同時展開		59
				村松幹男			
アクティング	演習		2	平井伸之			60
				村松幹男			
バックステージ	演習		2	村松幹男	札幌円山キャンパス実施科目		61
				田光子			
				平井伸之			
				鈴木静悟			
				相馬寛之			
				富井昭次			
				服部正巳			
				福田恭一			
				藤原宏行			
百瀬俊介							
舞台衣装(メイク・ヘアメイクを含む)	演習		2	藤原宏行	札幌円山キャンパス実施科目		62
舞台映像製作入門	実習		1	森井綾			63
演劇入門Ⅰ	実習	1		村松幹男	札幌円山キャンパス実施科目		64
				田光子			
				平井伸之			
演劇入門Ⅱ	実習		1	村松幹男	札幌円山キャンパス実施科目		65
				田光子			
				平井伸之			
舞台芸術概論	講義	2		村松幹男	芸術学科同時展開		66
				平井伸之			
				イナダヒロシ			

こども学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
教育原理	講義	②		中島啓子		[乙]幼・小2種_必修、保育士_必修、社会福祉主事_必修	67
器楽 I	実技	①		石田敏明		[乙]幼・小2種_必修、保育士_必修	68
				橋本卓三			
				浅沼恵輔			
				佐々木るり子			
				砂田真理子			
				中川洋子			
				前田有紀			
村上秀子							
器楽 II	実技	①		石田敏明		[乙]幼・小2種_必修、保育士_必修	69
				橋本卓三			
				浅沼恵輔			
				佐々木るり子			
				砂田真理子			
				中川洋子			
				前田有紀			
村上秀子							
こどもと絵本	講義	2		藤田春義		[乙]幼2種_選択、保育士_選択	70
こどもと自然	演習	2		荒川巖	集中講義	[乙]保育士_選択	71
				太田俊一			
保育内容演習 I	演習	2		橋本卓三			72
				石田敏明			
				入江彩子			
				中島啓子			
				菜原桂子			
松田久美							
保育内容演習 II	演習	2		橋本卓三			73
				石田敏明			
				入江彩子			
				長尾明也			
<b>保育士関連科目</b>							
こども家庭福祉	講義	2		保田真希		[乙]保育士_必修	74
社会福祉	講義	2		保田真希		[乙]保育士_必修、社会福祉主事_必修	75
社会的養護 I	講義		2	保田真希		[乙]保育士_必修	76
保育者論	講義	2		高橋さおり		[乙]保育士_必修	77
保育の心理学	講義	2		松田久美		[乙]保育士_必修	78
こどもの保健	講義		2	佐藤恵美子		[乙]保育士_必修	79
こどもの食と栄養	演習		2	木下教子		[乙]保育士_必修	80

こども学科 学科専門科目 コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
<b>保育士関連科目</b>							
保育内容の理解と方法Ⅰ	演習	1		小林 美 花		[乙]保育士_必修	81
保育内容の理解と方法Ⅱ	演習	1		清 水 桂 子		[乙]保育士_必修	82
保育内容の理解と方法Ⅲ	演習	1		入 江 彩 子		[乙]保育士_必修	83
				森 迫 暁 夫			
保育内容の理解と方法Ⅳ	演習		1	菜 原 桂 子		[乙]保育士_必修	84
乳 児 保 育 Ⅰ	講義		2	小 林 美 花		[乙]保育士_必修	85
社 会 的 養 護 Ⅱ	演習		1	保 田 真 希		[乙]保育士_必修	86
保 育 実 習 指 導 Ⅰ A	演習		1	清 水 桂 子		[乙]保育士_必修	87
				小 林 美 花			
				保 田 真 希			
<b>保育士・幼稚園教諭関連科目</b>							
保 育 原 理	講義	②		菜 原 桂 子		[乙]幼2種_必修、保育士_必修、社会福祉主事_必修	88
保 育 内 容 総 論	演習		②	清 水 桂 子		[乙]幼2種_必修、保育士_必修	89
保 育 内 容 環 境	演習		2	菊 地 達 夫		[乙]幼2種_選必、保育士_必修	90
保 育 内 容 言 葉	演習		2	中 島 啓 子		[乙]幼2種_選必、保育士_必修	91
保 育 内 容 表 現	演習	2		菜 原 桂 子		[乙]幼2種_選必、保育士_必修	92
<b>幼稚園・小学校教諭関連科目</b>							
教 職 概 論	講義	②		太 田 俊 一		[乙]幼・小2種_必修	93
教 育 心 理 学	講義		②	松 田 久 美		[乙]幼・小2種_必修	94
特 別 支 援 教 育 基 礎	講義	1		荒 川 巖		[乙]幼・小2種_必修	95
教育方法論(情報機器・教材活用を含む)	講義	②		荒 川 巖		[乙]幼・小2種_必修	96
教育相談とカウンセリング	講義	2		松 田 久 美		[乙]幼・小2種_必修	97
教 育 実 習 講 義 Ⅰ	講義		2	菜 原 桂 子	事前指導を含む	[乙]幼・小2種_必修	98
				長 尾 明 也			
				中 島 啓 子			
				松 田 久 美			
国 語 ( 書 写 を 含 む )	講義		2	高 橋 さ お り	教育コース必修科目	[乙]幼・小2種_選必	99
算 数	講義		2	荒 川 巖	教育コース必修科目	[乙]幼・小2種_選必	100
生 活	講義		2	菜 原 桂 子		[乙]幼・小2種_選必	101
音 楽	講義	2		橋 本 卓 三		[乙]幼・小2種_選必	102
				石 田 敏 明			
図 画 工 作	講義		2	伊 藤 幸 子		[乙]幼・小2種_選必	103
				入 江 彩 子			
体 育	講義		2	長 尾 明 也		[乙]幼・小2種_選必	104
				山 本 公 輔			

こども学科 学科専門科目 コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		1年次					
		前	後				
<b>保育コース</b>							
幼児体育指導法	演習		2	長尾明也	保育コース必修科目 集中講義	[乙]幼児体育指導者検定2級_必修	105
<b>音楽コース</b>							
こどものリズム表現 I	演習		2	武井歌織	音楽コース必修科目	[乙]リトミック幼・保2級_必修	106
<b>教育コース 小学校教諭関連科目</b>							
社会	講義	2		菊地達夫		[乙]小2種_選必	107
理科	講義	2		太田俊一		[乙]小2種_選必	108
家庭	講義	2		角田成子		[乙]小2種_選必	109
道徳指導法	講義		1	高橋さおり		[乙]小2種_必修	110
総合的な学習の時間の指導法	講義		1	荒川巖		[乙]小2種_必修	111
特別活動指導法	講義		1	高橋さおり		[乙]小2種_必修	112
小学校教育教材研究	講義		2	高橋さおり			113
				荒川巖			
				太田俊一			
				菊地達夫			



短期大学部  
共通科目



科目名	基礎教育セミナーⅠ			授業形態	演習	単位数	2	
教員名	ライフデザイン学科担当教員							
授業の目的	ねらい	ライフデザイン学科は、「教養教育」、「専門教育」、「総合教育」、「キャリア教育」、「編入教育」の5つを柱とする総合教育を目指しています。それぞれの専門領域の枠を超えた幅広い教養を身に付け、将来に対する明確なビジョンを定めていくこともねらいとしています。大学で学ぶ意義を理解し、講義を理解しレポート課題などを作成するために必要な能力を身に付けることをねらいとします。						
	到達目標	(1)建学の精神を理解する。 (2)2年間の学びをより深く、より質の高いものにすることができる。 (3)短大での学びに必要な基礎能力を高める。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 基礎教育セミナーの進め方について説明。(平井伸之・湯澤直樹) 【準備学習の内容】 学生便覧、講義要項を確認する。						A
	第2回	【テーマ】 情報検索の方法(図書館利用) 【計画内容】 図書館の使い方や書籍の検索方法などを学習する。(田光子) 【準備学習の内容】 学生便覧を確認する。						A
	第3回	【テーマ】 学長講話 【計画内容】 学長から建学の精神、教育理念、大学教育の意義について講義を受ける。(平井伸之) 【準備学習の内容】 学生便覧を確認する。						A、G
	第4回	【テーマ】 メンタルヘルス 【計画内容】 メンタルヘルスに必要なことを学ぶ。(平井伸之) 【準備学習の内容】 学生便覧を確認する。						A、G
	第5回	【テーマ】 ノートの取り方 【計画内容】 ノートの取り方について学習する。(田口智子) 【準備学習の内容】 テキストの該当箇所を予習する。						A、B
	第6回	【テーマ】 学科全体による学習1 【計画内容】 学科全体で設定した課題・活動を行う。(田光子) 【準備学習の内容】 内容に沿った準備をする。						H
	第7回	【テーマ】 文章の書き方1 【計画内容】 文章の書き方について学習する。(田光子) 【準備学習の内容】 テキストの該当箇所を予習する。						A
	第8回	【テーマ】 文章の書き方2 【計画内容】 文章の書き方について学習する。(田光子) 【準備学習の内容】 テキストの該当箇所を予習する。						A、B
	第9回	【テーマ】 学科全体による学習2 【計画内容】 学科全体で設定した課題・活動を行う。(田口智子・平井伸之) 【準備学習の内容】 内容に沿った準備をする。						H
	第10回	【テーマ】 レポートの書き方1 【計画内容】 レポートの書き方について学習する。(湯澤直樹) 【準備学習の内容】 テキストの該当箇所を予習する。						A
	第11回	【テーマ】 学科全体による学習3 【計画内容】 学科全体で設定した課題・活動を行う。(田口智子・平井伸之) 【準備学習の内容】 内容に沿った準備をする。						H
	第12回	【テーマ】 レポートの書き方2 【計画内容】 レポートの書き方について学習する。(湯澤直樹) 【準備学習の内容】 テキストの該当箇所を予習する。						A、B
	第13回	【テーマ】 学科全体による学習4 【計画内容】 学生交流会を企画し実施する。(全教員) 【準備学習の内容】 内容に沿った準備をする。						E、H
	第14回	【テーマ】 学科全体による学習5 【計画内容】 学科全体で設定した課題・活動を行う。(全教員) 【準備学習の内容】 内容に沿った準備をする。						H
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 これまでの学習内容について、まとめと振り返りを行う。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの学習内容について確認しておく。						L
テキスト	長尾佳代子、谷川裕穂、中園篤典、2013年、『大学生・短大生のための大学での学び方』、旺文社 講義中に適宜必要な資料を配付します							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			20%		80%		
補足								
質問への対応	講義時に各担当者に確認してください。							
資格								
その他	第15回で「学科全体による学習」について、振り返るとともに講評を行い理解を深める。							

科目名	基礎教育セミナーⅠ		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	こども学科担当教員						
授業の目的	<p>大学生生活の過ごし方や講義の受け方、情報メディアの活用などについて学習し、大学生としての教養を身につけます。さらに、教育者・保育者を目指すための必要最低限の知識・技能について、実践的な活動を通して学びます。</p> <p>(1)大学生生活の過ごし方、講義の受け方、情報メディアの活用などについて理解できる。 (2)教育・保育に関係する学内外活動について理解できる。</p>						
授業の 計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス、大学生生活の過ごし方、図書館利用について(含情報検索) 【計画内容】 基礎教育セミナーの意義、内容、講義計画等について理解し、大学生生活の過ごし方について学びます。さらに図書館司書による大学図書館の活用方法について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。					A、B、K、L
	第2回	【テーマ】 本学の建学の精神・教育の理念・教育支援について(学長講話) 【計画内容】 学長講話において、建学の精神や本学の教育理念、教育のサポート体制について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 学生便覧を持参すること。指定された箇所を読んでおくこと。					A、L
	第3回	【テーマ】 1年生を迎える会 【計画内容】 2年生が企画する学科行事に参加し、行事の企画や発表について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 プログラム内容を確認しておくこと。					B、L
	第4回	【テーマ】 メンタルヘルス 【計画内容】 学生相談室カウンセラーによる学生生活を快適に過ごすための心の健康について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 学生便覧を持参すること。指定された箇所を読んでおくこと。					A、L
	第5回	【テーマ】 健康講話 【計画内容】 保健センターの利用の仕方について知り、健康な学生生活について考えます。(全教員) 【準備学習の内容】 学生便覧を持参すること。指定された箇所を読んでおくこと。					A、K、L
	第6回	【テーマ】 ノートテイキング(学びの基礎①) 【計画内容】 大学の講義におけるノートの取り方の基本について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、B、L
	第7回	【テーマ】 文章表現の基礎1(学びの基礎②) 【計画内容】 公的な場で通用する文章表現のあり方について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、L
	第8回	【テーマ】 文章表現の基礎2(学びの基礎③) 【計画内容】 履歴書や手紙など色々な文章の書き方について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、B、L
	第9回	【テーマ】 文章表現の基礎3(学びの基礎④) 【計画内容】 レポートの書き方の基本を学び、構想を練ります。(全教員) 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、B、L
	第10回	【テーマ】 文章表現の基礎4(学びの基礎⑤) 【計画内容】 レポートを書きます。(全教員) 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					G、L
	第11回	【テーマ】 教育保育に関する実践活動① 【計画内容】 実習や就職活動に向けた準備について学習します。(全教員) 【準備学習の内容】 前時の予告内容について情報収集しておくこと。					A、B、L
	第12回	【テーマ】 教育保育に関する実践活動② 【計画内容】 学内外活動に向けた企画・準備をします(集団・個人活動を含む)。(全教員) 【準備学習の内容】 前時の予告内容について情報収集しておくこと。					B、H、L
	第13回	【テーマ】 教育保育に関する実践活動③ 【計画内容】 学内外活動に向けた企画・準備をし(集団・個人活動を含む)、コミュニケーション能力を高めます。(全教員) 【準備学習の内容】 前時の予告内容について情報収集しておくこと。					B、H、L
	第14回	【テーマ】 芸術鑑賞会 【計画内容】 美術展の鑑賞をし、保育者教育者としての感性を育みます。(全教員) 【準備学習の内容】 配付プリントを確認しておくこと。					B、L
	第15回	【テーマ】 まとめと整理 【計画内容】 これまでの学習内容の成果について、まとめの学習をします。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの学習内容についてよく確認しておくこと。					A、L
テキスト	長尾佳代子、谷川裕稔、中園篤典、2013年、『大学生・短大生のための大学での学び方』、旺文社						
参考書	プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
補足							
質問への対応	講義担当者または担任まで。						
資格	[こ]保育士_必修						
その他	授業計画に変更がある場合は、事前にお知らせします。 授業内での課題等については最終回に講評します。						

科目名	基礎教育セミナーⅡ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	ライフデザイン学科担当教員						
授業の目的	ねらい	ライフデザイン学科は「教養教育」、「専門教育」、「総合教育」、「キャリア教育」、「編入教育」を柱に、幅広い教養と豊かな人間性を身に付けるため総合的な教育を目指しています。この講義は、豊かな人間性と創造性を醸成する教養教育の充実を図ろうとするものです。「基礎教育セミナーⅠ」で学んだことを基礎とし、更に人間関係を築く学習展開をしていきます。					
	学習目標	(1)本学の教育理念「愛と和と英知」、建学の精神を理解し、身に付ける。 (2)学生同士、学生と担当教員との人間関係を深め、相互理解の深化を図ることができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 講義の内容と講義展開について説明する。(全教員) 【準備学習の内容】 シラバスを読んで、講義の展開を理解しておくこと。筆記用具、ノートを持参すること。	A				
	第2回	【テーマ】 ライフデザイン学科で学ぶということ 【計画内容】 自身の専門性を意識し、ライフデザイン学科で何を学ぶかを考える。(田口智子) 【準備学習の内容】 講義の展開を理解しておくこと。筆記用具、ノートを持参すること。	A、G				
	第3回	【テーマ】 教養を身に付けよう1 【計画内容】 薬物やネット犯罪について学ぶ。(平井伸之) 【準備学習の内容】 講義の展開を理解しておくこと。筆記用具、ノートを持参すること。	A、G				
	第4回	【テーマ】 教養を身に付けよう2 【計画内容】 日本の習慣や年中行事について学ぶ。(大関慎) 【準備学習の内容】 講義の展開を理解しておくこと。筆記用具、ノートを持参すること。	A、G				
	第5回	【テーマ】 学科全体による学習6 【計画内容】 「基礎教育セミナーⅠ」の「学科全体による学習2及び3」で企画した行事について、準備を進め役割分担を確認する。(田口智子・平井伸之) 【準備学習の内容】 講義の展開を理解しておくこと。筆記用具、ノートを持参すること。	H				
	第6回	【テーマ】 教養を身に付けよう3 【計画内容】 美術鑑賞法について学ぶ。(平井伸之) 【準備学習の内容】 講義の展開を理解しておくこと。筆記用具、ノートを持参すること。	A、G				
	第7回	【テーマ】 教養を身に付けよう4 【計画内容】 AEDの使い方、心臓マッサージなど救急救命について学ぶ。(平井伸之) 【準備学習の内容】 講義の展開を理解しておくこと。筆記用具、ノートを持参すること。	A、G				
	第8回	【テーマ】 学科全体による学習7 【計画内容】 「学科全体による学習6」で企画詳細を決定した行事を実施する。(全教員) 【準備学習の内容】 内容に沿った準備をする。	E、H				
	第9回	【テーマ】 自分の将来を考える1 【計画内容】 設定した課題に取り組む。(全教員) 【準備学習の内容】 講義の流れを理解し、必要事項の事前準備をする。	K				
	第10回	【テーマ】 教養を身に付けよう5 【計画内容】 学外発表会ファッションショーに参加、あるいは鑑賞する。(全教員) 【準備学習の内容】 事前に内容を把握する。	D				
	第11回	【テーマ】 自分の将来を考える2 【計画内容】 2年次専門ゼミの展開について理解し、自身の教養や専門性を高める演習の準備をする。(全教員) 【準備学習の内容】 研究室訪問などにより専門ゼミについての情報収集をする。	A				
	第12回	【テーマ】 自分の将来を考える3 【計画内容】 設定した課題に取り組む。(全教員) 【準備学習の内容】 講義の流れを理解し、必要事項の事前準備をする。	K				
	第13回	【テーマ】 教養を身に付けよう6 【計画内容】 舞台芸術定期公演に参加、あるいは鑑賞する。(全教員) 【準備学習の内容】 事前に内容を把握する。	D				
	第14回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 これまでの学習内容について、まとめと振り返りを行う。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの学習内容について確認しておく。	L				
	第15回	【テーマ】 専門ゼミ発表会 【計画内容】 研究発表会に参加する。(全教員) 【準備学習の内容】 事前に2年次学生による研究内容を把握する。	D				
テキスト	講義中に適宜必要な資料を配付します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			20%		80%	
補足							
質問への対応	講義時に各担当者へ確認してください。						
資格							
その他	第14回でこれまでの学習を振り返り、年間通じて取り組んだ「学科全体による学習」について講評を行い理解を深める。						

科目名	基礎教育セミナーⅡ				授業形態	演習	単位数	2
教員名	こども学科担当教員							
授業の目的	ねらい	教育・保育者を目指すにあたり、実習、就職活動の心構え、必要な準備について学びます。実践的な活動として、教育・保育に関する情報収集を行います。また、教育・保育者に必要なマナーと立ち居振る舞いについて学び、身につけます。						
	到達目標	(1)教育・保育実習に向けて、どのような準備が必要かまたは大切な、全体像を理解できる。 (2)就職活動に向けて、どのような準備が必要か、全体像を理解できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】「基礎教育セミナーⅡ」のねらいや到達目標、評価方法、講義形式を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】前学期単位の確認をし、履修登録訂正の準備をしておく。					A、B、L	
	第2回	【テーマ】就職活動の準備について1 【計画内容】就職活動の準備について学習します。(全教員) 【準備学習の内容】前学期の就職ガイダンスの内容を確認しておくこと。					A、B、L	
	第3回	【テーマ】人権の学習 【計画内容】学生生活や社会人になる上での対人関係を学習します。(全教員) 【準備学習の内容】人権問題について情報収集しておくこと。					A、B、L	
	第4回	【テーマ】教育保育に関する実践的活動1 【計画内容】教育保育の情報収集について学習します(集団・個人活動を含む)。(全教員) 【準備学習の内容】前時の予告内容について情報収集しておくこと。					B、H、L	
	第5回	【テーマ】教育保育に関する実践的活動2 【計画内容】教育保育の情報収集について学習します(集団・個人活動を含む)。(全教員) 【準備学習の内容】前時の予告内容について情報収集しておくこと。					B、H、L	
	第6回	【テーマ】教育保育に関する実践的活動3 【計画内容】教育保育の情報収集について学習します(集団・個人活動を含む)。(全教員) 【準備学習の内容】前時の予告内容について情報収集しておくこと。					B、H、L	
	第7回	【テーマ】就職活動の準備について2 【計画内容】就職活動の準備について学習します。(全教員) 【準備学習の内容】前回(第2回)の内容について確認しておくこと。					A、B、L	
	第8回	【テーマ】教育保育に関する実践的活動4 【計画内容】教育保育の関係事項について学習します(集団・個人活動を含む)。(全教員) 【準備学習の内容】前時の予告内容について情報収集しておくこと。					B、H、L	
	第9回	【テーマ】教育保育に関する実践的活動5 【計画内容】教育保育の関係事項について学習します(集団・個人活動を含む)。(全教員) 【準備学習の内容】前時の予告内容について情報収集しておくこと。					B、H、L	
	第10回	【テーマ】教育保育に関する実践的活動6 【計画内容】教育保育の関係事項について作業的に学習します(集団・個人活動を含む)。(全教員) 【準備学習の内容】前時の予告内容について情報収集しておくこと。					B、H、L	
	第11回	【テーマ】教育保育に関する実践的活動7 【計画内容】教育保育の関係事項について学習します(集団・個人活動を含む)。(全教員) 【準備学習の内容】前時の予告内容について情報収集しておくこと。					B、H、L	
	第12回	【テーマ】教育保育に関する実践的活動8 【計画内容】教育保育の学内活動について学習します(集団・個人活動を含む)。(全教員) 【準備学習の内容】前時の予告内容について情報収集しておくこと。					B、H、L	
	第13回	【テーマ】教育保育に関する実践的活動9 【計画内容】教育保育の学内活動について学習します(集団・個人活動を含む)。(全教員) 【準備学習の内容】前時の予告内容について情報収集しておくこと。					B、H、L	
	第14回	【テーマ】マナー講習会 【計画内容】実習に向け、基本的な立ち居振る舞い、マナーについて学びます。(全教員) 【準備学習の内容】身だしなみや挨拶について考えておくこと。					A、B、L	
	第15回	【テーマ】まとめと整理 【計画内容】これまでの学習内容の成果について、まとめの学習をします。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの学習内容についてよく確認しておくこと。					L	
テキスト	プリントを使用します							
参考書	内容に応じて紹介します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			60%		40%		
質問への対応	講義担当者または担任まで							
資格								
その他	授業計画(内容・実施時期)に変更がある場合は、事前に連絡します。 初回講義時に詳細版の授業計画をお知らせする予定です。 授業内で課される小レポート等については最終回に講評します。							

科目名	英語コミュニケーションⅠ		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	田 光子						
授業の目的	ねらい	中学校・高校と6年間学んできた英語のまとめのような形の英語となれば幸いです。この講義はテキストにある数多くの問題に触れ、英語の作文、基礎文法、読解及びリスニングの力を呼び起こすことがねらいです。					
	到達目標	(1)英語を書くこと、英単語を、英文を何回も書くことで英語を覚えられるようになる。 (2)CDの英語を何回も聴くことで、英語の音に慣れる。 (3)英単語を、英文を何回も声を出して読むことを通して英語のリズムを覚える。 (4)上記の練習を何度もやることによって基礎的な英語語彙力を身に付ける。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 文の成り立ち(1) 【計画内容】 Unit1 I Love Junk Food:Warm-upの単語と11の基本表現。 【準備学習の内容】 シラバスによるこの講義の内容把握すること。	A				
	第2回	【テーマ】 文の成り立ち(2) 【計画内容】 Unit1 I Love Junk Food:Read & Listenの英語表現。 【準備学習の内容】 前回の講義で学習した語彙、英語表現の確認。	A				
	第3回	【テーマ】 時制(1) 【計画内容】 Unit2 A New Member:Warm-upの単語と10の基本表現。 【準備学習の内容】 前回の講義で学習した語彙、英語表現の確認。	A				
	第4回	【テーマ】 時制(2) 【計画内容】 Unit2 A New Member:Read & Listenの英語表現。 【準備学習の内容】 前回の講義で学習した語彙、英語表現の確認。	A				
	第5回	【テーマ】 文型(1) 第1～3文型(1) 【計画内容】 Unit3 Help!:Warm-upの単語と10の基本表現。 【準備学習の内容】 前回の講義で学習した語彙、英語表現の確認。	A				
	第6回	【テーマ】 文型(1) 第1～3文型(2) 【計画内容】 Unit3 Help!:Read & Listenの英語表現。 【準備学習の内容】 前回の講義で学習した語彙、英語表現の確認。	A				
	第7回	【テーマ】 文型(2) 第4～5文型(1) 【計画内容】 Unit4 Pet! Pet! Pet!!:Warm-upの単語と11の基本表現。 【準備学習の内容】 前回の講義で学習した語彙、英語表現の確認。	A				
	第8回	【テーマ】 文型(2) 第4～5文型(2) 【計画内容】 Unit4 Pet! Pet! Pet!!:Read & Listenの英語表現。 【準備学習の内容】 前回の講義で学習した語彙、英語表現の確認。	A				
	第9回	【テーマ】 現在完了形(1) 【計画内容】 Unit5 Have You Ever Seen A UFO?:Warm-upの単語と11の基本表現。 【準備学習の内容】 前回の講義で学習した語彙、英語表現の確認。	A				
	第10回	【テーマ】 現在完了形(2) 【計画内容】 Unit5 Have You Ever Seen A UFO?:Read & Listenの英語表現。 【準備学習の内容】 前回の講義で学習した語彙、英語表現の確認。	A				
	第11回	【テーマ】 助動詞(1) 【計画内容】 Unit6 Online Shopping:Warm-upの単語と10の基本表現。 【準備学習の内容】 前回の講義で学習した語彙、英語表現の確認。	A				
	第12回	【テーマ】 助動詞(2) 【計画内容】 Unit6 Online Shopping:Read & Listenの英語表現。 【準備学習の内容】 前回の講義で学習した語彙、英語表現の確認。	A				
	第13回	【テーマ】 受動態(1) 【計画内容】 Unit7 Lucky Charm In A Soba Shop:Warm-upの単語と10の基本表現。 【準備学習の内容】 前回の講義で学習した語彙、英語表現の確認。	A				
	第14回	【テーマ】 受動態(2) 【計画内容】 Unit7 Lucky Charm In A Soba Shop:Read & Listenの英語表現。 【準備学習の内容】 前回の講義で学習した語彙、英語表現の確認。	A				
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 既習した文法事項をまとめて確認。 【準備学習の内容】 前学期英語学習の見直しのためのノート整理及び確認。	A				
テキスト	清田洋一・酒井志延等、2006年、『English Quest Basic[New Edition]』、桐原書店						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		15%		10%	15%
補足	レポート						
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。E-mail: chun@hokusho-u.ac.jp (田光子 641研究室)						
資格							
その他	テキスト『English Quest Basic[New Edition]』は必携。遅刻・欠席は評価に大いに影響します。						

科目名	英語コミュニケーションⅠ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	ロバート ニューマン						
授業の目的	ねらい	This course will focus on the fundamentals of effective English communication at beginner and higher-beginner levels in a variety of real-world situations. Different modes of communication will be taught and explored during the course with a range of lively and engaging approaches. Students will be encouraged to express themselves as freely as possible in a safe, friendly space. There will be no set textbook so as to allow flexibility and adaptability in topics and course content.					
	到達目標	(1)Learn to enjoy communicating in English. (2)Develop proficiency in appropriate levels of grammar. (3)Learn to communicate with English speakers in ways that will build and maintain connections. (4)Learn appropriate levels of grammar as the foundation for coping with new situations. (5)Communicate with sensitivity.					
授業の計画	第1回	【テーマ】 Introduction 【計画内容】 Introducing oneself and others. Beginning to learn about each other. Meeting New People. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Read provided materials on the course and study guidelines.				A、B、D、E	
	第2回	【テーマ】 Your World 【計画内容】 Talking about the places in your world using weather and visual vocabulary. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Describe your home or other favorite place.				A、B、D、E	
	第3回	【テーマ】 Your Free-time 【計画内容】 Talking about how you spend your free-time. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.				A、B、D、E	
	第4回	【テーマ】 Getting Around 【計画内容】 Using methods of transportation to discuss time, distance and beginner level common usage of 'in' and 'on'. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.				A、B、D、E	
	第5回	【テーマ】 About Us 【計画内容】 Describing different aspects of our personalities. Further discussing one of the major aims of this course: communicating with sensitivity. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.				A、B、D、E	
	第6回	【テーマ】 Time 【計画内容】 Discussing the different units of time. Continuing instruction in the uses of 'in' and 'on' while also introducing 'at' in reference to time. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.				A、B、D、E	
	第7回	【テーマ】 Changes 【計画内容】 Building on last lesson and learning about the ways that things and people change. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.				A、B、D、E	
	第8回	【テーマ】 Basic Review of Weeks 1-7. Pair Presentations. 【計画内容】 Review of grammar and fundamental concepts from the previous lessons. Verbal pair presentations. Class comments, suggestions and review questions. 【準備学習の内容】 Complete homework assignment. Consider any further general questions not raised in class.				F、H、N	
	第9回	【テーマ】 Your Health 【計画内容】 Discussing health issues, injuries and the different parts of our bodies. Asking for help with a simple health issue. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.				A、B、D、E	
	第10回	【テーマ】 How are You Feeling? 【計画内容】 Talking about our feelings. Stress and what makes us happy. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.				A、B、D、E	
	第11回	【テーマ】 Going Shopping 【計画内容】 Language and interactions used when shopping. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.				A、B、D、E	
	第12回	【テーマ】 Going Out 【計画内容】 Language and interactions used when visiting restaurants, sports events and other outdoor events. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment. Think of a restaurant or event you'd like to visit.				A、B、D、E	
	第13回	【テーマ】 Travelling 【計画内容】 Language and interactions used when travelling abroad. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment.				A、B、D、E	
	第14回	【テーマ】 Hopes and Dreams 【計画内容】 Language and interactions used when discussing hopes and dreams. Focus on positivity. Modes of learning: Teacher-led instruction, group and pair interaction activities, media engagement activities (CD / Powerpoint / Video, etc). 【準備学習の内容】 Complete homework assignment. Think about your hopes and dreams for the future.				A、B、D、E	
	第15回	【テーマ】 Review of Weeks 9-14. Verbal Pair Presentations. 【計画内容】 Review of grammar and fundamental concepts from lessons 9-14. Verbal pair presentations. Class comments, and review questions. Overall summary. 【準備学習の内容】 Review past work and think of any questions for final class.				F、H、N	
テキスト	[Hand-outs will be distributed.]						
参考書	Dictionary (Online, Electronic, Paper, Application, etc.)						
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分				60%	40%	
	補足					Verbal Pair Presentations in Weeks 8 and 15: 20% + 20%	
質問への対応	Students are encouraged to ask questions after class. Email questions in either English or Japanese can also be sent to newmanrd80@gmail.com						
資格	[こ]幼・小2種_必修、保育士_必修						
その他							

科目名	情報機器操作 I				授業形態	演習	単位数	2
教員名	平井 伸之、大関 慎							
授業の目的	ねらい	情報処理の基本を理解するとともに、実際にパーソナルコンピュータで、日本語文書処理ソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアを使い、パーソナルコンピュータの活用を通じて、日本語文書処理の技能の基本とプレゼンテーション用資料作成の基礎を学びます。						
	到達目標	(1)日本語文書作成の基本的な知識・技術が理解できる。 (2)プレゼンテーション用資料作成の基礎的な知識・技術が理解できる。 (3)情報処理におけるパーソナルコンピュータの基本的な活用の仕方がわかる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーションとWindowsの基本操作 【計画内容】 講義計画と受講心得について理解し、パソコンの基本操作・利用心得について基礎的な学習をします。 【準備学習の内容】 シラバス内容を熟読しておくこと。					A、B、D	
	第2回	【テーマ】 日本語文書処理の基本1 【計画内容】 キーボード操作とタッチタイピングについて確認を行い、日本語の処理操作について学習します。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。					B、D	
	第3回	【テーマ】 日本語文書処理の基本2 【計画内容】 文章の入力方法と複写・削除・移動の操作について学習します。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。					B、D	
	第4回	【テーマ】 日本語文書処理の基本3 【計画内容】 一般的な通信文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。					B、D	
	第5回	【テーマ】 日本語文書処理の基本4 【計画内容】 一般的な通信文書の作成を行い、編集機能の基本的操作を身につけます。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。					B、D	
	第6回	【テーマ】 日本語文書処理のまとめ1 【計画内容】 第2回から第5回までの基本的な操作方法や文書作成について復習し、理解を補います。 【準備学習の内容】 前回までの内容を十分に復習しておくこと。					B、D、L	
	第7回	【テーマ】 日本語文書処理の応用1 【計画内容】 一般的な文書における表の作成方法、編集の操作について学習します。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。					B、D	
	第8回	【テーマ】 日本語文書処理の応用2 【計画内容】 一般的な文書について段組みなどの編集方法について理解し、ページ編集の操作について学習します。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。					B、D	
	第9回	【テーマ】 日本語文書処理の応用3 【計画内容】 ビジュアルを重視した文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。					B、D	
	第10回	【テーマ】 日本語文書処理の応用4 【計画内容】 応用的な通信文書の基本的な作成について学習し、印刷の操作について理解します。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。					B、D	
	第11回	【テーマ】 日本語文書処理のまとめ2 【計画内容】 第7回から第10回までの応用的な操作方法や文書作成について復習し、理解を補います。 【準備学習の内容】 前回までの内容を十分に復習しておくこと。					B、D、L	
	第12回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料作成1 【計画内容】 プレゼンテーションの基本について学習し、スライドの作成方法について学習します。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。					B、D	
	第13回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料作成2 【計画内容】 スライドの基本的な編集方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。					B、D	
	第14回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料作成3 【計画内容】 外部データの挿入について理解し、アニメーションの設定等技法について学習します。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。					B、D	
	第15回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料作成のまとめ 【計画内容】 第12回から第14回までのプレゼンテーション用資料作成について復習し、課題を設定して情報収集を行い、情報を基にしたスライド作成の実習をします。 【準備学習の内容】 課題作成に向けて、情報収集を充分に行っておくこと。					B、D、L	
テキスト	プリントを使用します							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配補	分足	40%		30%		30%	
質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。							
資格								
その他	毎時の出席を原則とします。講義計画及び展開方法等を変更する場合があります。初回講義時に全体の流れと受講心得等を説明します。第6回、第11回で日本語文書処理の復習とまとめを、第15回でプレゼンテーション用資料作成の復習とまとめを行います。							

科目名	情報機器操作 I		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	湯澤 直樹						
授業の目的	ねらい	パーソナルコンピュータ(PC)上で情報処理の基本を理解するとともに、日本語文書やプレゼンテーションの作成、表計算の処理の基礎を学びます。					
	到達目標	(1)日本語文書やプレゼンテーション用資料を作成するための基礎的な知識・技術が理解できる。 (2)作表・作図の基礎的な知識・技術が理解できる。 (3)手元を見ずに自由に文字を打つこと(タッチタイピング)ができる。 (4)思ったこと考えたことをPC上で整理して洗練したものにできる。 (5)情報処理におけるPCの基本的な活用の仕方がわかる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーションとWindowsの基本操作 【計画内容】 講義計画と受講心得について理解し、PCの基本操作・利用心得について基礎的な学習をします。 【準備学習の内容】 シラバス内容を熟読しておくこと。			A、B、D		
	第2回	【テーマ】 日本語文書処理の基本1 【計画内容】 キーボード操作とタッチタイピングについて確認を行い、日本語の処理操作について学習します。タッチタイピングは毎回授業開始直後に小テストを兼ねた練習を行います。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。			B、D		
	第3回	【テーマ】 日本語文書処理の基本2 【計画内容】 文章の入力方法と複製・削除・移動の操作や一般的な通信文書の作成方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。			B、D		
	第4回	【テーマ】 日本語文書処理の基本3 【計画内容】 一般的な通信文書の作成を行い、編集機能の基本的操作を身につけます。これまでの基本的な操作方法や文書作成について復習し、理解を補います。 【準備学習の内容】 前回までの内容を十分に復習しておくこと。			B、D、L		
	第5回	【テーマ】 日本語文書処理の応用1 【計画内容】 一般的な文書における表の作成方法、編集の操作について学習します。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。			B、D		
	第6回	【テーマ】 日本語文書処理の応用2 【計画内容】 一般的な文書について段組みなどの編集方法について理解し、ページ編集の操作について学習します。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。			B、D		
	第7回	【テーマ】 日本語文書処理の応用3 【計画内容】 ビジュアルを重視した文書の作成方法や、応用的な通信文書の基本的な作成について学習し、印刷の操作について理解します。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。			B、D		
	第8回	【テーマ】 表作成の基礎1 【計画内容】 簡単な作表や作図を通して、表計算の基礎について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。			B、D		
	第9回	【テーマ】 表作成の基礎2 【計画内容】 統計を利用して、実際のデータを使った作表や作図を通して、表計算の基礎について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。			B、D		
	第10回	【テーマ】 表作成の応用1 【計画内容】 作成した図表をどのように理解すれば良いのかを、文章化・レイアウト・プレゼンの準備の流れの中で学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。			B、D		
	第11回	【テーマ】 表作成の応用2 【計画内容】 作表・作図の応用的な操作方法やこれまでの文書・図表の作成について復習し、理解を補います。 【準備学習の内容】 前回までの内容を十分に復習しておくこと。			B、D、L		
	第12回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成1 【計画内容】 プレゼンテーションの基本について学習し、スライドの作成方法について学習します。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。			B、D		
	第13回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成2 【計画内容】 スライドの基本的な編集方法について学習し、演習課題に取り組みます。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。			B、D		
	第14回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成3 【計画内容】 外部データの挿入について理解し、アニメーションの設定等技法について学習します。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった課題を解いておくこと。			B、D		
	第15回	【テーマ】 プレゼンテーション用資料の作成4 【計画内容】 課題を設定して情報収集を行い、情報を基にしたスライド作成の実習により、総まとめとします。 【準備学習の内容】 課題作成に向けて、情報収集を充分に行っておくこと。			B、D		
テキスト	プリントを使用します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		30%		30%	
補足							
質問への対応	初回講義時に、オフィスアワーやメールによる質問方法について補足説明します。						
資格	[乙]幼・小2種_必修、保育士_必修						
その他	毎時の出席を原則とします。講義計画及び展開方法等を変更する場合があります。初回講義時に全体の流れと受講心得等を説明します。						

科目名	健康体育(実技を含む)		授業形態	講義・実技	単位数	2	
教員名	花井 篤子、長尾 明也、畠山 孝子						
授業の目的	ねらい	運動不足や身体の不活動が健康に悪影響を与え、適度な運動が健康の維持・増進に不可欠であるということは周知の事実です。本授業では、健康を目的とした運動の果たす役割について、運動の理論から実技までを幅広く学びます。運動が心や身体に与える影響、生涯にわたる健康づくりのあり方(生涯スポーツとしての運動)やその意義について学習します。具体的には、運動の原則や健康づくりのための運動プログラムの紹介、運動処方の方考え方などの内容に加えて、障害者スポーツの紹介、女性とスポーツの現状、肥満や腰痛改善のための運動処方などのテーマに沿って学びます。					
	到達目標	(1)健康運動を実践する上での基礎知識を修得する。 (2)実技では球技の基礎的技能を習得し、健康づくりのための運動方法の学習と体験をする。 (3)講義と実技を通して、健康生活のための安全で、有効な運動の必要性を理解する。 (4)トレーニングの基本について理解を深める。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の概要の説明と、グループ分け後、移動して実技を実施する。(実技:花井篤子・畠山孝子・長尾明也) 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておく。	E	第13回	【テーマ】バドミントン③ 【計画内容】試合運営と審判法を学ぶ。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の復習をする。	E、L	
	第2回	【テーマ】バレーボール① 【計画内容】バレーボールの基礎技術を学ぶ。(長尾明也) 【準備学習の内容】ルールを理解しておく。	E、L	第14回	【テーマ】バドミントン④ 【計画内容】リーグ戦。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の復習をする。	E、L	
	第3回	【テーマ】バレーボール② 【計画内容】バレーボールの試合運営を学ぶ。(長尾明也) 【準備学習の内容】ルールを理解しておく。	E、L	第15回	【テーマ】バドミントン⑤ 【計画内容】リーグ戦。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の復習をする。	E、L	
	第4回	【テーマ】バスケットボール① 【計画内容】バスケットボールの基礎技術を学ぶ。(長尾明也) 【準備学習の内容】ルールを理解しておく。	E、L	第16回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の概要と講義ふり取りレポートについて説明する。(講義:花井篤子) 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておく。	A	
	第5回	【テーマ】バスケットボール② 【計画内容】バスケットボールの試合運営を学ぶ。(長尾明也) 【準備学習の内容】ルールを理解しておく。	E、L	第17回	【テーマ】健康の果たす役割とその意義 【計画内容】健康の果たす役割とその意義について学び、講義内容をふり取り、レポートを作成する。(花井篤子) 【準備学習の内容】健康の必要性について調べる。	A、G、L	
	第6回	【テーマ】体力測定 【計画内容】体力測定を行い、現在の体力レベルを把握する。(花井篤子) 【準備学習の内容】体力測定項目の予習をしておくこと。	E、L	第18回	【テーマ】健康づくりのための運動の理論と実際 【計画内容】健康づくりのための運動の理論と実際について学び、講義内容をふり取り、レポートを作成する。(花井篤子) 【準備学習の内容】前回の講義の復習をする。	A、G、L	
	第7回	【テーマ】ストレッチングと筋力トレーニング 【計画内容】ストレッチングと筋力トレーニングの方法を学び、実践する。(花井篤子) 【準備学習の内容】ストレッチングと筋力トレーニングの内容について予習をしておくこと。	E	第19回	【テーマ】障害者とスポーツ 【計画内容】障害者とスポーツの問題点について学び、講義内容をふり取り、レポートを作成する。(花井篤子) 【準備学習の内容】前回の講義の復習をする。	A、G、L	
	第8回	【テーマ】ニュースポーツ(キンボール) 【計画内容】キンボールを使った運動を学び、実践する。(花井篤子) 【準備学習の内容】キンボールのルールについて予習をしておくこと。	E	第20回	【テーマ】女性とスポーツ 【計画内容】女性とスポーツの問題点について学び、講義内容をふり取り、レポートを作成する。(花井篤子) 【準備学習の内容】前回の講義の復習をする。	A、G、L	
	第9回	【テーマ】調整力トレーニング① 【計画内容】Gボールを利用したエクササイズや調整力トレーニングの実施方法を学び、実践する。(花井篤子) 【準備学習の内容】調整力について予習をしておくこと。	E	第21回	【テーマ】子どもとスポーツ 【計画内容】発育発達を考慮した子供とスポーツの関係について学び、講義内容をふり取り、レポートを作成する。(花井篤子) 【準備学習の内容】前回の講義の復習をする。	A、G、L	
	第10回	【テーマ】調整力トレーニング② 【計画内容】ラダーやゴムボールを利用した調整力トレーニングの実施方法を学び、実践する。(花井篤子) 【準備学習の内容】調整力について復習をしておくこと。	E	第22回	【テーマ】アクアフィットネス、まとめ及びレポート課題の提示 【計画内容】アクアフィットネスの概念と生涯スポーツについて学ぶ。また、これまでの講義のまとめを行い、レポート課題を説明し、講義内容をふり取り、レポートを作成する。(花井篤子) 【準備学習の内容】前回の講義の復習をする。	A、G、L	
	第11回	【テーマ】バドミントン① 【計画内容】サービスとストロークの技術を習得する。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の復習をする。	E、L	第23回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】健康体育のまとめと振り返りを行う。(花井篤子) 【準備学習の内容】これまでの講義内容を復習し、理解しておくこと。	G、L	
	第12回	【テーマ】バドミントン② 【計画内容】応用技術と試合運営の方法を学ぶ。(畠山孝子) 【準備学習の内容】前回の復習をする。	E、L				
テキスト	適宜プリントを配付します 2016年、『新版 生涯スポーツと運動の科学』、市村出版						
参考書	適宜紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		70%	
補足							
質問への対応	授業時に説明します。						
資格	[こ]幼・小2種_必修、保育士_必修						
その他	成績は実技と講義の参加意欲及び授業態度とレポート課題を総合的に判断し評価します。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。						

科目名	日本国憲法		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	菊地 達夫						
授業の目的	<p>ねらい 本講義では、日本国憲法の基本的性格(条文の内容・事例)について学びます。また、学校教育(小学校・幼稚園)等との関連についても触れていきます。</p> <p>到達目標 (1)日本国憲法の基本的性格について理解できる。 (2)小学校・幼稚園(保育所)と日本国憲法の関係性について理解できる。 (3)ニュース・報道等から日本国憲法との関係性について興味関心をもち思考・理解できる。</p>						
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業のねらい、到達目標、授業計画、成績評価方法、参考文献等について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおくこと。				A	
	第2回	【テーマ】 日本国憲法の制定 【計画内容】 大日本帝国憲法の特徴と日本国憲法の制定について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。				A、K	
	第3回	【テーマ】 国民主権 【計画内容】 国民主権と天皇制・代表民主制の関係について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。				A、K	
	第4回	【テーマ】 人権保障の特徴と平等権 【計画内容】 人権保障と平等権について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。				A、K	
	第5回	【テーマ】 自由権的基本権 【計画内容】 自由権、人身・経済の自由について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。				A、K	
	第6回	【テーマ】 社会権と人権の確保 【計画内容】 社会権と公共の福祉、新しい人権の動きについて学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。				A、K	
	第7回	【テーマ】 平和主義 【計画内容】 戦争の放棄、自衛隊、防衛問題について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。				A、K	
	第8回	【テーマ】 国会のしくみと機能 【計画内容】 国会の地位、機構、権限、課題について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。				A、K	
	第9回	【テーマ】 内閣・行政のしくみと機能 【計画内容】 内閣の地位、組織・職務、国会との関係について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。				A、K	
	第10回	【テーマ】 裁判所のしくみと機能 【計画内容】 裁判所の地位、しくみ、裁判官の任命と身分保障、違憲立法審査権について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。				A、K	
	第11回	【テーマ】 地方自治 【計画内容】 地方自治の意義、組織と機能(地方公共団体)、住民の権利について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。				A、K	
	第12回	【テーマ】 憲法改正 【計画内容】 憲法改正に伴う今日的话题に触れながら学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。				A、K	
	第13回	【テーマ】 日本国憲法に関する最新動向 【計画内容】 新聞記事等を教材として、憲法に関する最新の内容を学習します。 【準備学習の内容】 理解のできていない内容について、よく復習しておくこと。				J	
	第14回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 第13回までに学習した重要事項等について、確認します。 【準備学習の内容】 理解のできていない内容について、よく復習しておくこと。				L	
	第15回	【テーマ】 まとめと整理 【計画内容】 日本国憲法と学校教育等の関係性について、改めて思考してもらいます。また、学習した重要事項等について整理します。 【準備学習の内容】 理解のできていない内容について、よく確認しておくこと。				A、L、K	
テキスト	必要に応じてプリントを使用します						
参考書	藤井剛、2008年、『詳説 政治・経済研究』、山川出版社 伊藤真、2014年、『伊藤真の憲法入門』、日本評論社 池上彰、2015年、『超訳日本国憲法』、新潮新書						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
補足							
質問への対応	初回講義時に説明します。						
資格	[乙]幼・小2種_必修、保育士_選択						
その他	18歳選挙権、憲法改正、保育等の法律の動向には注目しておくこと。 課題等の結果は、返却時に講評・補足説明を行います。						

科目名	外国の歴史と文化		授業形態	実習	単位数	2	
教員名	担当教員						
授業の目的	ねらい	外国を訪問し現地の人々との交流を通して、我々とは異なる文化や習慣を持つ人々から学ぶことで、グローバルな視野を獲得して、21世紀の社会人として成長することを目的とします。					
	到達目標	(1)訪問国の歴史や文化について理解を深めることで、多角的な視野を理解・獲得する。 (2)外国の文化と対比しながら、日本人としての自覚を持てるようになる。 (3)研修への参加目的を明確に設定、主体的に事前学習および現地研修に取り組み、目的を達成する。 (4)集団行動における他者尊重と協調性を養うことで、お互いに協力して助け合うことができる。 (5)現地の人々との交流を通して、実際にコミュニケーションすることにチャレンジする。					
授業の計画	<b>【多文化理解体験研修 5～6日間】</b> 実施時期は未定ですが、今年度はフィリピン共和国 カオハガン島を予定しています。 詳細が決定しましたら、学生ポータルサイト、学内掲示や先生からお知らせがあります。						
	(1)オリエンテーション (2)参加目的と研修に対する意欲を発表するプレゼンテーション (3)事前学習(参加者それぞれの参加目的を明確にし、研修中のアクティビティの選定、交流授業の計画と準備) (4)事前学習(歴史、地理、文化など、訪問国の調査・学習) (5)カオハガン島小学校での交流授業実施と児童との交流(指導案作成、教材準備、授業準備とリハーサル) (6)現地の地元住民との交流を通じた文化体験(半日ホームビジット、ボランティア活動) (7)帰国後レポートの作成(研修の成果、参加目的の達成度を明らかにする) (8)帰国報告会での発表					A F H、J、N A、H、J M M K F	
<b>【準備学習の内容】</b> 滞在中の研修日程、実施内容などは研修参加者と一緒企画します。その準備に十分な時間をかけるため、継続的な勉強会を実施します。							
テキスト	プリントを配付します						
参考書	プリントを配付します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		40%	10%
	補足			交流企画準備、報告書作成		主体性、積極性、貢献度	帰国後の報告会
質問への対応	海外研修に関するお問い合わせは、学生生活支援オフィスまで						
資格							
その他	募集参加人数に満たない場合または、世界情勢等の理由により催行されないことがあります。現地の事情により研修内容が変更されることがあります。観光を目的とした海外旅行ではありません。事前と事後の学習時間、研修準備などを研修自体に含めると15回分の参加が求められます。						

科目名	日本語		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	田 光子						
授業の目的	ねらい	外国人留学生を対象に、本学でのコミュニケーション・学習・発表がスムーズに行えるように読み、書く、聞く、話すの4技能の向上を目標とする。また、日本の文化、事情、風習、マナーなどを読み物や視聴覚教材を通して理解することで、日本での留学生活がより有意義なものになるようにする。日本語能力検定1級を持っていない学生は必ず取得しよう。					
	到達目標	(1)日本語の読み、書き、聞き取り、話すの4技能の向上。 (2)漢字の読み書きがスムーズにできる。 (3)レポートがスムーズに書ける。 (4)日本語の正しい発音ができる。 (5)テキストなどがスムーズに読め、内容が理解できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーションと自己紹介 【計画内容】 講義概要・講義の展開方法などの説明。 【準備学習の内容】 自己紹介準備とシラバスを読んでおく。	A				
	第2回	【テーマ】 読解を中心(小説を読む)① 【計画内容】 発音確認と読み方。 【準備学習の内容】 プリントを読んで、内容を理解する。	A				
	第3回	【テーマ】 読解を中心(小説を読む)② 【計画内容】 漢字の読み方や意味を確認する。 【準備学習の内容】 漢字の読み方や意味を調べておく。	A、F				
	第4回	【テーマ】 語彙と文法① 【計画内容】 語彙(漢字を含む)と文法事項の説明。 【準備学習の内容】 わからない語彙や文法を調べておく。	A				
	第5回	【テーマ】 語彙と文法② 【計画内容】 語彙(漢字を含む)と文法事項の説明。 【準備学習の内容】 わからない語彙や文法を調べておく。	A				
	第6回	【テーマ】 文法確認と作文練習 【計画内容】 文法の作文練習を確認する。 【準備学習の内容】 プリントの作文練習をし、発表準備をする。	A、K				
	第7回	【テーマ】 漢字練習・自国の風習について発表 【計画内容】 漢字の復習と(風習についての)文章力向上と発表。 【準備学習の内容】 漢字復習と風習について調べて作文し、発表準備をする。	A、F、K				
	第8回	【テーマ】 日本事情・聞いてまとめる(ニュースを見る) 【計画内容】 ニュースの聞き取りや表現を理解する。 【準備学習の内容】 ニュースを毎日聞き、聞き取りに慣れるようにする。	A、L				
	第9回	【テーマ】 語彙と文法③ 【計画内容】 ニュースの語彙や文法について説明。 【準備学習の内容】 わからない語彙や文法を調べておく。	A				
	第10回	【テーマ】 読解を中心(新聞を読む) 【計画内容】 新聞を速読し、内容を理解し要約する力を養う。 【準備学習の内容】 毎日新聞を読む習慣をつける。	A				
	第11回	【テーマ】 語彙と文法④ 【計画内容】 新聞の語彙や文法について説明。 【準備学習の内容】 わからない語彙や文法を調べておく。	A				
	第12回	【テーマ】 日本語・韓国語の翻訳練習 【計画内容】 日本語から韓国語へ、韓国語から日本語への自然な表現を学ぶ。 【準備学習の内容】 課題のプリントを翻訳する。	A、F、K				
	第13回	【テーマ】 日本の文化理解 【計画内容】 本学の演劇を観劇して、日本の文化に触れる。 【準備学習の内容】 演目について調べ、観劇後は感想文を書く。	M				
	第14回	【テーマ】 日本と自国の違いについて討論 【計画内容】 文化の違いを発表して、お互いの意見を確認したり討論したりする。 【準備学習の内容】 日本での生活を通して感じた文化の違いを作文して、発表準備をする。	A、F、I				
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 既習の語彙や文法事項の確認。 【準備学習の内容】 既習の語彙や文法事項の復習をする。	A、L				
テキスト	プリントを使用します						
参考書	プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		20%		20%	
	補足			レポートなど			
質問への対応	講義内での質問も随時受け付けます。E-Mail: chun@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他	留学生対象科目。遅刻・欠席はしないこと。						

科目名	現代日本の文化				授業形態	講義	単位数	2
教員名	菊地 達夫							
授業の目的	ねらい	「現代日本の文化」では、留学生の出身国(地域)における文化的事項の認識を確認し、比較を意識しながら、日本(北海道)の文化的な特色が、どのように形成・定着・発展したのか史的に学習します。						
	躰躰	(1)日本の文化的な特色について理解できる。 (2)北海道の文化的な特色について理解できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 講義のねらい、到達目標、講義計画、成績評価方法、参考文献について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容についてよく読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】 出身国(地域)の文化的事項の確認 【計画内容】 出身国(地域)の文化的事項について確認します。 【準備学習の内容】 出身国(地域)の文化的事項について整理しておくこと。						K
	第3回	【テーマ】 日本の主な文化的事項 【計画内容】 日本の主な文化的事項(食文化・芸術・スポーツ)について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第4回	【テーマ】 日本の文化的な地域の特徴 【計画内容】 日本の文化的な地域の特徴(食文化・芸術・スポーツ)について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第5回	【テーマ】 日本の文化的事項の形成 【計画内容】 日本の文化的事項の形成過程(食文化・芸術・スポーツ)について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第6回	【テーマ】 日本の文化的事項の定着 【計画内容】 日本の文化的事項(食文化・芸術・スポーツ)は、どのように定着したのか、学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第7回	【テーマ】 日本の文化的事項の発展 【計画内容】 日本の文化的事項(食文化・芸術・スポーツ)は、どのように発展してきたのか、学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第8回	【テーマ】 日本の伝統文化(生活習慣) 【計画内容】 日本の年中行事について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第9回	【テーマ】 北海道の地域文化1 【計画内容】 北海道の地域文化の地域的特色について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A
	第10回	【テーマ】 北海道の地域文化2 【計画内容】 アイヌ民族・文化について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						A、K
	第11回	【テーマ】 北海道の地域文化3 【計画内容】 博物館資料の活用を通じて体験的に学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						M
	第12回	【テーマ】 北海道の地域文化4 【計画内容】 博物館資料の活用を通じて体験的に学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について整理しておくこと。						M
	第13回	【テーマ】 まとめと整理 【計画内容】 これまでの学習内容の重要な点について整理します。 【準備学習の内容】 理解のできていない学習内容についてよく確認しておくこと。						A、L
	第14回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 これまでの学習内容の重要な点について確認します。 【準備学習の内容】 これまでの学習内容についてよく整理しておくこと。						L
	第15回	【テーマ】 まとめと応用 【計画内容】 学習成果の活かし方について説明します。 【準備学習の内容】 理解のできていない学習内容についてよく確認しておくこと。						A、K
テキスト	必要に応じてプリントを使用します							
参考書	奥野隆史ほか、2006年、『日本総論Ⅱ(人文・社会編)』、朝倉書店、4254167628 桑原真人ほか、2008年、『北海道の歴史がわかる本』、垂瑠西社、9784900541757 北海道高校地理教育研究会、1994年、『図説北海道ふるさと早わかり』、北海道新聞社、4893637223							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	50%		30%		20%		
補足								
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格								
その他	留学生対象科目。 履修者との相談の上、2回目以降の曜日・時間帯を決めます。(初回の日時や教室は掲示板等をよく確認すること) 内容が一部変更になる場合があります。 課題の結果等は、返却時に講評、補足説明を行います。							



ライフデザイン学科  
学科専門科目



科目名	英語コミュニケーションⅡ				授業形態	演習	単位数	2
教員名	田 光子							
授業の目的	ねらい	「英語コミュニケーションⅠ」に続き、文法事項の学習を深めます。「英語コミュニケーションⅠ」と同様、数多くの問題に触れ英語力をつけていきます。反復学習の重要性を知ってもらいます。						
	到達目標	(1)英語を書くこと、英単語や英文を何回も書くことで英語を覚える。 (2)CDの英語を何回も聴くことで、英語の音に慣れる。 (3)英単語や英文を何回も声に出して読むことを通して英語のリズムを覚える。 (4)上記の練習を何度もやることによって基礎的な英語語彙力を身につける。 (5)習得した英文法や語彙力を応用して、英作文を書けるようにする。						
授業の計画	第1回	【テーマ】後学期の講義を開始するに当たっての心構え・オリエンテーション 不定詞(1) 【計画内容】Unit8 Fishing Is Exciting!:Warm-upの単語と9の基本表現。 【準備学習の内容】シラバスによる講義展開の確認、初回講義の準備ができてきているかの確認。						A
	第2回	【テーマ】不定詞(2) 【計画内容】Unit8 Fishing Is Exciting!:Read & Listenの英語表現。 【準備学習の内容】前回の講義で学習した英語の語彙、英語表現の確認。						A
	第3回	【テーマ】動名詞(1) 【計画内容】Unit9 Angels In White!:Warm-upの単語と10の基本表現。 【準備学習の内容】前回の講義で学習した英語の語彙、英語表現の確認。						A
	第4回	【テーマ】動名詞(2) 【計画内容】Unit9 Angels In White!:Read & Listenの英語表現。 【準備学習の内容】前回の講義で学習した英語の語彙、英語表現の確認。						A
	第5回	【テーマ】分詞(1) 【計画内容】Unit10 Robot:Warm-upの単語と10の基本表現。 【準備学習の内容】前回の講義で学習した英語の語彙、英語表現の確認。						A
	第6回	【テーマ】分詞(2) 【計画内容】Unit10 Robot!:Read & Listenの英語表現。 【準備学習の内容】前回の講義で学習した英語の語彙、英語表現の確認。						A
	第7回	【テーマ】比較(1) 【計画内容】Unit11 Band Contest:Warm-upの単語と10の基本表現。 【準備学習の内容】前回の講義で学習した英語の語彙、英語表現の確認。						A
	第8回	【テーマ】比較(2) 【計画内容】Unit11 Band Contest!:Read & Listenの英語表現。 【準備学習の内容】前回の講義で学習した英語の語彙、英語表現の確認。						A
	第9回	【テーマ】関係詞(1) 【計画内容】Unit12 Let's Go To The Museum!:Warm-upの単語と10の基本表現。 【準備学習の内容】前回の講義で学習した英語の語彙、英語表現の確認。						A
	第10回	【テーマ】関係詞(2) 【計画内容】Unit12 Let's Go To The Museum!:Read & Listenの英語表現。 【準備学習の内容】前回の講義で学習した英語の語彙、英語表現の確認。						A
	第11回	【テーマ】仮定法(1) 【計画内容】Unit13 Miss You.:Warm-upの単語と10の基本表現。 【準備学習の内容】前回の講義で学習した英語の語彙、英語表現の確認。						A
	第12回	【テーマ】仮定法(2) 【計画内容】Unit13 Miss You.:Read & Listenの英語表現。 【準備学習の内容】前回の講義で学習した英語の語彙、英語表現の確認。						A
	第13回	【テーマ】否定表現(1) 【計画内容】Unit14 Goodbye, Linda.:Warm-upの単語と10の基本表現。 【準備学習の内容】前回の講義で学習した英語の語彙、英語表現の確認。						A
	第14回	【テーマ】否定表現(2) 【計画内容】Unit14 Goodbye, Linda.:Read & Listenの英語表現。 【準備学習の内容】前回の講義で学習した英語の語彙、英語表現の確認。						A
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】既習した文法事項のまとめと確認 【準備学習の内容】前回の講義で学習した英語の語彙、英語表現の確認。						A
テキスト	清田洋一・酒井志延等、2006年、「English Quest Basic[New Edition]」、桐原書店							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	60%		15%		10%	15%	
補足				レポート等				
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。E-mail:chun@hokusho-u.ac.jp (田光子 641研究室)							
資格								
その他	欠席、遅刻は評価に大いに影響します。積極的な授業参加をお願いします。							

科目名	情報機器操作Ⅱ		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	平井 伸之、大関 慎						
授業の目的	ねらい	コンピュータリテラシ(コンピュータを使いこなす能力)、特に表計算ソフトを使いこなす能力の基礎を築く(実習を含む)。ただし、表計算ソフトの奥は深い。基本的なことをナビゲートするので、それ以上の発展は各自の努力に期待する。日商PC検定(データ活用)、Microsoft Office Specialist検定(Excel)等を目指してほしい。					
	到達目標	(1)10分間で800字以上のタイピングができる。 (2)Excelの基本的な使い方を習得している。 (3)Excelを利用して基本的なビジネスデータ分析ができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ワードソフト(Word)の復習 【計画内容】 Wordの復習を行う。 【準備学習の内容】 「情報機器操作Ⅰ」を復習しておくこと。	B、D				
	第2回	【テーマ】 表計算ソフト(Excel)-1 【計画内容】 Excelの基本操作、特に入力方法、ワークシート操作、式の立て方、関数の利用、絶対参照・相対参照について学ぶ。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった問題を解いておくこと。	B、D				
	第3回	【テーマ】 表計算ソフト(Excel)-2 【計画内容】 Excelの基本操作、式の立て方、関数の利用、絶対参照・相対参照、セルの書式設定等について学ぶ。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった問題を解いておくこと。	B、D				
	第4回	【テーマ】 表計算ソフト(Excel)-3 【計画内容】 Excelの基本操作、特に各種グラフの作成、図の挿入等について学ぶ。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった問題を解いておくこと。	B、D				
	第5回	【テーマ】 表計算ソフト(Excel)-4 【計画内容】 課題(式と関数、絶対参照・相対参照、セルの書式設定を理解しているかどうか確認する)。 【準備学習の内容】 前回までの内容を復習しておくこと。	B、D				
	第6回	【テーマ】 表計算ソフト(Excel)-5 【計画内容】 課題(各種グラフの作成について理解しているかどうか確認する)。 【準備学習の内容】 前回までの内容を復習しておくこと。	B、D				
	第7回	【テーマ】 表計算ソフト(Excel)-6 【計画内容】 課題(各種グラフの作成について理解しているかどうか確認する)。 【準備学習の内容】 前回までの内容を復習しておくこと。	B、D				
	第8回	【テーマ】 表計算ソフト(Excel)-7 【計画内容】 Excelのデータベース機能、並び替えと抽出について学ぶ。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった問題を解いておくこと。	B、D				
	第9回	【テーマ】 表計算ソフト(Excel)-8 【計画内容】 課題(データベース機能について理解しているかどうか確認する)。 【準備学習の内容】 前回までの内容を復習しておくこと。	B、D				
	第10回	【テーマ】 表計算ソフト(Excel)-9 【計画内容】 Excelの三大機能(式と関数、グラフ、データベース)について復習する。 【準備学習の内容】 前回までの内容を復習しておくこと。	B、D、L				
	第11回	【テーマ】 表計算ソフト(Excel)-10 【計画内容】 Excelのもっとも重要な機能の一つピボットテーブルの利用を学ぶ。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった問題を解いておくこと。	B、D				
	第12回	【テーマ】 表計算ソフト(Excel)-11 【計画内容】 課題(ピボットテーブルについて理解しているかどうか確認する)。 【準備学習の内容】 前回までの内容を復習しておくこと。	B、D				
	第13回	【テーマ】 表計算ソフト(Excel)-12 【計画内容】 ピボットテーブルを利用したビジネスデータ分析を学ぶ。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった問題を解いておくこと。	B、D				
	第14回	【テーマ】 表計算ソフト(Excel)-13 【計画内容】 課題(ピボットテーブルを利用したビジネスデータ分析について理解しているかどうか確認する)。 【準備学習の内容】 前回までの復習をしておくこと。	B、D				
	第15回	【テーマ】 表計算ソフト(Excel)-14 【計画内容】 Excel利用方法のまとめを行う。 【準備学習の内容】 Excelの基本について復習をしておくこと。	B、D、L				
テキスト	プリントを使用します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		30%		30%	
補足							
質問への対応	E-Mail(平井):hirai@hokusho-u.ac.jp E-Mail(大関):oozeki@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他	毎時の出席を原則とします。授業計画及び展開方法を変更する場合があります。 第10回でExcelの三大機能の復習とまとめを、第15回でピボットテーブルを含めたExcelの復習とまとめを行います。						

科目名	キャリアデザイン			授業形態	講義	単位数	2
教員名	田口 智子						
授業の目的	ねらい	本講義は、学生が主体的に進路選択し、積極的な姿勢で就職活動に取り組むために必要な知識の習得と資質開発を行うことを目的としている。 学生が自らの夢を描き、その夢の実現のために何が必要か、何をすべきかを考える機会、自らの意見を他者に伝え、自らも他者の意見を正確に聞き取り、意見交換ができる機会を通じて、より広い見識で物事を捉えて、目的行動がとれる人財育成を目指す。 本講義は、外部講師講座を加え、実践的な講義展開をしていく。					
	到達目標	(1)仕事について自分なりの見解を持つ。 (2)自主的に物事に取り組む。 (3)物事に集中力を持って取り組む。 (4)積極的に自らの考えを行動に移す力を身につける。 (5)やり遂げる力を身につける。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション:キャリアデザインとは 【計画内容】 1. 就職活動の一連の流れについて 2. 仕事生活に関わる制度について 3. 就職活動に関する社会的仕組みについて 4. その他 【準備学習の内容】 新聞を読む。	A、F、 H、K	第9回	【テーマ】 自分を知る1 【計画内容】 自分の強みと弱みを知る。 【準備学習の内容】 自分PRを考える。	A、F、 G、H、 K、L	
	第2回	【テーマ】 企業を知る1 【計画内容】 1. 企業活動を知る 2. 企業の社会的役割を考える 【準備学習の内容】 新聞を読む。	A、F、 H、K	第10回	【テーマ】 自分を知る2 【計画内容】 今までの出来事の振り返り。 【準備学習の内容】 自分のできること、できないことを考える。	A、F、 G、H、 K、L	
	第3回	【テーマ】 企業を知る2 【計画内容】 1. 業界・職種を知る 2. 求人票の見方を知る 3. 財務諸表の意味と見方を知る 【準備学習の内容】 新聞を読む。	A、F、 H、K	第11回	【テーマ】 自分を知る3 【計画内容】 夢を語る。 【準備学習の内容】 将来の夢を考える。	A、F、 G、H、 K、L	
	第4回	【テーマ】 企業を知る3 【計画内容】 1. 企業の具体的な活動を知る 2. 企業に求められる人財を考える 【準備学習の内容】 企業研究(講義内指定)。	A、F、 G、H、 K	第12回	【テーマ】 自分を知る4 【計画内容】 目標実現のためにすべきことを考える。 【準備学習の内容】 夢を実現するためにできることを考える。	A、F、 G、H、 K、L	
	第5回	【テーマ】 企業を知る4 【計画内容】 企業が求める人財とはどのような人財か。 【準備学習の内容】 企業研究。	A、F、 G、H、 K、L	第13回	【テーマ】 ワークショップ4 【計画内容】 指定課題に基づくグループワーク。 【準備学習の内容】 指定課題についてレポート作成。	A、F、 G、H、 K、L	
	第6回	【テーマ】 ワークショップ1 【計画内容】 1. なぜ人は働くのか 2. 仕事とは何か 【準備学習の内容】 仕事について考える。	A、F、 G、H、 K、L	第14回	【テーマ】 ワークショップ5 【計画内容】 指定課題に基づくグループワーク。 【準備学習の内容】 指定課題についてレポート作成。	A、F、 G、H、 K、L	
	第7回	【テーマ】 ワークショップ2 【計画内容】 正規社員と非正規社員について考える。 【準備学習の内容】 働き方について考える。	A、F、 G、H、 K、L	第15回	【テーマ】 ワークショップ6 【計画内容】 指定課題に基づくグループワーク。 【準備学習の内容】 指定課題についてレポート作成。	A、F、 G、H、 K、L	
	第8回	【テーマ】 ワークショップ3 【計画内容】 会社選びの重要ポイントを考える。 【準備学習の内容】 企業情報の見方を学ぶ。	A、F、 G、H、 K、L				
テキスト	独自プリントを使用します						
参考書	必要に応じて講義上で指定します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		30%	40%
補足				レポート		集中力・意欲	理解力・積極性
質問への対応	状況に応じて、随時最大限に対応します。なお、個別指導が必要な場合は、別途機会を設定して個別指導にあたります。						
資格							
その他	就職活動に役立つ科目として、秘書系の科目をはじめ、「ビジネスワークショップⅠ・Ⅱ」や「コミュニケーション論」「インターンシップⅠ・Ⅱ」「企業と経営」を併用すると一層学習効果が得られます。						

科目名	ライフデザイン			授業形態	講義	単位数	2
教員名	大関 慎						
授業の目的	ねらい	ライフデザイン(人生設計)を確かにするために、様々なキーワードで学習します。「言葉」「働くこと」「社会」ということを知り、2年後の自分を良く考えることを目的としています。					
	到達目標	(1)自らのライフデザインを確かにする。 (2)「言葉」を中心とした使い方や意味を知る。 (3)「働くこと」、「社会」を知る。					
授業の計画	第1回	【テーマ】ライフデザインとは 【計画内容】自分の人生の目的とは何かを考える。目的を持つ人生と目的のない人生の違いは何か。今までどのようにして生きてきたか。これからどんな人生を歩みたいかという視点で人生を考える。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A
	第2回	【テーマ】現代社会の理解-社会の流れを知ろう 【計画内容】戦後から現在までの社会の流れを大まかに理解する。自分がどのような時代に生きているか認識する。企業経営の変化について理解する。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					B
	第3回	【テーマ】自己分析 【計画内容】マインドマップで情報を広げよう。抽出した要素を分類する力を身に付ける。自分自身が持っている力を認識する。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					B
	第4回	【テーマ】自己PR 【計画内容】自己PRの書き方を学ぶ。非言語コミュニケーションについて考える。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					B
	第5回	【テーマ】多様な職業 【計画内容】多様な職業について学ぶ。 【準備学習の内容】第1回から第4回までの内容をよく理解しておくこと。					A
	第6回	【テーマ】ライフデザイン 【計画内容】自分の時間の使い方について考える。自分の現在と未来について考え、逆算思考でライフデザインを考える。自分の目標を設定し、行動計画を立てる。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					B
	第7回	【テーマ】日本語の基礎と重要性 【計画内容】何故改めて日本語を学ぶのかという理由を考える。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					B
	第8回	【テーマ】日本語の基礎 【計画内容】日本語の基本的なルールと知識を確認する。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					B
	第9回	【テーマ】文書作成のルールと漢字のいろいろ 【計画内容】文書を書くときの基本的なルールを確認し、同音異義語や難読漢字など、就職試験に役立つ漢字を学ぶ。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					B
	第10回	【テーマ】日本語のまとめ 【計画内容】第6回から第9回までのまとめを行う。 【準備学習の内容】第6回から第9回までの内容をよく理解しておくこと。					B
	第11回	【テーマ】自分の生き方や働き方について考える1 【計画内容】働く意味、働き方を考える。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A
	第12回	【テーマ】自分の生き方や働き方について考える2 【計画内容】社会の現状を知り、社会との関わりを考える。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A
	第13回	【テーマ】短大2年間で絶対やっておくこと1 【計画内容】短大時代にしておかなければならないことについて学ぶ。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A
	第14回	【テーマ】短大2年間で絶対やっておくこと2 【計画内容】短大時代にしておかなければならないことについて学ぶ。 【準備学習の内容】講義終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A
	第15回	【テーマ】全体のまとめ 【計画内容】第1回から第14回までのまとめを行う。 【準備学習の内容】第1回から第14回までの内容をよく理解しておくこと。					A
テキスト	プリントを使用します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
補足				レポート等			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。E-Mail:oozeki@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他							

科目名	ライフデザイン演習				授業形態	演習	単位数	2
教員名	平井 伸之、大関 慎、田口 智子、田 光子、湯澤 直樹							
授業の目的	ねらい	学科の多彩な専門学習ユニット(ライフデザイン・キャリアデザイン・ファッション・舞台芸術)を体験し学科理解を深めます。これからの2年間で身に付けていく専門的知識や技能が、他の専門分野とどのようにコラボレーションできるかを考える機会とします。						
	到達目標	(1)学科の専門学習系列を体験し理解する。 (2)テーマに沿った課題を検討、レポートを作成する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】全体オリエンテーション 【計画内容】講義内容と展開について説明する。(平井伸之) 【準備学習の内容】講義要項を確認する。	A					
	第2回	【テーマ】ライフデザイン基礎1 【計画内容】近頃のできごとから環境を考える①(湯澤直樹) 【準備学習の内容】身近な環境問題の事例をひとつ調べておくこと。	A					
	第3回	【テーマ】ライフデザイン基礎2 【計画内容】近頃のできごとから環境を考える②(湯澤直樹) 【準備学習の内容】身近な環境問題の事例をひとつ調べておくこと。	A、B					
	第4回	【テーマ】実技体験1 【計画内容】声優体験をしよう①(平井伸之) 【準備学習の内容】講義の展開を理解しておくこと。	A、E					
	第5回	【テーマ】実技体験2 【計画内容】声優体験をしよう②(平井伸之) 【準備学習の内容】講義の展開を理解しておくこと。	A、E					
	第6回	【テーマ】ライフデザイン基礎3 【計画内容】近頃のできごとから異文化を考える①(田光子) 【準備学習の内容】自分の異文化経験について考えておくこと。	A					
	第7回	【テーマ】ライフデザイン基礎4 【計画内容】近頃のできごとから異文化を考える②(田光子) 【準備学習の内容】自分の異文化経験について考えておくこと。	A、B					
	第8回	【テーマ】ライフデザイン基礎5 【計画内容】近頃のできごとから異文化を考える③(田光子) 【準備学習の内容】自分の異文化経験について考えておくこと。	A、B					
	第9回	【テーマ】ライフデザイン基礎6 【計画内容】近頃のできごとから企業を考える①(田口智子) 【準備学習の内容】関心のある企業について調べておくこと。	A					
	第10回	【テーマ】ライフデザイン基礎7 【計画内容】近頃のできごとから企業を考える②(田口智子) 【準備学習の内容】関心のある企業について調べておくこと。	A、B					
	第11回	【テーマ】ライフデザイン基礎8 【計画内容】近頃のできごとから企業を考える③(田口智子) 【準備学習の内容】関心のある企業について調べておくこと。	A、B					
	第12回	【テーマ】実技体験3 【計画内容】コードを使った小物作り①(辻美恵子) 【準備学習の内容】講義の展開を理解しておくこと。	A、E					
	第13回	【テーマ】実技体験4 【計画内容】コードを使った小物作り②(辻美恵子) 【準備学習の内容】講義の展開を理解しておくこと。	A、E					
	第14回	【テーマ】ライフデザイン基礎9 【計画内容】2年間の学びについて考える。(田口智子) 【準備学習の内容】1年間の振り返りと今後の目標を考えておくこと。	B、L					
	第15回	【テーマ】企画行事への参加 【計画内容】江別FUROSIKIフェスティバルに参加する。(湯澤直樹) 【準備学習の内容】風呂敷の活用法を考えておくこと。	D、M					
テキスト	適宜プリントを配付します							
参考書	適宜指示します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			50%		50%		
質問への対応	各テーマの担当者が対応します。							
資格								
その他	第14回で短大1年間の振り返りを行い、2年次での目標について考えます。							

ライフデザイン  
専門科目

科目名	キャリアデザイン演習		授業形態	演習	単位数	2
教員名	湯澤 直樹					
授業の目的	ねらい	様々な業種・職種について道内外で活躍する講師の生き方・考え方を通して、現代社会の理解と就職に対する姿勢を見つめ直し、受講生のキャリアをデザインするための講座です。				
	到達目標	(1)先達の考え方・生き方・経験に触れます。 (2)自らのキャリアをどのように形成し積み重ねることができるのかを考える機会にします。 (3)15回ある10分間レポートの作成を通して、思ったことを文章にする力を身につけます。 (4)実際の就職活動を行う上での実践的な準備となります。 (5)履修して得たと思えます。				
授業の計画	第1回	【テーマ】平成31年度の講師は未定のため、平成30年度の実績を示し、各回の講師の敬称は省略しました。 新飯田正幸(元・イトキン株式会社札幌支店総務部次長)「2008年以降の就職戦線」 【計画内容】リーマンショック以降に変わった道内外の経済を取り巻く就職戦線がどのようになっているのか、厳しい現実に向き合う事例を踏まえて明らかにします。 【準備学習の内容】「今どうなっているのか」、新聞をよく読んでおくように、現時点で「将来どのような仕事をしたいのか」をできるだけ具体化しておくこと。				A、G、F
	第2回	【テーマ】岡英彦(元・江別市議会議員)「政治家の仕事って何だろう!」 【計画内容】なぜ政治家を選んだのか、どうしたら政治家になれるのか、地域の将来を真剣に考え行動する存在に目を向け、リスクに挑戦する価値を実感するワークショップを行います。 【準備学習の内容】「江別市議会議員」のホームページや「岡英彦」で検索しておくように。				A、G、F、H、I
	第3回	【テーマ】千葉英樹(NPO法人北海道省エネまちづくり協会会長)「テレビ等映像現場で学んだ仕事の心構え」 【計画内容】フリーテレビディレクター時代に築いた幅広い人脈を通して多方面で活動する中で、NPO法人映像制作に関わるきっかけやテレビディレクターとして築いた幅広い人脈を通して多方面で活動する中で、あまり知られてない映画やテレビの映像現場のことや制作現場を通して感じた仕事に対する心構えを伝えます。 【準備学習の内容】「テレビディレクター」や「NPO法人北海道省エネまちづくり協会」で検索してみよう。				A、G
	第4回	【テーマ】宮田圭子(フリーの司会者・ナレーター・札幌座俳優)「演劇ワークショップを体験してコミュニケーションについて考えよう」 【計画内容】俳優という仕事について、演劇ワークショップの役割について、演劇ワークショップの体験、演劇とコミュニケーションについて。 【準備学習の内容】「宮田圭子」でネット検索してみよう。				A、F、H、I、G
	第5回	【テーマ】千葉孝雄(元・青森銀行黒石支店次長)「銀行と人々との関わりから」 【計画内容】銀行が日常生活とどのような関わりをしているのか、具体例から明らかになる銀行の役割を通して、仕事に対する考え方や就職することの意義について学びます。 【準備学習の内容】普段の生活で「銀行」とどう関わっているのか整理しておくように。				A、G
	第6回	【テーマ】田中ひで子(トーク札幌代表取締役)「話し方教室1」(全5回シリーズ1回目) 【計画内容】声を出す基本であるヴォイス・トレーニング(発声・発音・表現)と一緒にやってみることで、コミュニケーションの基礎を身につけます。毎回ストレッチから始めます。まずは、横隔膜を意識した腹式呼吸を学びます。 【準備学習の内容】※5回シリーズで完結するため、皆勤すること。睡眠と朝食を十分に摂って授業に臨むように。「トーク札幌」でネット検索してみよう。				A、K、F、H、N
	第7回	【テーマ】田中ひで子(トーク札幌代表取締役)「話し方教室2」(全5回シリーズ2回目) 【計画内容】声を出す基本であるヴォイス・トレーニング(発声・発音・表現)と一緒にやってみることで、コミュニケーションの基礎を身につけます。毎回ストレッチから始めます。まずは、腹式呼吸の仕方を復習して正しい発音をして、発音の仕方を学びます。 【準備学習の内容】※5回シリーズで完結するため、皆勤すること。睡眠と朝食を十分に摂って授業に臨むように。「トーク札幌」でネット検索してみよう。				A、K、F、H、N、L
	第8回	【テーマ】田中ひで子(トーク札幌代表取締役)「話し方教室3」(全5回シリーズ3回目) 【計画内容】声を出す基本であるヴォイス・トレーニング(発声・発音・表現)と一緒にやってみることで、コミュニケーションの基礎を身につけます。毎回ストレッチから始めます。まずは、発声・発音の復習をして、アクセントを意識した発音の仕方を学びます。 【準備学習の内容】※5回シリーズで完結するため、皆勤すること。睡眠と朝食を十分に摂って授業に臨むように。「トーク札幌」でネット検索してみよう。				A、K、F、H、N、L
	第9回	【テーマ】田中ひで子(トーク札幌代表取締役)「話し方教室4」(全5回シリーズ4回目) 【計画内容】声を出す基本であるヴォイス・トレーニング(発声・発音・表現)と一緒にやってみることで、コミュニケーションの基礎を身につけます。毎回ストレッチから始めます。まずは、横隔膜を意識した正しい発声とアクセントを意識した正しい発音の仕方を復習して、身振り手振りを入れた表現を学びます。 【準備学習の内容】※5回シリーズで完結するため、皆勤すること。睡眠と朝食を十分に摂って授業に臨むように。「トーク札幌」でネット検索してみよう。				A、K、F、H、N、L
	第10回	【テーマ】田中ひで子(トーク札幌代表取締役)「話し方教室5」(全5回シリーズ5回目) 【計画内容】声を出す基本であるヴォイス・トレーニング(発声・発音・表現)と一緒にやってみることで、コミュニケーションの基礎を身につけます。毎回ストレッチから始めます。まずは、横隔膜を意識した正しい発声とアクセントを意識した正しい発音と身振り手振りを入れた表現を復習して、総まとめをします。 【準備学習の内容】※5回シリーズで完結するため、皆勤すること。睡眠と朝食を十分に摂って授業に臨むように。「トーク札幌」でネット検索してみよう。				A、K、F、H、N、L、G
	第11回	【テーマ】森和久(英会話スクールプログレス代表、道新文化センター「しあわせ探しの神秘学」講師)「現代社会と神秘学」 【計画内容】地球や宇宙を取り巻く法則を活用して、実用的で有益な人生を送るためのヒントや就職活動および社員としての成功を目指すための助言を受け取ります。 【準備学習の内容】宇宙との関わりを意識して、「神秘学」でネット検索しておくように。				A、G、F
	第12回	【テーマ】玉木康雄(株式会社玉木商店玉翠園代表取締役)「直ぐそこにある、あなたの役割」 【計画内容】日本茶専門店として北海道経済とどのように関わっているのかを通して、社会で果たすべき自分の役割について考えます。 【準備学習の内容】普段の生活で「お茶」をどのように飲んでいるか意識して、「玉翠園」でネット検索しておくように。				A、G
	第13回	【テーマ】小野昭一(ブルーレイバンクリエーション代表)「愛の音・その根源にあるもの」 【計画内容】ラップフルートの演奏を通して、音を奏でるに至った思いに触れ、その音色に自らの思いを重ねることで、これからの人生を考えるきっかけを見つめることができます。 【準備学習の内容】「ラップフルート」でネット検索しておくように。				A、F、H、G
	第14回	【テーマ】砂澤伸一(共和コンクリート工業株式会社執行役員管理部長)「我々の暮らしと知られざるコンクリート製品について」 【計画内容】公共事業にコンクリート製品がどのように使用されているのか、ドローンによる現場の映像や東日本大震災での被災経験をまじえて、日々災害に備えて苦闘する人々の姿を垣間見ることが出来ます。 【準備学習の内容】「共和コンクリート工業株式会社」で検索して、防災と減災の違いも調べておこう。				A、G
	第15回	【テーマ】宮下周平(株式会社まほろば代表取締役社長)「今を生きる!!」 【計画内容】自分が自分らしく生きることのつかみ方・歩み方や、これまでの講師の人生を振り返って伝えたいこと・進みたいことを、様々な経験や事例を紹介しながらアドバイスします。 【準備学習の内容】「自然食の店まほろば」で検索して、そのホームページやブログなどを見ておこう。				A、G
テキスト	必要に応じて資料を配付します。					
参考書	適宜、紹介します。					
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		60%		40%	
質問への対応	※ポータルサイトで【メッセージ転送設定】を必ずしておくこと。 (あらゆる講義の連絡は、受講者全員が転送設定していることを前提に、全ての教員から必要に応じて連絡が届くことになり、質問等の受け答えもポータルサイトで行うこととなります。)詳細はオリエンテーションで説明します。 E-Mail: yuza@hokusho-u.ac.jp ※※講師に対する質問は、講義終了後に直接尋ねるかレポートで行います。					
資格						
その他	10分間で400字以上のレポート作成を毎回繰り返すだけで、目に見える成長が期待できます。 ※欠席した回は、必ず欠席届を提出すること。 ※※欠席した回は、最終講義終了後に全講義の映像を公開するので、映像をみてレポート提出すること。 ※※※全講義(15回の予定)のレポートを提出することが、単位取得の大前提です。					

ライオンデザイン学科  
学科専門科目

科目名	カラーコーディネート		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	勝田 信吾						
授業の目的	ねらい	色には定量化・数値化できる情報としての面と感情や嗜好・文化、配色という感情的な側面があります。この授業では色についての基本的な用語や知識・理論を学び、実際にカラーシートを使って作業をすることで、配色の構造について学んでいきます。					
	到達目標	(1)基礎的な色彩に関する知識・用語を理解する。 (2)基本的な配色理論を理解する。 (3)学習した理論を実際に応用できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 色とは何か 【計画内容】授業内容の説明の後、色のはたらきについて考察します。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】光と色の見え方1 【計画内容】色の見え方・光の性質について学びます。 【準備学習の内容】第1回で配付するプリントによく目を通しておくこと。					A
	第3回	【テーマ】光と色の見え方2 【計画内容】眼の構造と混色の種類について学びます。 【準備学習の内容】第2回の授業内容を理解しておくこと。					A
	第4回	【テーマ】色の分類1 【計画内容】3属性と色相環・基本用語について学びます。 【準備学習の内容】テキストの「色の表示」の項をよく読んでおくこと。					A
	第5回	【テーマ】色の分類2 【計画内容】色の分類方法とその特徴について学びます。 【準備学習の内容】テキストの「色の表示」の項をよく読んでおくこと。					A
	第6回	【テーマ】色彩心理1 【計画内容】色の心理的効果について学びます。 【準備学習の内容】テキストの「色彩心理」の項をよく読んでおくこと。					A
	第7回	【テーマ】色彩心理2 【計画内容】色の視覚効果と知覚効果について学びます。 【準備学習の内容】テキストの「色彩心理」の項をよく読んでおくこと。					A
	第8回	【テーマ】中間確認とまとめ 【計画内容】光と色の性質・色の表示方法・色彩心理について復習をします。 【準備学習の内容】前回までの授業内容を復習しておくこと。					A
	第9回	【テーマ】色彩調和1 【計画内容】配色の基本理論を学び、色相配色について演習をしながら学びます。 【準備学習の内容】テキストの「色彩調和」の項をよく読んでおくこと。					A、B
	第10回	【テーマ】色彩調和2 【計画内容】配色の基本理論を学び、トーン配色について演習をしながら学びます。 【準備学習の内容】テキストの「色彩調和」の項をよく読んでおくこと。					A、B
	第11回	【テーマ】色彩調和3 【計画内容】配色の基本技法について演習をしながら学びます。 【準備学習の内容】テキストの「色彩調和」の項をよく読んでおくこと。					A、B
	第12回	【テーマ】色彩効果・色彩と生活 【計画内容】色彩の構成と生活の中の色彩について学びます。 【準備学習の内容】配付したプリントを熟読しておくこと。					A
	第13回	【テーマ】ファッションと色彩 【計画内容】ファッションのカラーコーディネートについて実例を参考に学びます。 【準備学習の内容】テキストの「ファッション」の項をよく読んでおくこと。					A
	第14回	【テーマ】インテリアと色彩 【計画内容】インテリアのカラーコーディネートについて実例を参考に学びます。 【準備学習の内容】テキストの「インテリア」の項をよく読んでおくこと。					A
	第15回	【テーマ】まとめと課題作品 【計画内容】まとめと「季節」をテーマとした配色の演習をします。 【準備学習の内容】指定する課題について各自のカラープランをたてておくこと。					A、B
テキスト	色彩検定協会、『色彩検定公式テキスト3級編』、(株)A・F・T企画、9784901257183 新配色カード199a、日本色研事業						
参考書	プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		40%		30%	
補足	小課題及び自由課題						
質問への対応	授業終了時、直接講師に質問。						
資格							
その他	第9回以降の授業ではカラーシートを使い、作業をしながら学習します。はさみまたはカッターとスティックのりを必ず持参すること。テキストと配色カードは期限内に必ず購入してください。プリント及び毎回の課題はA4サイズです。専用のファイルに入れて整理することを勧めます。 私語は厳禁です。						

科目名	陶芸		授業形態	演習	単位数	2		
教員名	對馬 賢二							
授業の目的	ねらい	陶芸とは、土と炎と釉薬の芸術である。土のかたまりから作品を作り出す手びねり技法、粘土を紐状にして行う紐作り技法、板状にして行う板作り技法、粘土のかたまりを掘り出して土鈴などを作る掘り出し技法などを学ぶ。数多い釉掛けで、個性を磨き陶芸の基礎を習得する。						
	到達目標	(1)基本として土練り(菊練り)を行い、初歩的な工程として手回しロクロを使用し、手びねりで形を整え、水びきなどを繰り返して行う。 (2)制作する為の道具の名称、使い方、選び方等を学ぶ。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 陶芸を学ぶ為の注意事項、窯などの設備、授業展開などを説明する。 【準備学習の内容】 シラバスをよく読んでおくこと。						B
	第2回	【テーマ】 粘土の練り方 【計画内容】 陶芸は粘土練りが基本なので、しっかりと学ぶ。 【準備学習の内容】 陶芸作品集などを観ておく。						B
	第3回	【テーマ】 手びねり(小物) 【計画内容】 粘土に慣れる為、指先で粘土の厚さを覚える。小さな作品を制作する。 【準備学習の内容】 陶芸作品集などを観ておく。						B
	第4回	【テーマ】 ひも作り(中鉢) 【計画内容】 手作りでは一番多く使用される技法で、粘土をひも状にする。ひも作りで丈の低く、口元の広い作品を制作する。 【準備学習の内容】 陶芸作品集などを観ておく。						B
	第5回	【テーマ】 ひも作り(筒花瓶) 【計画内容】 前回と同じ技法で高さを出す作品を制作する。 【準備学習の内容】 陶芸作品集などを観ておく。						B
	第6回	【テーマ】 釉掛け・絵付け 【計画内容】 初めての釉掛けの注意点、陶芸用絵具の使用方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 陶芸作品集などを観ておく。						B
	第7回	【テーマ】 作品の完成・講評 【計画内容】 出来上がった作品の成功・失敗の反省点を説明する。 【準備学習の内容】 陶芸作品集などを観ておく。						B
	第8回	【テーマ】 板作り(皿) 【計画内容】 粘土を板状に伸ばし、周りをよく締めて皿を制作する。 【準備学習の内容】 陶芸作品集などを観ておく。						B
	第9回	【テーマ】 土鈴 【計画内容】 粘土のかたまりから作品を作り出す掘り出し技法を学ぶ。形は自由に作る。 【準備学習の内容】 陶芸作品集などを観ておく。						B
	第10回	【テーマ】 ひも作り(湯のみ) 【計画内容】 ひも作り技法で、ロクロを回転させ、水びきの仕方を学ぶ。 【準備学習の内容】 陶芸作品集などを観ておく。						B
	第11回	【テーマ】 前回の仕上げ 【計画内容】 作品をロクロの中心に置き、カキペラを使用して高台の削り方を学ぶ。 【準備学習の内容】 陶芸作品集などを観ておく。						B
	第12回	【テーマ】 ひも作り(自由制作) 【計画内容】 今まで学んできたひも作り技法で、水びきをして作品を制作する。 【準備学習の内容】 陶芸作品集などを観ておく。						B
	第13回	【テーマ】 前回の仕上げ 【計画内容】 カキペラを使用して、高台を削り出す方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 陶芸作品集などを観ておく。						B
	第14回	【テーマ】 釉掛け・絵付け 【計画内容】 前回の釉掛けの反省点を特に注意しながら、絵付け・釉掛けを行う。 【準備学習の内容】 陶芸作品集などを観ておく。						B
	第15回	【テーマ】 作品完成・講評 【計画内容】 出来上がった作品の成功・失敗の反省点を説明する。 【準備学習の内容】 陶芸作品集などを観ておく。						B
テキスト	講義時に説明します							
参考書	江口滉、『陶芸入門』、文研出版							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足				60%	40%		
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格								
その他	粘土に慣れるために数多くの作品を作ること。							

科目名	デジタルイメージ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	浅井 貴也						
授業の目的	ねらい	コンピュータグラフィックスを学習するための第一歩として、画像処理・合成ソフトのスタンダードである「Photoshop(フォトショップ)」を用いた画像処理や加工の基礎知識・技術を修得します。また画像処理の技術を他メディアへの応用や活用方法についても学習します。					
	到達目標	(1)画像処理におけるコンピューター基礎操作の知識を習得する。 (2)学内ネットワークの使用方法を理解し、実際に使用できる。 (3)コンピューターでの色彩、解像度の基礎について理解できる。 (4)フォトショップの基礎的な活用方法について理解できる。 (5)スキャナー、デジタルカメラ等の周辺機器とフォトショップを連動して使用できる。					
授業の画 計	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 「デジタルイメージ」の全講義内容と、講義計画を説明します。 【準備学習の内容】 学内ネットワークにある科目の共有フォルダの使用方法について、特に教材のファイルのダウンロード、課題提出方法などについて復習すること。				B	
	第2回	【テーマ】 コンピューター・グラフィック(CG)の基礎知識について 【計画内容】 CGの基礎概念と写真、色彩理論について学びます。 【準備学習の内容】 次週使用する画像素材の準備、講義内容をノートにまとめる。				B	
	第3回	【テーマ】 画像処理の基礎について 【計画内容】 解像度の概念、デジタルカメラ、スキャナー等の周辺機器の使用方法を学びます。 【準備学習の内容】 周辺機器の操作方法を復習し、実際に写真画像をコンピューターへ取り込むこと。				B	
	第4回	【テーマ】 フォトショップ基礎1 【計画内容】 フォトショップの基本使用方法について、各ツールの使い方を中心に学習します。 【準備学習の内容】 実際にサンプル画像を使用した操作練習とノートまとめによる復習をしておくこと。				B	
	第5回	【テーマ】 フォトショップ基礎2 【計画内容】 フォトショップによる色調補正の基礎を学習します。 【準備学習の内容】 課題として用意される画像を使って色相、彩度、明度の調整を行い、画像の色修正を行う(詳しくは講義時に説明)。				B	
	第6回	【テーマ】 フォトショップ基礎3 【計画内容】 画像の部分選択を行うための方法(選択範囲作成とマスクング)について学習します。 【準備学習の内容】 用意される画像を使って、画像に映っている様々な形のオブジェクトの選択範囲作成の練習をする。				B	
	第7回	【テーマ】 フォトショップ基礎の確認 【計画内容】 これまでに学習した知識と技術を応用して、課題作品制作に取り組みます。 【準備学習の内容】 講義内から取り組む作品制作に引き続き取り組み、作品を完成させること。理解できていない部分を明らかにし、次週質問すること。				B、L	
	第8回	【テーマ】 フォトショップ応用1 【計画内容】 フォトショップにおけるデジタルカメラの画像処理を中心に、日常でも使用できる実用的な技術を学びます。 【準備学習の内容】 デジタルカメラを使って写真を撮影し、フォトショップで加工する練習をすること。				B	
	第9回	【テーマ】 フォトショップ応用2 【計画内容】 フォトショップのフィルタ機能を使った表現方法を実験します。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。				B	
	第10回	【テーマ】 フォトショップ応用3 【計画内容】 フォトショップにおける印刷について、実際にサンプルを使用して学習します。 【準備学習の内容】 講義で学習した印刷方法について、これまでに制作した作品を実際に印刷し、復習しておくこと。				B	
	第11回	【テーマ】 フォトショップ応用4 【計画内容】 フォトショップの応用をプロのクリエイターによる作品や事例を通じて学びます。 【準備学習の内容】 フォトショップの応用について、いろいろな作品を鑑賞してフォトショップの可能性について考えること。				B、J	
	第12回	【テーマ】 最終課題制作1 【計画内容】 最終課題の内容について配付するプリントをもとに説明し、作品コンセプトについて考えます。 【準備学習の内容】 作品コンセプトについて考え、次週までに決定すること。				B、H	
	第13回	【テーマ】 最終課題制作2 【計画内容】 素材となる写真画像の撮影、収集を行い、作品制作を開始します。 【準備学習の内容】 引き続き、課外時間を使って作品制作を行う。				B、L	
	第14回	【テーマ】 最終課題制作3 【計画内容】 前回から継続して作品制作を行います。講義時間をワークショップとして、教員は個別対応します。 【準備学習の内容】 作品制作を続けて行き、完成後は印刷をしておくこと。次週は作品の講評をするので、コンセプトや制作のポイント等の発表内容をまとめておくこと。				B、L	
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 最終課題の講評を行い、作者がそれぞれ自分の作品のポイントを解説し、クラスメートから意見をもらいます。「デジタルイメージ」の総括もします。 【準備学習の内容】 これまで作成した作品をまとめ、ポートフォリオ(作品集)にまとめること。				B、F、L	
テキスト	プリントを使用します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%	20%	30%	
補足				課題制作5つ(各10%)	最終課題	講評、授業参加	
質問への対応	質問、相談のある方は、メールでお問い合わせ下さい。 E-Mail(浅井): takaya@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他							

科目名	デジタルデザイン			授業形態	演習	単位数	2
教員名	森井 綾						
授業の目的	ねらい	主にAdobe Illustratorを中心としたグラフィックソフトの使い方の基礎を学ぶと共に、デザインワークの基礎を学んでいく。本演習で使用するドロー系のアプリケーションと、デザイン制作の現場で同じようによく使用されているAdobe Photoshopなどのビットマップ系のアプリとの違いを理解し、特性を生かしたデザインの方法を身につけるのがねらいとなる。					
	到達目標	(1)ドローイング系のグラフィックアプリケーションを使用した作品制作を通じて、パソコンを使ったデザイン・画像制作の知識や技術習得を目標とする。 (2)印刷媒体・映像・Webなど様々な形で関わってくるコンピュータグラフィックスについての実践を通して、自作のメディアづくり等へ考察を広げることが目標。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 本講義の概要を説明後、自己紹介を作成。Illustratorを使った簡単な文字のレイアウト・フォントの指定方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 身の回りにおけるデザインされた様々な物を見ておくこと。					B
	第2回	【テーマ】 Illustratorの主なツールの使い方 【計画内容】 ドローイング系のグラフィックソフトの機能の基礎を、主なツールの使い方を学ぶことによって知る。 【準備学習の内容】 身の回りにおけるデザインされた様々な物を見ておくこと。					B
	第3回	【テーマ】 ベジェ曲線を使った図形の作成 【計画内容】 アプリケーションの各機能についての解説と、普段使う機会が少ないベジェ曲線を使った描画方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 前時までの講義内容を復習しておくこと。					B
	第4回	【テーマ】 ベジェ曲線を使ったパスの利用法1 【計画内容】 アプリケーションの各機能についてのより詳しい解説と、アンカーポイントを繋ぐパスによる描画方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 前時に学んだベジェ曲線の使い方をしっかりと練習しておくこと。					B
	第5回	【テーマ】 ベジェ曲線を使ったパスの利用法2 【計画内容】 トランプのマークなど簡単な図形をドローイング系のグラフィックソフトを使って作成してみる。 【準備学習の内容】 前時に学んだパスによる描画方法をしっかりと身につけておくこと。					B
	第6回	【テーマ】 色彩のあるイラストの作成 【計画内容】 線と面に色を付ける方法を学び、ベジェ曲線と塗りを使い、シンプルなイラストレーションを作成する。 【準備学習の内容】 前時に学んだベジェ曲線による描画方法復習しておくこと。					B
	第7回	【テーマ】 複雑なグラデーション 【計画内容】 何種類かあるグラデーションでの着色方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 前時に作成したイラストを完成させておくこと。					B
	第8回	【テーマ】 様々な線の描き方 【計画内容】 曲線・直線の太さや着色方法を振り返ると共に、破線などのやや高度な線を描く方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 グラデーションを含めた様々な着色方法で描く方法をふりかえっておくこと。					B
	第9回	【テーマ】 レイアウト 【計画内容】 簡単な版下レイアウトを学ぶ。 【準備学習の内容】 前時までの講義で学んだ内容をしっかりと復習しておくこと。					B
	第10回	【テーマ】 メニューの作成 【計画内容】 飲食店のメニュー・商品のメニューを作成する。 【準備学習の内容】 前時までの講義で学んだ内容をしっかりと復習しておくこと。					B
	第11回	【テーマ】 タイポグラフィ 【計画内容】 アルファベットなど簡単なタイポグラフィを学び、その機能を生かした効果的なデザインを作成する。 【準備学習の内容】 前時までの講義で学んだ内容をしっかりと復習しておくこと。					B
	第12回	【テーマ】 グラフの作成 【計画内容】 Illustratorの機能を使ったグラフィカルなグラフを作成する方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 前時までの講義で学んだ内容をしっかりと復習しておくこと。					B
	第13回	【テーマ】 写真の配置 【計画内容】 写真などのイメージを配置するの機能を使って描く方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 前時までの講義で学んだ内容をしっかりと復習しておくこと。					B
	第14回	【テーマ】 ページレイアウト 【計画内容】 Illustratorの様々な機能を使って手書きでは描画しにくいイラストを作成し、写真や文字を配置したページレイアウトを作ってみる。 【準備学習の内容】 前時までの講義で学んだ内容をしっかりと復習しておくこと。					B
	第15回	【テーマ】 フライヤーのデザイン 【計画内容】 これまでに学んだ様々なテクニックを使って訴求力の高いチラシのデザインを行う。 【準備学習の内容】 前時までの講義で学んだ内容をしっかりと復習しておくこと。					B
テキスト	適宜指示します						
参考書	適宜指示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				63%	37%	
補足						平時	
質問への対応	講義時に質問を受け付けます。オフィスアワー等も利用してください。						
資格							
その他							

ライフデザイン学科  
学 科 専 門 科 目

科目名	グラフィックデザイン		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	田 恩蒔						
授業の目的	<p>この科目では、平面デザインを学ぶ上での基礎となる、デザインの原則やそれを構成する様々な要素(形、色彩、文字など)を学習します。また、言葉ではなく形や色などの視覚的要素を使ったコミュニケーション、表現方法についても考えます。</p> <p>(1)デザインの基礎となる要素(形、色彩、文字)と構成を理解できる。  (2)デザインのコンセプト作りについて理解できる。  (3)デザインを使って視覚的にコミュニケーションをとることができる。  (4)個性的な作品を制作することができる。</p>						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 15回の授業内容について説明します。また、授業のルールや進め方、必要となる道具についても解説します。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。授業で必要となる道具を準備しておくこと。				A	
	第2回	【テーマ】 形の基本1 【計画内容】 デザインの基礎、初回はデザインの構成要素として形について学びます。実際に作品を練習で制作します。 【準備学習の内容】 授業内で制作し始めた課題を終わらせること。次回の授業内で発表します。				B	
	第3回	【テーマ】 形の基本2 【計画内容】 円を使った構成(レイアウト)による形とスペースの使い方を学びます。 【準備学習の内容】 授業内で制作し始めた課題を終わらせること。次回の授業内で発表します。				B、F、L	
	第4回	【テーマ】 形の基本3 【計画内容】 線を使った構成(レイアウト)とスペースの使い方を学びます。 【準備学習の内容】 授業内で制作し始めた課題を終わらせること。次回の授業内で発表します。				B、F、L	
	第5回	【テーマ】 形と構成の応用 【計画内容】 これまで学習した形の構成を使った作品を制作します。 【準備学習の内容】 授業内で制作し始めた課題を終わらせること。次回の授業内で発表します。				B、F、L	
	第6回	【テーマ】 色彩1 【計画内容】 色彩の基礎知識について学習します。 【準備学習の内容】 授業内で制作し始めた課題を終わらせること。次回の授業内で発表します。				B、F、L	
	第7回	【テーマ】 色彩2 【計画内容】 色彩が持つイメージを使った表現方法について学びます。 【準備学習の内容】 授業内で制作し始めた課題を終わらせること。次回の授業内で発表します。				B、F、L	
	第8回	【テーマ】 色彩3 【計画内容】 色の組み合わせによる表現方法について学びます。 【準備学習の内容】 授業内で制作し始めた課題を終わらせること。次回の授業内で発表します。				B、F、L	
	第9回	【テーマ】 文字(タイポグラフィ)1 【計画内容】 文字のデザイン(タイポグラフィ)の基礎を学びます。 【準備学習の内容】 授業内で制作し始めた課題を終わらせること。次回の授業内で発表します。				B、F、L	
	第10回	【テーマ】 文字(タイポグラフィ)2 【計画内容】 文字によるレイアウトデザインを学びます。 【準備学習の内容】 授業内で制作し始めた課題を終わらせること。次回の授業内で発表します。				B、F、L	
	第11回	【テーマ】 文字(タイポグラフィ)3 【計画内容】 タイポグラフィを使ったデザインの応用表現を学びます。 【準備学習の内容】 授業内で制作し始めた課題を終わらせること。次回の授業内で発表します。				B、F、L	
	第12回	【テーマ】 デザインの発想1 【計画内容】 今週から第15回までは、これまで学習してきた様々なデザイン要素を活用した作品を制作します。今回は、デザインのコンセプトを固めるために、参考となるイメージボードを制作します。 【準備学習の内容】 授業内で制作し始めた課題を終わらせること。次回の授業内で発表します。質問があれば持参してください。				B、F、L	
	第13回	【テーマ】 デザインの発想2 【計画内容】 自己制作:教員は個別の進捗状況に合わせて指導します。 【準備学習の内容】 授業内で制作し始めた課題を終わらせること。次回の授業内で発表します。質問があれば持参してください。				B、F、L	
	第14回	【テーマ】 デザインの発想3 【計画内容】 自己制作:教員は個別の進捗状況に合わせて指導します。 【準備学習の内容】 授業内で制作し始めた課題を終わらせること。次回の授業内で発表します。質問があれば持参してください。				B、F、L	
	第15回	【テーマ】 デザインの発想4とまとめ 【計画内容】 完成した作品の発表・講評会を行い、受講生お互いの作品を鑑賞します。第1回から学んできた事についてのまとめも行います。 【準備学習の内容】 これまで制作してきた作品をまとめ、記録として残しておくこと。				B、F、L	
テキスト	必要に応じて授業内でプリントを配付します						
参考書	授業内で紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%	30%	30%	
補足				毎週の課題	最終	授業への参加、貢献度	
質問への対応	この科目に関する質問は、芸術学科 浅井先生までメールまたは、直接お問い合わせください。 E-Mail(浅井):takaya@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他	グラフィックデザインは日々の積み重ねが重要になるため、期日までに課題を完成させることは評価に大きく影響します。いちじるしく遅刻や欠席が目立ったり、課題を提出しない学生は単位認定しません。詳細については、第1回のオリエンテーション時に説明します。						

ライオンデザイン学科  
学 科 専 門 学 科 目 録

科目名	基礎デザイン			授業形態	実習	単位数	1
教員名	勝田 信吾						
授業の目的	ねらい	デザインには様々なジャンルがあるが、専門化すればするほど学問としては横のつながり、つまりそれらに共通したベーシックな研究が必要となる。この授業では主として抽象立体を扱い、実例を参考にしながら、素材・機能・構造はもとより美しさや調和を考えて一つの形態にまとめあげる創造力・表現力を培うことを目的とする。造形素材の中で最も扱い易いものの一つである「紙」を材料にして、制作を通して抽象的な立体の表現技術について学習する。					
	到達目標	(1)基礎的な制作態度・知識・技術を身につける。 (2)様々な技法について理解する。 (3)自分のイメージした「形」に知識・技術・技法を応用する力を身につける。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業の概要とその展開方法の説明の後、基礎的技法の説明。 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおくこと。					A、B
	第2回	【テーマ】 課題1-1「柔らかく優美な形態の表現」 【計画内容】 参考作品・応用例を通して形の特徴を知り、曲面折りの練習課題を通してその技法と表現について学ぶ。(試作) 【準備学習の内容】 配付するプリントをよく読んでおくこと。					A、B
	第3回	【テーマ】 課題1-2「柔らかく優美な形態の表現」 【計画内容】 曲面折りの特徴を生かした制作を行う。 【準備学習の内容】 (試作)をどうまとめるか構想を練っておくこと。					A、B
	第4回	【テーマ】 課題2-1「軽快感のある表現」 【計画内容】 参考作品・応用例を通して形の特徴を知り、カットを生かした形態の練習課題を通してその技法と表現について学ぶ。(試作) 【準備学習の内容】 配付するプリントをよく読んでおくこと。					A、B
	第5回	【テーマ】 課題2-2「軽快感のある表現」 【計画内容】 カットを多用し、紙の薄さを生かした制作を行う。 【準備学習の内容】 (試作)をどうまとめるか構想を練っておくこと。					A、B
	第6回	【テーマ】 課題3-1「空間を内包した表現」 【計画内容】 参考作品・応用例を通して形の特徴を知り、内部に空間を持つ形の練習課題を通してその技法と表現について学ぶ。(試作) 【準備学習の内容】 配付するプリントをよく読んでおくこと。					A、B
	第7回	【テーマ】 課題3-2「空間を内包した表現」 【計画内容】 内部空間を持ち、変化に富んだ見え方がする制作を行う。 【準備学習の内容】 (試作)をどうまとめるか構想を練っておくこと。					A、B
	第8回	【テーマ】 課題4-1「幾何学的な秩序をもつ表現」 【計画内容】 参考作品・応用例を通して形の特徴を知り、幾何学的な秩序をもつ形の練習課題を通してその技法と表現について学ぶ。(試作) 【準備学習の内容】 配付するプリントをよく読んでおくこと。					A、B
	第9回	【テーマ】 課題4-2「幾何学的な秩序をもつ表現」 【計画内容】 幾何学的なリズム感のあるレリーフの制作を行う。 【準備学習の内容】 (試作)をどうまとめるか構想を練っておくこと。					A、B
	第10回	【テーマ】 課題5-1「各自の自由テーマによる表現」 【計画内容】 上記以外の技法と応用例を通して各自がテーマを決め、試作を行う。 【準備学習の内容】 事前に配付する資料を見て作品の構想を練っておくこと。					A、B
	第11回	【テーマ】 課題5-2「各自の自由テーマによる表現」 【計画内容】 試作を繰り返しながら完成作品の構想・計画をたてる。 【準備学習の内容】 (試作)をどうまとめるか構想を練っておくこと。					A、B
	第12回	【テーマ】 課題5-3「各自の自由テーマによる表現」 【計画内容】 様々な技法の特徴・組み合わせを考えながら、曲げとカットのラインを書く。 【準備学習の内容】 (試作)をどうまとめるか構想を練っておくこと。					A、B
	第13回	【テーマ】 課題5-4「各自の自由テーマによる表現」 【計画内容】 完成イメージに基づき計画的に曲げ、カットラインなどを描く作業を行う。 【準備学習の内容】 サイズや制作手順など完成までの計画を立てておくこと。					A、B
	第14回	【テーマ】 課題5-5「各自の自由テーマによる表現」 【計画内容】 曲げ・カット・接合ラインの作業を行い、立体化する。 【準備学習の内容】 構想どおりの作品に仕上がっているか振り返っておくこと。					A、B
	第15回	【テーマ】 課題作品提出 鑑賞とまとめ 【計画内容】 作品全体の講評を行う。 【準備学習の内容】 制作意図や技法、その効果などを文章でまとめておくこと。					A
テキスト	プリントを使用します						
参考書	朝倉直己、2001年、『芸術・デザインの立体構成』、美術出版社、4897371694						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				70%	30%	
補足					小課題5及び自由課題		
質問への対応	初回講義時に具体的に説明するほか、講義時に随時説明します。						
資格							
その他	必要道具＝筆記用具、カッター、定規、ハサミ、コンパスなど。 授業の初めに随時実例と応用例を提示するので遅刻に注意すること。						

ライオンデザイン学科  
学科専門科目

科目名	フィットネスプログラム				授業形態	実技	単位数	1	
教員名	花井 篤子								
授業の目的	ねらい	本授業のねらいは、現在の体力レベルを把握し、基礎体力向上の具体的方法を学び習得することです。特に全身持久力、調整力、レジスタンスエクササイズトレーニング法についての理論と実践を学びます。初回に体力測定を実施し、その結果から現在の自分の体力の状況を把握し、その補強および基礎体力向上を目的としたトレーニング方法について学び、実践することができるようになることが目標となります。最終回に、再度、体力測定を行い、トレーニング効果についての評価を行います。							
	到達目標	(1)現在の体力レベルの把握と体力的課題を理解できる。 (2)基礎体力向上の具体的方法を学び習得する。 (3)全身持久力、調整力、筋力のトレーニング法についての理論と実践を理解する。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業ガイダンス 【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。					A		
	第2回	【テーマ】 体力測定(1) 【計画内容】 体力測定を行い、現在の体力レベルを把握します。 【準備学習の内容】 体力測定項目の予習をしておくこと。					E、L		
	第3回	【テーマ】 体力測定(2) 【計画内容】 体力測定を行い、現在の体力レベルを把握します。 【準備学習の内容】 体力測定項目の測定方法について復習しておくこと。					E、L		
	第4回	【テーマ】 全身持久力トレーニングの理論と実践(1) 【計画内容】 全身持久力レベルを測定します。 【準備学習の内容】 体力測定結果に基づき、強化したい体力項目を確認しておくこと。					E、L		
	第5回	【テーマ】 全身持久力トレーニングの理論と実践(2) 【計画内容】 HRモニターを用い、全身持久力トレーニングを実施します。 【準備学習の内容】 全身持久力向上のためのトレーニング内容について復習をしておくこと。					E、L		
	第6回	【テーマ】 全身持久力トレーニングの理論と実践(3) 【計画内容】 様々な全身持久力トレーニング法を学びます。 【準備学習の内容】 全身持久力向上のためのトレーニング方法について予習をしておくこと。					E、L		
	第7回	【テーマ】 レジスタンスエクササイズの理論と実践(1) 【計画内容】 レジスタンスエクササイズの基礎知識、ウォーミングアップとクーリングダウン、実施上の注意点を学びます。 【準備学習の内容】 レジスタンスエクササイズの基礎知識について予習をしておくこと。					E、L		
	第8回	【テーマ】 レジスタンスエクササイズの理論と実践(2) 【計画内容】 目的に応じたレジスタンスエクササイズの実践方法と指導法について学びます。 【準備学習の内容】 レジスタンスエクササイズの理論と実践の復習をしておくこと。					E、L		
	第9回	【テーマ】 レジスタンスエクササイズの理論と実践(3) 【計画内容】 フリーウェイトとマシントレーニングの違いについて学びます。 【準備学習の内容】 レジスタンスエクササイズの理論と実践の復習をしておくこと。					E、L		
	第10回	【テーマ】 調整力トレーニングの理論と実践(1) 【計画内容】 ストレッチングの実施方法とその指導法について学びます。 【準備学習の内容】 調整力について予習をしておくこと。					E、L		
	第11回	【テーマ】 調整力トレーニングの理論と実践(2) 【計画内容】 Gボールを用いて調整力トレーニングを学びます。 【準備学習の内容】 調整力について復習をしておくこと。					E、L		
	第12回	【テーマ】 調整力トレーニングの理論と実践(3) 【計画内容】 ラダーやゴムボールを用いて調整力トレーニングを学びます。 【準備学習の内容】 調整力トレーニング方法について復習をしておくこと。					E、L		
	第13回	【テーマ】 体力測定(3) 【計画内容】 体力測定を行い、運動効果を評価します。 【準備学習の内容】 これまで実施したトレーニング内容の復習と過去の体力レベルについて把握をしておくこと。					E、L		
	第14回	【テーマ】 体力測定(4) 【計画内容】 体力測定を行い、体力レベルを把握します。 【準備学習の内容】 これまで実施したトレーニング内容の復習と過去の体力レベルについて把握をしておくこと。					E、L		
	第15回	【テーマ】 まとめと評価 【計画内容】 各種トレーニング方法のまとめと体力レベルの評価を行います。 【準備学習の内容】 これまで実施したトレーニング内容の復習とトレーニング前後の体力レベルを把握しておくこと。					E、G、L		
テキスト	プリントを使用します								
参考書	日本SAQ協会監修、2008年、『SAQトレーニング』、ベースボール・マガジン社、9784583100081								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			50%		50%			
質問への対応	E-Mail:atsuko871@hokusho-u.ac.jp								
資格									
その他	教科書の指定は行いませんが、必要に応じてプリントを配付します。 全身持久力向上トレーニングでは、本学屋内プールを利用して水泳・水中運動を実施することもあります。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。								

科目名	インターンシップⅠ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	田口 智子						
授業の目的	ねらい	短期大学部ライフデザイン学科のインターンシップは、「地域に生かされ、地域を活かす人づくり」をテーマに掲げ、地域密着型インターンシップを推進しています。 インターンシップを通じて、企業や地域のしくみを理解すると共に、社会の中で自らの役割を見つけ、積極的に行動し、就業力を育成することを目指しています。なお、「インターンシップⅠ」履修生は、必ず「プロジェクトワーク」を履修することが義務づけられています。これは、「プロジェクトワーク」履修過程において、個々の適性を見極めて受入先を決定するためです。「プロジェクトワーク」とインターンシップにより、社会人に必要な基礎力と就業力を備えた人材の育成を目指します。					
	到達目標	(1)ビジネスマナーを心得る。 (2)企業(地域)のしくみを理解する。 (3)自己の適性について理解を深める。 (4)適正な職業観を養う。 (5)行動力や判断力を養う。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】(1)インターンシップの目的と意義(2)インターンシップ関連書類の説明と作成(3)企業研究 【準備学習の内容】 実習希望企業の業種・職種について情報収集する。				A、B、G、K	
	第2回	【テーマ】 大学講座1 【計画内容】 ビジネスマナーを心得る。 【準備学習の内容】 地域のさまざまな人とのコミュニケーションについて考える。				A、B、K、L、N	
	第3回	【テーマ】 大学講座2 【計画内容】 地域について考える。 【準備学習の内容】 地域とは何か、考えてみましょう!				A、B、K、L	
	第4回	【テーマ】 大学講座3 【計画内容】 市民地域活動とインターンシップの関わりについて考える。 【準備学習の内容】 地域の活性化について考えてみましょう!				A、B、G、H、K、L	
	第5回	【テーマ】 企業講座1 【計画内容】 受入先ご担当者による講話。 【準備学習の内容】 講話予定企業の研究。				A、H、K、L	
	第6回	【テーマ】 企業講座2 【計画内容】 受入先ご担当者による講話。 【準備学習の内容】 講話予定企業の研究。				A、H、K、L	
	第7回	【テーマ】 企業講座3 【計画内容】 受入先ご担当者による講話。 【準備学習の内容】 講話予定企業の研究。				A、H、K、L	
	第8回	【テーマ】 大学講座4 【計画内容】 (1)仕事の進め方(2)受命・報告のしかた(3)備品・什器の取り扱い方 【準備学習の内容】 テキストプリント教材にて該当箇所を事前学習。				A、B、K、L、N	
	第9回	【テーマ】 大学講座5 【計画内容】 word基本操作の確認。 【準備学習の内容】 word基本操作。				A、B、K、L	
	第10回	【テーマ】 大学講座6 【計画内容】 Excel基本操作の確認。 【準備学習の内容】 Excel基本操作。				A、B、K、L	
	第11回	【テーマ】 大学講座7 【計画内容】 受入先訪問。 【準備学習の内容】 受入先訪問時に感じたこと等についてスピーチ準備をする。				A、B、M、L	
	第12回	【テーマ】 インターンシップに向けて 【計画内容】 インターンシップ関連書類の作成。 【準備学習の内容】 事前配付書類の作成。				A、B、K、L	
	第13回	【テーマ】 インターンシップ留意事項 【計画内容】 (1)出勤簿の取り扱いについて(2)日誌について 【準備学習の内容】 テキストプリント教材に基づいて、実習中に必要な書類の確認をする。				A、B、K、L	
	第14回	【テーマ】 インターンシップ成果レポート作成 【計画内容】 インターンシップ成果レポート作成。 【準備学習の内容】 実習の振り返り。				A、K、L	
	第15回	【テーマ】 インターンシップ成果報告書作成 【計画内容】 インターンシップ成果レポート作成。 【準備学習の内容】 実習の振り返り。				A、B、F、K、L	
テキスト	田口智子、独自作成プリント教材						
参考書	必要に応じて随時提示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		30%	40%
補足				レポート		集中力・意欲	積極性・意欲
質問への対応	状況に応じて、随時最大限に対応します。なお、個別指導が必要な場合は、別途機会を設けて個別指導にあたります。						
資格							
その他	「インターンシップⅠ」履修希望学生は、「プロジェクトワーク」が必修科目となっています。必ず履修してください。 なお、「インターンシップⅠ」履修希望学生は、1年次開講科目「秘書概論」「秘書実務Ⅰ」「秘書実務Ⅱ」「コミュニケーション論」「ビジネスワークショップ」の講義を履修されることをお薦めします。						

科目名	コミュニケーション論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	田口 智子						
授業の目的	ねらい	本講義は、プレゼンテーションに必要な基礎能力を習得し、その基礎能力をコミュニケーション能力として活用しうる人材の育成を目指す。 具体的には、自らの考えを相手に正確に伝える能力、外部情報を収集し、自らの考えを盛り込みながら情報加工する能力を通じて、「話す・書く・聞く」能力を強化していく。 就職活動は勿論、日々の人間関係においても大いに活用できるコミュニケーション能力を本講義を通じて強化しましょう!					
	到達目標	(1)プレゼンテーションの学習と意義。 (2)話す力を養成。 (3)聞く力の養成。 (4)表現する力の養成。 (5)コミュニケーション能力の強化。					
授業の計画	第1回	【テーマ】プレゼンテーションの学習と意義 【計画内容】(1)プレゼンテーションとは(2)コミュニケーションスキルの重要性 【準備学習の内容】(1)日常生活から相手の目を見て、ハキハキと話す習慣をつけましょう。 (2)苦手意識をもっている人は、苦手克服の第一歩として正確に話すことから始めましょう。				A、B、F、K、L	
	第2回	【テーマ】プレ・プレゼンテーション 【計画内容】(1)人前で話してみよう!(2)落語に学ぶ話し方 【準備学習の内容】日常生活の対話を文章化して楽しみましょう!				A、B、K、L	
	第3回	【テーマ】プレゼンテーションプログラム作成1 【計画内容】基本構成の習得 【準備学習の内容】基本フォーマットを活用して、話すコツを習得しましょう!				A、B、K、L	
	第4回	【テーマ】プレゼンテーションのテクニック1 【計画内容】(1)声の出し方(2)表情(3)姿勢 【準備学習の内容】鏡を見て、自分の話し方を研究しましょう!				A、B、K、L	
	第5回	【テーマ】プレゼンテーションのテクニック2 【計画内容】(1)話し方(2)聞き方(3)表現のしかた(模造紙・PPT<パワーポイント>の活用) 【準備学習の内容】興味ある分野の情報を収集しましょう!知らないこと、気づかなかったことを書き出し、まとめてみましょう!				A、B、F、K、L	
	第6回	【テーマ】プレゼンテーションプログラム作成2 【計画内容】(1)資料収集のしかた(2)書き方の技術(模造紙・PPT<パワーポイント>の活用法) 【準備学習の内容】知りたい情報を各種書籍から探し出してみましょう!得た情報をどのように伝えるか工夫してみましょう!				A、B、F、K、L	
	第7回	【テーマ】総合演習1 【計画内容】課題演習~パーソナルスピーチ 【準備学習の内容】収集した情報から何が分かったのか、何を伝えたいのか、考えてみましょう!				A、B、F、K、L	
	第8回	【テーマ】総合演習2 【計画内容】課題演習~パーソナルスピーチ 【準備学習の内容】言葉で正確に伝えにくい事柄については、模造紙やPPTなどを使い分けて補助資料を作成してきましょう!				A、B、F、G、K、L	
	第9回	【テーマ】総合演習3 【計画内容】個別課題~スピーチに基づくグループワーク 【準備学習の内容】まずは、課題に対しての自分の考えを明確にまとめておきましょう!				A、B、F、G、H、K、L	
	第10回	【テーマ】総合演習4 【計画内容】(1)グループワークとスピーチ(2)質疑応答 【準備学習の内容】グループの中での自分の役割課題をしっかりとこなしましょう!				A、B、F、G、H、K、L	
	第11回	【テーマ】総合演習5 【計画内容】課題演習~パーソナルワーク 【準備学習の内容】新たな課題に対して、外部情報と自身の考えを盛り込みながら、まとめてみましょう!				A、B、F、G、K、L	
	第12回	【テーマ】総合演習6 【計画内容】(1)課題演習~パーソナルワークスピーチ1(2)質疑応答 【準備学習の内容】自分の伝えたいことが時間内で表現できるよう工夫しましょう!				A、F、G、K、L	
	第13回	【テーマ】総合演習7 【計画内容】(1)課題演習~パーソナルワークスピーチ2(2)質疑応答 【準備学習の内容】相手が理解しにくいこと、不明な点を新たに工夫してまとめてみましょう!				A、F、G、K、L	
	第14回	【テーマ】総合演習8 【計画内容】(1)個別課題に基づくグループワーク(2)スピーチ(3)質疑応答 【準備学習の内容】課題に対して、グループ内で自身の考えを正確に伝えられるよう、準備をしましょう!				A、F、G、H、J、K、L	
	第15回	【テーマ】総合演習9 【計画内容】(1)パーソナルスピーチ(2)質疑応答 【準備学習の内容】これまでの総集編として、習得した能力を最大限発揮できるよう課題に取り組みましょう!				A、B、F、G、J、K、L	
テキスト	田口智子、独自作成プリント						
参考書	講義上で随時提示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配補	分足	25% 発表力・意欲	25% レポート		25% 集中力・意欲	25% 把握力・積極性
質問への対応	状況に応じて、随時最大限に対応します。なお、個別対応が必要な場合は、個別に別途機会を設定して個別指導にあたります。						
資格							
その他	コミュニケーション能力の開発で最も重要なことは、その人自身の意識改革です。積極的な姿勢で講義に参加してください。 なお、ビジネススキルを高めるために、「秘書概論」「秘書実務Ⅰ」「秘書実務Ⅱ」「ビジネスワークショップ」を併せて履修されることをお勧めします。						

ライオンデザイン学科  
専門科目

科目名	地域学 I		授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木 孝一					
授業の目的	ねらい	北海道を中心とする北方圏の歴史を、人類が登場する以前のことを含めて学習する。高校までの日本史や地理では、ほんの一目だったが、地域を総合的に理解しようとする試みを中心に置いて展開させる。				
	到達目標	(1)札幌周辺の自然、地勢、歴史的な展開などを理解する。 (2)先史時代の人びとの営みを見学学習などを通して探求する。 (3)中世以降の北海道(蝦夷地)のあゆみを学習する。 (4)明治以降の変貌を地域との関連の中で把握する。 (5)人びとの生活や暮らしにとって地域の役割や意味を考える。				
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業の概観 【計画内容】 授業を紹介し、展開を説明する。参考文献等を提示する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を把握する。	A			
	第2回	【テーマ】 大学周辺のみどころ 【計画内容】 「北海道埋蔵文化財センター」を訪問し、展示内容から北海道の先史時代を理解する。 【準備学習の内容】 配付する資料に目を通す。	M			
	第3回	【テーマ】 北海道の形成とジオパーク 【計画内容】 道央地域の地勢が形成された過程を映像資料を見ながら把握する。 【準備学習の内容】 関連資料を事前に配付する。	A、J			
	第4回	【テーマ】 北海道の先史時代 【計画内容】 「北海道埋蔵文化財センター」の見学内容を踏まえて、北海道の縄文文化を理解する。 【準備学習の内容】 展示内容について理解を深める。	A			
	第5回	【テーマ】 蝦夷地と和人地 【計画内容】 日本史では弥生時代から室町時代までの北海道の歴史を把握する。 【準備学習の内容】 テキストを配付するので事前に一読すること。	A			
	第6回	【テーマ】 コシャマインの乱と松前藩の成立 【計画内容】 コシャマインの乱を契機に蝦夷地の統轄者が安藤氏から松前氏に移行するが、その時代を学習する。 【準備学習の内容】 配付資料を読了のこと。	A			
	第7回	【テーマ】 江戸幕府の政策と蝦夷地探検 【計画内容】 諸外国の圧力に伴い、江戸幕府の政策が蝦夷地にも影響がおよび、様々な政策が試行される。その意義について学習する。 【準備学習の内容】 配付資料を読了のこと。	A			
	第8回	【テーマ】 鎖国時代、海外を見た日本人とやってきた外国人 【計画内容】 大黒屋光太夫、中浜万次郎、ロナルド・マクドナルドを取り上げる。 【準備学習の内容】 配付資料を読了のこと。	A			
	第9回	【テーマ】 明治維新と蝦夷地 【計画内容】 榎本武揚を中心に戊辰戦争の経過や移住を余儀なくされた人々を取り上げる。 【準備学習の内容】 配付資料を読了のこと。	A			
	第10回	【テーマ】 北海道開拓使と蝦夷地の開発 【計画内容】 「北海道開拓の村」作成の映像資料をもとに、北海道開拓の進行をたどる。 【準備学習の内容】 配付資料の読み込み。	A			
	第11回	【テーマ】 北海道と鉄道 【計画内容】 北海道開拓に貢献した鉄道のあゆみをたどる。廃線が進行している現状についても検討する。かつての駅の仕事の様子や廃線となった夕張鉄道の映像資料を紹介する。 【準備学習の内容】 配付資料の確認。	A			
	第12回	【テーマ】 北海道開発と宗教 【計画内容】 札幌を中心に神社仏閣とそれを持ち込んだ人々の精神を探求する。 【準備学習の内容】 配付資料の確認。	A			
	第13回	【テーマ】 北海道史の展開と学習の意義 【計画内容】 北海道史を総括して、これからの展望を考える視点を提示する。 【準備学習の内容】 これまでの資料と講義内容を確認。	A			
	第14回	【テーマ】 北海道空襲と江別 【計画内容】 太平洋戦争の末期、北海道も空襲の被害を受けた。江別でも確認されているだけで5人の方がなくなっている。その実態を戦後74年の節目を前に改めて考察する。 【準備学習の内容】 配付資料の確認。	A			
	第15回	【テーマ】 課題解決 【計画内容】 課題を提示し学習内容をまとめる。 【準備学習の内容】 これまでの資料と講義内容を確認。	L			
テキスト	講師作成、適宜プリントを配付する					
参考書	人類史研究会、2017年、『図説ホモ・サピエンスの歴史』、宝島社、9784800273062 村井章介、2012年、『世界史の中の戦国日本』、筑摩書房、9784480094445 江別市、2005年、『新江別市史』、江別市					
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		40%		40%	20%
	補足		授業の節目で提示		授業に参加しているかどうか	総合評価
質問への対応	必要な場合は、講義時間の終わりに時間をとって対応する。対応が難しい場合は翌時間の冒頭を充当する。					
資格						
その他						

ライフデザイン科目  
学科専門科目

科目名	地域学Ⅱ		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	佐々木 孝一						
授業の目的	わらい「地域学Ⅰ」を踏まえて高度経済成長期以降の地域の自然、地理、産業、人びとなどの主題に添って個別テーマごとに学習する。 到達目標 (1)北海道の歩みの中で道央地域の位置を理解する。 (2)地域の事象が歴史的な裏付けをもって今日に連続していることを認識する。 (3)そのうえで、高度経済成長と呼ばれた昭和30年代以降の社会構造の変化を考察する。 (4)負の側面を含めて現在の地域課題を整理し考察する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義の概観 【計画内容】 地域課題の資料を配付し授業の展開について解説する。 【準備学習の内容】 シラバスの確認と配付資料の事後学習。			A		
	第2回	【テーマ】 よく見ると面白い文京台地域 【計画内容】 フィールドワーク。教室を出て札幌市と江別市の境界をたどっていく。少雨決行。 【準備学習の内容】 第1回で資料を配付し詳細を説明する。			M		
	第3回	【テーマ】 大森地区の変遷と高度経済成長期の日本 【計画内容】 フィールドワークの知見をもとに地域の変遷を解説し、我が国の高度経済成長期の影響を考える。 【準備学習の内容】 配付資料を読了のこと。			A		
	第4回	【テーマ】 高度経済成長期の日本 その1 【計画内容】 映画「ALLWAYS 三丁目の夕日」に描かれた社会や人々の暮らしと今日を比較し考察を深める。 【準備学習の内容】 リアクションペーパーの提出あり。			G、J		
	第5回	【テーマ】 高度経済成長期の日本 その2 【計画内容】 高度経済成長を写真や図表、新聞記事などを用いて解説する。 【準備学習の内容】 多くの配付した資料で確認のこと。			A		
	第6回	【テーマ】 高度経済成長期の日本 その3 【計画内容】 昭和30年から14年間、日本経済はほぼ右肩上がりの高度経済成長を続けていた。それに伴い北海道は急激な変貌をとげていくが、ここでは北海道放送の取材映像をもとに考察する。 【準備学習の内容】 リアクションペーパーの提出あり。			A		
	第7回	【テーマ】 高度経済成長期の日本 その4 【計画内容】 高度経済成長の光と影について、新聞記事などを用いて現在の分析を解説する。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料を読了のこと。			A		
	第8回	【テーマ】 オリンピックと北海道 その1 【計画内容】 1964年に開催された東京オリンピックを紹介するとともに、北海道とオリンピックの関わりについて説明する。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料を読了のこと。			A		
	第9回	【テーマ】 オリンピックと北海道 その2 【計画内容】 映像資料に残されたオリンピック報道を紹介し、北海道が輩出した名選手の足跡をたどる。 【準備学習の内容】 配付資料を読了のこと。			A、G		
	第10回	【テーマ】 地域の神社とその役割① 【計画内容】 地域の鎮守として神社は今に伝えられているが、その数は案外多数を数える。ほとんど驚きの声が上がります。ここではなぜそこにあるかを含め、地域に果たしてきた役割を考察する。 【準備学習の内容】 初もうで等に備えて地域の神社の概略を調べる。			A、G、M		
	第11回	【テーマ】 地域の神社とその役割② 【計画内容】 みんなが調べた神社を基にその内容を個別に検証する。 【準備学習の内容】 地域の神社について調査する。			J		
	第12回	【テーマ】 絵葉書の中の北海道 【計画内容】 郵便制度と絵葉書に残された北海道の風景をふりかえる。 【準備学習の内容】 事前配付の資料を読了のこと。			A		
	第13回	【テーマ】 かわものがたり① 【計画内容】 河川はその近くに住む住民に恵みをもたらしたが、反面、厄災の基にもなった。明治以降の川と住民の関わりについて考察し、いかに折り合いをつけてきたかを振り返る。 【準備学習の内容】 事前配付の資料を読了のこと。			A		
	第14回	【テーマ】 かわものがたり② 【計画内容】 おもに石狩川を主題にした文学作品を取り上げその一端に触れる。併せて札幌出身の石森延男や小樽ゆかりの伊藤整の作品を紹介し、昭和の札幌の街がどのように描かれていたかを認識する。 【準備学習の内容】 事前配付の資料を読了のこと。			A		
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 これまで提出の課題を返却し、補足と解説を加える。 【準備学習の内容】 配付のプリント等の再確認。			L		
テキスト	講師作成、適宜プリントを配付する						
参考書	保阪正康、2013年、『高度成長—昭和が燃えたもう一つの戦争』、朝日新聞出版、9784022734600						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足			60%		40%	
						授業の参加度合いを問う	総合評価
質問への対応	必要な場合は、講義時間の終わりに時間をとって対応する。対応が難しい場合は翌時間の冒頭を充当する。						
資格							
その他	「地域学Ⅰ」に連続する内容があるので、続けて受講することが望ましい。						

科目名	情報学基礎				授業形態	講義	単位数	2	
教員名	大関 慎								
授業の目的	ねらい	現在、社会のあらゆる分野でコンピュータの利用は日常化しています。当然、皆さんが卒業後に働くことになる職場でもIT(情報技術)機器の活用は仕事に欠かすことができません。今までも、学習の機会はあったと思いますが、十分ではありません。このようなことから、ITを利用する上で必要な基礎的・基本的な知識を習得することを目的としています。							
	学習目標	(1)コンピュータの構成と仕組みがわかる。 (2)ネットワークとインターネットの概要がわかる。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 講義の紹介、内容、進め方、受講の留意点を説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を理解しておくこと。							A
	第2回	【テーマ】 コンピュータの構成要素1 【計画内容】 コンピュータの変遷とコンピュータの構成要素を学習します。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A
	第3回	【テーマ】 コンピュータの構成要素2 【計画内容】 部品の実物を見ながら構成する要素の働きについて、イメージをわかせながら学習します。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習課題に取り組むこと。							C
	第4回	【テーマ】 ハードウェア 【計画内容】 コンピュータ本体と周辺機器の役割について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A
	第5回	【テーマ】 コンピュータシステム 【計画内容】 周辺の機器を含めたシステムとしてのコンピュータについて学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A
	第6回	【テーマ】 ソフトウェア 【計画内容】 コンピュータを実際に動かしているOSをはじめ、各種の管理ソフトの働きを学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A
	第7回	【テーマ】 表計算ソフト1 【計画内容】 表計算ソフトの働きを2回にわたって学習します。 【準備学習の内容】 時間内に解けなかった問題を解いておくこと。授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。							A
	第8回	【テーマ】 表計算ソフト2 【計画内容】 表計算ソフトの働きを2回にわたって学習します。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A
	第9回	【テーマ】 プログラミング言語 【計画内容】 プログラミング言語を通して、プログラムで動くコンピュータの仕組みを学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A
	第10回	【テーマ】 ヒューマンインタフェース 【計画内容】 コンピュータとそれを使う人間の接点、即ちキーボード、画面入力等について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A
	第11回	【テーマ】 マルチメディア 【計画内容】 近年、コンピュータの応用分野として急速に伸びてきたマルチメディアの世界を学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A
	第12回	【テーマ】 データベース 【計画内容】 今では生活と切り離せなくなった、データベースの仕組みや利用の方法について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A
	第13回	【テーマ】 ネットワーク 【計画内容】 電子メール、インターネットなどを動かしているパケット交換の仕組みやプロトコルについて学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A
	第14回	【テーマ】 電子メール 【計画内容】 電子メールの仕組み、メールアドレスの書式、基本的な使用方法について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習課題に取り組むこと。							A
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 情報通信技術を利用する上での知識についてのまとめと確認を行います。 【準備学習の内容】 前回配付した「まとめ」のプリントについて理解を深めておくこと。授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。							A
テキスト	プリントを使用します								
参考書	講義時に説明します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			70%		30%			
	補足			レポート等					
質問への対応	E-Mail: oozeki@hokusho-u.ac.jp								
資格									
その他									

科目名	情報社会及び情報倫理		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	大関 慎						
授業の目的	ねらい	インターネットが私たちの身近なところまでとけ込み、ネットワーク社会が形成されている。息をすれば空気を吸い込めるように、クリック1つで多くの情報を取り込むことができる。実社会では暗い夜道で不審者に遭遇したり、怪しげな店に入ってだまされることもあるだろう。ネットワーク社会で配信される情報も、残念なことに怪しいもの、危険なものが含まれている。本講義ではこのような情報を活用する際に存在する脅威から身を守るとともに、ネットワーク社会で必要なセキュリティ対策や法律などを学習することを目的とする。					
	到達目標	(1)情報活用の際の脅威について理解する。 (2)ネットワーク社会に必要なセキュリティや法律について理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 講義概要の紹介と15回の講義展開について説明する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。	A				
	第2回	【テーマ】 情報倫理とは(1)-倫理とは 【計画内容】 倫理学の基礎と取り扱い問題について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習学習に取り組むこと。	A				
	第3回	【テーマ】 情報倫理とは(2)-情報化社会と倫理とは 【計画内容】 情報化社会の発達と情報倫理が必要とされる背景について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習学習に取り組むこと。	A				
	第4回	【テーマ】 情報倫理とは(3)-情報倫理とは 【計画内容】 情報倫理とはどのようなものか学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習学習に取り組むこと。	A				
	第5回	【テーマ】 技術的な問題(1)-セキュリティリスク 【計画内容】 コンピュータやネットワーク利用時に遭遇する危険について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習学習に取り組むこと。	A				
	第6回	【テーマ】 技術的な問題(2)-マルウェア 【計画内容】 コンピュータウイルスなどの悪意あるソフトウェアについて学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習学習に取り組むこと。	A				
	第7回	【テーマ】 技術的な問題(3)-ファイル共有ソフト 【計画内容】 ファイル共有ソフトの利用に潜む危険性について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習学習に取り組むこと。	A				
	第8回	【テーマ】 中間まとめと確認 【計画内容】 情報倫理及び技術的な問題について理解できているか確認する。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習学習に取り組むこと。授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。	A				
	第9回	【テーマ】 法律的な問題(1)-サイバー犯罪 【計画内容】 コンピュータを悪用した情報化社会に特有の犯罪について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習学習に取り組むこと。	A				
	第10回	【テーマ】 法律的な問題(2)-個人情報の保護 【計画内容】 個人情報とは何か、どう保護するべきか学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習学習に取り組むこと。	A				
	第11回	【テーマ】 法律的な問題(3)-知的所有権 【計画内容】 著作権に代表される形のない財産とその保護について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習学習に取り組むこと。	A				
	第12回	【テーマ】 倫理的な問題(1)-ネチケット 【計画内容】 ネットワーク上でのエチケットの必要性について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習学習に取り組むこと。	A				
	第13回	【テーマ】 倫理的な問題(2)-情報倫理と社会 【計画内容】 情報倫理に関連する問題が社会にどのような影響を与えるか学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントに示す予習学習に取り組むこと。	A				
	第14回	【テーマ】 倫理的な問題(3)-情報倫理と教育 【計画内容】 学校教育と情報倫理の関わりについて学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリント等を復習しておくこと。	A				
	第15回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 情報倫理及び情報社会についてのまとめと確認を行う。 【準備学習の内容】 前回配付した「まとめ」のプリントについて理解を深めておくこと。授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。	A				
テキスト	プリントを使用します						
参考書	初回講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
補足				レポート等			
質問への対応	E-Mail: oozeki@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他							

ライオンデザイン学科  
学 科 専 門 科 目

科目名	秘書概論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	田口 智子						
授業の目的	ねらい	本講義は、秘書職を人財のビジネスモデルとして捉え、理論学習とケーススタディにより資性開発を行うことを目的としている。講義の内容は、秘書とはどのような職務であり、どのような機能を果たしているかについて、秘書機能史と現代ビジネス事象双方から学ぶ。また、ビジネスに求められる人財について、何が必要で、いかに身につけるかという資質開発まで、ケーススタディを活用して導いていく。 秘書学は、男女問わず現代ビジネスに適応した人財教育であり、積極的に取り組んでいただきたい。					
	到達目標	(1)秘書学、秘書教育の意義を理解する。 (2)秘書の職能について深い知識を備える。 (3)秘書機能からビジネスに求められる人的機能を理解する。 (4)ケーススタディを通じて、適切な状況対応(判断)力を身につける。 (5)意識化行動がとれる人財を目指す。					
授業の計画	第1回	【テーマ】秘書教育の意義 【計画内容】(1)秘書教育を通じて職業人が有する資格要件をいかに身につけるか (2)現代社会が求める人財像 【準備学習の内容】(1)日常生活の言動を見直す (2)新聞紙上等により現代企業動向を理解する	A、K、L	第9回	【テーマ】秘書としての状況対応 【計画内容】ケーススタディ～このような時にどのように対処しますか? 【準備学習の内容】テキストp.92-p.94を予習する。	A、H、K、L	
	第2回	【テーマ】秘書の概念 【計画内容】(1)秘書の定義 (2)秘書の心得 【準備学習の内容】テキストp.1-p.46<基礎事項>を予習する。	A、K、L	第10回	【テーマ】日本の秘書と欧米の秘書の機能比較 【計画内容】(1)日本の秘書機能 (2)欧米秘書との機能比較 【準備学習の内容】事前事後に配付するテキストプリントの復習と予習を行う。	A、K、L	
	第3回	【テーマ】上司と秘書の職能 【計画内容】(1)秘書の職能 (2)経営管理者の職能 (3)上司と秘書の職能 【準備学習の内容】新聞等で企業動向に関する情報を収集する。	A、K、L	第11回	【テーマ】日本の秘書機能史1 【計画内容】(1)天武朝組織の秘書機能 (2)養老令の後宮職員令にみる秘書機能 (3)令外の官にみる秘書機能 【準備学習の内容】事前事後に配付するテキストプリントの復習と予習を行う。	A、K、L	
	第4回	【テーマ】企業の組織体系 【計画内容】(1)企業とは (2)組織の基本体系 【準備学習の内容】企業動向について新聞等で情報収集する。	A、K、L	第12回	【テーマ】日本の秘書機能史2 【計画内容】(1)女房の職掌 (2)中世の官職にみる秘書機能 (3)機能史にみる秘書機能総論 【準備学習の内容】事前事後に配付するテキストプリントの復習と予習を行う。	A、K、L	
	第5回	【テーマ】秘書の類型 【計画内容】(1)執務形態による類型 (2)秘書の思考行動プロセス 【準備学習の内容】テキストp.1-p.46<発展事項>を予習する。	A、K、L	第13回	【テーマ】日本の経営の特徴 【計画内容】(1)ビジネス環境の変遷 (2)人間的特性 (3)資源管理 【準備学習の内容】(1)事前事後に配付するテキストプリントの復習と予習を行う。 (2)新聞等により企業動向を把握する。	A、K、L	
	第6回	【テーマ】秘書の役割1 【計画内容】(1)秘書の主な業務 (2)組織における秘書の集团的機能モデル 【準備学習の内容】テキストp.4-p.88<基礎事項>を予習する。	A、K、L	第14回	【テーマ】企業事例にみる人財教育 【計画内容】(1)マネジメントの概念 (2)人的資源の価値 【準備学習の内容】(1)事前事後に配付するテキストプリントを復習する。 (2)新聞等により企業動向を把握する。	A、K、L	
	第7回	【テーマ】秘書の役割2 【計画内容】秘書とマネジメント 【準備学習の内容】テキストp.74-p.88を復習する。	A、K、L	第15回	【テーマ】秘書の機能特性と人財マネジメント 【計画内容】(1)秘書機能特性と人財マネジメント (2)現代社旗における人財マネジメント 【準備学習の内容】(1)これまで配付したテキストプリントを復習する。 (2)新聞等により企業動向を理解する。	A、K、L	
	第8回	【テーマ】秘書としての状況対応1 【計画内容】ケーススタディ～このような時にどのように対処しますか? 【準備学習の内容】テキストp.89-p.91を予習する。	A、H、K、L				
テキスト	田口智子作、独自作成テキストプリント (株)ウイネット、2010年、『秘書検定2級問題集理論編』						
参考書	講義上で随時配付します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	25%		25%		25%	25%
補足		理解度		レポート		集中度・意欲	把握力・積極性
質問への対応	状況に応じて、随時最大限に対応する。なお、個別指導が必要な場合は、別途機会を設けて個別指導にあたる。						
資格							
その他	受講者は、秘書の概念を人財のビジネスモデルと捉えて、講義に臨んでいただきたい。本講義は、職業人としての心得ておくべき重要事項が多く盛り込まれている。自身の内面を高めていくには、自身の意識改革が重要であり、やる気を講義姿勢で示すことから意識改革が始まることを理解していただきたい。						

科目名	秘書実務 I			授業形態	講義	単位数	2
教員名	田口 智子						
授業の目的	ねらい	本講義は、「秘書概論」で学習した理論学習を実践的に学び、即戦力となるビジネススキルを習得することを目的としている。具体的には、敬語表現をはじめ対応行動のマナー、電話対応の基本について、応酬話を導入して講義展開する。 また、本講義は、秘書実習室を活用して演習を行うため、ビジネスシミュレーションの場として大いに活用していただきたい。					
	到達目標	(1)適切な敬語表現を習得する。 (2)ビジネスの基本行動を習得する。 (3)状況対応力を身につける。 (4)意識化行動による対応力を強化する。 (5)ビジネスに適した言動がとれる人材の育成を目指す。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 応対とは何か 【計画内容】 (1) 応対用語の意味を考える (2) 人と機械の共生時代における人財の役割 【準備学習の内容】 テキストp.1-p.8を予習する。	A、K、L	第9回	【テーマ】 来客対応の基本4 【計画内容】 ロールプレイング～こんな時どうする？ 【準備学習の内容】 テキストp.17-p.22を復習する。	A、B、H、K、L、N	
	第2回	【テーマ】 対応行動の基本と応酬話 【計画内容】 (1) 基本行動の心得 (2) 敬語の種類 (3) マナーについて 【準備学習の内容】 テキストp.23-p.26を予習する。	A、K、L	第10回	【テーマ】 電話対応の基本1 【計画内容】 ケーススタディ～こんな時どうする？ 【準備学習の内容】 テキストp.34-p.38を予習する。	A、B、H、K、L、N	
	第3回	【テーマ】 敬語表現の活用1 【計画内容】 基本応対用語の習得 【準備学習の内容】 テキストp.32-p.40を予習する。	A、K、L	第11回	【テーマ】 電話対応の基本2 【計画内容】 ケーススタディ～こんな時どうする？ 【準備学習の内容】 テキストp.39を予習する。	A、B、H、K、L、N	
	第4回	【テーマ】 敬語表現の活用2 【計画内容】 応対用語の応用 【準備学習の内容】 テキストp.32-p.40を復習する。	A、K、L	第12回	【テーマ】 ロールプレイング(役割演習)1 【計画内容】 ケーススタディ(各自シナリオを作成し、役割演習を行う。) 【準備学習の内容】 これまでに学習した内容全般を復習する。	A、B、H、K、L、N	
	第5回	【テーマ】 敬語表現の活用3 【計画内容】 (1) 基本応対用語の応用 (2) 命令の受け方 (3) 報告のしかた 【準備学習の内容】 テキストp.41-p.50を予習する。	A、K、L	第13回	【テーマ】 ロールプレイング(役割演習)2 【計画内容】 グループによる役割演習 【準備学習の内容】 これまでに学習した内容全般を復習する。	A、B、H、K、L、N	
	第6回	【テーマ】 来客対応の基本1 【計画内容】 (1) 基本対応行動演習 (2) 演習問題活用によるケーススタディ 【準備学習の内容】 テキストp.51-p.60を予習する。	A、B、H、K、L、N	第14回	【テーマ】 基本対応行動の総復習1 【計画内容】 ビジネス行動の基本対応演習(個別) 【準備学習の内容】 ケーススタディの復習。	A、B、H、K、L、N	
	第7回	【テーマ】 来客対応の基本2 【計画内容】 (1) 基本対応行動演習 (2) 演習問題活用によるケーススタディ 【準備学習の内容】 テキストp.51-p.60を復習する。	A、B、H、K、L、N	第15回	【テーマ】 基本対応行動の総復習2 【計画内容】 (1) ビジネス行動の基本応対用語の理解度の確認 (2) ケーススタディ～対応確認 【準備学習の内容】 ケーススタディ～過去事例の復習。	A、B、H、K、L、N	
	第8回	【テーマ】 来客対応の基本3 【計画内容】 ロールプレイング～こんな時どうする？ 【準備学習の内容】 テキストp.17-p.22を予習する。	A、B、H、K、L、N				
テキスト	田口智子作、独自作成プリント (株)ウイネット、『秘書検定2級問題集実技編』						
参考書	講義上で随時提示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	20%	20%	20%		20%	20%
補足		理解度	理解度・意欲	レポート		集中力・意欲	把握力・積極性
質問への対応	状況に応じて、随時最大限に対応します。なお、個別指導が必要な場合は、別途機会を設定して個別指導にあたります。						
資格							
その他	使用テキストは、「秘書実務 I」と「秘書実務 II」の2科目併用<共通>で活用します。 「インターンシップ I・II」履修希望学生および就職希望学生は、履修をお勧めします。						

科目名	簿記原理A			授業形態	講義	単位数	2
教員名	湯澤 直樹						
授業の目的	ねらい	簿記を初めて学ぶ学生を対象に、企業を管理・運営するための最も基本的で重要な技法となっている簿記の基本的な仕組みの学習を通して、簿記が果たす役割と機能を明らかにすることによって、現代社会の経済的な構造を理解します。					
	到達目標	(1)グローバルスタンダード(世界標準)としての簿記・会計の仕組みを理解します。 (2)商業簿記検定試験3級を合格できる力がついたものとみなします。 (3)エクセルの基本的な使い方を習得します。 (4)商業簿記検定試験3級の合格をめざすことができます。 (5)現代社会における基本的な処理方法の一つを理解することになります。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】 商業簿記検定3級合格をめざすためのガイダンスを行い、簿記上の取引を理解します。 【準備学習の内容】 ポータルサイトでメッセージ転送設定を済ませておくように。					A、K
	第2回	【テーマ】 簿記の一巡1 【計画内容】 簿記の一巡を理解し、現金の取引を通して仕訳のルールを学びます。 【準備学習の内容】 お小遣い帳があれば持参するように。					A、K
	第3回	【テーマ】 簿記の一巡2 【計画内容】 仕訳、転記の流れを理解して、仕訳帳と総勘定元帳を作成します。 【準備学習の内容】 仕訳のルール1を復習しておくように。					A、K、L
	第4回	【テーマ】 簿記の一巡3 【計画内容】 試算表から貸借対照表と損益計算書を作成して、簿記の一巡を一通り理解します。 【準備学習の内容】 仕訳のルール2～5を復習しておくように。					A、K、L
	第5回	【テーマ】 商品 【計画内容】 分記法、掛け、返品と値引きなどの商品取引の基本を学びます。 【準備学習の内容】 仕訳のルール1～5を復習しておくように。					A、K、L
	第6回	【テーマ】 現金・預金 【計画内容】 現金過不足、当座預金、当座借越、小口現金を学びます。 【準備学習の内容】 仕訳のルール1～5や掛け取引を復習しておくように。					A、K、L
	第7回	【テーマ】 手形 【計画内容】 約束手形、為替手形、手形の裏書譲渡と割引を学びます。 【準備学習の内容】 仕訳のルール1～5や掛け取引、現金・預金の取引の処理を復習しておくように。					A、K、L
	第8回	【テーマ】 商品以外の売買 【計画内容】 売買目的有価証券、固定資産、消耗品などの商品以外の売買を理解します。 【準備学習の内容】 これまでの処理を復習しておくように。					A、K、L
	第9回	【テーマ】 債権・債務 【計画内容】 売掛金・買掛金、貸付金・借入金、受取手形・支払手形、手形貸付金・手形借入金などの債権・債務を巡る信用取引を学びます。 【準備学習の内容】 これまでの処理を復習しておくように。					A、K、L
	第10回	【テーマ】 決算手続き1 【計画内容】 期末商品の整理や精算表の作成手順など決算と一連の流れを理解します。 【準備学習の内容】 これまでの処理を復習しておくように。					A、K、L
	第11回	【テーマ】 決算手続き2 【計画内容】 減価償却の処理を理解します。 【準備学習の内容】 これまでの処理を復習しておくように。					A、K、L
	第12回	【テーマ】 決算手続き3 【計画内容】 貸倒や売上原価の計算などの処理を理解します。 【準備学習の内容】 これまでの処理を復習しておくように。					A、K、L
	第13回	【テーマ】 決算手続き4 【計画内容】 費用・収益の繰延・見越の処理を理解します。 【準備学習の内容】 これまでの処理を復習しておくように。					A、K、L
	第14回	【テーマ】 決算手続き5 【計画内容】 決算振替、勘定の締め切り、精算表の作成を理解します。 【準備学習の内容】 これまでの処理を復習しておくように。					A、K、L
	第15回	【テーマ】 精算表 【計画内容】 総まとめとして精算表を作成します。 【準備学習の内容】 これまでの処理を復習しておくように。					A、K、L
テキスト	大橋英五、2009年、『簿記会計のしくみ～企業・経済を読み解く』、唯学書房、9784902225488						
参考書	プリントやデータを適宜紹介・使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
補足				その都度指示します			
質問への対応	※ポータルサイトで【メッセージ転送設定】を必ずしておくこと。 (あらゆる講義の連絡は、受講者全員が転送設定していることを前提に、全ての教員から必要に応じて連絡が届くことになり、質問等の受け答えもポータルサイトで行うことになります。) 詳細はオリエンテーションで説明します。 E-Mail: yuza@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他	この講義の終わりには商業簿記検定試験3級にチャレンジできる力が付いていることを期待します。簿記検定取得を確実にしたい受講生は、電卓を必ず用意して、検定用ワークブックを購入してもらいたいと思います。精算表の期末試験をパスすることが、単位取得の必要条件となります。合格に達するには、過去の問題を数多くこなす地道な自習に励むしかありません。						

ライオンデザイン専攻

科目名	簿記原理B			授業形態	講義	単位数	2
教員名	湯澤 直樹						
授業の目的	ねらい	企業を管理・運営するための基本的な技法となっている簿記の仕組みを通して、簿記が果たす役割と機能から現代社会の構造を一定程度理解できていることを、商業簿記検定試験3級に合格して実感してもらいます。					
	到達目標	(1)グローバルスタンダード(世界標準)としての簿記・会計の仕組みを深く理解します。 (2)商業簿記検定試験3級に合格します。 (3)エクセルの基本的な使い方を習熟します。 (4)商業簿記検定試験2級の合格をめざします。 (5)現代社会における基本的な処理方法の一つを深く理解することになります。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 商業簿記検定3級を合格するためのガイダンスを行います。 【準備学習の内容】 ポータルサイトでメッセージ転送設定を済ませておくように。					A、K
	第2回	【テーマ】 精算表1 【計画内容】 「簿記原理A」を振り返って、過去問から精算表の作成を反復練習します。 【準備学習の内容】 これまでの復習をしておくように。					A、K、L
	第3回	【テーマ】 精算表2 【計画内容】 過去問から精算表の作成を反復練習します。 【準備学習の内容】 これまでの復習をしておくように。					A、K、L
	第4回	【テーマ】 精算表3 【計画内容】 過去問から精算表の作成を反復練習します。 【準備学習の内容】 これまでの復習をしておくように。					A、K、L
	第5回	【テーマ】 帳簿1 【計画内容】 主要簿と補助簿について整理し、現金・当座預金出納帳などの過去問に取り組みます。 【準備学習の内容】 これまでの復習をしておくように。					A、K、L
	第6回	【テーマ】 帳簿2 【計画内容】 商品有高帳、小口現金出納帳、売掛金・買掛金元帳、受取・支払手形記入帳、仕入帳・売上帳などの過去問に取り組みます。 【準備学習の内容】 これまでの復習をしておくように。					A、K、L
	第7回	【テーマ】 伝票 【計画内容】 伝票制度の過去問に取り組みます。 【準備学習の内容】 これまでの復習をしておくように。					A、K、L
	第8回	【テーマ】 試算表 【計画内容】 試算表作成の過去問に取り組みます。 【準備学習の内容】 これまでの復習をしておくように。					A、K、L
	第9回	【テーマ】 その他 【計画内容】 前払金・前受金、未収金・未払金、仮払金・仮受金、立替金・預り金、商品券・他店商品券などその他の処理について過去問に取り組みます。 【準備学習の内容】 これまでの復習をしておくように。					A、K、L
	第10回	【テーマ】 過去問チャレンジ1 【計画内容】 過去の問題を繰り返し行います。 【準備学習の内容】 これまでの復習をしておくように。					A、K、L
	第11回	【テーマ】 過去問チャレンジ2 【計画内容】 過去の問題を繰り返し行います。 【準備学習の内容】 これまでの復習をしておくように。					A、K、L
	第12回	【テーマ】 過去問チャレンジ3 【計画内容】 過去の問題を繰り返し行います。 【準備学習の内容】 これまでの復習をしておくように。					A、K、L
	第13回	【テーマ】 過去問チャレンジ4 【計画内容】 過去の問題を繰り返し行います。 【準備学習の内容】 これまでの復習をしておくように。					A、K、L
	第14回	【テーマ】 過去問チャレンジ5 【計画内容】 過去の問題を繰り返し行います。 【準備学習の内容】 これまでの復習をしておくように。					A、K、L
	第15回	【テーマ】 3級の問題 【計画内容】 総まとめとして3級の問題にチャレンジします。 【準備学習の内容】 これまでの復習をしておくように。					A、K、L
テキスト	大橋英五、2009年、『簿記会計のしくみ～企業・経済を読み解く』、唯学書房、9784902225488						
参考書	プリントないしデータを適宜使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補			60%		40%	
質問への対応	※ポータルサイトで【メッセージ転送設定】を必ずしておくこと。 (あらゆる講義の連絡は、受講者全員が転送設定していることを前提に、全ての教員から必要に応じて連絡が届くことになり、質問等の受け答えもポータルサイトで行うこととなります。) 詳細はオリエンテーションで説明します。 E-Mail: yuza@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他	可能であれば講義の途中でも商業簿記検定試験3級にチャレンジして、最終的には受講生全員が合格ないし合格と同等になってもらいたい。精算表の理解が、単位取得の必要条件です。						

科目名	プロジェクトワーク		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	田口 智子						
授業の目的	ねらい	本講義は、インターンシップ履修希望学生の必修科目です。本講義は、インターンシップ事前指導をはじめ就職活動に必要な知識と基本行動を習得することを目的とし、学生主体形式で講義展開します。具体的には、エントリーの仕方、履歴書の書き方、面接の仕方、新聞の読み方等を盛り込み、就職活動に備えた内容で構成されています。また、1分間スピーチや100日プランを導入し、履修者の達成感を高めています。「インターンシップⅠ」履修希望学生をはじめ就職希望学生は積極的に履修してください。					
	到達目標	(1)就職活動を行う上で、何をどのように準備するのか、一連の流れを理解する。 (2)講義開講内で履歴書を完成させる。 (3)面接の仕方を習得する。 (4)社会事情に興味・関心を持ち、新聞を読む習慣をつける。 (5)インターンシップの意義を理解し、キャリア形成過程の一環と捉え、就業意欲を向上させる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】「プロジェクトワーク」受講の心得 【計画内容】(1)インターンシップとは何か (2)就職活動について (3)身だしなみの諸注意 (4)就職活動ノート作成の仕方 【準備学習の内容】 仕事、企業に興味をもちましょう! 興味ある分野は何かを考えてみましょう!	A、F、 H、K、 L	第9回	【テーマ】 企業研究2 【計画内容】 (1)1分間スピーチ (2)課題に即した企業研究の発表 【準備学習の内容】 何を伝えたいか、明確に表現されているか、確認しましょう!	A、F、 G、H、 K、L	
	第2回	【テーマ】 就職活動の一連の流れを知る! 【計画内容】 (1)1分間スピーチ (2)エントリーシートって何? (3)求人票って何? (4)業界・職種って何? 【準備学習の内容】 キャリア支援センターで求人票の実物をみましょう! 本学指定履歴書の記入項目を確認しましょう!	A、F、 H、K、 L	第10回	【テーマ】 面接指導1 【計画内容】 (1)1分間スピーチ (2)個別面接 (3)グループ面接 (4)質疑応答 【準備学習の内容】 (1)100日プラン中間発表準備 (2)作成した履歴書に基づいて、口頭でいかに伝えるか工夫してみましょう!	A、F、 G、H、 K、L	
	第3回	【テーマ】 履歴書の作成1 【計画内容】 (1)1分間スピーチ (2)履歴書作成の目的 (3)履歴書内で何を伝えるかを考える 【準備学習の内容】 一枚の履歴書に伝えたい自分を考えてみましょう!	A、F、 G、H、 K、L	第11回	【テーマ】 (1)100日プラン中間発表 (2)面接指導2 【計画内容】 (1)1分間スピーチ (2)100日プラン中間発表 (3)私が面接員(学生が面接員体験～面接員と受験者の役割演習) (4)質疑応答 【準備学習の内容】 自身の面接体験および他者の面接から学んだことをノートに記し、実践してみましょう!	A、F、 G、H、 K、L	
	第4回	【テーマ】 100日プランの検討 【計画内容】 (1)1分間スピーチ (2)100日プランの行動計画作成 【準備学習の内容】 (1)身近な題材を検討しましょう! (2)少しの努力で達成できることと、達成したいことを考えてみましょう!	A、F、 H、K	第12回	【テーマ】 インターンシップのテーマ検討 【計画内容】 (1)1分間スピーチ (2)個別テーマの検討 (3)指定課題の個別発表 【準備学習の内容】 インターンシップの活用意義をあらためて考えてみましょう!	A、F、 G、H、 K、L	
	第5回	【テーマ】 履歴書の作成2 【計画内容】 (1)仕事とは何か (2)誰のために、何のために働くのか (3)仕事と生活について 【準備学習の内容】 働くことの意義を考えてみましょう!	A、F、 G、H、 K、L	第13回	【テーマ】 指定課題の発表1 【計画内容】 (1)1分間スピーチ (2)発表の仕方 (3)表現の仕方 【準備学習の内容】 インターンシップ実習希望先をあらためて考えてみましょう!	A、F、 G、H、 K、L	
	第6回	【テーマ】 履歴書の作成3 【計画内容】 (1)1分間スピーチ (2)自己PR (3)自分の長所と短所 【準備学習の内容】 自分を再度見つめ直してみましょう!	A、F、 G、H、 K、L	第14回	【テーマ】 指定課題の発表2 【計画内容】 (1)1分間スピーチ (2)課題解決の考え方 【準備学習の内容】 ケーススタディを活用して、異なった立場のもの見方、考え方を学びましょう!	A、F、 G、H、 K、L	
	第7回	【テーマ】 履歴書の作成4 【計画内容】 (1)1分間スピーチ (2)大学生活で得たこと (3)学外活動について 【準備学習の内容】 大学生活半年間を振り返ってみましょう!	A、F、 G、H、 K、L	第15回	【テーマ】 100日プラン成果発表 【計画内容】 (1)100日プラン成果発表 (2)インターンシップ関連書類の作成 (3)インターンシップ前後のスケジュールについて 【準備学習の内容】 (1)100日プラン成果レポートの作成 (2)インターンシップ関連書類の作成	A、F、 G、H、 K、L	
	第8回	【テーマ】 企業研究1 【計画内容】 (1)1分間スピーチ (2)課題に即した企業研究(個別) 【準備学習の内容】 企業とは何か、新聞や専門書、専門雑誌等で情報収集しましょう!	A、F、 G、H、 K、L				
テキスト	田口智子作、独自作成プリント教材						
参考書	講義上で随時提示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		30%	40%
補足			レポート		集中力・意欲	理解力・積極性	
質問への対応	状況に応じて、随時最大限に対応します。なお、個別対応が必要な場合は、別途個別指導の機会を設定します。						
資格							
その他	「インターンシップⅠ・Ⅱ」履修希望学生および就職希望学生は、履修してください。なお、本講義はビジネス感覚を最も重視し、スーツ着用を原則とします。身だしなみを整えて受講してください。						

ライフデザイン学科  
学科専門科目

科目名	3RショップA				授業形態	演習	単位数	2
教員名	湯澤 直樹							
授業の目的	ねらい	「環境と経済が両立した循環型社会を形成していくためのキーワードである(経済産業省)Reduce(リデュース:ものの量を減らす)、Reuse(リユース:もう一度使う)、Recycle(リサイクル:再び資源として利用する)の3つのRは、循環型社会を担う上で実践していくべき課題です。ショップという形で経営を体験し、3Rを実践することで持続可能な大学の拠点とします。						
	到達目標	(1)店舗経営を体験できます(受講者全員が一度は店長になります)。 (2)地域にも地球にも喜ばれて、儲けることもできます。 (3)寄付を体験できます(売上は寄付が原則です)。 (4)環境に負荷をかけない経営を学びます。 (5)3Rの神髄を体験できます(なんでもMOTTAINAIになります!)						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 3Rとは?環境に負荷をかけない経営とは? 【準備学習の内容】 ポータルサイトでメッセージ転送設定しておくように。						A、K、G
	第2回	【テーマ】 探そう1 【計画内容】 3Rショップとして何ができるか、探してみます。 【準備学習の内容】 3Rショップの店舗を見学し、ホームページを覗いておくように。						A、K、F、G
	第3回	【テーマ】 探そう2 【計画内容】 3Rショップとして何ができるのか、もっと探してみます。 【準備学習の内容】 インターネットで関連する情報を検索しておくように。						A、K、F、G、H
	第4回	【テーマ】 決めよう1 【計画内容】 3Rショップとして何ができるか、大まかに整理します。 【準備学習の内容】 青写真を作成しておくように。						A、K、F、G、H、I
	第5回	【テーマ】 決めよう2 【計画内容】 3Rショップとして何ができるか、具体的に決定します。 【準備学習の内容】 リストアップしておくように。						A、K、F、G、H、I
	第6回	【テーマ】 準備しよう1 【計画内容】 提供者を募集し、提供品を集めます。 【準備学習の内容】 提供カードを作成しておくように。						B、H、J、K、M
	第7回	【テーマ】 準備しよう2 【計画内容】 どのように販売するか、会計記録のつけ方を学びます。 【準備学習の内容】 提供品を販売できるように準備しておくように。						A、H、J、K
	第8回	【テーマ】 準備しよう3 【計画内容】 開店する日程を決めて、宣伝用のチラシを作成します。 【準備学習の内容】 店長ができる日程候補を持ち寄り、宣伝用のチラシ案を作成しておくように。						B、F、H
	第9回	【テーマ】 経営してみよう1 【計画内容】 実際に開店して、店舗経営に参加します。 【準備学習の内容】 整理整頓をしておくように。						D、H、J
	第10回	【テーマ】 経営してみよう2 【計画内容】 実際に開店して、店舗経営にもっと参加します。 【準備学習の内容】 整理整頓をしておくように。						D、H、J
	第11回	【テーマ】 経営してみよう3 【計画内容】 実際に開店して、店舗経営にさらに参加します。 【準備学習の内容】 整理整頓をしておくように。						D、H、J
	第12回	【テーマ】 経営してみよう4 【計画内容】 実際に開店して、店舗経営に積極的に参加します。 【準備学習の内容】 整理整頓をしておくように。						D、H、J
	第13回	【テーマ】 経営してみよう5 【計画内容】 実際に開店して、店舗経営にオーナーの自覚をもって参加します。 【準備学習の内容】 整理整頓をしておくように。						D、H、J
	第14回	【テーマ】 決算・寄付しよう 【計画内容】 3Rショップの決算を行い、売上をどこへ寄付するのかを決定します。 【準備学習の内容】 現金・預金の残高と帳簿の残高を一致させておくように。						B、F、H、I、K
	第15回	【テーマ】 評価しよう 【計画内容】 3Rショップから何を学ぶことができたか評価します。 【準備学習の内容】 これまでを振り返っておくように。						A、F、G、H、I、L
テキスト	必要に応じて資料を配付します							
参考書	適宜紹介します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			60%		40%		
質問への対応	※ポータルサイトで【メッセージ転送設定】を必ずしておくこと。 (あらゆる講義の連絡は、受講者全員が転送設定していることを前提に、全ての教員から必要に応じて連絡が届くことになり、質問等の受け答えもポータルサイトで行うこととなります。)詳細はオリエンテーションで説明します。 E-Mail: yuza@hokusho-u.ac.jp							
資格								
その他	受講者は全員が3Rショップのオーナーです。この自覚で運営していただければ幸いです。 ※毎回必ず、掃除から始まり、整理整頓で終わります。							

科目名	3RショップB		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	湯澤 直樹						
授業の目的	ねらい	「環境と経済が両立した循環型社会を形成していくためのキーワードである(経済産業省)Reduce(リデュース:ものの量を減らす)、Reuse(リユース:もう一度使う)、Recycle(リサイクル:再び資源として利用する)の3つのRは、循環型社会を担う上で実践していくべき課題です。ショップという形での経営を体験し、3Rを実践することで、持続可能な大学の拠点とします。					
	到達目標	(1)店舗経営を体験できます(受講生全員が一度は店長になります)。 (2)地域にも地球にも喜ばれて、儲けることもできます。 (3)寄付を体験できます(売上は寄付することが原則です)。 (4)環境に負荷をかけない経営を学びます。 (5)3Rの神髄を体験できます(なんでもMOTTAINAIになります)。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 3Rとは?環境に負荷をかけない経営とは?「3RショップA」を振り返ります。 【準備学習の内容】 ポータルサイトでメッセージ転送設定しておくように。3Rショップの店舗を見学して、ホームページを覗いておくように。			A、F、G、H、K、L		
	第2回	【テーマ】 整理しよう1 【計画内容】 3Rショップへの提供品を整理します。 【準備学習の内容】 整理について図書館で調べしておくように。			D、H、J		
	第3回	【テーマ】 整理しよう2 【計画内容】 3Rショップへの提供品をさらに整理します。 【準備学習の内容】 整理について図書館で調べしておくように。			D、H、J		
	第4回	【テーマ】 宣伝しよう1 【計画内容】 3Rショップの場所を全学に宣伝します。 【準備学習の内容】 学内の3Rショップへの動線を迎えておくように。			B、F、H、I、J、M		
	第5回	【テーマ】 宣伝しよう2 【計画内容】 3Rショップの場所を全学にさらに宣伝します。 【準備学習の内容】 チラシを作っておくように。			B、F、H、I、J、M		
	第6回	【テーマ】 ポップしよう1 【計画内容】 3Rショップ内の販売品をカードで紹介します。 【準備学習の内容】 街へ買い物に行ったときの店内のポップに気をつけておくように。			B、F、H、I、J		
	第7回	【テーマ】 ポップしよう2 【計画内容】 3Rショップ内の販売品をカードでさらに紹介します。 【準備学習の内容】 お互いのポップを評価しておくように。			B、F、H、I、J		
	第8回	【テーマ】 ポップしよう3 【計画内容】 開店する日程を決めて、宣伝用のポップを作成します。 【準備学習の内容】 店長ができる日程候補を持ち寄り、宣伝用のチラシ案を作成しておくように。			B、F、H、J		
	第9回	【テーマ】 経営してみよう1 【計画内容】 実際に開店して、店舗経営に参加します。 【準備学習の内容】 店舗経営について図書館で調べしておくように。			D、H、J		
	第10回	【テーマ】 経営しよう2 【計画内容】 実際に開店して、店舗経営にもっと参加します。 【準備学習の内容】 店舗経営について図書館で調べしておくように。			D、H、J		
	第11回	【テーマ】 経営しよう3 【計画内容】 実際に開店して、店舗経営にさらに参加します。 【準備学習の内容】 店舗経営について図書館で調べしておくように。			D、H、J		
	第12回	【テーマ】 経営してみよう4 【計画内容】 実際に開店して、店舗経営に積極的に参加します。 【準備学習の内容】 店舗経営について図書館で調べしておくように。			D、H、J		
	第13回	【テーマ】 経営しよう5 【計画内容】 実際に開店して、店舗経営にオーナーの自覚をもって参加します。 【準備学習の内容】 店舗経営について図書館で調べしておくように。			D、H、J		
	第14回	【テーマ】 決算・寄付しよう 【計画内容】 3Rショップの決算を行い、売上をどこへ寄付するのかを決定します。 【準備学習の内容】 現金・預金の残高と帳簿の残高を一致させておくように。			B、F、H、I、K		
	第15回	【テーマ】 評価しよう 【計画内容】 3Rショップから何を学ぶことができたか評価します。 【準備学習の内容】 これまでを振り返っておくように。			A、G、H、I、L		
テキスト	必要に応じて資料を配付します						
参考書	適宜紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補	分足		60%		40%	
質問への対応	※ポータルサイトで【メッセージ転送設定】を必ずしておくこと。 (あらゆる講義の連絡は、受講者全員が転送設定していることを前提に、全ての教員から必要に応じて連絡が届くことになり、質問等の受け答えもポータルサイトで行うことになります。)詳細はオリエンテーションで説明します。 E-Mail: yuza@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他	一日店長は単なる店番ではないので、提供いただいた方の気持ちを買っていただく方へ受け渡す役割であることを自覚して臨むことが肝要です。 ※毎回必ず、掃除から始まり、整理整頓で終わります。汚れても良い格好で臨むように。						

ライフデザイン学科  
学科専門科目

科目名	コンピュータ会計			授業形態	実習	単位数	1
教員名	湯澤 直樹						
授業の目的	ねい	企業の大半が、市販の会計ソフトや表計算ソフトを利用した会計処理を行っています。会計ソフトのスタンダードとなっている「弥生会計」を使って、コンピュータによる基本的な会計処理と基礎的な財務分析の手法を学習します。					
	到達目標	(1)全経主催「コンピュータ会計能力検定試験」の3級に合格します。 (2)コンピュータによる会計処理の仕組みを理解します。 (3)コンピュータによる会計処理の操作を身につけます。 (4)資格を取得するにはコツがあることに気づきます。 (5)「会計学」を履修したくなります。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 会計処理の基本を振り返らない!? 【計画内容】 過去問をいきなり入力します(コンピュータ会計は振替伝票のデータ処理が基本のため習うより慣れよ!です)。 【準備学習の内容】 ポータルサイトのメッセージ転送設定をしておくように。				A、K	
	第2回	【テーマ】 検定合格の極意一の1 【計画内容】 振替伝票処理を始め、最大の配点問題である50点の間3を制覇する手がかりを見つけます。 【準備学習の内容】 前回までの復習をして、自分の弱点を克服しておくように。				A、K、L	
	第3回	【テーマ】 検定合格の極意一の2 【計画内容】 振替伝票処理に慣れ、パターンに触れて50点の間3制覇に近づきます。 【準備学習の内容】 前回までの復習をして、自分の弱点を克服しておくように。				A、K、L	
	第4回	【テーマ】 検定合格の極意一の3 【計画内容】 振替伝票処理が普通にできるようになることで、パターンのバリエーションを知って50点の間3を制覇します。 【準備学習の内容】 前回までの復習をして、自分の弱点を克服しておくように。				A、K、L	
	第5回	【テーマ】 検定合格の極意一の4 【計画内容】 振替伝票処理をスピードアップして、できるパターンを増やすことで、50点の間3を制覇します。 【準備学習の内容】 前回までの復習をして、自分の弱点を克服しておくように。				A、K、L	
	第6回	【テーマ】 検定合格の極意一の5 【計画内容】 振替伝票処理を高速化して、できないパターンの克服することで、50点の間3制覇を確実にします。 【準備学習の内容】 前回までの復習をして、自分の弱点を克服しておくように。				A、K、L	
	第7回	【テーマ】 検定合格の極意二の1 【計画内容】 エクセルを使って問題文が示す数値を意識して、20点の間4を制覇する手がかりを見つけます。 【準備学習の内容】 前回までの復習をして、自分の弱点を克服しておくように。				A、K、L	
	第8回	【テーマ】 検定合格の極意二の2 【計画内容】 エクセルで分析し、複数の表から一つの解を求め、20点の間4制覇に近づきます。 【準備学習の内容】 前回までの復習をして、自分の弱点を克服しておくように。				A、K、L	
	第9回	【テーマ】 検定合格の極意二の3 【計画内容】 20点の間4を制覇(決してだまされずにエクセルで確信します)。 【準備学習の内容】 前回までの復習をして、自分の弱点を克服しておくように。				A、K、L	
	第10回	【テーマ】 検定合格の極意三の1 【計画内容】 問3と問4が完璧なら合格、足りなければ問1と問2の常識問題で補って、70点をゲットする手がかりを見つけます。 【準備学習の内容】 前回までの復習をして、自分の弱点を克服しておくように。				A、K、L	
	第11回	【テーマ】 検定合格の極意三の2 【計画内容】 問3>問4>問1・2の時間配分で、通して何度も過去問をやって、70点ゲットに近づきます。 【準備学習の内容】 前回までの復習をして、自分の弱点を克服しておくように。				A、K、L	
	第12回	【テーマ】 検定合格の極意三の3 【計画内容】 本番の時間で最新の過去問をやって、70点は確実にゲットします。 【準備学習の内容】 前回までの復習をして、自分の弱点を克服しておくように。				A、K、L	
	第13回	【テーマ】 検定合格の極意三の4 【計画内容】 解答する問の順番を決めて、やりきれなかった所は見捨て、70点は確実にゲットするペースをつかみます。 【準備学習の内容】 前回までの復習をして、自分の弱点を克服しておくように。				A、K、L	
	第14回	【テーマ】 最終まとめ 【計画内容】 検定試験に向けた最終まとめ 【準備学習の内容】 試験に向けた注意事項:受験の前日は睡眠をとって、当日は朝食を摂って、遅刻しないよう試験に臨みます。				A、K、L	
	第15回	【テーマ】 検定試験を振り返る 【計画内容】 簿記会計の仕組み等を理解できたか、振り返る。 【準備学習の内容】 再試に向けた準備をしておくように。				A、K、L	
テキスト	弥生、2019年、「コンピュータ会計基本テキスト」、実教出版、9784407348170						
参考書	弥生、2019年、「コンピュータ会計基本問題集」、実教出版、9784407348187						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配補	分				40%	60%
質問への対応	※ポータルサイトで【メッセージ転送設定】を必ずしておくこと。 (あらゆる講義の連絡は、受講者全員が転送設定していることを前提に、全ての教員から必要に応じて連絡が届くことになり、質問等の受け答えもポータルサイトで行うこととなります。)詳細はオリエンテーションで説明します。 E-Mail: yuza@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他	全経主催「コンピュータ会計能力検定試験3級」の受験が単位取得の前提条件となるので、受講生全員は受験しなければなりません(受験料の半額を学科が補助します)。欠席した場合は再試しなければ単位取得は難しい! コンピュータによる会計処理を体験し、帳簿作成や財務分析などの実践的な力を身につけると同時に、資格も取得してしまおう!						

科目名	ビジネスワークショップⅠ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	田口 智子						
授業の目的	ねらい	本講義は、①ビジネスの基本を知り、②ビジネスを考える力を養成することを目的としている。社会には、さまざまな資源が存在している。実際に地域視察・企業取材を行うと共に、経営者との意見交換等を行い、理論的・実践的にビジネスのしくみの基本を理解するよう導いていく。 なお、本講義は、「ビジネスワークショップⅡ」と共に履修すると一層理解を深めることができると共に、ビジネス力を高めることができる。					
	到達目標	(1)ビジネスに興味をもつ。 (2)ビジネスのしくみ(基本)を知る。 (3)ビジネスの基本を考える力を養成する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】「ビジネスワークショップⅠ」で何を学ぶか 【計画内容】(1)受講上の留意点 (2)「ビジネスワークショップⅠ」とは (3)企業の社会的役割について 【準備学習の内容】興味のある企業について情報収集。	A、B、K、L	第9回	【テーマ】企業研究2 【計画内容】(1)調査票の作成 (2)調査計画の確認 (3)企業取材 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、H、J、K、L、M	
	第2回	【テーマ】ビジネスとは 【計画内容】(1)ビジネスとは何か (2)興味のある企業事例から学ぶビジネスの基本 【準備学習の内容】興味のある企業について情報収集。	A、B、K、L	第10回	【テーマ】企業研究3 【計画内容】(1)調査データ取りまとめ (2)報告(グループごと) 【準備学習の内容】各自役割分担。	A、B、F、G、H、J、K、L、M	
	第3回	【テーマ】ビジネスのしくみ1 【計画内容】(1)経営資源とは (2)企業事例から学ぶビジネスのしくみ 【準備学習の内容】課題企業に関する情報収集。	A、B、K、L	第11回	【テーマ】ビジネスを考える1 【計画内容】現状の中小企業経営の課題を考える。(グループワーク) 【準備学習の内容】データとりまとめ。	A、B、G、H、J、K、L	
	第4回	【テーマ】ビジネスのしくみ2 【計画内容】(1)数値で理解する経営行動 (2)企業事例に学ぶビジネスのしくみ 【準備学習の内容】課題企業に関する情報収集。	A、K、L	第12回	【テーマ】ビジネスを考える2 【計画内容】現状の中小企業経営の課題を考える。 【準備学習の内容】データとりまとめ。	A、B、G、H、J、K、L、M	
	第5回	【テーマ】ビジネスのしくみ3 【計画内容】企業財務担当者に学ぶビジネスのしくみ 【準備学習の内容】中小企業について情報収集。	A、K、L	第13回	【テーマ】ビジネスを考える3 【計画内容】(1)各グループ発表 (2)質疑応答 【準備学習の内容】課題に基づきビジネスのしくみを考える。	A、B、F、G、H、J、K、L	
	第6回	【テーマ】中小企業について1 【計画内容】(1)中小企業とは (2)中小企業事例に学ぶビジネス 【準備学習の内容】中小企業について情報収集。	A、K、L	第14回	【テーマ】ビジネスを考える4 【計画内容】提示課題についてグループワーク。 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、G、H、J、K、L	
	第7回	【テーマ】中小企業について2 【計画内容】(1)中小企業事例に学ぶビジネス (2)中小企業経営者に学ぶビジネス 【準備学習の内容】課題企業に関する情報収集。	A、K、L	第15回	【テーマ】ビジネスのしくみ(基本)まとめ 【計画内容】(1)グループ発表 (2)質疑応答 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、F、G、H、J、K、L	
	第8回	【テーマ】企業研究1 【計画内容】(1)調査企業の選定 (2)調査企業の情報収集 (3)企業取材計画の策定 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、H、J、K、L				
テキスト	独自作成プリント						
参考書	講義上で随時提示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		30%	40%
補足				レポート		集中力・意欲	創造性・積極性
質問への対応	随時理解が深められるよう対応します。なお、その場で対応できない場合は、あらかじめ日程設定をして対応します。						
資格							
その他	私たちの社会生活には、さまざまなビジネス形態が存在しています。そのビジネスに少しでも興味をもつことによって、就職活動や就職後に役立てられるスキルを身につける第一歩を踏み出すことができます。						

科目名	ビジネスワークショップⅡ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	田口 智子						
授業の目的	ねらい	本講義は、ビジネスへの理解を深め、自らビジネスを創造する力を養成することを目的としている。「ビジネスワークショップⅠ」で学んだことを基底に、身近な企業事例を取り入れながら実践的に学習する。講義展開では、企業動向資料等を配付したり、現地視察をするなど、理解が深められるよう導いていく。					
	到達目標	(1)ビジネスのしくみを理解する。 (2)ビジネスの理解を深める。 (3)ビジネスを創造する力を養成する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】「ビジネスワークショップⅡ」で何を学ぶか 【計画内容】(1)受講上の留意点 (2)「ビジネスワークショップⅠ」の確認 (3)「ビジネスワークショップⅡ」について 【準備学習の内容】企業情報収集。	A、K、L	第9回	【テーマ】地域性と地域経済 【計画内容】(1)地域性について (2)地域経済活性のための課題 【準備学習の内容】地域課題に関する情報収集。	A、B、F、H、J、K、L	
	第2回	【テーマ】企業事例に学ぶビジネスの基本 【計画内容】(1)経営資源と企業行動 (2)数値が示す経営行動 【準備学習の内容】企業情報収集。	A、B、H、K、L	第10回	【テーマ】地域に根ざす企業研究 【計画内容】(1)企業研究(パーソナルワーク) (2)意見交換 【準備学習の内容】各自企業研究。	A、B、F、H、J、K、L	
	第3回	【テーマ】地域課題からみるビジネスモデル1 【計画内容】(1)地域を考える (2)意見交換・情報収集 【準備学習の内容】課題に関する情報収集。	A、B、F、G、J、K、L	第11回	【テーマ】地域に根ざす企業研究 【計画内容】(1)企業研究(グループワーク) (2)発表 【準備学習の内容】資料のとりまとめ。	A、B、F、H、J、K、L	
	第4回	【テーマ】地域課題からみるビジネスモデル2 【計画内容】(1)現地調査(全体) (2)意見交換・情報収集 【準備学習の内容】ビジネスモデル作成。	A、B、F、G、J、K、M、L	第12回	【テーマ】仮説:ビジネスモデル1 【計画内容】(1)調査企業選定 (2)企業情報収集 【準備学習の内容】役割分担。	A、B、F、H、J、K、L、M	
	第5回	【テーマ】地域課題からみるビジネスモデル3 【計画内容】(1)地域研究～情報収集 (2)調査役割分担 (3)調査票作成 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、F、G、H、J、K、L	第13回	【テーマ】仮説:ビジネスモデル2 【計画内容】(1)企業取材 (2)データとりまとめ 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、F、H、J、K、L、M	
	第6回	【テーマ】地域課題からみるビジネスモデル4 【計画内容】(1)地域調査 (2)データとりまとめ 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、F、G、H、J、K、L、M	第14回	【テーマ】仮説:ビジネスモデル3 【計画内容】(1)ビジネスモデル策定(グループワーク) (2)意見交換 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、G、H、J、K、L	
	第7回	【テーマ】地域課題からみるビジネスモデル5 【計画内容】(1)ビジネスモデル策定(グループワーク) (2)意見交換 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、F、G、H、J、K、L	第15回	【テーマ】仮説:ビジネスモデル4 【計画内容】(1)発表(グループワーク) (2)質疑応答 【準備学習の内容】各自役割課題。	A、B、F、G、H、J、K、L	
	第8回	【テーマ】地域課題からみるビジネスモデル6 【計画内容】(1)グループ発表 (2)レポート作成 【準備学習の内容】レポート作成。	A、B、F、G、H、J、K、L				
テキスト	独自プリント作成し随時配付します						
参考書	随時講義上で提示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		30%	40%
補足				レポート		集中力・意欲	創造力・積極性
質問への対応	随時その場で誠実かつ迅速に対応します。なお、その場の対応が不可能な場合は、日程調整をして確実に対応します。						
資格							
その他	「ビジネスワークショップⅠ」および「企業と経営」を合わせて履修すると、理解が一層深められます。また、インターンシップや就職を希望する学生は、ビジネス理解を促す点から履修することをお奨めします。						

科目名	衣服素材			授業形態	講義	単位数	2
教員名	北村 悦子						
授業の目的	ねらい	授業では身近にある衣服を素材面からとらえ、衣服材料、繊維、糸、織物、編物などの種類や特性、衣服材料に求められる性能について理解することを目指します。また目的にあった衣服の選択や手入れ、保管、環境など実生活での活用も考えます。					
	到達目標	(1)身近にある衣服材料の繊維・糸・布などの種類と性質について理解する。 (2)衣服素材の取り扱いについて学ぶ。 (3)衣服の適切な選択管理ができる知識を養う。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 授業内容の説明をします。 【準備学習の内容】 授業の内容を把握しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】 衣服材料の種類 【計画内容】 繊維製品、繊維以外から成る衣服材料について説明します。 【準備学習の内容】 衣服材料について調べること。					A、G
	第3回	【テーマ】 繊維について 【計画内容】 繊維の分類、繊維の生産について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントで予習しておくこと。					A
	第4回	【テーマ】 繊維の種類と性質について 【計画内容】 天然繊維(植物繊維、動物繊維、化学繊維)について説明します。 【準備学習の内容】 配付したプリントで予習しておくこと。					A、G
	第5回	【テーマ】 衣服と皮膚衛生の関係について 【計画内容】 衣服が人体におよぼす影響について説明します。 【準備学習の内容】 配付したプリントで予習しておくこと。					A
	第6回	【テーマ】 衣服の管理について 【計画内容】 品質表示、服装計画、手入れについて学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントで予習しておくこと。					A、G
	第7回	【テーマ】 衣服の表示と計画について 【計画内容】 衣服材料の取り扱いについて学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントで予習しておくこと。					A、F
	第8回	【テーマ】 糸の分類と構造について 【計画内容】 糸の分類、(糸の太さ、糸の撚り方向)について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントで予習しておくこと。					A
	第9回	【テーマ】 織物の種類と構造(1) 【計画内容】 糸によって構成される布、繊維から直接作られる布について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントで予習しておくこと。					A
	第10回	【テーマ】 織物の種類と構造(2) 【計画内容】 織物の種類、織物の組織(三原組織)について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントで予習しておくこと。					A、G
	第11回	【テーマ】 編物の種類と構造 【計画内容】 編物の種類、編物の組織、編地の性質について学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントで予習しておくこと。					A
	第12回	【テーマ】 その他の衣服材料 【計画内容】 組物、レース、不織布、フェルト、皮革などについて学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントで予習しておくこと。					A
	第13回	【テーマ】 衣服素材の管理について 【計画内容】 糊付け、しみ抜きについて学びます。 【準備学習の内容】 配付したプリントで予習しておくこと。					A
	第14回	【テーマ】 衣服素材の再利用について 【計画内容】 衣服素材の再利用について考えます。 【準備学習の内容】 配付したプリントで予習しておくこと。					A、F、G
	第15回	【テーマ】 まとめ 【計画内容】 授業のまとめと内容の確認。 【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておくこと。					A、L
テキスト	担当者作成のプリントを使用します						
参考書	担当者作成のプリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足			60%		40%	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格							
その他	各自の衣服体験を発表します。						

科目名	服飾造形論		授業形態	講義・演習	単位数	2	
教員名	辻 美恵子						
授業の目的	ねらい	「ファッション造形実習」と関連する内容である。衣服を製作する上で必要とする人体の採寸やパターンメイキング、裁断、縫製素材や副資材の扱いなど、基礎的な知識や理論を学習する。また、企業における工程表の作成や製品検査の方法を知ることで、自作作品の自己評価や、合理的で計画性のある製作プランを立てることができる。					
	到達目標	(1)縫製素材や副資材の扱いなど、基礎的な知識と理論が理解できる。 (2)計画性のある製作プランを立てることができる。 (3)製作する作品についての自己評価ができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス/衣服造形からみた人体の構造について 【計画内容】 講義内容と講義展開について説明する。体型把握の採寸方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。教材を購入し、テキスト『ブラウス・ワンピースドレス』で採寸の仕方について確認しておくこと。				A	
	第2回	【テーマ】 衣服造形について/洋裁用具について 【計画内容】 衣服造形の過程について説明する。使用する洋裁用具について説明する。 【準備学習の内容】 指定したテキストの内容を確認しておくこと。				A	
	第3回	【テーマ】 素材について 【計画内容】 柄の種類、布の種類や扱いについて学ぶ。 【準備学習の内容】 指定したテキストの内容を確認しておくこと。				A、B	
	第4回	【テーマ】 作図の方法について 【計画内容】 文化式原型(胸度式)、囲み製図、原型を使った作図(ショールカラーのブラウス)について学習する。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。				A、B	
	第5回	【テーマ】 型紙の整理について/仕様書・工程表について(1) 【計画内容】 作図後の製図の整理方法について学習する。また、仕様書と工程表の作成方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。				A、B	
	第6回	【テーマ】 布の扱い(1) 【計画内容】 布地の裁断方法や縫製方法について学習する。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。				A、B	
	第7回	【テーマ】 布の扱い(2) 【計画内容】 仮縫いについて説明。縫製方法の分類と用途について学習する。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。				A、B	
	第8回	【テーマ】 特殊素材について 【計画内容】 レース、レザー、ブリーツ等の特殊素材の扱い方について学習する。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。				A、B	
	第9回	【テーマ】 ミシンについて 【計画内容】 ミシンの扱いと縫製付属品の種類と用途について学習する。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。				A、B	
	第10回	【テーマ】 型紙/布の扱い(3) 【計画内容】 試着補正後の型紙、布の訂正方法について学習する。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。				A、B	
	第11回	【テーマ】 縫製について(1)副素材について 【計画内容】 縫製の手順と副素材(裏地、芯地)の扱い方について学習する。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。				A、B	
	第12回	【テーマ】 仕様書・工程表について(2)/製品(作品)検査について 【計画内容】 製作しているブラウス・シャツの仕様書、工程表、作品検査の記入方法について学習する。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。				A、B	
	第13回	【テーマ】 縫製について(2)/課題のまとめ 【計画内容】 パーツ縫製、アッセンブリー縫製について学習する。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。				A、B	
	第14回	【テーマ】 ボタンとボタンホールについて 【計画内容】 ボタンの形状、打ち合いとボタンホールの関係性を学習する。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。時間内にできなかった課題を仕上げること。				A、B	
	第15回	【テーマ】 課題提出・まとめ 【計画内容】 講義内容のまとめと振り返りを行う。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げておくこと。				L	
テキスト	中村賢二郎、2012年、『SEWING I BLOUSE ONE-PIECE DRESS』、学校法人杉野学園出版部						
参考書	参考プリントを配付します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
補足							
質問への対応	620研究室 E-Mail: tsujim@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他	ライフデザイン学科の学生は「ファッション造形実習Ⅰ」を履修していること。 第15回に提出課題を基に学んだ内容を振り返ります。						

科目名	ドレスコーディネート論		授業形態	講義・演習	単位数	2	
教員名	富田 玲子						
授業の目的	ねらい	たえず変化するファッションは、その変化に対応しながら、それぞれの個性を尊重した着こなしが求められます。そのためには、すべての人々にとって、数あるアイテムをいかに組合せ、どのように演出するかが重要です。色、形、素材、アクセサリーの組合せや、体型や年齢に合わせたコーディネーションの知識、技術の基本を学び、さらにイメージ・ライフステージという視点から着こなし全体の総合美を追究することを目的とします。					
	到達目標	(1)ユニバーサルファッション(子供からお年寄りまで)を主題にした嗜好調査に基づくトータルファッションを提案する。 (2)その一連の過程での経験により、人とのコミュニケーションに重要なバランス感覚を養う。 (3)プライダル関連企業見学をとおして、素材、色彩、手芸の技法など実際に触れて理解を深める。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。				A	
	第2回	【テーマ】 色によるコーディネート 【計画内容】 色のしゅきをベースに配色の効果について学びます。 【準備学習の内容】 指定したテキストを熟読しておくこと。				A	
	第3回	【テーマ】 素材によるコーディネート 【計画内容】 素材の特性(素材の風合いや材質感の違いなど)について学びます。 【準備学習の内容】 指定したテキストを熟読しておくこと。				A	
	第4回	【テーマ】 イメージ・ライフステージによるコーディネート 【計画内容】 商品そのもののイメージ、ライフステージの視点から学びます。 【準備学習の内容】 指定したテキストを熟読しておくこと。				A	
	第5回	【テーマ】 体型カバーのコーディネート 【計画内容】 体型別に色、素材、デザインを中心に学びます。 【準備学習の内容】 プリントを熟読しておくこと。				A	
	第6回	【テーマ】 コーディネート実践企画書作成 【計画内容】 ユニバーサルファッション(子供からお年寄りまで)における企画書を作成します。 【準備学習の内容】 プリントを熟読しておくこと。				H	
	第7回	【テーマ】 アンケート調査における質問項目を作成 【計画内容】 ターゲットを決め、アンケート調査の質問項目を検討します。 【準備学習の内容】 各自質問項目を作成しておくこと。				H	
	第8回	【テーマ】 第1回学外実践授業:嗜好調査の実施 【計画内容】 第1回学外実践授業として嗜好調査を実施します。さらに写真撮影、所持している衣服などコミュニケーションをとおして調査します。 【準備学習の内容】 各グループごとに質問項目を集約、作成、コピーしてくること。				H	
	第9回	【テーマ】 第1回学外実践授業:嗜好調査の実施 【計画内容】 第1回学外実践授業として嗜好調査を実施します。さらに写真撮影、所持している衣服などコミュニケーションをとおして調査します。 【準備学習の内容】 カラーチャートの準備および指定したテキストを熟読しておくこと。				H	
	第10回	【テーマ】 調査結果の整理・まとめ 【計画内容】 調査結果をもとに、グループごとにコーディネートを検討します。 【準備学習の内容】 各自調査結果を整理しておくこと。				H	
	第11回	【テーマ】 他者におけるトータルコーディネートの検討 【計画内容】 アクセサリー(スカーフ、ネックレス、ブローチ、帽子など)や化粧などトータルコーディネートを検討します。 【準備学習の内容】 各自調査結果を整理しておくこと。				H	
	第12回	【テーマ】 第2回学外実践授業 【計画内容】 第2回学外実践授業として、他者におけるコーディネート演習を行います。 【準備学習の内容】 各自アクセサリー等を準備しておくこと。				H	
	第13回	【テーマ】 第2回学外実践授業 【計画内容】 第2回学外実践授業として、他者におけるコーディネート演習を行い、実践授業について各自考察しまとめ、レポートを提出します。 【準備学習の内容】 プライダルについて、質問項目を準備しておくこと。				H	
	第14回	【テーマ】 学外実習:プライダル関連企業見学および各自まとめ・レポートの提出 【計画内容】 学外実習について各自考察しまとめ、レポートを提出します。 【準備学習の内容】 これまでの授業内容を整理しておくこと。				H	
	第15回	【テーマ】 まとめとレポート 【計画内容】 グループごとにプレゼンテーションを行い、同時に相互理解を深めます。 【準備学習の内容】 プレゼンテーションをするための素材をセレクトしまとめしておく。見やすくわかりやすくまとめること。				F	
テキスト	林泉、2011年、『スタイリスト&コーディネーターの条件』、文化出版局						
参考書	プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%		40%		20%	
	補足			2回		外部実践	
質問への対応	640研究室 E-Mail:reiko@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他	一つの目標に向かって、グループごとにプレゼンテーションを行うことから「個々の意欲、行動力、忍耐力」を必要とします。課題提出:2回。						

科目名	パターンメイキング基礎		授業形態	実習	単位数	1	
教員名	富田 玲子						
授業の目的	ねらい	ファッションの専門知識および工業用パターンメイキング技術として展開されている平面作図などの能力を養います。フラットパターンとして、ディテール別に身頃、衿、袖、スカート、パンツなどの製図原理および展開について理解するとともにファッション画からのパターンメイキングやドレーピングなどの基礎技術の理解を深めます。					
	製図目標	(1)フラットパターンメイキングとして身頃、衿、袖、スカート、パンツなどの製図原理が理解できる。 (2)デザイン画からのパターン製図、ドレーピングなどの基礎技術の理解を深める。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。また、原型前身頃のダーツの方向移動法を学びます(1/2縮尺使用)。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。	B				
	第2回	【テーマ】 フラットパターンメイキング 【計画内容】 アンダーブラウスのパターンを学びます(1/2縮尺使用)。 【準備学習の内容】 テキスト、プリントを熟読しておくこと。	B				
	第3回	【テーマ】 フラットパターンメイキング 【計画内容】 シャツカラーAB、台付シャツカラーA-1を学びます(1/2縮尺使用)。 【準備学習の内容】 テキストを熟読しておくこと。	B				
	第4回	【テーマ】 フラットパターンメイキング 【計画内容】 フラットカラー、セーラーカラーのパターンを学びます(1/2縮尺使用)。 【準備学習の内容】 6種類の衿について、理解を深め、確実に習得しておくこと。	B				
	第5回	【テーマ】 フラットパターンメイキング 【計画内容】 タイツスリーブ(半袖)、袖山ギャザーのパターンを学びます(1/2縮尺使用)。 【準備学習の内容】 テキスト(袖)を熟読しておくこと。	B				
	第6回	【テーマ】 フラットパターンメイキング 【計画内容】 シャツスリーブのパターンを学びます(1/2縮尺使用)。 【準備学習の内容】 袖について、理解を深め、確実に習得しておくこと。	B				
	第7回	【テーマ】 中間まとめと確認 【計画内容】 フラットパターンメイキング試験を行います(1/2縮尺使用)。 【準備学習の内容】 ブラウスにおけるフラットパターンの作図方法を確実に習得しておくこと。	B				
	第8回	【テーマ】 フラットパターンメイキング 【計画内容】 タイツスカートのパターンを学びます(1/2縮尺使用)。 【準備学習の内容】 プリント(スカート)を熟読しておくこと。	B				
	第9回	【テーマ】 フラットパターンメイキング 【計画内容】 ストレートパンツのパターンを学びます(1/2縮尺使用)。 【準備学習の内容】 スカート、パンツの作図方法を習得しておくこと。	B				
	第10回	【テーマ】 フラットパターンメイキング 【計画内容】 フレアスカート、フレアギャザーのパターンを学びます(1/2縮尺使用)。 【準備学習の内容】 スカートの作図方法を習得しておくこと。	B				
	第11回	【テーマ】 フラットパターンメイキング 【計画内容】 ティアードスカートのパターンを学びます。 【準備学習の内容】 スカートの作図方法を習得しておくこと。	B				
	第12回	【テーマ】 中間まとめと確認 【計画内容】 フラットパターンメイキング試験(スカート、パンツ)を行います(1/2縮尺使用)。 【準備学習の内容】 スカート、パンツの作図方法を確実に習得しておくこと。	B				
	第13回	【テーマ】 フラットパターンメイキング 【計画内容】 ツーピーススリーブのパターンを学びます(1/2縮尺使用)。 【準備学習の内容】 プリント(2枚袖)について、熟読しておくこと。	B				
	第14回	【テーマ】 フラットパターンメイキング 【計画内容】 ベストのパターンを学びます。 【準備学習の内容】 プリント(ベスト)を熟読しておくこと。	B				
	第15回	【テーマ】 フラットパターンメイキング 【計画内容】 最終まとめと確認を行います。 【準備学習の内容】 前回配付したプリントを復習しておくこと。	B				
テキスト	日本ファッション教育振興協会、2003年、『パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック』、株式会社文化カラー印刷 プリントを使用します						
参考書	ドレスメーカー学院、2004年、『パターンカッティングⅠ』、ドレスメーカー出版社 ドレスメーカー学院、2004年、『パターンカッティングⅡ』、ドレスメーカー出版社						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	70%				30%	
補足						平時	
質問への対応	640研究室 E-Mail:reiko@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他	「アパレルCAD」を履修することで、よりパターンの理解が深まります。パターンメイキングは数多く作図することで、より理解が深まります。パターンメイキング技術検定の資格取得を視野に入れた授業展開をしています。						

ライフレインデザイン学科  
専門科目

科目名	ファッションデザイン		授業形態	講義・演習	単位数	2	
教員名	北村 悦子						
授業の目的	ねらい	服飾に関する美の諸原理や、デザインのプロセス・条件などを理解し、服飾の多面的要素をふまえた理論を習得して、感覚と服飾関連知識を学ぶことを目的とする。創造力・美的感性・イメージ発想を養う面から演習を行う。					
	到達目標	(1)デザイン力が身につく。 (2)表現力が養われる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 服飾デザインの総説 【計画内容】 授業のガイダンス、授業内容の説明。 【準備学習の内容】 デザインに関する内容を把握しておく。				A	
	第2回	【テーマ】 デザインのプロセス 【計画内容】 デザインのプロセスを理解させる。 【準備学習の内容】 デザインのプロセスを復習しておく。				A	
	第3回	【テーマ】 デザインの美の諸原理 【計画内容】 デザインの美についての要因を説明する。 【準備学習の内容】 美についての諸原理を復習しておく。				A	
	第4回	【テーマ】 デザインテクニック 【計画内容】 デザインを考える上で必要な要因を説明する。 【準備学習の内容】 配付プリントで復習しておく。				A、G	
	第5回	【テーマ】 マテリアルとデザイン 【計画内容】 素材とデザインの間を説明する。 【準備学習の内容】 配付プリントで復習しておく。				A、G	
	第6回	【テーマ】 体系とデザイン 【計画内容】 体系別によるデザインの決め方を学習する。 【準備学習の内容】 配付プリントで復習しておく。				A	
	第7回	【テーマ】 イメージと発想 【計画内容】 デザインはイメージに関係することを学ぶ。 【準備学習の内容】 配付プリントで復習しておく。次回の課題について考える。				A	
	第8回	【テーマ】 イメージによるデザイン表現Ⅰ 【計画内容】 イメージからデザインを表現する。 【準備学習の内容】 次回の課題について考える。				B	
	第9回	【テーマ】 テーマにそったデザイン表現Ⅱ 【計画内容】 担当者が示すテーマにそってデザインを表現する。 【準備学習の内容】 次回の課題について考える。				B	
	第10回	【テーマ】 テーマにそったデザイン表現Ⅲ 【計画内容】 担当者が示すテーマにそってデザインを表現する。 【準備学習の内容】 次回の課題について考える。各自材料を準備する。				B	
	第11回	【テーマ】 研究課題(コラージュ) 【計画内容】 コラージュを各自デザインする。 【準備学習の内容】 次回までに課題を整理する。				A、B	
	第12回	【テーマ】 研究課題(コラージュ) 【計画内容】 コラージュ作品を製作する。 【準備学習の内容】 次回までに課題を整理する。				B	
	第13回	【テーマ】 研究課題(コラージュ) 【計画内容】 コラージュを完成し提出する。 【準備学習の内容】 次回までに作品と感想をまとめてくる。				B	
	第14回	【テーマ】 まとめ・批評会 【計画内容】 コラージュ批評会。 【準備学習の内容】 これまでの授業内容について復習する。				B、F	
	第15回	【テーマ】 まとめとデザインについての確認 【計画内容】 総括として意志表現。 【準備学習の内容】 授業全体のプリント・ノートをまとめる。				L、G	
テキスト	参考プリントを配付します						
参考書	文化服装学院編、1991年、『デザイン』、文化出版局						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足			60%		40%	
質問への対応	授業の中で対応します。						
資格							
その他	研究課題(コラージュ)作成に必要な材料は各自で用意します。各自の作品で批評会をします。						

科目名	ファッションビジネス		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	加藤 万紀						
授業の目的	ねらい	ファッションビジネスとは、消費者のニーズに応えたファッション商品を提供していくビジネスです。そのビジネスを取り巻く繊維ファッション産業の基本構造を学びながら、どのようにファッション商品が生産されて消費者に届くのか、様々な職種、専門用語に触れながら学習します。また、ファッション商品企画に必要なマーケティング分析に取り組むことでファッションビジネスの理解を深めます。 ファッションビジネス能力検定試験3級の取得を目指します。					
	到達目標	(1)ファッションビジネスの基礎知識と専門用語が理解できる。 (2)繊維ファッション産業の構造が理解できる。 (3)日本ファッション教育振興協会主催のファッションビジネス能力検定試験3級取得を目指す。					
授業の計画	第1回	【テーマ】ファッションビジネスの概要とファッションビジネス能力検定試験について 【計画内容】ファッションビジネスの概要と15回の授業展開を説明します。ファッションビジネス能力検定試験について説明します。 【準備学習の内容】テキストのファッションビジネス知識第1章を読んでおくこと。	A				
	第2回	【テーマ】ファッション消費と消費者行動 【計画内容】消費者が購買に至るまでの意識変化と、ライフスタイルについて学びます。 【準備学習の内容】テキストのファッションビジネス知識第2章を読んでおくこと。	A				
	第3回	【テーマ】アパレル産業と小売産業 【計画内容】アパレル企業とファッション小売企業の業種、業態を学びます。 【準備学習の内容】テキストのファッションビジネス知識第3章を読んでおくこと。	A				
	第4回	【テーマ】ファッションマーケティング 【計画内容】消費者ニーズを探り、そのニーズに応えるための戦略について学びます。 【準備学習の内容】テキストのファッションビジネス知識第4章を読んでおくこと。	A				
	第5回	【テーマ】ファッションマーチャンダイジング 【計画内容】アパレル企業のファッション商品企画と小売企業の品揃え計画について学びます。 【準備学習の内容】テキストのファッションビジネス知識第5章を読んでおくこと。	A				
	第6回	【テーマ】ファッション流通 【計画内容】生産されたファッション商品が小売企業を経て消費者に流れるまでの仕組みを学びます。第13、14回のマーケティング分析調査内容について説明します。 【準備学習の内容】テキストのファッションビジネス知識第6章を読んでおくこと。	A				
	第7回	【テーマ】ビジネス基礎知識 【計画内容】一般的な会社組織に関する基礎知識と売上高等の計数知識を学びます。 【準備学習の内容】テキストのファッションビジネス知識第7章を読んでおくこと。	A				
	第8回	【テーマ】ファッション造形知識 【計画内容】アパレルデザインの構成要素とファッションコーディネートについて学びます。 【準備学習の内容】テキストのファッション造形知識第1章と第2章を読んでおくこと。	A				
	第9回	【テーマ】ファッション商品知識 【計画内容】アパレル商品の種類、名称、サイズの知識、アパレル素材について学びます。 【準備学習の内容】テキストのファッション造形知識第3章を読んでおくこと。	A				
	第10回	【テーマ】ファッションビジネス能力検定試験対策① 【計画内容】過去の検定試験問題に取組み、解答を説明します。 【準備学習の内容】テキストを熟読し過去問題に解答できるよう備えること。	A、K				
	第11回	【テーマ】ファッションビジネス能力検定試験対策② 【計画内容】過去の検定試験問題に取組み、解答を説明します。 【準備学習の内容】テキストを熟読し過去問題に解答できるよう備えること。	A、K				
	第12回	【テーマ】ファッションビジネス能力検定試験対策③ 【計画内容】過去の検定試験問題に取組み、解答を説明します。 【準備学習の内容】テキストを熟読し過去問題に解答できるよう備えること。	A、K				
	第13回	【テーマ】ファッションマーケティング分析① 【計画内容】選定したターゲットを調査し、ライフスタイル等の分析結果をまとめます。 【準備学習の内容】第6回の授業で調査内容を伝えますので調査をしておくこと。	G				
	第14回	【テーマ】ファッションマーケティング分析② 【計画内容】ターゲットが好むショップ、ブランドを調査し、ファッショントレンド等の分析結果をまとめます。 【準備学習の内容】第6回の授業で調査内容を伝えますので調査をしておくこと。	G				
	第15回	【テーマ】授業のまとめと振り返り 【計画内容】授業を振り返りながら第16回の筆記試験の確認と検定試験のための対策を説明します。 【準備学習の内容】テキストをよく熟読し、検定試験の過去問題を復習しておくこと。	A、L				
テキスト	日本ファッション教育振興協会、2016年、『ファッションビジネス[ I ]改訂版』、日本ファッション教育振興協会、9784931378285						
参考書	講義時に説明します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
補足							
質問への対応	初回の講義時に具体的に説明します。						
資格							
その他	第16回に最終評価のための筆記試験を行います。						

ライオンデザイン学科  
学 科 専 門 科 目

科目名	ファッション画				授業形態	実習	単位数	1
教員名	田 恩蒔							
授業の目的	ねらい	ファッション画における基礎知識、着装表現、彩色、素材表現、デザイン発想等の基礎を学び、個性的な作品をイラストレーションで表現する方法を学習します。						
	到達目標	(1)ファッション画の基礎知識と技術を身につける。 (2)色鉛筆などの道具の使い方と技法を修得する。 (3)ファッション画の基礎となるプロポーションが描けるようになる。 (4)様々な洋服の素材がイラストレーションで表現できるようになる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 全15回の授業展開やその他諸注意について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。必要となる道具を各自準備して次回持参すること。						A
	第2回	【テーマ】 プロポーションの描き方 【計画内容】 鉛筆の使い方と技法、ファッションデザイン知識とプロポーションの描き方を学びます。 【準備学習の内容】 作品を完成させ、次回授業で発表するための準備をすること。						B
	第3回	【テーマ】 基本ポーズ 【計画内容】 2種類の基本ポーズから応用ポーズへの描き方を学びます。 【準備学習の内容】 作品を完成させ、次回授業で発表するための準備をすること。						B、F、L
	第4回	【テーマ】 服と体の関係 【計画内容】 人物が実際に服を着た状態をポーズに合わせて服のしなりやしわのつき具合などを絵で表現します。 【準備学習の内容】 作品を完成させ、次回授業で発表するための準備をすること。						B、F、L
	第5回	【テーマ】 着装の描き方1:上着 【計画内容】 描き方のポイントの説明を受け、衿、袖などの描き方を学びます。 【準備学習の内容】 描いた作品を2体、次回授業内で発表する。						B、F、L
	第6回	【テーマ】 着装の描き方2:下着 【計画内容】 描き方のポイントの説明を受け、スカート、パンツの描き方を学びます。 【準備学習の内容】 描いた作品を2体、次回授業内で発表する。						B、F、L
	第7回	【テーマ】 着色練習 【計画内容】 色鉛筆、水彩など、さまざまな画材の特徴と表現方法を学びます。 【準備学習の内容】 着装した人物の全身を彩色した作品を2体、次回の授業で発表するために完成させること。						B、F、L
	第8回	【テーマ】 布地の材質表現1(春) 【計画内容】 春の服の素材と色彩の特徴や表現方法、服の材質やデザイン(例:レース、シフォン(chiffon)など)の描き方を学びます。 【準備学習の内容】 着装した人物の全身を彩色した作品を1体、次回の授業で発表するために完成させること。						B、F、L
	第9回	【テーマ】 布地の材質表現2(夏) 【計画内容】 夏の服の素材と色彩の特徴や表現方法、服の材質やデザイン(例:レース、柄、ストライプなど)の描き方を学びます。 【準備学習の内容】 着装した人物の全身を彩色した作品を1体、次回の授業で発表するために完成させること。						B、F、L
	第10回	【テーマ】 布地の材質表現3(秋) 【計画内容】 秋の服の素材と色彩の特徴や表現方法、服の材質やデザイン(例:ニット、ウールなど)の描き方を学びます。 【準備学習の内容】 着装した人物の全身を彩色した作品を1体、次回の授業で発表するために完成させること。						B、F、L
	第11回	【テーマ】 布地の材質表現4(冬) 【計画内容】 冬の服の素材と色彩の特徴や表現方法、服の材質やデザイン(例:皮革、毛皮など)の描き方を学びます。 【準備学習の内容】 着装した人物の全身を彩色した作品を1体、次回の授業で発表するために完成させること。						B、F、L
	第12回	【テーマ】 デザイン発想1:ムードボード 【計画内容】 自分のイメージに近いデザイン(カラー、スタイル、イメージなど)を考え、その要素をムードボードにアイデアをまとめます。 【準備学習の内容】 次回の授業では、このムードボードを使ってアイデアを発表する。						B、F、L
	第13回	【テーマ】 デザイン発想2:ワークショップ 【計画内容】 授業時間全部を使って作品制作を行います。教員は個別に指導します。 【準備学習の内容】 課外時間においても作業を続けること。						B、F、L
	第14回	【テーマ】 デザイン発想3:ワークショップ 【計画内容】 授業時間全部を使って作品制作を行います。教員は個別に指導します。 【準備学習の内容】 課外時間においても作業を続けること。						B、F、L
	第15回	【テーマ】 デザイン発想4:発表会とまとめ 【計画内容】 過去3週に渡って作り上げた作品を発表し講評します。全員で意見交換し作品の質を上げるためのアドバイスをします。また、15回全体を振り返り、ファッション画の大切さと今後の制作活動についてみんなで考えます。 【準備学習の内容】 これまで描いた作品をまとめ、ポートフォリオとして記録すること。						B、F、L
テキスト	必要に応じて授業でプリントを配付します							
参考書	講義内で紹介します							
成績評価の方法	配分補足	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
				30%	50%	20%		
				毎週課題1つ	中間・最終	授業や発表会などの積極的な授業参加		
質問への対応	授業時間前後、または芸術学科の浅井先生(E-Mail(浅井):takaya@hokusho-u.ac.jp)までご相談ください。							
資格								
その他	授業で毎週必要となる道具や画材を各自で購入していただきます。第1回の授業で詳しく説明します。							

ライフデザイン学科  
学科専門科目

科目名	ファッション造形実習 I		授業形態	実習	単位数	2
教員名	辻 美恵子					
授業の目的	<p>衣服を製作するうえでの基本的な製図と基礎的な理論や縫製技術を習得する。実物作品としてブラウス・シャツを製作し、時代に適応した被服製作ができるような実習を行う。</p> <p>(1)体型を把握し、製作する作品のパターンを描くことができる。  (2)布の扱い方が理解できる。  (3)縫製技術を身につけ、ミシン、アイロン等の機器を扱うことができる。</p>					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業内容と授業展開について説明。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。	A	第16回	【テーマ】 作品製作(12) 【計画内容】 ブラウス・シャツの仮縫い② 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
	第2回	【テーマ】 原型について 【計画内容】 ドレメ式原型(短寸式)の作図方法について学習。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A、B	第17回	【テーマ】 作品製作(13) 【計画内容】 ブラウス・シャツの試着・補正(各自の体型に合わせて補正する)① 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A、D
	第3回	【テーマ】 採寸 【計画内容】 各自の採寸。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A、D	第18回	【テーマ】 作品製作(14) 【計画内容】 ブラウス・シャツの試着・補正(各自の体型に合わせて補正する)② 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
	第4回	【テーマ】 原型作図 作品製作について 【計画内容】 各自の原型を作図。作品(ブラウス・シャツ)の製作条件について説明。 【準備学習の内容】 原型の引き方を復習しておくこと。	A、D	第19回	【テーマ】 作品製作(15) 【計画内容】 ブラウス・シャツの型紙の訂正、布に印を付け直す① 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A、D
	第5回	【テーマ】 作品製作(1) 【計画内容】 ブラウス・シャツのデザインと布の選定① 【準備学習の内容】 作品のデザイン、使用する布のプランを練っておくこと。	A、D	第20回	【テーマ】 作品製作(16) 【計画内容】 ブラウス・シャツの型紙の訂正、布に印を付け直す② 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
	第6回	【テーマ】 作品製作(2) 【計画内容】 ブラウス・シャツのデザインと布の選定② 【準備学習の内容】 作品のデザイン、使用する布のプランを練っておくこと。	D	第21回	【テーマ】 作品製作(17) 【計画内容】 見頃、見返しの縫製。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A、D
	第7回	【テーマ】 作品製作(3) 【計画内容】 各自がデザインしたブラウス・シャツの作図① 【準備学習の内容】 テキスト、書籍等で各自のデザインに対応する参考製図を調べておくこと。	A、D	第22回	【テーマ】 作品製作(18) 【計画内容】 ブラウス・シャツの衿の縫製。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A、D
	第8回	【テーマ】 作品製作(4) 【計画内容】 各自がデザインしたブラウス・シャツの作図② 【準備学習の内容】 テキスト、書籍等で各自のデザインに対応する参考製図を調べておくこと。	D	第23回	【テーマ】 作品製作(19) 【計画内容】 ブラウス・シャツの袖の縫製。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A、D
	第9回	【テーマ】 作品製作(5) 【計画内容】 ブラウス・シャツの製図の整理① 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A、D	第24回	【テーマ】 作品製作(20) 【計画内容】 ブラウス・シャツの衿と袖を見頃に付ける① 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A、D
	第10回	【テーマ】 作品製作(6) 【計画内容】 ブラウス・シャツの製図の整理② 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D	第25回	【テーマ】 作品製作(21) 【計画内容】 ブラウス・シャツの衿と袖を見頃に付ける② 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D
	第11回	【テーマ】 作品製作(7) 【計画内容】 ブラウス・シャツの布地の裁断① 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A、D	第26回	【テーマ】 作品製作(22) 【計画内容】 ブラウス・シャツの裾のしまつ、ボタンホール。 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A、D
	第12回	【テーマ】 作品製作(8) 【計画内容】 ブラウス・シャツの布地の裁断② 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D	第27回	【テーマ】 作品製作(23) 【計画内容】 ブラウス・シャツのボタン付け、仕上げ① 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A、D
	第13回	【テーマ】 作品製作(9) 【計画内容】 ブラウス・シャツの印付け① 【準備学習の内容】 配付したプリントを読み理解を深めておく。	A、D	第28回	【テーマ】 作品製作(24) 【計画内容】 ブラウス・シャツのボタン付け、仕上げ② 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。作品を仕上げること。	D
	第14回	【テーマ】 作品製作(10) 【計画内容】 ブラウス・シャツの印付け② 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	D	第29回	【テーマ】 作品提出 【計画内容】 ブラウス・シャツの着用提出。 【準備学習の内容】 出来上がった作品を各自でチェックし、作品提出票に必要事項を記入しておくこと。	D、L
	第15回	【テーマ】 作品製作(11) 【計画内容】 ブラウス・シャツの仮縫い① 【準備学習の内容】 テキストや配付したプリントを読み理解を深めておく。	A、D	第30回	【テーマ】 作品の返却、まとめと振り返り 【計画内容】 作品製作の過程についての復習。提出作品についての講評。 【準備学習の内容】 作品製作の過程をA4のファイル(ポートフォリオ)にまとめておくこと。	A、D、L
テキスト	中村賢二郎、2012年、『SEWING I BLOUSE ONE-PIECE DRESS』、学校法人杉野学園出版部					
参考書	参考プリントを配付します					
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%	30%	
質問への対応	620研究室 E-Mail: tsujim@hokusho-u.ac.jp					
資格						
その他	「服飾造形論」「パターンメイキング基礎」を履修すること。第30回で作品を返却し、学んだ内容を振り返りながら講評します。					

科目名	ファッション造形実習Ⅱ		授業形態	実習	単位数	2
教員名	辻 美恵子					
授業の目的	<p>スカート、パンツに関する製図をはじめ、製作上の基本的な理論や縫製技術を習得する。作品としてスカートとパンツを製作し、時代に適応した衣服製作ができるような実習を行う。</p> <p>(1)スカート、パンツの立体構成の基礎理論を理解し、平面製図が作成できる。  (2)スカート、パンツを製作する縫製技術を習得する。  (3)スカート、パンツのデザイン能力を養う。  (4)スカート、パンツとコーディネートできる応用力を養う。</p>					
授 業 の 目 的	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業の紹介をし、30回の授業展開を説明する。スカートの名称と種類、布の選定について説明する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を一読しておくこと。	A	第16回	【テーマ】 作品スカート:ベルト布の縫製② 【計画内容】 ベルト布の裁断とベルト芯をスカートに付ける。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	D
	第2回	【テーマ】 作品スカート:製図方法について 【計画内容】 スカートの作図方法の説明と実習(5分の1の縮図)。 【準備学習の内容】 テキストで作図方法を予習する。	A、B	第17回	【テーマ】 作品スカート:裾線の仮縫いについて 【計画内容】 裾線仮縫いの方法(床上がり)について説明後、実習する。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D
	第3回	【テーマ】 作品スカート:デザインと布の決定 【計画内容】 作品のデザイン画と布サンプルを準備する。 【準備学習の内容】 製作する作品のデザインを考える。作品のデザイン画と布サンプルを準備する。	A、D	第18回	【テーマ】 作品スカート:裾線の縫製について 【計画内容】 裾の縫い代と始末について説明後、実習する。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D
	第4回	【テーマ】 作品スカート:作図 【計画内容】 各自の採寸、各自のデザインに対応したスカートの作図をする。 【準備学習の内容】 テキストで作図方法を復習する。第1・2回の授業の復習をする。	D	第19回	【テーマ】 作品スカート:アレンジ① 【計画内容】 各自でデザインした手芸、装飾等をスカートに施す。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。装飾等の材料を準備する。	D
	第5回	【テーマ】 作品スカート:型紙整理 【計画内容】 型紙の訂正、基本線の確認。 【準備学習の内容】 各自作品の布を購入する。時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D	第20回	【テーマ】 作品スカート:アレンジ② 【計画内容】 各自でデザインした手芸、装飾等をスカートに施す。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。装飾等の材料を準備する。	D
	第6回	【テーマ】 作品スカート:布地裁断と印付け 【計画内容】 布の地直し、布目の通し方、柄あわせ、縫い代、印付けの説明をする。各自作品の布を裁断し、印付けをする。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D	第21回	【テーマ】 作品スカート:アレンジ③ 【計画内容】 各自でデザインした手芸、装飾等をスカートに施す。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。装飾等の材料を準備する。	D
	第7回	【テーマ】 作品スカート:仮縫いについて① 【計画内容】 仮縫いの組立について、仮縫い用ベルトの作り方を説明する。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D	第22回	【テーマ】 作品スカート:仕上げ・着用提出 【計画内容】 ベルトにカギホック、スナップをつけ、アイロンをかけて仕上げる。 【準備学習の内容】 提出日に間に合うよう作品を仕上げる。	D、L
	第8回	【テーマ】 作品スカート:仮縫いについて② 【計画内容】 各自作品の仮縫いの組立を実習する。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D	第23回	【テーマ】 作品パンツ:製作① 【計画内容】 パンツの作図について。 【準備学習の内容】 各自作品の布を購入する。時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、B
	第9回	【テーマ】 作品スカート:試着・補正について① 【計画内容】 各自の体型に合わせて補正する。型紙の訂正をする。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D	第24回	【テーマ】 作品パンツ:製作② 【計画内容】 製図の整理、布の地直し、布目の通し方、柄あわせ、縫い代、印付けの説明をする。各自作品の布を裁断し、印付けをする。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D
	第10回	【テーマ】 作品スカート:試着・補正について② 【計画内容】 各自の体型に合わせて補正する。型紙の訂正をする。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	D	第25回	【テーマ】 作品パンツ:製作③ 【計画内容】 各自作品の仮縫いの組立を実習する。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D
	第11回	【テーマ】 作品スカート:ダーツの縫製 【計画内容】 ミシンの糸調整の復習、ウエストダーツの縫い方とアイロンの掛け方を実習する。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D、L	第26回	【テーマ】 作品パンツ:製作④ 【計画内容】 作品パンツの試着・補正。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D
	第12回	【テーマ】 作品スカート:基本線(脇線、中心線)の縫製 【計画内容】 基本線の縫製について説明後、実習する。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D	第27回	【テーマ】 作品パンツ:製作⑤ 【計画内容】 パンツの基本線(脇線、股下線、股上線)縫製の説明後、実習する。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D
	第13回	【テーマ】 作品スカート:ファスナーの付け方の縫製① 【計画内容】 スカートのファスナーの付け方を説明後、実習する。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D	第28回	【テーマ】 作品パンツ:ウエストラインの始末 【計画内容】 作品パンツのウエストラインの縫製について説明後、実習する。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D
	第14回	【テーマ】 作品スカート:ファスナーの付け方の縫製② 【計画内容】 スカートにファスナーを付ける。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	D	第29回	【テーマ】 作品パンツ:裾の始末・仕上げ 【計画内容】 作品パンツの裾の縫い代と始末について説明後、実習する。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D
	第15回	【テーマ】 作品スカート:ベルト布の縫製① 【計画内容】 ベルト布の裁断とベルト芯の付け方について説明後、実習する。 【準備学習の内容】 時間内にできなかった課題を仕上げる。	A、D	第30回	【テーマ】 作品パンツの提出と返却、まとめと振り返り。 【計画内容】 着用提出後、縫製の正確さを確認する。提出カードを記入後提出する。 【準備学習の内容】 提出日に間に合うよう作品を仕上げる。作品製作の過程をA4のファイル(ポートフォリオ)にまとめておくこと。	D、L
テキスト	中村賢二郎、2012年、『SEWING II SKIRT PANTS』、学校法人杉野学園出版部					
参考書	プリントを使用します					
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%	30%	
補足						
質問への対応	620研究室 E-Mail: tsujim@hokusho-u.ac.jp					
資格						
その他	「ファッション造形実習Ⅰ」「服飾造形論」「パターンメイキング基礎」を履修済みであることが望ましい。第30回で作品を返却し、学んだ内容を振り返りながら講評します。					

ライオンデザイン学科  
学科専門科目

科目名	アクセサリークラフトA			授業形態	実習	単位数	1
教員名	辻 美恵子						
授業の目的	ねらい	アクセサリークラフトの手法の一つとして刺しゅうを学習する。欧風刺しゅうの基礎技法と装飾技法を実習作品制作を通して習得する。また世界の手芸から伝統的な技法やパターン、配色効果を学ぶ。作品制作から、糸と針による表現を楽しんでほしい。					
	到達目標	(1)刺しゅうの基礎技法を習得する。 (2)刺しゅう糸や刺しゅう布、刺しゅう枠などの用具の扱い方を学ぶ。 (3)手芸を通して伝統的な技法とともに配色効果を学ぶ。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンスとアクセサリークラフトについて 【計画内容】 授業内容を紹介し15回の授業展開を説明します。手芸の種類と歴史を説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】 クロス・ステッチによる作品制作① 【計画内容】 刺しゅう糸の扱い方と刺しゅう針について説明します。小作品の図案を選定します。 【準備学習の内容】 教科書を読み技法の確認をする。刺しゅう針、刺しゅう糸の教材を用意する。					A、D
	第3回	【テーマ】 クロス・ステッチによる作品制作② 【計画内容】 作品の制作。 【準備学習の内容】 時間内にできない場合は、次週までに作品を仕上げること。					D
	第4回	【テーマ】 フランス刺繍による作品制作① 【計画内容】 図案の写し方、刺しゅう枠の扱い方を説明します。刺しゅう技法3種を学びます。 【準備学習の内容】 教科書を読み技法の確認をする。					A、D
	第5回	【テーマ】 フランス刺繍による作品制作② 【計画内容】 作品の制作。 【準備学習の内容】 時間内にできない場合は、次週までに作品を仕上げること。					D
	第6回	【テーマ】 リボン刺しゅうによる作品制作① 【計画内容】 作品の制作。 【準備学習の内容】 教科書を読み技法の確認をする。					A、D
	第7回	【テーマ】 リボン刺しゅうによる作品制作② 【計画内容】 作品の制作。 【準備学習の内容】 時間内にできない場合は、次週までに作品を仕上げること。					D
	第8回	【テーマ】 ビーズ刺しゅうによる作品制作① 【計画内容】 作品の制作。 【準備学習の内容】 教科書を読み技法の確認をする。					A、D
	第9回	【テーマ】 ビーズ刺しゅうによる作品制作② 【計画内容】 作品の制作。 【準備学習の内容】 時間内にできない場合は、次週までに作品を仕上げること。					D
	第10回	【テーマ】 手芸の技法を活かした作品制作① 【計画内容】 デザインを考えます。 【準備学習の内容】 作品制作に必要な参考図書、材料、用具を準備する。					D、L
	第11回	【テーマ】 手芸の技法を活かした作品制作② 【計画内容】 作品の制作。 【準備学習の内容】 提出日までの時間の配分を考え制作すること。					D
	第12回	【テーマ】 手芸の技法を活かした作品制作③ 【計画内容】 作品の制作。 【準備学習の内容】 提出日までの時間の配分を考え制作すること。					D
	第13回	【テーマ】 手芸の技法を活かした作品制作④ 【計画内容】 作品の制作。 【準備学習の内容】 次週に提出できるよう時間配分を考え制作すること。					D
	第14回	【テーマ】 作品の仕上げと提出 【計画内容】 提出カードを添付して作品を提出します。 【準備学習の内容】 提出できるよう時間配分を考え制作すること。					D、L
	第15回	【テーマ】 提出作品について 【計画内容】 作品制作の過程についての復習。提出作品についての講評。 【準備学習の内容】 作品制作の過程をA4のファイル(ポートフォリオ)にまとめておく。					A、D、L
テキスト	プリントを使用します						
参考書	新星出版社編集部、2018年、『刺しゅうの教科書』、新星出版社						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				70%	30%	
補足							
質問への対応	620研究室 E-Mail: tsujim@hokusho-u.ac.jp						
資格							
その他	第15回で作品を返却し、学んだ内容を振り返りながら講評をします。						

科目名	アパレルCAD				授業形態	実習	単位数	1
教員名	富田 玲子							
授業の目的	ねらい	コンピュータを使って、被服パターン設計を学ぶ。アパレル企業におけるパタンナーの職務内容が、CADを活用する現状に合わせてCAD操作を学習する。基礎となる被服パターンの作図法を実践しながらCADの基礎操作をマスターする。						
	到達目標	(1)コンピュータ作業の流れが理解できる。 (2)CADの操作が習得できる。 (3)衣服の多様なパターンを展開することができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス CADの基本操作1 【計画内容】 授業内容と授業展開について説明。CAD基本操作について学ぶ。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおく。					B	
	第2回	【テーマ】 CADの基本操作2 パターンメイキング(1) 【計画内容】 CADの基本操作をさらに学ぶ。「原型の後見頃」の作図。 【準備学習の内容】 配付したプリントの内容を確認しておく。					B	
	第3回	【テーマ】 パターンメイキング(1) 【計画内容】 「原型前身頃」を作成し、管理表を提出。 【準備学習の内容】 配付したプリントの内容を確認しておく。					B	
	第4回	【テーマ】 パターンメイキング(1) 【計画内容】 パターンのパーツ化、パーツ情報の設定、縫い代付け、管理表出力を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントの内容を確認しておく。					B	
	第5回	【テーマ】 パターンメイキング(1) 【計画内容】 第3～4回目で修得した「原型」を完成し、管理表で提出。 【準備学習の内容】 配付したプリントの内容を確認しておく。					B	
	第6回	【テーマ】 パターンメイキング(2) 【計画内容】 「ベスト(囲み製図)」の作図。 【準備学習の内容】 配付したプリントの内容を確認しておく。					B	
	第7回	【テーマ】 パターンメイキング(2) 【計画内容】 ベストのパーツ化、パーツ情報の設定、縫い代付け、管理表提出。 【準備学習の内容】 ベストを完成し、管理表で提出。					B	
	第8回	【テーマ】 デジタイザーの扱い方 【計画内容】 デジタイザーで既存のパターン入力方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付したプリントの内容を確認しておく。					B	
	第9回	【テーマ】 パターンメイキング(3) 【計画内容】 「シャツ」の作図。既存のパターンからデザイン展開する。 【準備学習の内容】 配付したプリントの内容を確認しておく。					B	
	第10回	【テーマ】 パターンメイキング(3) 【計画内容】 「シャツ」の作図。既存のパターンからデザイン展開する。 【準備学習の内容】 配付したプリントの内容を確認しておく。					B	
	第11回	【テーマ】 パターンメイキング(3) 【計画内容】 「シャツ」の作図。既存のパターンからデザイン展開する。完成し、管理表を提出。 【準備学習の内容】 配付したプリントの内容を確認しておく。					B	
	第12回	【テーマ】 パターンメイキング(4) 【計画内容】 自由課題。 【準備学習の内容】 テキスト、書籍等で自由課題に対応する参考図書を調べておくこと。					B	
	第13回	【テーマ】 パターンメイキング(4) 【計画内容】 自由課題。 【準備学習の内容】 テキスト、書籍等で自由課題に対応する参考図書を調べておくこと。					B	
	第14回	【テーマ】 プロッターの扱い方 【計画内容】 プロッターでパターンを出力する。 【準備学習の内容】 配付したプリントの内容を確認しておく。					B	
	第15回	【テーマ】 マーキングの方法について 【計画内容】 マーキングについて学ぶ。授業内容についてまとめを行う。 【準備学習の内容】 マーキングするパターンの整理をしておく。課題提出。					B	
テキスト	プリントを使用します							
参考書	講義内で紹介します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			70%		30%		
補足				平時		平時		
質問への対応	640研究室 E-Mail:reiko@hokusho-u.ac.jp							
資格								
その他	「パターンメイキング基礎」を受講することで、より製図能力が高まります。人数制限12名までとします。							

科目名	染色		授業形態	実習	単位数	1		
教員名	米坂 豊樹							
授業の目的	ねらい	染色工芸の基礎知識及び基礎技法(型染め・ろうけつ染め)を学び、日常生活を彩るような作品を試作し、実習を通して染色の楽しさを知る事を目指しています。						
	到達目標	(1)染色工芸の基礎技法(型染め・ろうけつ染め)を理解習得する。 (2)染色の基礎知識(素材・染料他)を学ぶ。 (3)世界で1枚だけの創造的な布を染める。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 染色の話を中心に授業の内容を紹介し、15回の授業展開を説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を理解して下さい。						A、E
	第2回	【テーマ】 型染め技法解説・図案の理解 【計画内容】 伝統的な図案を用い型染め技法で布に柄を染めます。 【準備学習の内容】 基本的な型彫りの技法を理解します。						E
	第3回	【テーマ】 型紙制作・型彫り練習 【計画内容】 型紙を使って型彫りの練習をします。 【準備学習の内容】 型彫りを始めます。						E
	第4回	【テーマ】 型彫り 【計画内容】 型彫りを完成させます。 【準備学習の内容】 次週は糊置きをしますので、次週までに型彫りを完成させます。						E
	第5回	【テーマ】 糊置き・乾燥 【計画内容】 型を布に当て、糊を置きます。 【準備学習の内容】 次週の染色作業までに糊置きを完成させます。						E
	第6回	【テーマ】 染色 【計画内容】 浸染技法で、布を染色します。 【準備学習の内容】 ろうけつ染めのためのデザインを考えます。						E
	第7回	【テーマ】 ろうけつ染め技法解説・図案作成 【計画内容】 ハンカチを、ろうけつ染め技法で染めます。染めてみたい図柄を考えます。 【準備学習の内容】 次週までにデザインを考えます。						E
	第8回	【テーマ】 試し染め 【計画内容】 練習用の布に、蠟描き、染色の練習をします。 【準備学習の内容】 本染めをしますので、次週までにデザインを完成させます。						E
	第9回	【テーマ】 本染め・蠟描き 【計画内容】 ハンカチに蠟描きをします。 【準備学習の内容】 次週の色差し作業までに蠟描き作業をすすめておきます。						E
	第10回	【テーマ】 本染め・蠟描き・色差し 【計画内容】 蠟描きをした後、色差しをします。 【準備学習の内容】 次週の色差し作業までに蠟描き作業をすすめておきます。						E
	第11回	【テーマ】 本染め・蠟描き・色差し 【計画内容】 蠟描きをした後、色差しをします。 【準備学習の内容】 次週の蠟伏せ作業までに色差しを完成させます。						E
	第12回	【テーマ】 色差し・蠟伏せ 【計画内容】 地染めをする前に蠟伏せをします。 【準備学習の内容】 次週の地染め作業までに蠟伏せを完成させます。						E
	第13回	【テーマ】 地染め・乾燥 【計画内容】 地色を染めます。 【準備学習の内容】 次週の脱蠟作業までに地染めを完成させます。						E
	第14回	【テーマ】 脱蠟・乾燥・完成 【計画内容】 蠟を落とし、染料を定着し、乾燥。 【準備学習の内容】 次週の脱蠟作業までに地染めを完成させます。						E
	第15回	【テーマ】 脱蠟・乾燥・完成 まとめと確認 【計画内容】 蠟を落とし、染料を定着し、乾燥。 【準備学習の内容】 脱蠟・乾燥作業をすすめておきます。						E
テキスト	プリントを使用します							
参考書	プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分				80%	20%		
補足								
質問への対応	その都度授業中に対応します。							
資格								
その他								

科目名	ミュージカル研究					授業形態	実習	単位数	1
教員名	田 光子、平井 伸之、村松 幹男、竹内 聡実								
授業の目的	<p>わらわらい 【計画内容】 ミュージカルについて学ぶ。歴史的側面、現在の状況、商業的側面について概観する。また、フラッシュモブを企画したり、短い(5分~10分程度)ミュージカル作品を制作し発表する。</p> <p>【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。</p> <p>【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業の進め方について説明をする。ダンスの復習。(田光子・平井伸之・村松幹男) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。</p> <p>【テーマ】 ミュージカルの歴史 【計画内容】 ミュージカルの歴史について概観する。(田光子) 【準備学習の内容】 プリントを読んでおくこと。</p> <p>【テーマ】 ミュージカルの現状・商業的側面 【計画内容】 ブロードウェイやウェストエンドで行われているミュージカルの制作方法について学ぶ。(村松幹男) 【準備学習の内容】 プリントを読んでおくこと。</p> <p>【テーマ】 ミュージカル鑑賞① 【計画内容】 DVDでミュージカルを鑑賞する。(平井伸之) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。</p> <p>【テーマ】 ミュージカル鑑賞② 【計画内容】 DVDでミュージカルを鑑賞する。(田光子) 【準備学習の内容】 前回のミュージカル鑑賞のレポートを書くこと。</p> <p>【テーマ】 ミュージカル作品の企画① 【計画内容】 ミュージカル作品の企画を行う。テーマ分け、ストーリー創作、曲の選定。(全教員) 【準備学習の内容】 前回のミュージカル鑑賞のレポートを書くこと。企画の草案を考えてくること。</p> <p>【テーマ】 ミュージカル作品の企画② 【計画内容】 ミュージカル作品の企画を行う。テーマ分け、ストーリー創作、曲の選定。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 企画案を考えてくること。</p> <p>【テーマ】 ミュージカル作品制作① 【計画内容】 作品づくり。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。</p> <p>【テーマ】 ミュージカル作品制作② 【計画内容】 作品づくり。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 稽古をしてくること。</p> <p>【テーマ】 ミュージカル作品制作③ 【計画内容】 作品づくり。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 稽古をしてくること。</p> <p>【テーマ】 ミュージカル作品制作④ 【計画内容】 作品づくり。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 稽古をしてくること。</p> <p>【テーマ】 ミュージカル作品制作⑤ 【計画内容】 作品づくり。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 稽古をしてくること。</p> <p>【テーマ】 ミュージカル作品制作⑥ 【計画内容】 作品づくりの総まとめを行う。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 稽古をしてくること。</p> <p>【テーマ】 最終発表 【計画内容】 作品の最終発表を行う。(全教員) 【準備学習の内容】 発表に向けた準備をしておくこと。</p> <p>【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 発表のDVDを見て、振り返りと講評を行う。(田光子) 【準備学習の内容】 最終発表のレポートを書くこと。資料を読んでおくこと。</p>								
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業の進め方について説明をする。ダンスの復習。(田光子・平井伸之・村松幹男) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。	A						
	第2回	【テーマ】 ミュージカルの歴史 【計画内容】 ミュージカルの歴史について概観する。(田光子) 【準備学習の内容】 プリントを読んでおくこと。	A						
	第3回	【テーマ】 ミュージカルの現状・商業的側面 【計画内容】 ブロードウェイやウェストエンドで行われているミュージカルの制作方法について学ぶ。(村松幹男) 【準備学習の内容】 プリントを読んでおくこと。	A						
	第4回	【テーマ】 ミュージカル鑑賞① 【計画内容】 DVDでミュージカルを鑑賞する。(平井伸之) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。	B						
	第5回	【テーマ】 ミュージカル鑑賞② 【計画内容】 DVDでミュージカルを鑑賞する。(田光子) 【準備学習の内容】 前回のミュージカル鑑賞のレポートを書くこと。	B						
	第6回	【テーマ】 ミュージカル作品の企画① 【計画内容】 ミュージカル作品の企画を行う。テーマ分け、ストーリー創作、曲の選定。(全教員) 【準備学習の内容】 前回のミュージカル鑑賞のレポートを書くこと。企画の草案を考えてくること。	D、E、H						
	第7回	【テーマ】 ミュージカル作品の企画② 【計画内容】 ミュージカル作品の企画を行う。テーマ分け、ストーリー創作、曲の選定。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 企画案を考えてくること。	D、E、H						
	第8回	【テーマ】 ミュージカル作品制作① 【計画内容】 作品づくり。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。	D、E、H						
	第9回	【テーマ】 ミュージカル作品制作② 【計画内容】 作品づくり。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 稽古をしてくること。	D、E、H						
	第10回	【テーマ】 ミュージカル作品制作③ 【計画内容】 作品づくり。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 稽古をしてくること。	D、E、H						
	第11回	【テーマ】 ミュージカル作品制作④ 【計画内容】 作品づくり。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 稽古をしてくること。	D、E、H						
	第12回	【テーマ】 ミュージカル作品制作⑤ 【計画内容】 作品づくり。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 稽古をしてくること。	D、E、H						
	第13回	【テーマ】 ミュージカル作品制作⑥ 【計画内容】 作品づくりの総まとめを行う。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 稽古をしてくること。	D、E、H						
	第14回	【テーマ】 最終発表 【計画内容】 作品の最終発表を行う。(全教員) 【準備学習の内容】 発表に向けた準備をしておくこと。	D、E、H						
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 発表のDVDを見て、振り返りと講評を行う。(田光子) 【準備学習の内容】 最終発表のレポートを書くこと。資料を読んでおくこと。	L						
テキスト	講義時に説明します								
参考書	講義時に説明します								
成績評価の方法	配分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	補足			50%		50%			
質問への対応	講義時に説明します。								
資格									
その他	<p>講義中に必ずダンスも行っているので、動きやすい服装で参加すること。</p> <p>履修状況で内容が変わることがあります。オリエンテーション時に説明します。</p> <p>1年前学期の「ダンス」を履修していることが望ましい。「ダンス」を履修していない学生は、授業外での一層の努力を期待します。</p> <p>第15回で最終発表のDVDを見て振り返りと講評を行います。</p>								

科目名	ダンス			授業形態	実技	単位数	1
教員名	村松 幹男、田 光子、平井 伸之、竹内 聡実						
授業の目的	ねらい	ダンスを通して、コミュニケーションや表現することについて考察する。 主に、ヒップホップ、ジャズダンスなど、集団で踊ることを中心に行いその基本的な動きを習得する。 なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置つけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、舞台芸術製作の俳優分野を「俳優トレーニング」、「ダンス」で、スタッフ分野を大学は「スタッフワーク」、短大は「演劇入門Ⅰ」で担い、基本的な知識・技能の習得をめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。					
	到達目標	(1)ヒップホップ、ジャズダンスの基本的な動きを習得する。 (2)ダンス表現について考えることができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業の進め方について学ぶ。ウォーミングアップの方法を学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。					A、E
	第2回	【テーマ】 ダンス(ヒップホップ・ジャズ)の基本的な動き① 【計画内容】 ダンスの基本的な動きについて学ぶ。(田光子・竹内聡実) 【準備学習の内容】 プリントを読んでおくこと。					E
	第3回	【テーマ】 ダンス(ヒップホップ・ジャズ)の基本的な動き② 【計画内容】 ダンスの基本的な動きについて学ぶ。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。					E
	第4回	【テーマ】 ダンスの歴史とジャンル① 【計画内容】 ダンスの歴史を概観し、それぞれのジャンルの特徴を学ぶ。(田光子・平井伸之) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。					A、H
	第5回	【テーマ】 ダンスの歴史とジャンル② 【計画内容】 ダンスの歴史を概観し、それぞれのジャンルの特徴を学ぶ。(田光子・村松幹男) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。					A、H
	第6回	【テーマ】 ジャズダンス① 【計画内容】 ジャズダンスの基本的な動きを学び、集団で表現する。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。					E
	第7回	【テーマ】 ジャズダンス② 【計画内容】 ジャズダンスの基本的な動きを学び、集団で表現する。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。					E
	第8回	【テーマ】 ヒップホップ① 【計画内容】 ヒップホップの基本的な動きを学び、集団で表現する。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。					E
	第9回	【テーマ】 ヒップホップ② 【計画内容】 ヒップホップの基本的な動きを学び、集団で表現する。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。					E
	第10回	【テーマ】 即興について 【計画内容】 即興について学ぶ。即興による他者との交流について体感する。(田光子・平井伸之・村松幹男) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。					B、E、H
	第11回	【テーマ】 作品づくり① 【計画内容】 集団で踊るダンス作品を創作する(構想、企画)。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。					B、E、H
	第12回	【テーマ】 作品づくり② 【計画内容】 集団で踊るダンス作品を創作する(具体的な振り付け)。(田光子) 【準備学習の内容】 具体的な振り付けを事前に考えてくること。					B、E、H
	第13回	【テーマ】 作品づくり③ 【計画内容】 集団で踊るダンス作品を創作する(作品の仕上げに向けて)。(竹内聡実) 【準備学習の内容】 練習しておくこと。					B、E、H
	第14回	【テーマ】 作品の発表 【計画内容】 発表と振り返り。講評。(平井伸之・村松幹男・竹内聡実) 【準備学習の内容】 発表に向けた準備をしておくこと。					B、E、H
	第15回	【テーマ】 振り返りと確認 【計画内容】 作品の修正発表と、授業のまとめ。(田光子) 【準備学習の内容】 修正発表に向けた準備をしておくこと。					L
テキスト	講義時に説明します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 補足	30%	30%	10%		30%	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格							
その他	俳優分野を学ぶ「俳優トレーニング」、「ダンス」そしてスタッフ分野を学ぶ「スタッフワーク」(大学生)、「演劇入門Ⅰ」(短期大学部生)は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完の関係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。北方圏学術情報センターにおける被験授業である。課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。						

科目名	声優トレーニング		授業形態	実習	単位数	1	
教員名	平井 伸之、村松 幹男、小林 なるみ						
授業の目的	ねらい	声優にとって必要な、呼吸法、発声法について学ぶ。この授業は2年前学期の「ラジオ・ドラマ製作」と連動している。後半では、10分程度のラジオドラマのシナリオをもとに、実際に声優として録音し、声優のスキルを学ぶ。なお、2年前学期の「ラジオ・ドラマ製作」では、本格的なスタジオでの録音によるラジオドラマ製作を行う。					
	到達目標	(1)呼吸法について理解している。 (2)発声法について理解している。 (3)声を利用した表現ができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業の進め方について説明する。(平井伸之・村松幹男) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。	A				
	第2回	【テーマ】 呼吸法・発声法① 【計画内容】 基本的な呼吸法、発声法について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 プリントを読んでおくこと。	E				
	第3回	【テーマ】 呼吸法・発声法② 【計画内容】 基本的な呼吸法、発声法について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。	E				
	第4回	【テーマ】 呼吸法・発声法③ 【計画内容】 基本的な呼吸法、発声法について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。	E				
	第5回	【テーマ】 呼吸法・発声法④ 【計画内容】 基本的な呼吸法、発声法について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。	E				
	第6回	【テーマ】 シナリオを読む① 【計画内容】 ラジオドラマのシナリオを読み、シナリオの理解、表現方法、音響効果等について学ぶ。(平井伸之・村松幹男) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。	D、E				
	第7回	【テーマ】 シナリオを読む② 【計画内容】 ラジオドラマのシナリオを読み、シナリオの理解、表現方法、音響効果等について学ぶ。(平井伸之・村松幹男) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。	D、E				
	第8回	【テーマ】 シナリオの検討① 【計画内容】 録音するシナリオについて、内容理解、表現方法、音響効果等について検討する。(平井伸之・村松幹男) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。	B、D、H				
	第9回	【テーマ】 シナリオの検討② 【計画内容】 録音するシナリオについて、内容理解、表現方法、音響効果等について検討する。(平井伸之・村松幹男) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。	B、D、H				
	第10回	【テーマ】 録音① 【計画内容】 学内で実際に録音してみる。録音したものを聞いて、互いに評価し、改善策について検討する。(全教員) 【準備学習の内容】 録音ができるよう準備をしておくこと。	B、D、H				
	第11回	【テーマ】 録音② 【計画内容】 学内で実際に録音してみる。録音したものを聞いて、互いに評価し、改善策について検討する。(全教員) 【準備学習の内容】 録音ができるよう準備をしておくこと。	B、D、H				
	第12回	【テーマ】 録音③ 【計画内容】 学内で実際に録音してみる。録音したものを聞いて、互いに評価し、改善策について検討する。(全教員) 【準備学習の内容】 録音ができるよう準備をしておくこと。	B、D、H				
	第13回	【テーマ】 編集① 【計画内容】 録音したものに、音楽や効果音を加える編集作業を行う。(平井伸之・村松幹男) 【準備学習の内容】 音楽や効果音を準備しておくこと。	B、D、H				
	第14回	【テーマ】 編集② 【計画内容】 録音したものに、音楽や効果音を加える編集作業を行い、作品として提出する。(平井伸之・村松幹男) 【準備学習の内容】 音楽や効果音を準備しておくこと。	B、D、H				
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 CD化した完成作品を聞いてみる。互いに評価し、講評を行う。(全教員) 【準備学習の内容】 最終作品をCD化しておくこと。	B、D、H、L				
テキスト	プリントを配付します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				50%	40%	10%
補足							役割の評価
質問への対応	講義時に説明します。						
資格							
その他	動きやすい服装で参加すること。 履修者によって内容が変わる場合があります。オリエンテーション時に説明します。 第15回でCD化した完成作品を聞き、振り返りと講評を行います。						

科目名	俳優トレーニング		授業形態	実習	単位数	1	
教員名	平井 伸之、村松 幹男						
授業の目的	ねらい	俳優にとって必要なトレーニング(呼吸法、発声法、筋力、柔軟、感情表現など)について理論と実践を学ぶ。また、インプロビゼーションやシーンレッスンなどを行う。 なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、舞台芸術製作の俳優分野を「俳優トレーニング」、「ダンス」で、スタッフ分野を大学は「スタッフワーク」、短大は「演劇入門Ⅰ」で担い、基本的な知識・技能の習得をめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。					
	到達目標	(1)呼吸法についての基本的な理解がある。 (2)発声法についての基本的な理解がある。 (3)体幹トレーニング、ストレッチに関して基本的な理解がある。 (4)感情表現について基本的な理解がある。 (5)インプロビゼーションの基本的なゲームについて理解している。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業の進め方について説明する。(全教員) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。				A	
	第2回	【テーマ】 呼吸法について・発声法について① 【計画内容】 呼吸法、発声法について学ぶ。またリラクゼーションについても学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 プリントを読んでおくこと。				E	
	第3回	【テーマ】 呼吸法について・発声法について② 【計画内容】 呼吸法、発声法について学ぶ。またリラクゼーションについても学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。				E	
	第4回	【テーマ】 体幹トレーニング 【計画内容】 体幹トレーニング(ピラティス-臨時講師を招く予定-)について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。				E	
	第5回	【テーマ】 体幹トレーニング・ストレッチ① 【計画内容】 体幹トレーニングの復習、動的・静的ストレッチについて学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。				E	
	第6回	【テーマ】 体幹トレーニング・ストレッチ② 【計画内容】 体幹トレーニング、動的・静的ストレッチについて学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。				E	
	第7回	【テーマ】 体幹トレーニング・ストレッチ③ 【計画内容】 体幹トレーニング、動的・静的ストレッチについて学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。				E	
	第8回	【テーマ】 トレーニングプランの作成 【計画内容】 自分自身のトレーニングプランを作成する。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。				B	
	第9回	【テーマ】 器具を使ったトレーニング① 【計画内容】 バランスボール、ロープを使ったトレーニングについて体験する。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。				E	
	第10回	【テーマ】 器具を使ったトレーニング② 【計画内容】 バランスボール、ロープを使ったトレーニングについて体験する。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。				E	
	第11回	【テーマ】 インプロビゼーション① 【計画内容】 インプロビゼーションの基本的なゲームについて学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。				D、E、H	
	第12回	【テーマ】 インプロビゼーション② 【計画内容】 インプロビゼーションの基本的なゲームについて学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。				D、E、H	
	第13回	【テーマ】 シーンレッスン① 【計画内容】 短いシーンを実際に演じ、感情表現、他者との関係性について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。				D、E、H	
	第14回	【テーマ】 シーンレッスン② 【計画内容】 短いシーンを実際に演じ、感情表現、他者との関係性について学ぶ。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。				D、E、H	
	第15回	【テーマ】 振り返りと確認 【計画内容】 俳優にとって必要なトレーニングについてまとめる。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の復習をしておくこと。				L	
テキスト	プリントを使用します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足	30%	30%	10%		30%	
質問への対応	講義時に説明します。						
資格							
その他	俳優分野を学ぶ「俳優トレーニング」、「ダンス」そしてスタッフ分野を学ぶ「スタッフワーク」(大学生)、「演劇入門Ⅰ」(短期大学部生)は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的關係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 北方圏学術情報センターにおける被験授業である。 課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。						

科目名	アクティング				授業形態	演習	単位数	2	
教員名	平井 伸之、村松 幹男								
授業の目的	ねらい	身体を使った表現について学ぶ。同時にゲーム等を利用した、コミュニケーションを円滑にするための方法論を学ぶ。特に、インプロヴィゼーション(インプロ)を通して、相手のアイデアを受け入れ、そのアイデアに新たなアイデアを付加していく積極性を身につける。詩の朗読や演劇におけるエチュード(本講ではシーンレッスンと呼んでいる)も行う。各回のテーマを行いつつ、並行してメソッドについても触れ、「演じるとはどのようなことか」ということも同時に考えていく。							
	到達目標	(1)インプロヴィゼーションの真髓を理解し、実際に演じることができる。 (2)詩の朗読やエチュード(シーンレッスン)を通して演じるとはどのようなことか考察する。 (3)演技の奥深さを実感する。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 15回の講義の説明をする。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。							A
	第2回	【テーマ】 インプロヴィゼーション1 【計画内容】 インプロヴィゼーションの真髓について説明する。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 プリントを読んでおくこと。							B、H
	第3回	【テーマ】 インプロヴィゼーション2 【計画内容】 主に二人で行うインプロヴィゼーションの入門的ゲームを学ぶ。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解しておくこと。							B、H
	第4回	【テーマ】 インプロヴィゼーション3 【計画内容】 主に二人で行うインプロヴィゼーションの入門的ゲームを学ぶ。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。							B、H
	第5回	【テーマ】 インプロヴィゼーション4 【計画内容】 主に二人で行うインプロヴィゼーションの入門的ゲームを学ぶ。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。							B、H
	第6回	【テーマ】 インプロヴィゼーション5 【計画内容】 三人によるインプロヴィゼーションをやってみる。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。							B、H
	第7回	【テーマ】 インプロヴィゼーション6 【計画内容】 四人以上のインプロヴィゼーションをやってみる。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。							B、H
	第8回	【テーマ】 詩の朗読1 【計画内容】 表現としての詩の朗読を試みる。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 稽古しておくこと。							B、H
	第9回	【テーマ】 詩の朗読2 【計画内容】 表現としての詩の朗読を試みる。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 稽古しておくこと。							B、H
	第10回	【テーマ】 詩の朗読3 【計画内容】 表現としての詩の朗読を試みる。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 稽古しておくこと。							B、H
	第11回	【テーマ】 シーンレッスン1 【計画内容】 シーンレッスンについて説明し、実際に行ってみる。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。							B、H
	第12回	【テーマ】 シーンレッスン2 【計画内容】 シーンレッスンを実際に行う。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。							B、H
	第13回	【テーマ】 シーンレッスン3 【計画内容】 シーンレッスンを実際に行う。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。							B、H
	第14回	【テーマ】 シーンレッスン4 【計画内容】 シーンレッスンを実際に行う。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。							B、H
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 インプロヴィゼーション、詩の朗読、シーンレッスンなど表現するとはどのようなことか考える。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 配付したプリントをよく読んでおくこと。							B、H、L
テキスト	プリントを使用します								
参考書	講義時に説明します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			20%		50%	30%		
	補足						インプロの参加		
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。								
資格									
その他	身体を動かすので、動きやすい格好で参加すること。 第15回で配付資料を基にして振り返り、表現するということについてまとめを行う。								

科目名	バックステージ		授業形態	演習	単位数	2						
教員名	村松 幹男、田 光子、平井 伸之、鈴木 静悟、相馬 寛之、富井 昭次、服部 正巳、福田 恭一、藤原 宏行、百瀬 俊介											
授業の目的	ねらい	演劇を中心とした舞台芸術に関わるバックステージスタッフに必要な資質を養成する。単なる知識の習得では実際には何の役にも立たない。それらの知識をどのように具現化するか、その実践はある意味では知識の習得以上に重要なことである。知識の習得、実践、新たな知識の習得、実践というサイクルを通してバックステージスタッフに必要な資質を養成していく。5分間ストーリーと呼ばれる短い芝居を実際に公演して、そのことを実現する。なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置つけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、「演劇入門Ⅱ」、「舞台衣装(含むメイク・ヘアメイク)」、「バックステージ」で舞台芸術製作の俳優分野、スタッフ分野の基本的な知識・技能の習得を前学期より発展させた形でめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。										
	到達目標	(1)照明・音響・衣装・メイク・装置美術などバックステージについての知識がある。 (2)照明・音響などの機材を適切に素早く取り扱うことができる。 (3)知識や技能を実際の公演で利用することができる。 (4)電動道具を安全に使うことができる。										
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション・5分間ストーリー1 ① 【計画内容】 授業の展開について説明する。また、5分間ストーリーの台本を渡し、チーム分けをする。(全教員) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。				B、E、H						
	第2回	【テーマ】 5分間ストーリー1 ② 【計画内容】 チームに分かれ、5分間ストーリーの台本をもとに、バックステージに関するプランニングや稽古を行う。 (鈴木静吾・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 「バックステージナレッジ」を読んでおくこと。				B、E、H						
	第3回	【テーマ】 5分間ストーリー1 ③ 【計画内容】 チームに分かれ、5分間ストーリーの台本をもとに、バックステージに関するプランニングや稽古を行う。照明・音響の仕込み図についても学ぶ。(鈴木静吾・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解すると同時に次回に向けてそれぞれが準備すること。				B、E、H						
	第4回	【テーマ】 5分間ストーリー1 ④ 【計画内容】 チームごとに仕込みを行い、テクニカルリハーサルを行って、発表の準備をする。(鈴木静吾・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解すると同時に次回に向けてそれぞれが準備すること。				B、E、H						
	第5回	【テーマ】 5分間ストーリー1 ⑤ 【計画内容】 チームごとに仕込みを行い、テクニカルリハーサルを行って、発表の準備をする。(鈴木静吾・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解すると同時に次回に向けてそれぞれが準備すること。				B、E、H						
	第6回	【テーマ】 5分間ストーリー1 ⑥ 【計画内容】 チームごとに発表を行う。その後、相互に講評を行い、その後チームごとに分かれて修正点を話し合い、修正発表のための準備を行う。(村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静吾・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解すると同時に次回に向けてそれぞれが準備すること。				E、H、L						
	第7回	【テーマ】 5分間ストーリー1 ⑦ 【計画内容】 修正点をもとにしてプランを修正し、稽古した後、チームごとに仕込みを行い、テクニカルリハーサルを行って、修正発表の準備をする。(鈴木静吾・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解すると同時に次回に向けてそれぞれが準備すること。				E、H、L						
	第8回	【テーマ】 5分間ストーリー1 ⑧ 【計画内容】 チームごとに修正発表を行う。その後、相互に講評を行う。 (村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静吾・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解すると同時に次回に向けてそれぞれが準備すること。				H、L						
	第9回	【テーマ】 5分間ストーリー2 ① 【計画内容】 5分間ストーリー2の台本を渡し、チームに分かれ、5分間ストーリーの台本をもとに、バックステージに関するプランニングや稽古を行う。(鈴木静吾・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解すると同時に次回に向けてそれぞれが準備すること。				B、E、H						
	第10回	【テーマ】 5分間ストーリー2 ② 【計画内容】 チームに分かれ、5分間ストーリーの台本をもとに、バックステージに関するプランニングや稽古を行う。 (鈴木静吾・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解すると同時に次回に向けてそれぞれが準備すること。				B、E、H						
	第11回	【テーマ】 5分間ストーリー2 ③ 【計画内容】 チームごとに仕込みを行う。(鈴木静吾・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解すると同時に次回に向けてそれぞれが準備すること。				B、E、H						
	第12回	【テーマ】 5分間ストーリー2 ④ 【計画内容】 チームごとにテクニカルリハーサルを行って、発表する。(鈴木静吾・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解すると同時に次回に向けてそれぞれが準備すること。				B、E、H						
	第13回	【テーマ】 5分間ストーリー2 ⑤ 【計画内容】 チームごとに発表を行う。その後、相互に講評を行い、その後チームごとに分かれて修正点を話し合う。 (村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静吾・相馬寛之・服部正巳・百瀬俊介) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解すると同時に次回に向けてそれぞれが準備すること。				E、H、L						
	第14回	【テーマ】 定期公演準備 【計画内容】 定期公演に関して、台本の選定を行い、台本の読みや装置・美術・衣装・メイク・制作等についての計画を行う。 (村松幹男・福田恭一・藤原宏行) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解すると同時に次回に向けてそれぞれが準備すること。				B、H						
	第15回	【テーマ】 振り返りと確認 【計画内容】 この授業を振り返る。(田光子・平井伸之・富井昭次・福田恭一・藤原宏行) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解すると同時に次回に向けてそれぞれが準備すること。				B、H						
テキスト	講義時に説明します											
参考書	講義時に説明します											
成績評価の方法	筆記試験	30%	実技試験	30%	課題評価	10%	作品評価	10%	受講態度	30%	その他	
	配補	分足			レポート							
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。											
資格												
その他	第16回に筆記試験と実技試験を行う。 「演劇入門Ⅱ」、「舞台衣装(含むメイク・ヘアメイク)」、「バックステージ」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的關係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 本授業は北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。 課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。											

ライフデザイン学科  
専門科目

科目名	舞台衣装(メイク・ヘアメイクを含む)				授業形態	演習	単位数	2
教員名	藤原 宏行							
授業の目的	ねらい	舞台における衣装、ヘアメイクの役割の理解や基本的技能の習得を実習を通して学ぶ。そして、学んだことを定期公演等に活かす。なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置つけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、「演劇入門Ⅱ」、「舞台衣装(含むメイク・ヘアメイク)」、「バックステージ」で舞台芸術製作の俳優分野、スタッフ分野の基本的な知識・技能の習得を前学期より発展させた形でめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。						
	到達目標	(1)メイクの方法論を理解し、道具を適切に使用することができる。 (2)特殊メイクについて理解し、実際に行うことができる。 (3)舞台衣装・メイク・ヘアメイクに関して、その役割を理解し、実際にプランを立てることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の紹介をする。 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】メイク・ヘアメイクの基礎① 【計画内容】自分の顔やヘアーについて分析し、その構造を理解する。 【準備学習の内容】前回の内容を理解しておくこと。						B
	第3回	【テーマ】メイク・ヘアメイクの基礎② 【計画内容】老け役について。老けているというのはどういうことかを考え、衣装・ヘアメイクにそれを適用することを学ぶ。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。						B、E
	第4回	【テーマ】メイク・ヘアメイクの基礎③ 【計画内容】男装、女装について。男らしさ、女らしさとはどういうことかを考え、衣装・ヘアメイクにそれを適用することを学ぶ。また、ヘアーかつらの付け方や作り方の基本を学ぶ。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。						B、E
	第5回	【テーマ】メイク・ヘアメイクの基礎④ 【計画内容】和装について。和装の衣装、ヘアメイクについて学ぶ。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。						B
	第6回	【テーマ】メイク・ヘアメイクの基礎⑤ 【計画内容】歌舞伎について。歌舞伎の衣装、ヘアメイクの特徴について説明する。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。						B
	第7回	【テーマ】メイク・ヘアメイクの基礎⑥ 【計画内容】ピエロなどの変身について。ピエロを例に変身について考える。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。						B、E
	第8回	【テーマ】特殊メイクの基礎① 【計画内容】傷、ヤケドなどの特殊メイクに必要な道具や方法論を学ぶ。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。						B、E
	第9回	【テーマ】特殊メイクの基礎② 【計画内容】傷、ヤケドなどの特殊メイクに必要な道具や方法論を学ぶ。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。						B、E
	第10回	【テーマ】舞台衣装 【計画内容】様々な舞台衣装を紹介し、舞台衣装とはどういうものなのかを考える。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。						B
	第11回	【テーマ】舞台衣装・メイクのとらえ方とその役割① 【計画内容】舞台衣装・メイクとはどういうものなのか、実際の公演に際してどのような役割を担っているかということを知る。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。						B
	第12回	【テーマ】舞台衣装・メイクのとらえ方とその役割② 【計画内容】舞台衣装・メイクとはどういうものなのか、実際の公演に際してどのような役割を担っているかということを知る。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。						B
	第13回	【テーマ】舞台衣装・メイクプランのたて方とその表現方法① 【計画内容】台本から、演出プランから、舞台衣装・メイクをどのようにプランだてするのか、そしてどのように表現するのかということを知る。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。						B
	第14回	【テーマ】舞台衣装・メイクプランのたて方とその表現方法② 【計画内容】台本から、演出プランから、舞台衣装・メイクをどのようにプランだてするのか、そしてどのように表現するのかということを知る。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。						B
	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】この授業を振り返る。 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。						L
テキスト	講義時に説明します							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足	30%		10% レポート	30% メイク実践	30%		
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格								
その他	第16回に筆記試験を行う。 「演劇入門Ⅱ」、「舞台衣装(含むメイク・ヘアメイク)」、「バックステージ」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるので、単位認定は運動して行われ、1科目だけか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 本授業は北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。 課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。							

科目名	舞台映像製作入門				授業形態	実習	単位数	1	
教員名	森井 綾								
授業の目的	ねらい	主に舞台芸術の分野を中心として、多様化した映像文化の特色を学び、それらの製作で欠かすことの出来ない撮影や編集作業を学ぶことがねらい。 この「舞台映像製作入門」の授業に関しても、他の舞台芸術分野で行っている授業との関連性が高く、「ねらい」の最低限は維持するものの学生のやる気、参加状況によって政策する内容等はダイナミックに変貌する。							
	目標	(1)ビデオ製作における役割分担や作業の手順の基礎を学ぶ。 (2)映像製作の初歩を身につける。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業の概要と、授業で使用するビデオカメラの使い方を学ぶ。 【準備学習の内容】 CMや映画など身の回りにある映像作品について振り返っておく。					A、B		
	第2回	【テーマ】 鑑賞 映像の構成 【計画内容】 ビデオ作品を鑑賞し、製作者の視点から作品について考えてみる。 【準備学習の内容】 CMや映画など身の回りにある映像作品について振り返っておく。					B		
	第3回	【テーマ】 ストーリーを表現する映像作品の鑑賞 【計画内容】 ビデオ作品を鑑賞し、普段は見落としがちだった映像の演出について考えてみる。 【準備学習の内容】 これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出しておく。					B		
	第4回	【テーマ】 PVやドキュメンタリー映像 【計画内容】 通常のドラマなどとは違った視点から製作された映像について学ぶ。 【準備学習の内容】 これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出しておく。					B		
	第5回	【テーマ】 短い映像作品 【計画内容】 映画やドラマとは違う、短い時間で完結する映像作品について学ぶ。 【準備学習の内容】 これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出しておく。					B		
	第6回	【テーマ】 舞台を映像に残す 【計画内容】 舞台で行われている戯曲の公演を映像に残す方法について考える。 【準備学習の内容】 これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出しておく。					B		
	第7回	【テーマ】 映像を作る事 【計画内容】 前時に実際に撮って見た映像を見直し、効果的なショットの構成が出来ないか検討してみる。 【準備学習の内容】 これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出しておく。					B		
	第8回	【テーマ】 CMやプロモーションの映像 【計画内容】 短編映像よりもさらに短い映像について、製作者の視点から考えてみる。 【準備学習の内容】 これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出しておく。					B		
	第9回	【テーマ】 印象に残る映像の構成 【計画内容】 見た人の心に残るような映像の構成とはどんなものか、考えてみる。 【準備学習の内容】 これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出しておく。					B		
	第10回	【テーマ】 訴求と意外性 【計画内容】 見る人に面白いと思わせる手法について考える。 【準備学習の内容】 これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出しておく。					B		
	第11回	【テーマ】 映像の演出 【計画内容】 映像作品においての演出、構成の工夫について考察する。 【準備学習の内容】 様々な映像製作のアイデアを振り返っておく。					B		
	第12回	【テーマ】 撮影の工夫 【計画内容】 舞台とは違う、映像ならではのカメラワークや撮影方法について考察する。 【準備学習の内容】 身の回りにある映像を色や音のタイミングなどにも注意して見ておく。					B		
	第13回	【テーマ】 映像作品を製作するために必要なもの 【計画内容】 プロデュースの分野も含めた、映像作品を製作するために必要な環境や、用意しなければならないものについて考察する。 【準備学習の内容】 授業以外の時間にも内容について考え、面白いアイデアを盛り込む工夫について考えておく。					B		
	第14回	【テーマ】 ストーリー作りのアイデア 【計画内容】 舞台や小説とは違う映像としての構成や、同じ映像でもメディアや鑑賞方法の違いなどを考慮したストーリーの工夫について考えてみる。 【準備学習の内容】 普段目にする映像作品について、舞台の上での表現と映像においての表現の違いを意識しながら見るようにしておく。					B		
	第15回	【テーマ】 アニメーション映像 【計画内容】 舞台とは180度違う考え方によって作られる映像について考えてみる。 【準備学習の内容】 普段目にする映像作品について、メディアや鑑賞方法の違いなどについて考えておく。					B		
テキスト	適宜指示します								
参考書	適宜指示します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分				62%	38%			
	補足					平時			
質問への対応	講義時に質問を受け付けます。オフィスアワー等も利用してください。								
資格									
その他	ビデオ製作には時間がかかることや、撮影する対象が必要であることなどから、授業時間以外でも製作を行わなければならない場合もある。								

科目名	演劇入門Ⅰ			授業形態	実習	単位数	1
教員名	村松 幹男、田 光子、平井 伸之						
授業の目的	ねらい	演劇に関する基本的な知識・技能を学ぶ。特にスタッフの役割についての基本的な事柄を学ぶ。 なお、この授業は、札幌山手山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、舞台芸術製作の俳優分野を「俳優トレーニング」、「ダンス」で、スタッフ分野を大学は「スタッフワーク」、短大は「演劇入門Ⅰ」で担い、基本的な知識・技能の習得をめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。					
	到達目標	(1)演劇の基本用語を理解している。 (2)ホールの舞台機構について知っている。 (3)演劇発表に必要なスタッフの基本的知識・技能、役割を知っている。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業に関する説明をする。(村松幹男・田光子・平井伸之) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。	B、E、H				
	第2回	【テーマ】 舞台機構について 【計画内容】 舞台機構について説明する。また、安全対策についても学ぶ。(村松幹男・田光子・平井伸之) 【準備学習の内容】 北翔舞台芸術の目標について復習しておくこと。	B、E、H				
	第3回	【テーマ】 舞台美術① 【計画内容】 舞台上で使用する平台、箱馬、幕、紐の扱い方について。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 前回の内容を理解しておくこと。	B、E、H				
	第4回	【テーマ】 舞台美術② 【計画内容】 舞台美術で使用する道具や用語を学ぶ。(村松幹男) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。	A、E				
	第5回	【テーマ】 照明① 【計画内容】 舞台照明の機材について学ぶ。(村松幹男) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、H				
	第6回	【テーマ】 照明② 【計画内容】 照明に関する基礎的な知識。(村松幹男) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。	A				
	第7回	【テーマ】 照明③ 【計画内容】 基本的な照明の仕込み方について学ぶ。(村松幹男) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、H				
	第8回	【テーマ】 音響① 【計画内容】 舞台の音響機材について学ぶ。(平井伸之) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、H				
	第9回	【テーマ】 音響② 【計画内容】 音響に関する基礎的な知識を学ぶ。(平井伸之) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。	A				
	第10回	【テーマ】 音響③ 【計画内容】 音響の仕込み方について学ぶ。(平井伸之) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、H				
	第11回	【テーマ】 メイク① 【計画内容】 舞台メイクの考え方を学ぶ。(田光子) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。	A、E				
	第12回	【テーマ】 メイク② 【計画内容】 舞台メイクの基本的な知識を学ぶ。(田光子) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。	A、E				
	第13回	【テーマ】 舞台衣装 【計画内容】 舞台衣装の基本的な考え方を学ぶ。(田光子) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。	A				
	第14回	【テーマ】 舞台監督と制作、そして演出 【計画内容】 舞台監督とはどのような仕事をするのか、制作はどのような仕事をするのか、演出はどのような仕事をするのか、その基本的な事柄について学ぶ。(村松幹男・田光子) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。	A				
	第15回	【テーマ】 振り返りと確認 【計画内容】 この授業のまとめを行う。(田光子・平井伸之) 【準備学習の内容】 前回までの内容を理解しておくこと。	L				
テキスト	講義時に説明します						
参考書	講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足	30%	30%	10%		30%	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格							
その他	第16回に筆記試験と実技試験を行う。 俳優分野を学ぶ「俳優トレーニング」、「ダンス」そしてスタッフ分野を学ぶ「スタッフワーク」(大学生)、「演劇入門Ⅰ」(短期大学部生)は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 本授業は北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。 課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。						

ライフデザイン学科  
学科学専攻

科目名	演劇入門Ⅱ			授業形態	実習	単位数	1
教員名	村松 幹男、田 光子、平井 伸之						
授業の目的	ねらい	演劇を中心とした舞台芸術についての入門を図る。「演劇入門Ⅰ」ではスタッフを中心に学んだが、ここでは、主に俳優分野のトレーニングや発声の強化・発展を図り、演技に関する基本的知識・技能を習得していく。 なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、「演劇入門Ⅱ」、「舞台衣装(含むメイク・ヘアメイク)」、「バックステージ」で舞台芸術製作の俳優分野、スタッフ分野の基本的な知識・技能の習得を前学期より発展させた形をめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。					
	到達目標	(1)舞台芸術におけるスタッフの役割を理解し、基本的な知識や技能を身につける。 (2)演技者としての発声法、トレーニング方法を理解し、継続して行える。 (3)演技における基本的な事柄を理解し、実践できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業に関する説明をする。(村松幹男・田光子・平井伸之) 【準備学習の内容】シラバスを読んでおくこと。					A
	第2回	【テーマ】舞台機構について～照明～(発展) 【計画内容】照明に関する舞台機構について説明する。また、安全対策についても学ぶ。(平井伸之・田光子) 【準備学習の内容】「バックステージナレッジ」を読んでおくこと。					B、E、H
	第3回	【テーマ】舞台機構について～音響～(発展) 【計画内容】音響に関する舞台機構について説明する。また、安全対策についても学ぶ。(平井伸之・田光子) 【準備学習の内容】前回の内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第4回	【テーマ】舞台機構について～その他～(発展) 【計画内容】その他の舞台機構について説明する。また、幕の取扱、ロープの使い方などを説明する。(平井伸之) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第5回	【テーマ】呼吸法・発声(発展) 【計画内容】演劇における呼吸法(腹式呼吸)・発声方法を学ぶ。(平井伸之) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第6回	【テーマ】トレーニング(発展)① 【計画内容】演劇に必要なストレッチや肉體訓練法を学ぶ。(平井伸之・田光子) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第7回	【テーマ】トレーニング(発展)② 【計画内容】演劇に必要なストレッチや肉體訓練法を学ぶ。(平井伸之・田光子) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第8回	【テーマ】照明入門(発展) 【計画内容】照明に関する最も基本的な事柄(スポットの種類など)を学ぶ。(村松幹男) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第9回	【テーマ】音響入門(発展) 【計画内容】音響に関する最も基本的な事柄(機材の種類など)を学ぶ。(村松幹男) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第10回	【テーマ】舞台装置入門(発展) 【計画内容】舞台装置に関する最も基本的な事柄(道具の種類と使い方など)を学ぶ。(村松幹男) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第11回	【テーマ】衣装・メイク入門(発展) 【計画内容】舞台衣装・メイクに関する最も基本的な事柄(道具の種類と使い方など)を学ぶ。(田光子) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、E、H
	第12回	【テーマ】舞台企画について(発展) 【計画内容】舞台企画に関する基本を学ぶ。(村松幹男) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、H
	第13回	【テーマ】制作の役割(発展) 【計画内容】制作の役割、仕事の内容等について学ぶ。(村松幹男・田光子) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、H
	第14回	【テーマ】舞台監督の役割(発展)、演出の役割(発展) 【計画内容】舞台監督とはどのような仕事をするのか、演出はどのような仕事をするのか、その基本的な事柄について学ぶ。(村松幹男) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、H
	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】この授業を振り返る。(村松幹男) 【準備学習の内容】前回までの内容を理解しておくこと。					B、H
テキスト	初回講義時に説明します						
参考書	初回講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%	30%	10%		30%	
補足	レポート						
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格							
その他	第16回に筆記試験と実技試験を行う。 「演劇入門Ⅱ」、「舞台衣装(含むメイク・ヘアメイク)」、「バックステージ」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的關係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 本授業は北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。 課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。						

ライオンデザイン学科  
学 科 専 門 科 目

科目名	舞台芸術概論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	村松 幹男、平井 伸之、イナダ ヒロシ							
授業の目的	ねらい	舞台芸術全般にわたる基礎的知識について習得する。とくに「演劇」とは何かについて学ぶ。また、日本・西洋の演劇史を学ぶ。						
	到達目標	(1)舞台芸術についての基本的な知識がある。 (2)「演劇とは何か」についての基礎的な知識があり、かつ「演劇とは何か」について考察することができる。 (3)西洋演劇史の知識がある。 (4)現代日本演劇史の知識がある。 (5)日本の伝統芸能(能、歌舞伎、浄瑠璃)について基礎的な知識がある。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 講義展開について説明する。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。					A	
	第2回	【テーマ】 舞台芸術とは何か 【計画内容】 舞台芸術とは何かについて考える。(村松幹男) 【準備学習の内容】 資料を読んでおくこと。					A	
	第3回	【テーマ】 演劇とは何か 【計画内容】 演劇とは何かについて考える。(村松幹男) 【準備学習の内容】 資料を読んでおくこと。					A	
	第4回	【テーマ】 戯曲・演技と俳優 【計画内容】 戯曲および演技と俳優について考える。(村松幹男) 【準備学習の内容】 資料を読んでおくこと。					A	
	第5回	【テーマ】 劇場と観客 【計画内容】 劇場と観客について考える。(村松幹男) 【準備学習の内容】 資料を読んでおくこと。					A	
	第6回	【テーマ】 日本の伝統芸能 【計画内容】 能、歌舞伎、浄瑠璃などの日本の芸能について学ぶ。(村松幹男) 【準備学習の内容】 資料を読んでおくこと。					A	
	第7回	【テーマ】 日本演劇史① 【計画内容】 1960年代の日本の演劇について概観する。(イナダヒロシ) 【準備学習の内容】 資料を読んでおくこと。					A	
	第8回	【テーマ】 日本演劇史② 【計画内容】 1970年代の日本の演劇について概観する。(イナダヒロシ) 【準備学習の内容】 資料を読んでおくこと。					A	
	第9回	【テーマ】 日本演劇史③ 【計画内容】 1980年代の日本の演劇について概観する。(イナダヒロシ) 【準備学習の内容】 資料を読んでおくこと。					A	
	第10回	【テーマ】 日本演劇史④ 【計画内容】 1990年代の日本の演劇について概観する。(イナダヒロシ) 【準備学習の内容】 資料を読んでおくこと。					A	
	第11回	【テーマ】 日本演劇史⑤ 【計画内容】 2000年代以降の日本の演劇について概観する。(イナダヒロシ) 【準備学習の内容】 資料を読んでおくこと。					A	
	第12回	【テーマ】 西洋演劇史① 【計画内容】 古代ギリシア・古代ローマ・中世期の演劇について学ぶ。(平井伸之) 【準備学習の内容】 資料を読んでおくこと。					A	
	第13回	【テーマ】 西洋演劇史② 【計画内容】 ルネサンス・19世紀の演劇について学ぶ。(平井伸之) 【準備学習の内容】 資料を読んでおくこと。					A	
	第14回	【テーマ】 西洋演劇史③ 【計画内容】 近代・現代の演劇について学ぶ。(平井伸之) 【準備学習の内容】 資料を読んでおくこと。					A	
	第15回	【テーマ】 振り返りと確認 【計画内容】 講義全体をまとめる。(村松幹男・平井伸之) 【準備学習の内容】 資料を読んでおくこと。					L	
テキスト	プリントを配付します							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	40%		30%		30%		
補足				レポート				
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格								
その他	第16回に最終評価のためのテストを行います。 課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行います。							

こども学科  
学科専門科目



科目名	教育原理				授業形態	講義	単位数	2
教員名	中島 啓子							
授業の目的	ねらい	本科目では、保育者・教師を目指す皆さんに教育に関する基本的な知識を身に付けるとともに、今日的な教育問題にも触れながら、教育に関する歴史や思想、制度を通して教育の理論と課題について考えます。						
	到達目標	(1)教育の基礎理論について関心を持ち、教育の歴史の変遷を理解することができる。 (2)教育の本質や目的を理解し、現代の学校課題を考えることができる。 (3)教育に関する思想や法的・制度的仕組みを理解することができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】教育の本質(オリエンテーション) 【計画内容】授業の目標や内容を理解し、全15回の授業展開を説明します。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。						A、K、L
	第2回	【テーマ】教育の意味 【計画内容】学校教育の意味やどう学んできたのかを考えます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。						A、F、K、L
	第3回	【テーマ】子どもの発達から考える教育の意味 【計画内容】教育の捉え方の変遷や歴史を通して考えます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。						A、F、K、L
	第4回	【テーマ】教育の理念と歴史1 【計画内容】歴史を通して、公教育の原理や理念、法制度等を学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。						A、F、K、L
	第5回	【テーマ】教育の理念と歴史2 【計画内容】歴史を通して、教育の方法とその改革や法制度について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。						A、F、K、L
	第6回	【テーマ】教育思想と社会1 【計画内容】先人の教育思想家について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。配付した課題について取り組むこと。						A、F、K、L
	第7回	【テーマ】教育思想と社会2 【計画内容】教育思想家と学校教育について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。配付した課題について取り組むこと。講義ノート提出。						A、F、K、L
	第8回	【テーマ】教育の仕組みと法制度1 【計画内容】学校体系・教育法規の基礎について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。						A、F、K、L
	第9回	【テーマ】教育の仕組みと法制度2 【計画内容】教育行政や財政、学校運営について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。						A、F、K、L
	第10回	【テーマ】教育課題1 【計画内容】こどもの現状とこども理解・学校と地域連携の意義について考えます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。						A、F、K、L
	第11回	【テーマ】教育課題2 【計画内容】制度や歴史からみる教育について学びます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。						A、F、K、L
	第12回	【テーマ】教育制度・義務教育・公教育 【計画内容】学校制度の変遷を調べ、義務教育制度の意味や公教育について考えます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。指定した内容について予習しておくこと。						A、F、K、L
	第13回	【テーマ】学校と地域との連携 【計画内容】地域との連携や協働による学校教育活動について経緯や事例を通して考えます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをしておく。配付した課題について取り組むこと。						A、F、K、L
	第14回	【テーマ】安全教育と危機管理 【計画内容】学校管理下で起こる事故や災害対策を調べ、学校安全の取り組みについて考えます。 【準備学習の内容】 前回のまとめをして、ニュースを集めておくこと。講義ノート提出。						A、F、K、L
	第15回	【テーマ】教育原理のまとめ 【計画内容】全体の授業を振り返り、教育原理から学んだことを小論文にまとめます。 【準備学習の内容】 指定した内容について予習しておくこと。						A、K、L
テキスト	福元真由美、2017年、『はじめての子ども教育原理』、有斐閣、9784641150362							
参考書	石村卓也、2017年、『教育の見方・考え方』、晃洋書房、9784771029484 矢藤誠慈郎、2019年、『新基本保育シリーズ教育原理』、中央法規出版、9784805857823							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		20%	30%	
	補足			レポート・課題・ノート		受講シート	プレゼン	
質問への対応	初回時の講義で説明します。							
資格	[乙]幼・小2種_必修、保育士_必修、社会福祉主事_必修							
その他								

科目名	器楽Ⅰ		授業形態	実技	単位数	1	
教員名	石田 敏明、橋本 卓三、浅沼 恵輔、佐々木 るり子、砂田 眞理子、中川 洋子、前田 有紀、村上 秀子						
授業の目的	ねらい	個人および小グループによるピアノレッスンをを行い、バイエル修了を目標において学習します。また、こどものうたの簡易伴奏について学びます。それぞれの進度に応じた指導を行い、ピアノにおける基礎技能力と意欲を高めることを目指します。					
	到達目標	(1)音楽の基礎知識を習得できる。 (2)鍵盤楽器の基礎技能を習得できる。 (3)演奏の基礎表現力を習得できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業の紹介をし、授業展開および進度表記入について説明します。ガイダンス終了後、課題の発表を行います。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。			A、E、L		
	第2回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 初心者バイエルの60番から始めます。バイエル60番-65番を指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。			E、L		
	第3回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 バイエル66番-70番を指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。			E、L		
	第4回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 バイエル71番-75番を指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。			E、L		
	第5回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 バイエル76番-79番を指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。			E、L		
	第6回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 バイエル80番-83番を指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。			E、L		
	第7回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 バイエル84番-87番を指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。			E、L		
	第8回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 バイエル88番-90番/こどものうたの簡易伴奏を指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。			E、L		
	第9回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 バイエル91番-95番/こどものうたの簡易伴奏を指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。			E、L		
	第10回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 バイエル96番-99番/こどものうたの簡易伴奏を指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。			E、L		
	第11回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 バイエル100番-102番/こどものうたの簡易伴奏を指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。			E、L		
	第12回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 バイエル103番-104番/こどものうたの簡易伴奏を指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。			E、L		
	第13回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 バイエル105番-106番/こどものうたの簡易伴奏を指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。			E、L		
	第14回	【テーマ】 課題曲演奏発表準備 【計画内容】 指定された課題曲の発表を前に各自が取り組んできた楽曲の演奏を確認します。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。			E、L		
	第15回	【テーマ】 課題曲演奏発表のまとめと振り返り 【計画内容】 指定された課題曲を演奏し、これまでの練習成果を確認します。また、進度表のまとめと振り返りを行います。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。			E、L		
テキスト	2018年、『標準バイエルピアノ教則本』、全音楽譜出版社、9784111010103						
参考書	松山祐士編、2018年、『こどものうた大百科』、ドレミ楽譜出版社、9784285142037 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領』 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足			10%		10%	80% 発表
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[こ]幼・小2種_必修、保育士_必修						
その他	各自の練習を怠らないこと。 第15回で発表の後、学んだ内容を振り返りながら講評をします。						

科目名	器楽Ⅱ			授業形態	実技	単位数	1
教員名	石田 敏明、橋本 卓三、浅沼 恵輔、佐々木 るり子、砂田 眞理子、中川 洋子、前田 有紀、村上 秀子						
授業の目的	ねらい	個人およびグループ指導により、ブルクミュラー25の練習曲修了を目標において学習します。さらに、こどものうたの伴奏と弾き歌いについて学習します。それぞれの進度に応じた指導を行い、基礎技能力と表現力の向上を目指し、音楽に対する意欲を高めます。					
	到達目標	(1)「器楽Ⅰ」で習得した基礎技能をもとに、より高い演奏技能が習得できる。 (2)鍵盤楽器や歌唱を通して、自己の演奏表現ができる。 (3)演奏表現の向上により、音楽の楽しさを理解できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業の紹介をし、授業展開および進度表記入について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読し、進度にあわせて練習しておくこと。					A、E、L
	第2回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 ブルクミュラー25/1番-3番、こどものうたを指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。					E、L
	第3回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 ブルクミュラー25/4番-6番、こどものうたを指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。					E、L
	第4回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 ブルクミュラー25/7番-9番、こどものうたを指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。					E、L
	第5回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 ブルクミュラー25/10番-12番、こどものうたを指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。					E、L
	第6回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 ブルクミュラー25/13番-14番、こどものうたを指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。					E、L
	第7回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 ブルクミュラー25/15番-17番、こどものうたを指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。					E、L
	第8回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 ブルクミュラー25/18番-20番、こどものうたを指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。					E、L
	第9回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 ブルクミュラー25/21番-22番、こどものうたを指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。					E、L
	第10回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 ブルクミュラー25/23番-24番、こどものうたを指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。					E、L
	第11回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 ブルクミュラー25/25番、こどものうたを指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。					E、L
	第12回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 ソナチネアルバム1/7番、こどものうたを指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。					E、L
	第13回	【テーマ】 それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】 ソナチネアルバム1/9番、こどものうたを指導します。 【準備学習の内容】 ピアノの課題を練習してから受講すること。					E、L
	第14回	【テーマ】 課題曲演奏発表準備 【計画内容】 指定された課題曲の発表を前に各自が取り組んできた楽曲、弾き歌いの演奏を確認します。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。					E、L
	第15回	【テーマ】 課題曲演奏発表のまとめと振り返り 【計画内容】 指定された課題曲を演奏し、これまでの練習成果を確認します。また、進度表のまとめと振り返りを行います。 【準備学習の内容】 課題曲を練習してから受講すること。					E、L
テキスト	2018年、『ブルクミュラー25の練習曲』、全音楽譜出版社、9784111020102 2018年、『ソナチネアルバム1』、全音楽譜出版社、9784111012114 松山祐土編、2018年、『こどものうた大百科』、ドレミ楽譜出版社、9784285142037						
参考書	初等科音楽教育研究会編、2018年、『最新初等科音楽教育法 改訂版』、音楽之友社 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領』 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足			10%		10%	80% 発表
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[乙]幼・小2種_必修、保育士_必修						
その他	各自の練習を怠らないこと。 第15回で発表の後、学んだ内容を振り返りながら講評します。						

科目名	こどもと絵本		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	藤田 春義						
授業の目的	ねらい	『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『認定こども園教育・保育要領』における絵本に関する目的、ねらい、取扱いについてに記されている、「絵本や物語などに親しみ、先生、保育士等や友達と心を通わせ、想像する楽しさを味わうこと」を、赤ちゃん絵本から幼児の絵本に至るまで、絵本の読み方をグループに分かれて実践し、実習に臨めるようにする。					
	到達目標	(1)乳児の絵本から幼児の絵本の中の良い絵本のリストを作る。 (2)乳児が保育者に親しみ、楽しめる絵本の読み方を知る。 (3)幼児が保育者に親しみ、楽しめる絵本の読み方を知る。 (4)絵本から様々な表現に至る様子を映像を見て自分ならどのようにするかを考えることができる。 (5)絵本の文化的な意味を知り、その担い手となる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】自分の絵本体験を思い出し、子どもがどのように絵本を楽しむかを考える。 【計画内容】絵本『ぐりとぐら』、『はじめてのおつかい』を教師が読み、自分の絵本体験をレポートに記入する。絵がよく見えるように絵本を複数使用する。合わせてプロジェクターを使いスクリーンに映す。 【準備学習の内容】子どもの頃に読んでもらった絵本について、誰にどんな絵本をどのように読んでもらったかを考える。				A、G	
	第2回	【テーマ】乳児に絵本を読む目的を知り、乳児の絵本と読み方を知る。 【計画内容】乳児のための絵本を教師が準備し、一冊一冊、読んで内容を説明し、何のために読むのか、どのような環境で、どのように読むのかを実際的に説明する。『ぱっちりおはよう』、『もうおきるかな』、『パンダちゃん』 【準備学習の内容】自分が乳児のときに読んでもらった絵本を母親に聞いておく。				A、G	
	第3回	【テーマ】乳児の絵本から物語の絵本に移る過程を知る。 【計画内容】乳児の絵本と幼児の絵本の違いを具体的に絵本を使って示し、1対1の読み方から1対2、1対数人の読み方に移る過程を映像で示す。 【準備学習の内容】図書館で乳児の絵本を探し、出来るだけたくさん読む。				A、G	
	第4回	【テーマ】ひとり、ひとりが乳児の絵本の読み方を知る。 【計画内容】10人くらいのグループに分かれて、絵本を読む順番を決め、絵本の持ち方、声の量を考え、また乳児が楽しみやすい環境を作ることを考える。 【準備学習の内容】幼稚園、保育所での体験を思い出し、保育室でどの様に絵本を楽しんでいたかを思い出す。				A、H	
	第5回	【テーマ】幼児の絵本の読み方を知る。 【計画内容】幼児に読んでやりたい絵本を学生に見てもらい、それぞれの絵本について良さを知らせる。またどのような環境で、どのように読むのか。実践を映像で示す。 【準備学習の内容】自分が幼児の時に読んでもらった絵本を探す。				A、G、J	
	第6回	【テーマ】幼児の絵本の読み方を実際にやって見る。 【計画内容】グループに分かれて、幼児の絵本の読み方を、各自が実践する。教師は各グループ毎に指導する。 【準備学習の内容】図書館、あるいは自分の持っている絵本で幼児の時楽しんだものを読んでおく。				G、H、J	
	第7回	【テーマ】科学絵本を知る。 【計画内容】科学絵本について、そのリストと、実際の絵本を学生たちに読み、身近な自然を知る機会を持つ。 【準備学習の内容】図書館などで、科学絵本を探して読む。				A	
	第8回	【テーマ】絵本からの表現の可能性を考える。 【計画内容】絵本から表現に至る映像を見て、子ども達が言葉や行為によって絵本を表現することを知り、自分でもそれを考えてみる。『げんきなマドレーヌ』 【準備学習の内容】子どもの表現はどのようなやり方があるのかを考えて置く。				A、G	
	第9回	【テーマ】昔話絵本を読み、その面白さと意味を知る。 【計画内容】昔話絵本には、良い絵本と悪い絵本があるので、それを示し、なぜ悪いのか、なぜ良いのかを考えてもらう。『ももたろう』『3匹のこぶた』の絵本を準備する。 【準備学習の内容】昔話絵本を図書館で探して読んでおく。				A、G	
	第10回	【テーマ】絵本作家を知る。絵本作家がどのように絵本を制作するのかを知る。 【計画内容】手島圭三郎さんの絵本を読み、その制作過程を知らせる。『しまふくろうのみずうみ』『きたきつねのゆめ』などを準備する。 【準備学習の内容】図書館で、手島圭三郎さんの絵本を読む。				A、G	
	第11回	【テーマ】文化としての絵本を考え、自分でもその担い手になる事を決心する。また、メディアの影響を考える。 【計画内容】乳幼児が出会う最初の文化が絵本であること知り、その重要性を示すため、後世に残すべき絵本の数々を見てもらう。スマホなどのメディア機器が子どもの育ちに多大な影響があることを知る。 【準備学習の内容】図書館で海外の作家の作品を見る。				A、G	
	第12回	【テーマ】グループに分かれ科学の絵本、昔話の絵本を読み、少し長い絵本の読み方を実践する。 【計画内容】『動物園ガイド』『ふゆめがっしょうだん』『ももたろう』『だいくとおにろく』をグループに分かれて読み、読み方を互いに批評し合う。 【準備学習の内容】科学の絵本、昔話絵本を図書館で読んでおく。				G、H、J、L	
	第13回	【テーマ】グループに分かれて、自分が好きな絵本を読み聞かせる。 【計画内容】今まで学んだことを基にして、子ども達が楽しむ絵本の読み方を自分で実践する。授業で挙げられた絵本から好きな絵本を選んで読む。 【準備学習の内容】予め授業で使った絵本を読んでおく。				G、H、N	
	第14回	【テーマ】絵本について学んだことをまとめる。絵本活動の大切な5つのポイントを記す。 【計画内容】今まで学んだことの要点をまとめる。絵本のリストを作る。 【準備学習の内容】学んだ内容を確認しておく。				A、G、L	
	第15回	【テーマ】これまでの授業で最も楽しかったことを発表する。 【計画内容】絵本を楽しむこと、共感することが大切であることを発表することで確認する。 【準備学習の内容】これまでの授業ノートを見返して何が楽しかったかを考える。				A、G、L	
テキスト	講義時に説明します						
参考書	『幼稚園教育要領(平成29年3月告示)』、文部科学省 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館 講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			レポート		グループ活動	
質問への対応	レポート及び口頭で。						
資格	[こ]幼2種_選択、保育士_選択						
その他							

学こども専門科目

科目名	こどもと自然		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	荒川 巖、太田 俊一						
授業の目的	<p>【ねらい】こどもが身近な自然環境に親しみ、触れ合う中でどのようなことに興味・関心を持ち、自らの生活に取り入れて成長していくかを学習します。砂・土・水遊び、種まき、野菜づくり、収穫、草花遊び、いろいろな虫さがしなど、こどもに体験させたい環境「自然」の内容を実践し理解します。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)こどもが出会った自然にどのような興味・関心をもつか考えることができる。</li> <li>(2)こどもが自然にかかわり、遊びやお世話などに発展させる計画を立てることができる。</li> <li>(3)こどもに出会わせたい身近な自然について、実際に観察・飼育・栽培などを行い、体験的に感得できる。</li> </ol>						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション～ガイダンスと大学探検～ 【計画内容】 人間形成における自然のもつ意義について、幼児の自然体験の具体例から学びます。実際に大学内を探検しながら、幼児のさまざまな自然との出会いと生活の中への取り入れ方について考えます。 【準備学習の内容】 こどもが身近な自然環境の中で、健康的に安全に活動できることを常に考えておくこと。	A、B、H、M				
	第2回	【テーマ】 春探し①～北翔大学の敷地内を歩いて春を見つける～ 【計画内容】 幼児が自然にかかわろうとするときの保護者・保育者の支援の仕方などについて学びます。グループ活動を通して、幼児の成長を促す支援のあり方を考えます。 【準備学習の内容】 こどもが身近な自然環境の中で、健康的に安全に活動できることを常に考えておくこと。	A、B、H、M				
	第3回	【テーマ】 春探し②～北翔大学の敷地内を歩いて春を見つける～ 【計画内容】 砂・土・水のもつ可塑性が幼児を遊びにのめり込ませます。農園では虫取りや観察をしながら生き物の活動に興味を持ち、グループ活動を通して人間関係も育くむことを学びます。大学構内で体験的に遊び、北翔大の春探しマップにまとめます。 【準備学習の内容】 こどもが身近な自然環境の中で、健康的に安全に活動できることを常に考えておくこと。	A、B、H、M				
	第4回	【テーマ】 農園活動① 【計画内容】 大学農園で使う看板やポスターを作り、植え方について学んだ後、実際に農園に行き種物や苗物を植えます。 【準備学習の内容】 こどもが身近な自然環境の中で、健康的に安全に活動できることを常に考えておくこと。	A、D、H、M				
	第5回	【テーマ】 農園活動② 【計画内容】 幼稚園や保育園の畑などで育てている「トウキビ」「エダマメ」「ジャガイモ」「サツマイモ」などを実際に栽培し、お世話します。幼児がどのように畑の土や野菜づくりにかかわるのか体験的に学びます。 【準備学習の内容】 こどもが身近な自然環境の中で、健康的に安全に活動できることを常に考えておくこと。	A、D、H、M				
	第6回	【テーマ】 野幌森林公園「自然ふれあい交流館」① 【計画内容】 大学からほど近い野幌森林公園の「自然ふれあい交流館」の指導員から、森林内のどのような自然の様子・ものに興味を示すかを学びます。自然の中で楽しめる遊びを考えます。 【準備学習の内容】 こどもが身近な自然環境の中で、健康的に安全に活動できることを常に考えておくこと。	B、H、K、M				
	第7回	【テーマ】 野幌森林公園「自然ふれあい交流館」② 【計画内容】 大学からほど近い野幌森林公園の「自然ふれあい交流館」の指導員から、森林内のどのような自然の様子・ものに興味を示すかを学びます。自然の中で楽しめる遊びを考えます。 【準備学習の内容】 こどもが身近な自然環境の中で、健康的に安全に活動できることを常に考えておくこと。	B、H、K、M				
	第8回	【テーマ】 農園活動③ 【計画内容】 大学農園で、少し大きくなってきた野菜を観察し、周りの草取りをしてお世話します。前回(自然ふれあい交流館)のこどもパンフレット作りをします。 【準備学習の内容】 こどもが身近な自然環境の中で、健康的に安全に活動できることを常に考えておくこと。	A、D、H、M				
	第9回	【テーマ】 農園活動④ 【計画内容】 大学農園で、少し大きくなってきた野菜を観察し、周りの草取りをしてお世話します。前回のこどもパンフレット作りをします。 【準備学習の内容】 こどもが身近な自然環境の中で、健康的に安全に活動できることを常に考えておくこと。	A、D、H、M				
	第10回	【テーマ】 こどもと開拓の村① 【計画内容】 大学からほど近い開拓の村を見学し、昔の北海道の環境に触れ、こどもの気持ちになってどのような自然の様子・ものに興味を示すかを学びます。自然の中で楽しめる昔遊びを体験します。 【準備学習の内容】 こどもが身近な自然環境の中で、健康的に安全に活動できることを常に考えておくこと。	B、H、K、M				
	第11回	【テーマ】 こどもと開拓の村② 【計画内容】 大学からほど近い開拓の村を見学し、昔の北海道の環境に触れ、こどもの気持ちになってどのような自然の様子・ものに興味を示すかを学びます。自然の中で楽しめる昔遊びを体験します。 【準備学習の内容】 こどもが身近な自然環境の中で、健康的に安全に活動できることを常に考えておくこと。	B、H、K、M				
	第12回	【テーマ】 農園活動⑤ 【計画内容】 大学農園で、大きくなってきた野菜を観察し、周りの草取りをしたり、水を撒いたり、支えを立てたりしてお世話します。 【準備学習の内容】 こどもが身近な自然環境の中で、健康的に安全に活動できることを常に考えておくこと。	A、D、H、M				
	第13回	【テーマ】 農園活動⑥ 【計画内容】 農園で育てた野菜を収穫します。幼児ができるお手伝いをまとめます。野菜の特徴や育て方を、レポートとして「栽培アルバム」などを作成します。前回(開拓の村)のこどもパンフレット作りをします。 【準備学習の内容】 こどもが身近な自然環境の中で、健康的に安全に活動できることを常に考えておくこと。	A、D、H、M				
	第14回	【テーマ】 こどもと青少年科学館① 【計画内容】 厚別の青少年科学館でプラネタリウムを見学し、館内の展示物を観察し体験したりして、学んだことをレポートにまとめます。 【準備学習の内容】 こどもが身近な自然環境の中で、健康的に安全に活動できることを常に考えておくこと。	B、H、K、M				
	第15回	【テーマ】 こどもと青少年科学館② 【計画内容】 厚別の青少年科学館でプラネタリウムを見学し、館内の展示物を観察し体験したりして、学んだことをレポートにまとめます。15回の学習を振り返り、感想をまとめます。 【準備学習の内容】 こどもが身近な自然環境の中で、健康的に安全に活動できることを常に考えておくこと。15回の授業を振り返っておく。	B、H、K、M				
テキスト	文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領』 厚生労働省、2018年、『保育所保育指針』、457781448X						
参考書	木野田君公、2004年、『札幌の昆虫』、北大出版会 鮫島惇一郎・辻井達一・梅沢俊、1994年、『新版 北海道の花』、北海道大学図書刊行会						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		20%	50%	20%	10%	
	補足		農園活動	パンフレット・レポート	クラフト制作		
質問への対応	平常の講義・演習の中で対応します。						
資格	[こ]保育士_選択						
その他	第1回講義は平日1コマ、第2回～第15回講義は原則隔週土曜日2コマの集中講義とする。 パンフレットやレポートは手書きの他、デジタルカメラ等で撮影した写真をPCに取り込む形式で作成しても良い。その場合は保管用のUSBの準備をすること。						

科目名	保育内容演習 I				授業形態	演習	単位数	2
教員名	橋本 卓三、石田 敏明、入江 彩子、中島 啓子、菜原 桂子、松田 久美							
授業の目的	ねらい	保育内容の総合的な理解を目指します。保育の基礎を学ぶ時期であることを踏まえ、子どもの発達過程に応じた遊びの内容や環境構成について学び、実践する場として「こどもの国」の企画・運営を行います。この取り組みを通して、表現力や創造力、企画・運営力を育み、保育者としての資質向上を目指します。						
	到達目標	(1)子どもの発達過程に応じた遊びや保育の内容を構想し、展開することができる。 (2)保育・教育の環境構成を理解することができる。 (3)教材研究を通して、表現力や創造力を高めることができる。 (4)行事等における企画・運営の意義が理解できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業内容を紹介し、授業展開を説明します。(全教員) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】 保育内容の理解① 【計画内容】 子どもの発達過程に応じた遊びの内容や環境構成などについて学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 配付プリント等の課題に取り組んでください。						A、B、L
	第3回	【テーマ】 保育内容の理解② 【計画内容】 子どもの発達過程に応じた遊びの内容や環境構成などについて学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 配付プリント等の課題に取り組んでください。						A、B、L
	第4回	【テーマ】 保育内容の理解③ 【計画内容】 子どもの発達過程に応じた遊びの内容や環境構成などについて学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 配付プリント等の課題に取り組んでください。						A、B、L
	第5回	【テーマ】 保育内容の理解④ 【計画内容】 子どもの発達過程に応じた遊びの内容や環境構成などについて学びます。(全教員) 【準備学習の内容】 配付プリント等の課題に取り組んでください。						A、B、L
	第6回	【テーマ】 保育・教育の環境構成と教材研究① 【計画内容】 子どもの遊びや行事の運営に向けた環境構成と教材、表現法について研究します。(全教員) 【準備学習の内容】 課題に取り組み、必要な教材の準備をしておくこと。						B、L
	第7回	【テーマ】 保育・教育の環境構成と教材研究② 【計画内容】 子どもの遊びや行事の運営に向けた環境構成と教材、表現法について研究します。(全教員) 【準備学習の内容】 課題に取り組み、必要な教材の準備をしておくこと。						B、L
	第8回	【テーマ】 保育・教育の環境構成と教材研究③ 【計画内容】 子どもの遊びや行事の運営に向けた環境構成と教材、表現法について研究します。(全教員) 【準備学習の内容】 課題に取り組み、必要な教材の準備をしておくこと。						B、L
	第9回	【テーマ】 保育・教育の環境構成と教材研究④ 【計画内容】 子どもの遊びや行事の運営に向けた環境構成と教材、表現法について研究します。(全教員) 【準備学習の内容】 課題に取り組み、必要な教材の準備をしておくこと。						B、L
	第10回	【テーマ】 保育・教育の環境構成と教材研究⑤ 【計画内容】 子どもの遊びや行事の運営に向けた環境構成と教材、表現法について研究します。(全教員) 【準備学習の内容】 課題に取り組み、必要な教材の準備をしておくこと。						B、L
	第11回	【テーマ】 保育・教育の環境構成と教材研究⑥ 【計画内容】 子どもの遊びや行事の運営に向けた環境構成と教材、表現法について研究します。(全教員) 【準備学習の内容】 課題に取り組み、必要な教材の準備をしておくこと。						B、L
	第12回	【テーマ】 保育・教育の環境構成と教材研究⑦ 【計画内容】 子どもの遊びや行事の運営に向けた環境構成と教材、表現法について研究します。(全教員) 【準備学習の内容】 課題に取り組み、必要な教材の準備をしておくこと。						B、L
	第13回	【テーマ】 保育・教育の環境構成と教材研究⑧ 【計画内容】 子どもの遊びや行事の運営に向けた環境構成と教材、表現法について研究します。(全教員) 【準備学習の内容】 課題に取り組み、必要な教材の準備をしておくこと。						B、L
	第14回	【テーマ】 保育・教育の環境構成と教材研究⑨ 【計画内容】 子どもの遊びや行事の運営に向けた環境構成と教材、表現法について研究します。(全教員) 【準備学習の内容】 課題に取り組み、必要な教材の準備をしておくこと。						B、L
	第15回	【テーマ】 発表・実践とまとめ 【計画内容】 研究の成果を発表・実践し、これまでの学びを振り返り、まとめます。(全教員) 【準備学習の内容】 発表・実践の準備をしておくこと。						B、L
テキスト	プリントを使用します							
参考書	厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			30%		30%	40%	
	補足						発表	
質問への対応	初回講義時に説明します。							
資格								
その他	学科推奨科目。 第15回で、学んだ内容や課題について、振り返りながら講評をします。							

学こども専門科目

科目名	保育内容演習Ⅱ			授業形態	演習	単位数	2
教員名	橋本 卓三、石田 敏明、入江 彩子、長尾 明也						
授業の目的	ねらい	「保育内容演習Ⅰ」で学んだことをもとに、保育・教育者として必要な実技科目(音楽・体育・造形)の知識と技能を深めます。さらに、総合的な保育内容の実践発表に取り組み、豊かな感性と創造力、指導力を身につけます。 【音楽】歌唱・合奏を通して音楽の基礎的な知識や技能を身につけ、音楽の楽しさを学びながら豊かな音楽性を養います。保育所・幼稚園・小学校での音楽活動を展開する能力を習得することを目的とします。 【体育】身体活動は、こどもが全人的な発達を遂げていくために重要な役割を果たします。こどもには“遊び”である運動を通して、バランスのとれた発達を実現させる必要があります。この授業では、2歳から12歳までを対象とした運動遊びを紹介・体験します。 【造形】身近な材料と用具を使って作品を制作します。平面的・立体的な表現を用いた作品制作を通し、造形表現の基礎知識・技能、造形感覚を養います。					
	到達目標	(1)【音楽】音楽の知識・技能を習得し、音楽活動を理解して豊かな音楽表現ができる。 (2)【体育】発育発達に応じて習得される運動技能について理解できる。 (3)【造形】用具、材料の特性を理解し、基礎知識・技能、造形感覚を養う。					
授業の計画	第1回	【テーマ】【音楽】授業のガイダンスと歌唱・合奏の実技演習① 【計画内容】授業の紹介をし、授業展開を説明します。歌唱、合奏(簡易楽器および鍵盤楽器):わらべうた、童謡などを学びます。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。	E、H				
	第2回	【テーマ】【音楽】歌唱・合奏の実技演習② 【計画内容】歌唱、合奏(簡易楽器および鍵盤楽器):わらべうた、童謡などを学びます。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】課題曲を練習しておくこと。	E、H				
	第3回	【テーマ】【音楽】歌唱・合奏の実技演習③ 【計画内容】歌唱、合奏(簡易楽器および鍵盤楽器):わらべうた、童謡などの実技発表をします。(橋本卓三・石田敏明) 【準備学習の内容】課題曲を練習しておくこと。	E、H				
	第4回	【テーマ】【体育】授業のガイダンスと運動遊びの体験① 【計画内容】授業の内容について説明し、発達段階に応じた運動遊びを体験します。(長尾明也) 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A				
	第5回	【テーマ】【体育】運動遊びの体験② 【計画内容】発達段階に応じた運動遊びを体験します。(長尾明也) 【準備学習の内容】運動ができるように体調を整えておくこと。	E				
	第6回	【テーマ】【体育】運動遊びの体験③ 【計画内容】発達段階に応じた運動遊びを体験します。(長尾明也) 【準備学習の内容】運動ができるように体調を整えておくこと。	E				
	第7回	【テーマ】【造形】カード制作① 【計画内容】仕掛けのあるオリジナルカード作品を制作します。(入江彩子) 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。	E				
	第8回	【テーマ】【造形】カード制作② 【計画内容】各々の計画に基づいて制作を進めます。(入江彩子) 【準備学習の内容】制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。	E				
	第9回	【テーマ】【造形】カード制作③ 【計画内容】作品を完成させます。(入江彩子) 【準備学習の内容】講義内で課題作品を提出できるよう、制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。	E				
	第10回	【テーマ】総合的な学びの実践① 【計画内容】これまでの学びを生かし、保育内容の実践発表に向けた準備に取り組みます。(全教員) 【準備学習の内容】発表に向けた準備を進めておくこと。	B				
	第11回	【テーマ】総合的な学びの実践② 【計画内容】これまでの学びを生かし、保育内容の実践発表に向けた準備に取り組みます。(全教員) 【準備学習の内容】発表に向けた準備を進めておくこと。	B				
	第12回	【テーマ】総合的な学びの実践③ 【計画内容】これまでの学びを生かし、保育内容の実践発表に向けた準備に取り組みます。(全教員) 【準備学習の内容】発表に向けた準備を進めておくこと。	B				
	第13回	【テーマ】総合的な学びの実践④ 【計画内容】これまでの学びを生かし、保育内容の実践発表に向けた準備に取り組みます。(全教員) 【準備学習の内容】発表に向けた準備を進めておくこと。	B				
	第14回	【テーマ】総合的な学びの実践⑤ 【計画内容】これまでの学びを生かし、保育内容の実践発表に向けた準備に取り組みます。(全教員) 【準備学習の内容】発表に向けた準備を進めておくこと。	B				
	第15回	【テーマ】発表とまとめ 【計画内容】これまでの学びの成果を発表し、まとめを行います。(全教員) 【準備学習の内容】発表に向けた準備を進めておくこと。	B、L				
テキスト	【音楽】松山祐士編、2018年、『こどものうた大百科』、ドレミ楽譜出版社、9784285142037 【造形】プリントを使用します						
参考書	講義の中で指示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足				25%	10%	65% 実技・発表
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格							
その他	学科推奨科目。クラスにより、音楽・体育・造形の開講順が異なります。 【体育】こども学科ジャージおよびポロシャツを必ず着用して下さい。 【造形】用具セットを毎時間持参して下さい。 第15回で、学んだ内容を振り返りながら講評をします。						

科目名	こども家庭福祉				授業形態	講義	単位数	2	
教員名	保田 真希								
授業の目的	ねらい	現代社会では、教育や子育てにかかる費用や負担・責任は家族に依拠する部分が大きいです。しかし、子どもや家族を取り巻く環境の変化、貧困やDV、虐待の問題などが顕在化しています。こども家庭福祉は全ての子どもの幸福の実現に向けて、子どもやその家庭・地域社会に対して行われる社会的営みの体系と言えます。本講義では、こども家庭福祉の理念や歴史の変遷、法体系や支援システムを学び、こども家庭福祉の課題について理解を深めることを目的とします。							
	到達目標	(1)現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解を深める。 (2)こども家庭福祉における保育と児童の人権について理解を深める。 (3)こども家庭福祉の制度体系や支援実施のシステムについて理解する。 (4)こども家庭福祉の現状と課題について理解を深める。 (5)こども家庭福祉の動向と展望について理解する。							
授業の計画	第1回	【テーマ】 こども家庭福祉とは 【計画内容】 現代社会におけるこども家庭福祉について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。					A、K、L		
	第2回	【テーマ】 こども家庭福祉の歴史の変遷 【計画内容】 歴史の流れの中で、こども家庭福祉の在り方の変遷について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。					A、K、L		
	第3回	【テーマ】 こども家庭福祉の理念と概念 【計画内容】 こども家庭福祉の概念と基本的理念について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。					A、K、L		
	第4回	【テーマ】 こどもの権利と権利擁護 【計画内容】 こども家庭福祉における保育について学び、こどもの権利と人権、権利擁護について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。					A、K、L		
	第5回	【テーマ】 こども家庭福祉の制度と法体系 【計画内容】 こども家庭福祉における法律・法体系について学び、こども家庭福祉制度について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。					A、K、L		
	第6回	【テーマ】 こども家庭福祉の行政と財政 【計画内容】 こども家庭福祉における行政と財政について理解し、その実施機関について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。					A、K、L		
	第7回	【テーマ】 児童福祉施設と専門職 【計画内容】 児童福祉施設とそこに規定される専門職や支援・連携を行う専門職、また専門職倫理について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。					A、K、L		
	第8回	【テーマ】 少子化と子育て支援サービス 【計画内容】 少子化対策と子育て支援サービスの現状と課題について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。					A、K、L		
	第9回	【テーマ】 児童の健全育成と母子保健 【計画内容】 母子保健の理念と母子保健施策の現状と課題、児童の健全育成について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。					A、K、L		
	第10回	【テーマ】 保育施策の現状と課題 【計画内容】 多様な保育ニーズに基づく保育施策と様々な保育サービスについて理解し、こども家庭福祉・保育と隣接領域との連携・ネットワークについて学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。					A、G、K、L		
	第11回	【テーマ】 児童虐待と要保護児童福祉施策 【計画内容】 児童虐待の現状と課題について理解し、要保護児童福祉施策について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。					A、K、L		
	第12回	【テーマ】 社会的養護の現状と課題 【計画内容】 社会的養護の基礎概念について理解し、その現状と課題について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。					A、K、L		
	第13回	【テーマ】 障がいのある子どもへの支援 【計画内容】 障がいについての概念の変遷と、障害児福祉施策の現状と課題を学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。					A、K、L		
	第14回	【テーマ】 ドメスティック・バイオレンスと虐待防止 【計画内容】 ドメスティック・バイオレンスについての現状とその課題、虐待防止について理解し、子どもの支援における諸外国の動向について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。					A、K、L		
	第15回	【テーマ】 次世代育成支援とこども家庭福祉の展望 【計画内容】 次世代育成支援、こども家庭福祉の展望について理解し、まとめと振り返りを行います。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。					A、G、K、L		
テキスト	星野政明他、2015年、『全訂子どもの福祉と子育て家庭支援』、株式会社みらい、4860153618 ミネルヴァ書房編集部編、2019年、『ワイド版 社会福祉小六法2019[平成31年版]資料付』、ミネルヴァ書房								
参考書	新保幸男他、2019年、『子ども家庭福祉』、中央法規								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	80%					20%		
補足	足						リアクションペーパー		
質問への対応	毎回、講義終了時にリアクションペーパー(①講義の中で最も関心を抱いたことと考えたこと、②質問・疑問点)を提出してもらいます。今回の講義の冒頭で、コメントをピックアップし、疑問点・質問に対する返答を行います。								
資格	[こ]保育士_必修								
その他									

科目名	社会福祉		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	保田 真希						
授業の目的	ねらい	社会福祉は人の生活を支え、人間が生きていくことに関わる。人の生活は、個人や家族が置かれている状況とそれを取り巻く社会との関連の中で営まれるため、生活上の困難や問題は多面的に対応していく必要がある。本講義は、①現代社会における生活の必要(ニーズ)とその不充足、貧困などの生活困難・生活問題と、②人の生活にかかわる社会福祉制度やサービスの役割と課題について理解することを目的とする。 具体的には、現代社会における社会福祉の意義、歴史の変遷、社会福祉における子ども家庭支援の視点を理解する。また、現代社会における社会福祉の制度や実施体系、相談援助、社会福祉の動向について理解をし、課題について考察することを目的とする。					
	到達目標	(1)社会福祉の歴史の変遷を学び、現代社会における社会福祉の意義について理解を深める。 (2)現代社会における社会福祉の制度や実施体系、相談援助、社会福祉の動向について理解を深める。 (3)現代社会における社会福祉の課題について理解を深める。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】社会福祉とは何か、基本的な概念の整理を行います。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。	A、K、L				
	第2回	【テーマ】社会福祉制度を取り巻く状況 【計画内容】少子高齢化などの私たちの生活を取り巻く状況について理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。	A、K、L				
	第3回	【テーマ】生活の必要(ニーズ)と生活困難 【計画内容】生活に必要なものや、それが欠けた状態(貧困問題など)について理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。新聞記事やニュースを見ておく。	A、H、K、L				
	第4回	【テーマ】社会福祉の成り立ち① 【計画内容】イギリスにおける社会福祉の歴史の変遷について理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。	A、K、L				
	第5回	【テーマ】社会福祉の成り立ち② 【計画内容】アメリカにおける社会福祉の歴史の変遷について理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。	A、K、L				
	第6回	【テーマ】社会福祉の成り立ち③ 【計画内容】日本における社会福祉の歴史の変遷について理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。	A、K、L				
	第7回	【テーマ】社会福祉の実施方法と原理 【計画内容】社会福祉の実施体制や方法、財源などについて理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。	A、K、L				
	第8回	【テーマ】女性の貧困・不利とケア役割 【計画内容】育児、介護、介助などのケアのありようそこに生じる困難や不利について理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。	A、K、L				
	第9回	【テーマ】子育て家族の生活と保育サービス 【計画内容】ワーク・ライフ・バランスや、保育サービスなどについて理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。	A、K、L				
	第10回	【テーマ】社会福祉のジェンダーバイアス 【計画内容】ひとり親世帯(母子世帯など)や高齢女性の生活状況や利用できる制度、課題について理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。	A、K、L				
	第11回	【テーマ】障がい児・者福祉施策の動向と課題 【計画内容】障がい児・者福祉施策の動向と課題について理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。	A、K、L、N				
	第12回	【テーマ】生活保護制度の概要 【計画内容】生活保護制度の概要、利用状況などについて理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。	A、K、L				
	第13回	【テーマ】生活保護制度の課題と生活困窮者自立支援制度 【計画内容】生活保護制度の課題と、第2のセーフティネットである生活困窮者自立支援制度について理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。	A、K、L				
	第14回	【テーマ】社会福祉の理念 【計画内容】生活の質(QOL)、ノーマライゼーションなどの社会福祉の理念について理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。	A、K、L				
	第15回	【テーマ】生活上の困難・貧困と社会福祉-生存権の保障と「公正」 【計画内容】現代社会における社会福祉の課題について理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。	A、G、K、L				
テキスト	松原康雄・坪洋一・金子充、2019年、『社会福祉(新・基本保育シリーズ)』、中央法規、4805857846						
参考書	ミネルヴァ書房編集部編、2019年、『ワイド版 社会福祉小六法2019[平成31年版]資料付』、ミネルヴァ書房 随時紹介する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	80%		20%			
補足				リアクションペーパー			
質問への対応	毎回、講義終了時にリアクションペーパー(①講義の中で最も関心を抱いたことと考えたこと、②質問・疑問点)を提出してもらいます。次の講義の冒頭で、コメントをピックアップし、疑問点・質問に対する返答を行います。						
資格	[こ]保育士_必修、社会福祉主事_必修						
その他	新聞記事やニュースなどを確認し、ケアや貧困問題に関心を向けるようにしましょう。						

科目名	社会的養護 I		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	保田 真希						
授業の目的	ねらい	本講義では、現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷、こどもの人権擁護をふまえ、社会的養護の基本を理解することを目的とする。また、社会的養護の対象や形態、専門職についての理解を深め、社会的養護の現状と課題を考えていく。					
	到達目標	(1)現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解します。 (2)社会的養護と児童福祉の関連性及びこどもの権利について理解します。 (3)社会的養護の制度や実施体系について理解します。 (4)社会的養護における児童の人権擁護及び自立支援等について理解します。 (5)社会的養護の現状と課題について理解します。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 現代社会における社会的養護の意義 【計画内容】 社会的養護の理念と概念について理解を深めます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。			A、G、K、L		
	第2回	【テーマ】 現代社会における社会的養護の歴史の変遷 【計画内容】 社会的養護の歴史の変遷について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。			A、K、L		
	第3回	【テーマ】 社会的養護とこども家庭福祉 【計画内容】 こども家庭福祉の一分野としての社会的養護について理解を深めます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。			A、K、L		
	第4回	【テーマ】 こどもの権利 【計画内容】 社会的養護におけるこどもの権利擁護について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。			A、K、L		
	第5回	【テーマ】 社会的養護の制度と実施体系① 【計画内容】 社会的養護の制度と法体系について理解を深めます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。			A、K、L		
	第6回	【テーマ】 社会的養護の制度と実施体系② 【計画内容】 社会的養護の仕組みと実施体系について理解を深めます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。			A、K、L		
	第7回	【テーマ】 社会的養護の制度と実施体系③ 【計画内容】 社会的養護における家庭的養護と施設養護について理解を深めます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。			A、K、L		
	第8回	【テーマ】 社会的養護の制度と実施体系④ 【計画内容】 社会的養護に携わる専門職と実施者・実施主体について理解を深めます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。			A、K、L		
	第9回	【テーマ】 施設養護の実際① 【計画内容】 社会的養護・施設養護の基本原則について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。			A、K、L		
	第10回	【テーマ】 施設養護の実際② 【計画内容】 施設養護における具体的支援の実際について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。			A、K、L		
	第11回	【テーマ】 施設養護の実際③ 【計画内容】 施設養護におけるソーシャルワークとその展開について理解します。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。			A、K、L		
	第12回	【テーマ】 社会的養護の現状と課題① 【計画内容】 社会的養護を担う施設等の運営の現状と課題について理解を深めます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。			A、K、L		
	第13回	【テーマ】 社会的養護の現状と課題② 【計画内容】 社会的養護を担う施設と専門職の倫理について理解を深めます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。			A、K、L		
	第14回	【テーマ】 社会的養護の現状と課題③ 【計画内容】 社会的養護を担う施設等における被措置児童等の虐待と虐待防止の現状と課題について学びます。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。			A、K、L		
	第15回	【テーマ】 社会的養護の現状と課題④ 【計画内容】 地域福祉と社会的養護の実際について学び、社会的養護についてのまとめと振り返りを行います。 【準備学習の内容】 教科書の該当箇所を熟読する。			A、G、K、L		
テキスト	相澤仁他編、2019年、『社会的養護 I』、中央法規、9784805857861 ミネルヴァ書房編集部編、2019年、『ワイド版 社会福祉小六法2019[平成31年版]資料付』、ミネルヴァ書房						
参考書	山縣文治他編、2013年、『よくわかる社会的養護(第2版)』、ミネルヴァ書房、9784623066230 津崎哲雄、2010年、『養護児童の声ー社会的養護とエンパワメント』、福村出版 随時紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	80%		10%			10%
補足	足						リアクションペーパー
質問への対応	毎回、講義終了時にリアクションペーパー(①講義の中で最も関心を抱いたことと考えたこと、②質問・疑問点)を提出してもらいます。次の講義の冒頭で、コメントをピックアップし、疑問点・質問に対する返答を行います。						
資格	[こ]保育士_必修						
その他							

学こども専門科目

科目名	保育者論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	高橋 さおり						
授業の目的	ねらい	保育者の専門性について、社会的な役割や倫理、制度的な位置づけ、仕事内容の学修を通して理解します。また、キャリア形成の意義や他の専門職を含めた組織的な連携・協働についての理解を深め、学び続ける態度を養うことを目的とします。					
	到達目標	(1)保育者の社会的な役割について理解することができる。 (2)保育者の専門性について理解することができる。 (3)保育者の資質向上とキャリア形成について理解することができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業の目標を理解し、全15回の授業を概観します。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。				A、L	
	第2回	【テーマ】 保育者の役割 【計画内容】 社会の変化と保育者の役割および職務内容について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第3回	【テーマ】 保育者の倫理 【計画内容】 保育者の倫理について考え、全国保育士会倫理綱領について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第4回	【テーマ】 保育士の制度的位置づけ 【計画内容】 保育士の法的根拠や欠格事由、信用失墜行為、秘密保持義務等について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第5回	【テーマ】 保育士の資質・能力 【計画内容】 専門職としての資質・能力について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第6回	【テーマ】 養護と教育 【計画内容】 保育における養護と教育の一体的展開について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第7回	【テーマ】 保育者の知識・技術・判断 【計画内容】 専門職としての知識・技術・判断とは何かについて考え、学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第8回	【テーマ】 保育の展開と省察・評価 【計画内容】 計画に基づく保育の実践と評価について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第9回	【テーマ】 保育の質の向上 【計画内容】 PDCAサイクル、省察について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第10回	【テーマ】 家庭との連携 【計画内容】 家庭と連携を図ることの意義や保護者に対する支援について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第11回	【テーマ】 職員間の協働 【計画内容】 保育における職員間の連携・協働、同僚性について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第12回	【テーマ】 専門機関や地域の関係機関との協働 【計画内容】 園外の専門機関や自治体、関係機関との連携を図ることの意義について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第13回	【テーマ】 保育者の資質向上 【計画内容】 保育者の専門性の向上について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第14回	【テーマ】 保育者のキャリア形成 【計画内容】 保育者のキャリア形成の意義や組織とリーダーシップの在り方について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 講義のまとめと振り返りを行います。 【準備学習の内容】 授業全体の復習を行うこと。				A、L	
テキスト	井上孝之、山崎敦子編、2016年、『子どもと共に育ちあうエピソード保育者論』、みらい、9784860153625						
参考書	プリントを使用します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
補足							
質問への対応	授業初回時に説明します。						
資格	[こ]保育士_必修						
その他	小レポート等については、最終回に講評します。						

科目名	保育の心理学		授業形態	講義	単位数	2
教員名	松田 久美					
授業の目的	ねらい	ヒトの子どもは、胎児期から音を聞き、記憶能力も持つことがわかっています。こうした胎児期、新生児期、乳児期、そして幼児期までにわたるめざましい身体的発達、認知的発達について理解します。またそこには、生物学的基礎と環境との相互作用があることについても理解します。さらに、健やかな発達に関わる要因、それを阻害する要因についても理解し、考察します。後半の授業では、「幼児期と児童期のつながり」や、定型発達の子どもの、困難を抱える子どもと障がいのある子ども、虚弱児など、すべての子どもが共に過ごす「インクルーシブ保育」についても理解します。				
	到達目標	(1)保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。 (2)子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。 (3)乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。				
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業の概要の説明。「心理学」と「保育」との関連性について考察する。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。	A、C、L			
	第2回	【テーマ】 胎児期・新生児期の発達 【計画内容】 新生児が示す様々な能力や、赤ちゃんの「個性」についても理解する。 【準備学習の内容】 テキストp. 137-p. 138に目を通しておく。	A、L			
	第3回	【テーマ】 乳児期の発達(1) 【計画内容】 コミュニケーション能力の萌芽とその発達のメカニズムを理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。	A、L			
	第4回	【テーマ】 乳児期の発達(2) 【計画内容】 ヒトの子どもは社会的存在として誕生する。コミュニケーションの道具としての「ことば」の獲得について理解する。 【準備学習の内容】 テキストp. 78-p. 87に目を通しておく。	A、L			
	第5回	【テーマ】 幼児期の発達(1) 【計画内容】 幼児期における認知能力の発達や知的関心の広がりについて理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。	A、L			
	第6回	【テーマ】 幼児期の発達(2) 【計画内容】 「社会性」の発達について理解する。 【準備学習の内容】 テキストp. 78-p. 87に目を通しておく。	A、L			
	第7回	【テーマ】 幼児期の発達(3) 【計画内容】 「心の理論」が獲得されるということが、他者との関係性にもたらす意味について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。	A、L			
	第8回	【テーマ】 愛着 【計画内容】 愛着理論を知る。愛着の形成、型(タイプ)、形成不全、反応性愛着障害、及び、その後の対人関係との関連性について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。	A、L			
	第9回	【テーマ】 乳児期から幼児期へ1:手指や身体の発達 【計画内容】 乳児期から幼児期までのめざましい発達について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。	A、L			
	第10回	【テーマ】 乳児期から幼児期へ2:認知機能の発達 【計画内容】 物事を認識し、思考する力のめざましい発達について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。	A、L			
	第11回	【テーマ】 乳児期から幼児期へ3:情動(感情) 【計画内容】 情動の役割、情動表出・情動制御の発達について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。	A、L			
	第12回	【テーマ】 乳児期から幼児期へ4:自己概念 【計画内容】 自己を認知し、自己について理解するとは、また、それらはどのように生じるのかについて理解する。 【準備学習の内容】 テキストp. 63-p. 76に目を通しておく。	A、L			
	第13回	【テーマ】 胎児期から幼児期まで 【計画内容】 生得的な高次の精神機能を発揮しながら、外界に適応し、発達していくヒトの子ども。胎児期から幼児期までの発達の道のりを概観する。 【準備学習の内容】 前回までの授業内容を振り返っておく。	A、L			
	第14回	【テーマ】 幼児期と学童期とのつながり 【計画内容】 幼児期と学童期とがどのような関係にあるのかについて理解する。 【準備学習の内容】 幼児期と学童期との関係について考察しておく。	A、L			
	第15回	【テーマ】 発達と障害 【計画内容】 非定型発達について理解する。 【準備学習の内容】 テキストp. 127-p. 135に目を通しておく。	A、L			
テキスト	福本俊・西村純一編著、2012年、『発達心理学』、ナカニシヤ出版、9784779502064					
参考書	浅井拓久也ほか、2019年、『子どもの発達の連続性を支える保育の心理学』、教育情報出版					
成績評価の方法	配分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度
	補足	80%				20%
質問への対応	毎回の授業の中で聞き取り、返答します。					
資格	[こ]保育士_必修					
その他	第16回に最終評価のための試験を行います。					

科目名	こどもの保健				授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐藤 恵美子							
授業の目的	ねらい	一人ひとりの子どもの心身の状態や発達、特性、個性にそった保育によって子どもの健康は保持される。乳幼児期は特に病気に対する抵抗力が弱く、心身の機能の未熟さもあり、健康状態、発達状態を把握し、適切な判断に基づく保健的な対応を行うことができる。						
	到達目標	(1)子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 (2)子どもの身体発育や生理機能及び運動機能の発達と保健について理解する。 (3)子どもの疾病とその予防法及び適切な対応について理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 子どもの心身の発達と保健の意義 【計画内容】生命の保持と情緒の安定に係る保健活動の意義と目的 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと					A、K	
	第2回	【テーマ】子どもの心身の健康と保健の意義 【計画内容】健康の概念と健康指標 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと					A、K	
	第3回	【テーマ】子どもの心身の健康と保健の意義 【計画内容】現代社会における子どもの健康に関する現状と課題 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと					A、K	
	第4回	【テーマ】子どもの心身の健康と保健の意義 【計画内容】地域における保健活動と子どもの虐待防止 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと					A、K	
	第5回	【テーマ】子どもの身体的発育・発達と保健 【計画内容】子どもの身体発育及び運動機能の発達と保健 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと					A、K	
	第6回	【テーマ】子どもの身体的発育・発達と保健 【計画内容】生理機能の発達と保健 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと					A、K	
	第7回	【テーマ】子どもの心身の健康状態と、その把握 【計画内容】健康状態の観察 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと					A、K	
	第8回	【テーマ】子どもの心身の健康状態と、その把握 【計画内容】心身の不調時の早期発見 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと					A、K	
	第9回	【テーマ】子どもの心身の健康状態と、その把握 【計画内容】発育発達の把握と健康診断 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと					A、K	
	第10回	【テーマ】子どもの心身の健康状態と、その把握 【計画内容】保護者との情報共有 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと					A、K	
	第11回	【テーマ】子どもの疾病の予防及び適切な対応 【計画内容】主な疾病の特徴① 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと					A、K	
	第12回	【テーマ】子どもの疾病の予防及び適切な対応 【計画内容】主な疾病の特徴② 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと					A、K	
	第13回	【テーマ】子どもの疾病の予防及び適切な対応 【計画内容】子どもの疾病の予防と適切な対応① 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと					A、K	
	第14回	【テーマ】子どもの疾病の予防及び適切な対応 【計画内容】子どもの疾病の予防と適切な対応② 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと					A、K	
	第15回	【テーマ】子どもの疾病の予防及び適切な対応 【計画内容】子どもの疾病の予防と適切な対応③ 【準備学習の内容】前回の講義内容を復習しておくこと					A、K	
テキスト	プリントを使用します							
参考書	田村美由紀、2018年、『子どもの保健ハンドブック』、萌文書林、9784893473004 小林美由紀、2016年、『子どもの保健演習ノート』、診断と治療社、9784787822895 松田博雄、2016年、『子どもの保健Ⅰ』、中央法規出版株式会社、9784805852101							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	50%		20%		20%	10%	
補足								
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[乙]保育士_必修							
その他	大学生としてのマナー、受講態度で受講すること。意欲的、積極的に学ぶ姿勢を重視する。毎回、前回の課題について講評する。							

科目名	こどもの食と栄養		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	木下 教子						
授業の目的	ねらい	子どもの健康な食生活のあり方は、生涯にわたるすべての活動の基盤となり、順調な発育・発達を促すものである。近年、子どもの食の実態は栄養摂取のアンバランスにとどまらず、孤食や欠食などの社会とのかかわりの観点から多くの問題が指摘されている。子どもの豊富な食事体験は情緒の安定と発達段階に合った食生活を確立することから、子どもの栄養の基本的理論を体系的に理解するとともに、その知識を現場で実践化できるように学ぶ。					
	到達目標	(1)健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。 (2)子どもの発育・発達と食生活の関連について理解を深める。 (3)食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化とのかかわりの中で理解する。 (4)家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について学ぶ。 (5)特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】子どもの心身の健康と食生活 【計画内容】子どもの健やかな発育・発達をめざした食事・食生活支援について学ぶ。 【準備学習の内容】子どもを取り巻く食環境、食生活の現状について調べる。	A				
	第2回	【テーマ】栄養素の種類と機能 【計画内容】栄養の定義、摂取～消化吸収～代謝、食事の摂り方、子どもの食生活の特徴について学ぶ。 【準備学習の内容】五大栄養素の種類と働きについて、調べる。	A				
	第3回	【テーマ】食事摂取基準と献立作成・調理の基本 【計画内容】日本人の食生活の目標である「食事摂取基準」、「食事バランスガイド」、「食生活指針」を理解し、献立作成について学ぶ。 【準備学習の内容】日本の伝統的な食文化である和食のよさについて調べる。	A				
	第4回	【テーマ】乳児期の食生活 【計画内容】乳児期の食生活の特徴、咀嚼・嚥下機能、食行動の変化、母乳栄養、人工栄養について学ぶ。 【準備学習の内容】母乳栄養の利点について調べる。	A				
	第5回	【テーマ】離乳の意義と食生活 【計画内容】離乳の定義と必要性、離乳食の進め方、食べ方、食事の目安、離乳の完了、成長の目安について学ぶ。 【準備学習の内容】手づかみ食べの意味、適した食べ物を調べる。	A				
	第6回	【テーマ】幼児期の心身の発達と食生活 【計画内容】幼児期の消化・吸収機能、摂食行動、栄養素量、間食の役割、この時期の食の問題について学ぶ。 【準備学習の内容】市販のお菓子などの栄養成分表示を調べる。	A				
	第7回	【テーマ】学童期・思春期の心身の発達と食生活 【計画内容】体と心の成長、栄養素量、生涯にわたって心身の健康を考えると、望ましい食習慣の形成、食事の重要性について学ぶ。 【準備学習の内容】学校給食の特徴について調べる。	A				
	第8回	【テーマ】調乳の実習 【計画内容】乳児にミルクを与える場合の安全な調乳の方法、留意点について学ぶ。 【準備学習の内容】厚労省の調乳のガイドラインを読む。	B				
	第9回	【テーマ】食育における養護と教育の一体性 【計画内容】子どもの「食べる力」を育むために保育者はどのようなことができるか養護的側面と教育的側面から考える。 【準備学習の内容】保育所における食育に関する指針を読む。	A				
	第10回	【テーマ】食育の内容と計画および評価 【計画内容】食育のねらいおよび内容について学び、保育所における食育の年間計画を作成する。 【準備学習の内容】保育所の子どもの食の課題がわかる統計資料を準備する。	A、G				
	第11回	【テーマ】地域や家庭と連携した食育の展開 【計画内容】食育の取組みを行うとき、どのような関係機関や関係団体、関係者等との連携が必要であるのか学ぶ。 【準備学習の内容】保護者への食育の情報提供の方法について、考える。	A、G				
	第12回	【テーマ】家庭や児童福祉施設における食事と栄養 【計画内容】家庭における食事の役割、児童福祉施設における食事の提供について学ぶ。 【準備学習の内容】保育所で実施されている行事食について調べる。	A				
	第13回	【テーマ】特別な配慮を要する子どもの食と栄養1 【計画内容】疾病および体調不良の子どもに対応する食事について学ぶ。 【準備学習の内容】子どもの偏食について調べる。	A				
	第14回	【テーマ】特別な配慮を要する子どもの食と栄養2 【計画内容】食物アレルギー、障害のある子どもへの食事の対応について学ぶ。 【準備学習の内容】保育所におけるアレルギー対応ガイドラインを読む。	A				
	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】講義全体の振り返りをし、まとめを行う。 【準備学習の内容】ノート、プリントを復習しておく。	G				
テキスト	プリントを使用する						
参考書	講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		20%		20%	
補足				提出締切期間内			
質問への対応	授業中、授業後に対応します。						
資格	[乙]保育士_必修						
その他	これまでの自分の食生活を振り返りながら、未来に向かって健康な心と体をつくる日々の食事を常に意識していただきたい。						

学こども専門科目

科目名	保育内容の理解と方法 I			授業形態	演習	単位数	1
教員名	小林 美花						
授業の目的	ねらい	子どもの生活と遊びを豊かに展開するための、専門的な知識と技術、実践力を習得することを目的とします。また、各年齢に応じた運動遊び、見立て遊び、ごっこ遊び、戸外活動を実際に行い、保育者として必要な感性と表現力を身につけます。					
	到達目標	(1)子どもの生活における遊びの重要性について理解する。 (2)保育者として必要な、感性と表現力を身につける。 (3)様々な活動を遊びへと発展できる技術を習得する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業の内容と概要について説明します。子どもの発育・発達について理解します。 【準備学習の内容】 シラバスをよく読んでおくこと。					A
	第2回	【テーマ】 現代の子どもの生活と遊びの内容について 【計画内容】 現代社会について理解し、子どもの生活の実態を把握します。また、乳幼児期の遊び体験が与える影響について実際に活動を通して学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、B、E
	第3回	【テーマ】 子どもの発達と遊びについて① 【計画内容】 0歳児の発達を理解し、生活の中での遊びの意義について実際の活動を通して学びます。 【準備学習の内容】 配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、B、E、L
	第4回	【テーマ】 子どもの発達と遊びについて② 【計画内容】 1歳から3歳未満児の発達を理解し、生活の中での遊びの意義について実際の活動を通して学びます。また、実際に見立てつもり遊びなどを体験し、援助の方法などについて理解します。 【準備学習の内容】 授業時に示す指定課題についてまとめておくこと。					B、E、H、L
	第5回	【テーマ】 子どもの発達と遊びについて③ 【計画内容】 3歳以上児の発達を踏まえた遊びについて理解します。実際に劇遊びや運動遊びを行う中で、援助方法や留意点についても理解します。 【準備学習の内容】 授業時に示す指定課題についてまとめておくこと。					B、E、H、L
	第6回	【テーマ】 身近な素材と遊びについて① 【計画内容】 身近な自然が子どもの感性やイメージに与える影響について、実際に屋外での活動を体験する中で理解します。 【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておくこと。					B、E、H、L
	第7回	【テーマ】 身近な素材と遊びについて② 【計画内容】 身近な素材を活用した、表現遊びの内容について理解します。また、実際に表現活動の発表を行う中で、保育者として必要な表現力も身につけます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておくこと。					B、E、H、L
	第8回	【テーマ】 子どもの生活と遊びの関係について 【計画内容】 子どもの生活と遊びの関係を理解し、子どもの感性を養うための環境や保育の展開について理解します。また、これまでの学びから保育者として必要な技術の習得について最終確認をします。 【準備学習の内容】 まとめプリントをよく読み、理解しておくこと。					B、L
テキスト	プリントを使用します						
参考書	高野牧子、2015年、『うきうきわくわく身体表現あそび』、同文書院 岩崎洋子、2018年、『保育と幼児期の運動あそび』、萌文書林 古市久子、2017年、『保育表現技術』、ミネルヴァ書房						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足		30%	20%		50%	
質問への対応	初回授業時に具体的に説明します。						
資格	[こ]保育士_必修						
その他							

科目名	保育内容の理解と方法Ⅱ				授業形態	演習	単位数	1
教員名	清水 桂子							
授業の目的	ねらい	乳幼児の心身の発達や生活、遊びについて理解し、豊かに展開するための知識と技術を実践的に習得する。また、身近な自然や音、声等に親しむ体験につなげた教材等の工夫や、環境構成、展開の技術を習得することを目的とする。						
	到達目標	(1)乳幼児の心身の発達と子どもの生活・遊びについて理解することができる。 (2)乳幼児の生活と身近なものをつなげた音楽的表現活動の実際について理解し、創意工夫をすることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 講義内容、評価の方法等について説明します。音楽的表現活動について考えます。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を読んでおくこと。					A、B	
	第2回	【テーマ】 保育の内容と乳幼児の音楽表現活動について 【計画内容】 『保育所保育指針』に示される保育の内容をふまえ、乳幼児の音楽的表現活動について理解します。 【準備学習の内容】 テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、B、K	
	第3回	【テーマ】 乳幼児の発達と音楽的表現活動について 【計画内容】 乳幼児の心身の発達と音楽的表現活動の関係について理解します。 【準備学習の内容】 テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、B、K	
	第4回	【テーマ】 乳幼児の生活・遊びと音楽的表現活動の関係について 【計画内容】 生活の中で、身近なものや自然に触れる体験を通して感性を養うことを理解します。 【準備学習の内容】 テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					H、K	
	第5回	【テーマ】 乳幼児の音楽的表現活動と人との関わりについて 【計画内容】 他者との関係や集団の中において、音楽的表現活動がどのようになされていくのかについて理解します。また、保育者の関わりについて考えます。 【準備学習の内容】 テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					B、H、K	
	第6回	【テーマ】 多様な表現活動と展開について①(環境の構成と工夫) 【計画内容】 乳幼児の生活や遊びにおいて、イメージを豊かにし体験できるための環境や展開方法を考えます。 【準備学習の内容】 テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					B	
	第7回	【テーマ】 多様な表現活動と展開について②(身近な素材と教材研究) 【計画内容】 身近なものや素材を活用し、乳幼児の多様な音楽的表現活動の展開方法を考えます。 【準備学習の内容】 テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					B	
	第8回	【テーマ】 振り返りとまとめ 【計画内容】 乳幼児の音楽的表現活動について振り返り、まとめをします。 【準備学習の内容】 テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					L	
テキスト	木村鈴代、2019年、『新 たのしい子どものうたあそび-現場で活かせる保育実践-第二版』、同文書院資料を配付します							
参考書	文部科学省編、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 厚生労働省編、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		30%	30%	
	補足			学びの記録含む			発表	
質問への対応	初回講義時に説明します。							
資格	[乙]保育士_必修							
その他	動きやすい服装で出席して下さい。 提出課題等については、最終回に講評します。							

科目名	保育内容の理解と方法Ⅲ				授業形態	演習	単位数	1
教員名	入江 彩子、森迫 暁夫							
授業の目的	ねらい	身近な自然やものを用いた実技演習を通し、子どもの感性を養うための保育について考えます。また、子どもの生活と遊びにおける様々な素材や教材等の特性の理解と、それらの活用や作成に必要な知識及び技術を実践的に学び、習得します。						
	到達目標	(1)平面的・立体的な表現を用いた作品制作を通して、表現の基礎知識及び技術を習得し、表現についての理解を深める。 (2)身近な材料から遊びへの展開を考え、実践することができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス、絵の具を用いた表現1 【計画内容】 講義概要、講義展開等について説明します。絵の具について理解を深め、様々な技法について学習し作品を制作します。(入江彩子・森迫暁夫) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。					B、E	
	第2回	【テーマ】 絵の具を用いた表現2 【計画内容】 用具について理解を深め、絵の具を用いた技法の作品を制作します。(入江彩子) 【準備学習の内容】 制作進捗が遅れている場合は制作を進めておくこと。					B、E	
	第3回	【テーマ】 クレヨン・パスと絵の具を用いた表現 【計画内容】 クレヨン・パスについて理解を深め、クレヨン・パスと絵の具を用いた作品を制作します。(入江彩子) 【準備学習の内容】 前回の作品および課題が未完成の場合は、完成させておくこと。					B、E	
	第4回	【テーマ】 紙を用いたおもちゃの制作 【計画内容】 多種類の紙を用いておもちゃを制作します。(入江彩子) 【準備学習の内容】 前回の作品および課題が未完成の場合は、完成させておくこと。					E	
	第5回	【テーマ】 「不思議な生き物」の制作1 【計画内容】 材料となる自然物を採集し、身近な材料や自然物を用いて立体作品を制作します。(森迫暁夫) 【準備学習の内容】 前回の作品および課題が未完成の場合は、完成させておくこと。					E	
	第6回	【テーマ】 「不思議な生き物」の制作2 【計画内容】 身近な材料や自然物を用いて立体作品を制作します。(森迫暁夫) 【準備学習の内容】 制作進捗が遅れている場合は制作を進めておくこと。					E	
	第7回	【テーマ】 遊びへの展開1 【計画内容】 前回の制作から遊びへの展開を考え、関連する立体作品を制作します。(森迫暁夫) 【準備学習の内容】 前回の作品および課題が未完成の場合は、完成させておくこと。					B、E	
	第8回	【テーマ】 遊びへの展開2 【計画内容】 これまでの制作を振り返り、遊びへの展開を考えて実践します。(森迫暁夫) 【準備学習の内容】 前回の作品および課題が未完成の場合は、完成させておくこと。					B、H	
テキスト	プリントを使用します							
参考書	プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			30%	50%	20%		
質問への対応	講義時に説明します。							
資格	[こ]保育士_必修							
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回講義時に、用具セットや絵の具セット等を配付します。用具セットは毎時間持参してください。</li> <li>・クレヨン(12色以上)を各自用意してください。初回講義時に説明します。</li> <li>・作品制作に適した汚れても構わない服装、もしくはエプロンを着用してください。</li> <li>・第4回と第8回で作品の講評をします。</li> </ul>							

科目名	保育内容の理解と方法Ⅳ			授業形態	演習	単位数	1
教員名	菜原 桂子						
授業の目的	ねらい	児童文化財のそれぞれの特徴や実践方法を理解します。また、それらを活用した保育の実践が子どもの言葉の発達や遊びの展開にどのように関わっていくのかを考察し、保育の現場における子どもの遊びの援助・課題・留意点について理解を深めます。					
	到達目標	(1)言葉の発達に関わる様々な児童文化財を知り、関連性が理解できる。 (2)保育現場で教材を場面に応じた効果的な活用を行う事ができる。 (3)子どもの遊びを豊かに展開するための保育者の役割が理解できる。 (4)保育者にとって必要とされる豊かな言語表現を身に着ける。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業オリエンテーション・子どもの発達と児童文化財について 【計画内容】 講義概要8回の講義の内容と評価について説明します。また、保育内容5領域の関連性を踏まえて言葉の発達と児童文化財の結びつきについて学びます。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。保育内容5領域について復習しておくこと。					A、B
	第2回	【テーマ】 さまざまな児童文化財 【計画内容】 児童文化財の種類や歴史について学びます。 【準備学習の内容】 児童文化財にはどのようなものがあるのか調べておくこと。					A、B
	第3回	【テーマ】 児童文化財と保育教材① 【計画内容】 絵本・紙芝居の特徴を理解し、保育現場で実践するときの技術や工夫、環境構成を含む留意点について学びます。 【準備学習の内容】 自分の好きな絵本とその理由についてまとめておくこと。					A、B、H、E
	第4回	【テーマ】 児童文化財と保育教材② 【計画内容】 人形劇・パネルシアター・ペープサートの特徴・制作方法を理解し保育現場で実践するときの技術や工夫、環境構成を含む留意点について学びます。 【準備学習の内容】 3回目の授業で出された課題に取り組むこと。					A、B、H、E
	第5回	【テーマ】 児童文化財と保育教材③ 【計画内容】 ストーリーテリング・伝承遊び・わらべ歌の特徴を理解し、保育現場で実践するときの技術や工夫、環境構成を含む留意点について学びます。 【準備学習の内容】 4回目の授業で出された課題に取り組むこと。					A、B、H、E
	第6回	【テーマ】 子どもと児童文化財① 【計画内容】 子ども自らが児童文化財に親しむ経験とその保育の環境について考察し、子どもへの実践例により、効果的な活用方法について学びます。 【準備学習の内容】 乳幼児の言語の発達について復習しておくこと。					A、B、E
	第7回	【テーマ】 子どもと児童文化財② 【計画内容】 特別に支援が必要な子どもや気になる子への実践事例を通して考察して学びます。 【準備学習の内容】 6回目の授業で出された課題に取り組むこと。					A、B、E
	第8回	【テーマ】 まとめ・保育者の役割について 【計画内容】 学びを振り返り、子どもの日常的な活動と様々な児童文化財とのかかわりについて理解を深め、保育者としての役割や援助についてまとめます。 【準備学習の内容】 1～7回目までの講義内容の振り返りを行っておくこと。					L、K
テキスト	プリントを使用します。						
参考書	厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%	30%	30%	
	補足			提出期限厳守	提出期限厳守		
質問への対応	第1回の講義時に説明します。						
資格	[こ]保育士_必修						
その他	課題は評価後8回中に返却し、振り返りを行います。						

科目名	乳児保育 I		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	小林 美花						
授業の目的	ねらい	乳児保育の意義と目的、歴史的変遷及び保育所、保育士の役割について理解します。また、乳児保育の現代的課題や現状について把握し、他機関との連携などについても理解することを目的とします。さらに、0歳児と1歳以上3歳未満児の発育、発達について学び、具体的な保育内容についても理解します。					
	到達目標	(1)乳児保育の意義と歴史的変遷及び役割などについて理解する。 (2)保育所や乳児院などにおける乳児保育の現状と課題について理解する。 (3)乳児保育における保護者との関わりや、関係機関との連携について理解する。 (4)乳児保育における計画の意義について理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の概要について説明します。乳児保育の役割について学びます。 【準備学習の内容】シラバスをよく確認しておくこと。			A		
	第2回	【テーマ】乳児保育の意義と目的① 【計画内容】乳児保育の歴史的変遷について学び、乳児保育の意義と目的について理解します。 【準備学習の内容】テキスト第Ⅰ部1・2章をよく読んでおくこと。			A		
	第3回	【テーマ】乳児保育の意義と目的② 【計画内容】乳児保育における養護と教育について理解します。 【準備学習の内容】テキスト第Ⅰ部2章をよく読んでおくこと。			A、K		
	第4回	【テーマ】乳児保育の現状と課題について① 【計画内容】保育所における乳児保育の現状と課題について、事例から理解を深めます。 【準備学習の内容】テキスト第Ⅰ部3章をよく読んでおくこと。			A、J		
	第5回	【テーマ】乳児保育の現状と課題について② 【計画内容】小規模保育所や家庭的保育、乳児院などにおける乳児保育の内容や課題について学びます。 【準備学習の内容】テキスト第Ⅲ部10章2節をよく読んでおくこと。			A、K		
	第6回	【テーマ】乳児保育の現状と課題について③ 【計画内容】子育ての現状と、子育て支援の役割について事例から理解を深めます。 【準備学習の内容】テキスト第Ⅲ部9章2節をよく読んでおくこと。			A、J		
	第7回	【テーマ】3歳未満児の発達と保育内容について① 【計画内容】3歳未満児の発育・発達について理解します。また、人生の土台となる時期の愛着形成の重要性についても事例を通して、学びを深めます。 【準備学習の内容】テキスト第Ⅱ部4章1～5節をよく読んでおくこと。			A、J		
	第8回	【テーマ】3歳未満児の発達と保育内容について② 【計画内容】3歳未満児の1日の流れを把握し、子どもにとって最善の保育環境について理解を深めます。 【準備学習の内容】テキスト第Ⅱ部5章を読んでおくこと。			A、K		
	第9回	【テーマ】3歳未満児の発達と保育内容について③ 【計画内容】3歳未満児の生活の中での遊びの重要性について理解を深めます。 【準備学習の内容】テキスト第Ⅱ部6章を読んでおくこと。			A、K		
	第10回	【テーマ】3歳未満児の発達と保育内容について④ 【計画内容】3歳未満児の発達をより促すための関わりや援助、配慮点について理解を深めます。更に、3歳以上児への接続と保育士同士の連携についても理解します。 【準備学習の内容】テキスト第Ⅱ部7章をよく読んでおくこと。			A、K		
	第11回	【テーマ】3歳未満児の発達と保育内容について⑤ 【計画内容】全体的な計画に基づく乳児保育の計画の意義と役割、評価について理解を深めます。 【準備学習の内容】テキスト第Ⅱ部8章をよく読んでおくこと。			A、K		
	第12回	【テーマ】乳児保育における連携と協働① 【計画内容】乳児保育における保育士の役割について理解し、職員間の連携と保育の質の向上のための連携について学びます。 【準備学習の内容】テキスト第Ⅲ部9章1節をよく読んでおくこと。			A、K		
	第13回	【テーマ】乳児保育における連携と協働② 【計画内容】子どもを中心にした子育てについて事例を通して学びます。更に事例から子育て支援の意義についても学びを深めます。 【準備学習の内容】テキスト第Ⅲ部9章3節をよく読んでおくこと。			A、J		
	第14回	【テーマ】乳児保育における連携と協働③ 【計画内容】地域社会について事例を通して学び、保育所と各関係機関の連携の重要性について理解を深めます。 【準備学習の内容】配付プリントをよく読み、まとめておくこと。			A、J		
	第15回	【テーマ】今後の乳児保育の課題と展望 【計画内容】これまでの学習を振り返り、乳児保育の課題と展望についてまとめます。 【準備学習の内容】まとめプリントの理解を深めておくこと。			A、L		
テキスト	入江慶太、2018年、『乳児保育-子ども・家庭・保育者が紡ぐ営み-』、教育情報出版						
参考書	白石正久、1994年、『発達の扉上』、かもがわ出版 今井和子、1990年、『自我の育ちと探索活動』、ひとなる書房 厚生労働省、2017年、『保育所保育指針』、フレーベル館						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足	60%		20%		20%	
質問への対応	初回授業で具体的に説明します。						
資格	[乙]保育士_必修						
その他	マナーを守り、積極的に受講することを期待しています。						

科目名	社会的養護Ⅱ				授業形態	演習	単位数	1
教員名	保田 真希							
授業の目的	ねらい	本講義の目的は、こどもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容、施設養護や家庭養護の生活特性及び実際、計画・記録・自己評価について理解することである。また、社会的養護における家庭支援やこどもの虐待防止等を含めた課題や今後の展望について理解を深める。						
	到達目標	(1)社会的養護におけるこどもの権利擁護や保育士等の倫理について理解します。 (2)施設養護及び他の社会的養護の実際について理解します。 (3)個々の児童に応じた支援計画を作成し、日常生活支援、治療的支援、自立支援等理解を深めます。 (4)社会的養護にかかわるソーシャルワークの方法と技術について理解を深めます。 (5)社会的養護を通して、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について理解を深めます。						
授業の計画	第1回	【テーマ】社会的養護におけるこどもの権利擁護 【計画内容】社会的養護におけるこどもの権利擁護について理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。					A、H、K、L	
	第2回	【テーマ】社会的養護における保育士等の倫理及び責務 【計画内容】社会的養護に携わる保育士等の倫理及び責務について学びます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。					A、B、K、L	
	第3回	【テーマ】社会的養護の実施体系① 【計画内容】社会的養護に携わる児童福祉施設における施設養護の特性とその実際について学びます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。					B、H、K、L	
	第4回	【テーマ】社会的養護の実施体系② 【計画内容】里親、特別養子縁組などについて理解します。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。					A、B、H、K	
	第5回	【テーマ】支援の計画と内容① 【計画内容】社会的養護における個別支援計画の作成、日常生活支援や治療的支援について理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。					B、H、K	
	第6回	【テーマ】支援の計画と内容② 【計画内容】事例分析を通して自立支援や、支援の展開における記録について学び、自己評価について理解します。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。					B、H、K、L	
	第7回	【テーマ】社会的養護にかかわる専門的技術 【計画内容】保育士の専門性に関わる知識・技術とその応用、ソーシャルワークの展開について理解を深めます。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。					B、K、L	
	第8回	【テーマ】社会的養護の課題と展望 【計画内容】社会的養護を担う施設の小規模化と地域とのかわり、社会的養護の課題と展望について理解を深め、まとめと振り返りを行います。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を熟読する。					A、G、K、L	
テキスト	山縣文治他編、2012年、『よくわかる社会的養護』、ミネルヴァ書房							
参考書	小木曾宏他編、2015年、『よくわかる社会的養護内容』、ミネルヴァ書房							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	40%		40%			20%	
	補足						リアクションペーパー10%、演習への取り組み10%	
質問への対応	毎回、講義終了時にリアクションペーパー(①講義の中で最も関心を抱いたことと考えたこと、②質問・疑問点)を提出してもらいます。次回の講義の冒頭で、コメントをピックアップし、疑問点・質問に対する返答を行います。							
資格	[乙]保育士_必修							
その他								

学こども専門科目

科目名	保育実習指導 I A				授業形態	演習	単位数	1
教員名	清水 桂子、小林 美花、保田 真希							
授業の目的	ねらい	保育実習の意義・目的と実習の内容を理解し、自らの実習課題を明確にする。また、実習施設における子どもの人権、守秘義務について理解する。さらに、実習の計画と記録及評価の方法や内容の理解を目的とする。						
	到達目標	(1)保育実習の意義・目的と実習内容を理解し、自己課題を明確にする。 (2)実習施設における子どもの人権、最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務について理解する。 (3)実習の観察の視点と、計画・記録の方法や内容について理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 保育実習の意義と目的について学びます。保育士資格と保育実習について把握し、実習の段階や内容について理解します。(清水桂子・小林美花・保田真希) 【準備学習の内容】 テキスト、シラバスを読んでおくこと。					A、B、K	
	第2回	【テーマ】 保育所実習の内容について 【計画内容】 保育所における一日の生活の流れ、実習の内容について具体的に理解します。(清水桂子・小林美花・保田真希) 【準備学習の内容】 テキスト、配付資料の指定箇所を読んでおくこと。					A、B、K	
	第3回	【テーマ】 施設実習の内容について 【計画内容】 実習施設の種別、一日の生活の様子、支援の内容について学びます。実習の内容について具体的に理解します。(清水桂子・小林美花・保田真希) 【準備学習の内容】 テキスト、配付資料の指定箇所を読んでおくこと。					A、B、K	
	第4回	【テーマ】 保育所実習の計画と記録について 【計画内容】 保育所実習における観察の観点、計画、記録について学びます。(清水桂子・小林美花・保田真希) 【準備学習の内容】 テキスト、配付資料の指定課題をおこなっておくこと。					A、B、K	
	第5回	【テーマ】 施設実習の計画と記録について 【計画内容】 施設実習における観察の視点、計画・記録について学びます。(清水桂子・小林美花・保田真希) 【準備学習の内容】 テキスト、配付資料の指定課題をおこなっておくこと。					A、B、K	
	第6回	【テーマ】 実習に際しての留意事項について 【計画内容】 子どもの人権、最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務について理解します。(清水桂子・小林美花・保田真希) 【準備学習の内容】 テキスト、配付資料の指定課題をおこなっておくこと。					A、B、K	
	第7回	【テーマ】 学びの確認と課題の明確化①(保育所実習) 【計画内容】 保育所実習に向け、これまでの学びを振り返り、自己課題を明確にします。(清水桂子・小林美花・保田真希) 【準備学習の内容】 テキスト、配付資料の指定箇所を読んでおくこと。					A、B、K	
	第8回	【テーマ】 学びの確認と課題の明確化①(保育所実習) 【計画内容】 施設実習に向け、これまでの学びを振り返り、自己課題を明確にします。(清水桂子・小林美花・保田真希) 【準備学習の内容】 テキスト、配付資料の指定箇所を読んでおくこと。					A、B、K	
テキスト	石橋裕子、2019年、『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』、同文書院 配付資料を使用します							
参考書	厚生労働省編、2019年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2019年、『幼保連携型認定こども園教育保育要領』、フレーベル 長島和代、2019年、『保育の基本用語』、わかば社							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			60%		40%		
補足								
質問への対応	担当教員研究室							
資格	[乙]保育士_必修							
その他	「保育実習 I」の履修者は、実習前の履修要件科目です。 提出課題等については、最終回に講評します。							

科目名	保育原理				授業形態	講義	単位数	2
教員名	菜原 桂子							
授業の目的	ねい	現代の保育情勢はめまぐるしく変化し、保育ニーズは多様化しています。それに伴い、保育者に求められる資質や専門性は期待度を増しています。保育・幼児教育とは何か・・・と問いながら、保育・幼児教育の基礎・基本を理解します。						
	到達目標	(1)保育・教育の意義と『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』における保育の基本について理解する。 (2)保育・教育の理念と多様な保育内容・方法の基本について理解する。 (3)環境と子どもの発達について学び、実際の保育と現場の関わりを理解する。 (4)保育・教育の思想と歴史の変遷について理解する。 (5)保育・教育の現状と課題について考え理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション:保育・幼児教育とは何か 【計画内容】講義内容、評価の方法を説明します。保育・幼児教育とは何か、について考えます。 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと。					A、K	
	第2回	【テーマ】保育の意義について① 【計画内容】保育・教育の理念と概念や社会的意義について学び、児童福祉法・教育基本法における保育の目的について学びます。 【準備学習の内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、K	
	第3回	【テーマ】保育の意義について② 【計画内容】保育所保育や家庭的保育と保育士の役割について学び、こどもの最善の利益を考慮した保育について学びます。 【準備学習の内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、K	
	第4回	【テーマ】保育の基本と内容について 【計画内容】『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』について理解し、養護と教育の一体性について学びます。 【準備学習の内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、B、K	
	第5回	【テーマ】環境を通しての保育について 【計画内容】保育が環境を通して展開されることを学び、様々な事例から理解を深めます。 【準備学習の内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、B、K	
	第6回	【テーマ】発達過程と保育の内容について① 【計画内容】乳幼児期の発達過程について学び、保育が発達過程に応じて行われることを理解します。 【準備学習の内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、K	
	第7回	【テーマ】発達過程と保育の内容について② 【計画内容】発達過程の理解とともに、年齢別の保育の展開について様々な事例を通して学びます。また、日常的な保育と保護者との緊密な連携の必要性について理解を深めます。 【準備学習の内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、B、H	
	第8回	【テーマ】保育の方法と形態について 【計画内容】保育における「子ども理解」について考え、保育が生活と遊びを通し総合的に展開されていることを学びます。また、保育における、個と集団への配慮についても理解を深めます。 【準備学習の内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、K	
	第9回	【テーマ】保育の計画と評価について 【計画内容】保育における、計画・実践・記録・評価・改善などの過程と方法、意義について学びます。 【準備学習の内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、B、K	
	第10回	【テーマ】保育の思想と歴史の変遷について 【計画内容】諸外国の保育・日本の保育の思想と歴史について学びます。 【準備学習の内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、B、H	
	第11回	【テーマ】保育・教育の歴史に関する基礎的知識について 【計画内容】家庭と社会による保育・教育の歴史について学びます。 【準備学習の内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、F、K	
	第12回	【テーマ】保育・教育に関する思想について 【計画内容】家庭や子どもに関わる保育・教育の思想について学びます。 【準備学習の内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、F、K	
	第13回	【テーマ】保育の連携について 【計画内容】子育て支援の機能、家庭、小学校との連携について学びます。 【準備学習の内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、B、K	
	第14回	【テーマ】保育の現状と課題について 【計画内容】日本や諸外国の保育の現状と課題について、歴史的視点も踏まえて学び考察します。 【準備学習の内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、H	
	第15回	【テーマ】保育者の専門性について 確認・まとめ 【計画内容】保育者の倫理観、保育者の専門性について学びます。 【準備学習の内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、B	
テキスト	天野珠路・北野幸子、2019年、『保育原理』、中央法規出版							
参考書	文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	80%				20%		
補足								
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[乙]幼2種_必修、保育士_必修、社会福祉主事_必修							
その他	「保育実習Ⅰ」の履修者は、実習前の履修要件科目となります。 第16回に最終評価のためのテストを行います。							

科目名	保育内容総論				授業形態	演習	単位数	2	
教員名	清水 桂子								
授業の目的	ねらい	幼児の教育及び保育において育みたい資質・能力を理解し、『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に示された内容について理解を深める。また、保育の内容が子どもの生活全体を通して養護と教育が一体的に展開されることや、領域との関連性、小学校の教科等のつながりについて理解する。さらに、乳幼児の発達に即した主体的・対話的な学びがなされることを踏まえ、様々な保育の展開について把握し、具体的に保育を構想する方法を身につける。							
	到達目標	(1)『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に示された教育及び保育の基本を踏まえ、各章のつながりや全体的な構造を理解する。 (2)各領域のねらい及び内容を理解し、養護と教育が一体的に展開することや、各領域のつながりについて理解する。 (3)乳幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的に保育の場面を想定して保育を構想する方法を身につけると共に、観察や記録、評価の視点を習得する。 (4)保育内容の歴史の変遷や、多様な保育の展開について学ぶ。							
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容、評価方法を説明します。保育内容について考えます。 【準備学習の内容】シラバスの内容を読んでおくこと。					A、B、K		
	第2回	【テーマ】乳幼児の教育及び保育の基本と保育内容の総合的理解について 【計画内容】乳幼児の教育及び保育の基本、保育内容の基本構造について学びます。『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に基づいて理解します。 【準備学習の内容】テキストや配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、B、K		
	第3回	【テーマ】子ども理解について 【計画内容】幼児の認識・思考・発達や子どもの発達の特性を踏まえた保育の展開について、映像資料を通し、保育の事例から読み取り理解します。 【準備学習の内容】テキストや配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、B、K		
	第4回	【テーマ】保育内容と保育者のかかわりについて 【計画内容】教育及び保育における保育の展開や観察や記録、評価の方法について、映像資料を通し保育の事例から読み取り理解します。 【準備学習の内容】テキストや配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、B、K		
	第5回	【テーマ】『保育所保育指針』に基づく保育の基本及び保育内容の理解について 【計画内容】養護と教育の一体的な展開について学びます。教育及び保育が生活や発達の連続性の中でおこなわれていることや領域や小学校の教科とのつながり、乳幼児の遊びについて理解します。 【準備学習の内容】テキストや配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					B、H、K		
	第6回	【テーマ】『幼稚園教育要領』に基づく幼稚園教育の基本及び保育内容の理解について 【計画内容】各領域のねらい、領域間のつながり、環境を通しての遊びや小学校の教科とのつながりについて理解します。発達や学びの過程、年齢に応じた教材研究を通して理解を深めます。 【準備学習の内容】テキストや配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					B、H、K		
	第7回	【テーマ】『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に基づく、保育の基本及び保育内容の理解について 【計画内容】教育及び保育における領域間のつながり、環境を通しての遊びや小学校の教科等とのつながりについて理解します。発達や学びの過程、年齢に応じた遊びの実践を通して理解を深めます。 【準備学習の内容】テキストや配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					B、H、K		
	第8回	【テーマ】保育内容の指導方法と保育の構想について 【計画内容】各領域の特性や環境を通しての遊び、評価の考え方について理解します。幼児の認識・思考・発達や学びの過程、体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想につなげます。 【準備学習の内容】テキストや配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					B、H、K		
	第9回	【テーマ】教育及び保育の展開と実践について 【計画内容】教育及び保育の展開について、幼児の認識・思考・発達や学びの過程を踏まえ実践を通して理解します。情報機器及び教材の活用法の理解を深め、保育の構想や計画につなげます。 【準備学習の内容】テキストや配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					B、H、K		
	第10回	【テーマ】保育内容の歴史の変遷について 【計画内容】保育内容の歴史の変遷について学びます。保育指針、教育要領の変遷や、教育・保育要領の成立の全体像なども理解します。 【準備学習の内容】テキストや配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、B、K		
	第11回	【テーマ】教育及び保育における計画と作成について 【計画内容】教育課程と指導計画について理解を深めます。これまでの学びを活かし、乳幼児の発達や生活に即した教育及び保育を構想し、指導案を作成し模擬保育を実践します。 【準備学習の内容】テキストや配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					B、K		
	第12回	【テーマ】教育及び保育の計画と記録・評価について 【計画内容】教育課程と指導計画について理解を深めます。模擬保育の実践を振り返るとともに、保育を改善することを理解します。さらに、保育実践の動向を把握し、保育を構想することを理解します。 【準備学習の内容】テキストや配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					B、K		
	第13回	【テーマ】教育及び保育の連携について 【計画内容】家庭、地域、小学校との連携を通して保育がおこなわれていることについて学びます。グループワークから事例に基づき検討し、理解を深めます。 【準備学習の内容】テキストや配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、H		
	第14回	【テーマ】教育及び保育の多様な展開について 【計画内容】乳児保育、長時間の保育、特別な支援を必要とする子どもの保育や、多文化共生の保育などの多様な保育ニーズについて具体的に学びます。 【準備学習の内容】テキストや配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。					A、B、K		
	第15回	【テーマ】教育及び保育の現状と課題・専門性について 【計画内容】教育及び保育の現状と課題について理解します。これまでの学びを総合的に振り返り、理解したことを整理し、保育者・教育者の役割と専門性について学びます。 【準備学習の内容】これまでの学びを整理しておくこと。					A、K、L		
テキスト	太田光洋他、2019年、『保育内容総論-生活・遊び・活動をとおして育ちあう保育を創る』、同文書院 プリントを使用します								
参考書	井上孝之他、2018年、『子どもと共に学びあう演習-保育内容総論 [第2版]』、みらい 文部科学省編、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 厚生労働省編、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 内閣府・文部科学省、厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館								
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他			
	配分		70%		30%				
補	足		学びの記録、ふり返り含む						
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。								
資格	〔こ〕幼2種_必修、保育士_必修								
その他	『保育実習Ⅰ』の履修者は、実習前の履修要件科目となります。こども学科の卒業必修科目です。提出課題等については、最終回に講評します。								

学  
こ  
こ  
ど  
も  
専  
門  
学  
科  
目  
録

科目名	保育内容環境			授業形態	演習	単位数	2
教員名	菊地 達夫						
授業の目的	ねらい	『保育内容環境』では、『幼稚園教育要領解説』、『保育所保育指針解説書』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』の環境に関する内容について、基礎的な指導・支援技術を学習します。また、小学校教育の教科・領域との関連についても必要に応じて触れます。					
	到達目標	(1)『幼稚園教育要領解説』(環境)の内容の基礎的な指導・支援の方法について理解できる。 (2)『保育所保育指針解説書』(環境)の内容の基礎的な指導・支援の方法について理解できる。 (3)『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(環境)の内容の基礎的な指導・支援の方法について理解できる。 (4)小学校教育の教科・領域との関連について理解できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業のねらい、到達目標、授業計画、成績評価方法、参考文献について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容についてよく読んでおくこと。					A
	第2回	【テーマ】 環境の意義・環境のねらい 【計画内容】 自然環境・社会環境の変化(環境問題)を通じて、領域環境の意義・ねらいについて学習します。 【準備学習の内容】 参考書(解説)を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。					A、K
	第3回	【テーマ】 環境の内容・改善点 【計画内容】 現行と従前の教育要領(教育保育要領を含む)解説と保育指針解説書を比較しながら、内容・改善点について学習します。 【準備学習の内容】 参考書(解説)を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。					A、K
	第4回	【テーマ】 身近な自然環境-植物編(幼稚園教育要領の場合、内容1・3・4・5に関連) 【計画内容】 身近な植物の関わり(在来種と外来種の区別)について学習します。 【準備学習の内容】 参考書(解説)を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。					A、K
	第5回	【テーマ】 身近な自然環境-小動物編(幼稚園教育要領の場合、内容1・3・4・5に関連) 【計画内容】 身近な小動物の関わり(在来種と外来種の区別)について学習します。 【準備学習の内容】 参考書(解説)を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。					A、K
	第6回	【テーマ】 事物の利用(人的環境)(幼稚園教育要領の場合、内容2・6・7に関連) 【計画内容】 場面設定(遊具での遊び)をし、思考しながら学習します。 【準備学習の内容】 参考書(解説)を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。					A、K
	第7回	【テーマ】 公共物の利用(人的環境)(幼稚園教育要領の場合、内容2・6・8に関連) 【計画内容】 場面設定(送迎バスの環境)をし、思考しながら学習します。 【準備学習の内容】 参考書(解説)を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。					A、K
	第8回	【テーマ】 標識・マーク(幼稚園教育要領の場合、内容8・9に関連) 【計画内容】 場面設定(標識等)をし、思考しながら学習します。 【準備学習の内容】 参考書(解説)を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。					A、K
	第9回	【テーマ】 身近な地域情報(幼稚園教育要領の場合、内容10に関連) 【計画内容】 場面設定(地域情報誌)をし、思考しながら学習します。 【準備学習の内容】 参考書(解説)を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。					A、K
	第10回	【テーマ】 地域総合保育(幼稚園教育要領の場合、内容1～11に関連) 【計画内容】 地域総合保育の役割・重要性について学習します。 【準備学習の内容】 参考書(解説)を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。					A
	第11回	【テーマ】 地域総合保育(散歩活動)(幼稚園教育要領の場合、内容1～11に関連) 【計画内容】 情報収集し、具体的な保育指導内容を考えながら学習します。 【準備学習の内容】 参考書(解説)を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。					M、J
	第12回	【テーマ】 地域総合保育(動物園遠足)(幼稚園教育要領の場合、内容5・6・9・10に関連) 【計画内容】 情報収集し、具体的な保育指導内容を考えながら学習します。 【準備学習の内容】 参考書(解説)を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。					J
	第13回	【テーマ】 地域総合保育(年中行事)(幼稚園教育要領の場合、内容3・4・11に関連) 【計画内容】 情報収集し、具体的な保育指導内容を考えながら学習します。 【準備学習の内容】 参考書(解説)を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。					J
	第14回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 第13回までの学習内容の重要な点について確認します。 【準備学習の内容】 これまでの理解できていない学習内容についてよく復習しておくこと。					L
	第15回	【テーマ】 まとめと整理 【計画内容】 「保育内容環境」(全体)の授業構造について再確認します。 【準備学習の内容】 これまでの理解できていない学習内容についてよく復習しておくこと。					A、L
テキスト	必要に応じてプリントを使用します						
参考書	文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
補足	第14回の一部内容として実施						
質問への対応	初回授業時に説明します。						
資格	[乙]幼2種_選必、保育士_必修						
その他	任意ではあるが、関連内容の「こども環境管理士2級」の受験(11月実施)が望ましい(別途対策講座実施の予定)。課題等の結果は、返却時に講評・補足説明を行います。						

科目名	保育内容言葉		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	中島 啓子						
授業の目的	この授業では『幼稚園教育要領』と『保育所保育指針』における領域「言葉」のねらいと内容を学習します。言葉に関する基礎的な知識を習得し、子どもの発達との関わりや保育者としての役割について考えます。 (1)『幼稚園教育要領』と『保育所保育指針』における領域「言葉」のねらいと内容について理解することができる。 (2)言葉に関する基礎的な知識を習得することができる。 (3)領域「言葉」の観点から保育者の役割について考えることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のオリエンテーション 【計画内容】 授業の目標を理解し、全15回の授業を概観します。 【準備学習の内容】 『幼稚園教育要領解説』『保育所保育指針解説』の言葉の獲得に関する領域「言葉」を読んでおくこと。				A、B、K、L	
	第2回	【テーマ】 言葉とはどのようなものか 【計画内容】 自分たちが用いている言葉とはどのようなものなのか、言葉の機能や役割について考えます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。				A、B、E、K、G、L	
	第3回	【テーマ】 子どもの発達と言葉 【計画内容】 身体や人間関係の発達、環境の関わりと言葉の関わりについて学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。				A、B、E、K、G、L	
	第4回	【テーマ】 領域「言葉」のねらいと内容 【計画内容】 『幼稚園教育要領』と『保育所保育指針』における領域「言葉」のねらいと内容について学びます。 【準備学習の内容】 『幼稚園教育要領』と『保育所保育指針』の指示された箇所を読んでおくこと。				A、B、E、K、G、L	
	第5回	【テーマ】 言葉が育つ環境と文化財 【計画内容】 子どもの言葉が育つ環境、子どもを育てる言葉の文化財について学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。				A、B、E、K、G、L	
	第6回	【テーマ】 0歳児・1～2歳児の言葉 【計画内容】 0歳児、1～2歳児がどのように言葉の世界とかがわり、言葉を使っているかについて学び、保育者のかかわり方について考えます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。				A、B、E、K、G、L	
	第7回	【テーマ】 3～4歳児・5～6歳児の言葉 【計画内容】 3～4歳児、5～6歳児がどのように言葉を使っているかについて学び、保育者の関わり方について考えます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。				A、B、E、K、G、L	
	第8回	【テーマ】 絵本の読み聞かせ 【計画内容】 絵本の役割、読み聞かせの基本について学び、実践します。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。絵本の用意と読みの練習をしておくこと。				A、B、E、K、G、L	
	第9回	【テーマ】 紙芝居の読み聞かせ 【計画内容】 紙芝居の役割、演じ方の基本について学び、実践します。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。				A、B、E、K、G、L	
	第10回	【テーマ】 領域「言葉」の指導計画 【計画内容】 教育課程・保育課程の位置付けと役割を踏まえ、領域「言葉」の指導計画作成について学びます。 【準備学習の内容】 課題に取り組んでおくこと。				A、B、E、K、G、L	
	第11回	【テーマ】 保育者の役割(1) 【計画内容】 保育者による言葉の発達の指導や支援について学びます。主に保育者自身の言葉の在り方について考えます。 【準備学習の内容】 課題に取り組んでおくこと。				A、B、E、K、G、L	
	第12回	【テーマ】 保育者の役割(2) 【計画内容】 保育者による言葉の発達の指導や支援について学びます。主に子どもへの言葉掛けについて考えます。 【準備学習の内容】 課題に取り組んでおくこと。				A、B、E、K、G、L	
	第13回	【テーマ】 言葉をめぐる現代社会の課題 【計画内容】 言葉をめぐる現代社会の課題と、子どもの言葉が育つ環境について考えます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。				A、B、E、K、G、L	
	第14回	【テーマ】 言葉と国語教育 【計画内容】 保幼小連携の観点から、領域「言葉」と小学校教科「国語」のつながりについて学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。				A、B、E、K、G、L	
	第15回	【テーマ】 まとめ(講義の振り返り) 【計画内容】 「保育内容言葉」の授業の振り返りを行い、授業を通して考えたことについてまとめて発表します。 【準備学習の内容】 これまでの授業の資料やまとめを読んで復習をしておくこと。				A、B、G、K、H、L	
テキスト	文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館、4577814471 厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館、457781448X 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館						
参考書	プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%	40%	20%	
補足				課題・ノート	課題作品	受講シート	
質問への対応	初回講義時に説明します。						
資格	[乙]幼2種_選必、保育士_必修						
その他							

学  
科  
専  
門  
学  
科  
目  
科  
目

科目名	保育内容表現		授業形態	演習	単位数	2
教員名	菜原 桂子					
授業の目的	ねらい	5領域との関連性を踏まえ、子どもが感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、想像性を豊かにするための保育の内容や方法について理論と実践の両面から学びます。また、その他の活動の実際について個と集団の育ちの視点及び表現を総合的に捉え保育者としてどのように援助していくことが良いのかを考察しながら理解を深めます。				
	到達目標	(1)乳幼児期において、育みたい資質を理解し保育内容表現のねらい及び内容と関連させて理解を深める。 (2)表現の前にある、感じる・知る・思考するなどの認知活動と子どもの様々な「表現」について理解する。 (3)子どもの心身の発達と環境構成について「表現」との関わりを通して理解する。 (4)具体的な援助について、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて考察し、保育の活動を構想する力を身に付ける。 (5)保育者自身が豊かな感性と表現力を持つことの重要性について理解する。				
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業の概要、評価について説明します。また、「表現」とは何かについて基本的な考え方を学びます。 【準備学習の内容】 シラバスに目を通して頂くこと。				A、H
	第2回	【テーマ】 保育内容「表現」の理解と保育内容「5領域」の関連性 【計画内容】 保育現場の表現活動から保育内容5領域の関連性を考察して学びます。また、子どもの表現活動の意義や内容について理解します。 【準備学習の内容】 第1回目に提示された課題を行っておくこと。				A、B、H
	第3回	【テーマ】 乳幼児期における表現の育つ過程、保育内容「表現」の理解と実践 【計画内容】 乳幼児期の年齢別における表現力と個人差について学び、表現活動における留意点について理解します。 【準備学習の内容】 保育所保育指針の指定された部分を読んでおくこと。				A、B、K
	第4回	【テーマ】 子どもの「表現活動」(1) 【計画内容】 「音楽」を通しての子どもの表現活動と特性について学び実践します。また、実践に対しての保育における留意点について考察し理解を深めます。 【準備学習の内容】 基本的な音楽記号や音符の長さなど確認して理解しておくこと。				A、B、L
	第5回	【テーマ】 子どもの「表現活動」(2) 【計画内容】 「リズム」を通しての子どもの表現活動(ビート・テンポ・強弱・リズムパターン・フレーズ・ニュアンス)について学び、活動の展開方法と留意点について学びます。 【準備学習の内容】 基本的な音楽記号や音符の長さなど確認して理解しておくこと。				A、B、L
	第6回	【テーマ】 子どもの「表現活動」(3) 【計画内容】 子どもの「認識」「思考」「動き」等を視野に入れた、身体表現の活動とその特性を理解し、模倣して遊ぶ楽しさや意義を考察します。 【準備学習の内容】 体調管理を行い身体表現について復習しておくこと。				A、B、L
	第7回	【テーマ】 子どもの「表現活動」(4) 【計画内容】 「造形」を通しての子どもの表現活動について学び、活動の展開方法やプロセスを考え、指導案の構成を学びます。 【準備学習の内容】 第6回目に提示された課題を行っておくこと。				A、B、L
	第8回	【テーマ】 「表現」を育む環境構成と援助(1) 【計画内容】 子どもの表現活動への保育者の援助と環境構成について学び、その中の情報機器・及び教材の活用法について考察し実践します。 【準備学習の内容】 第7回目に提示された課題を行っておくこと。				A、B、N
	第9回	【テーマ】 「表現」を育む環境構成と援助(2) 【計画内容】 環境構成を行い子どもの表現活動の実践から保育者の援助について考察します。 【準備学習の内容】 第8回目に提示された課題を行っておくこと。				A、B、N
	第10回	【テーマ】 「表現」を育む環境構成と援助(3) 【計画内容】 保育内容5領域を通して子どもが経験して身につけていく内容の関連性と小学校の教科へのつながりを理解します。 【準備学習の内容】 第9回目に提示された課題を行っておくこと。				A、B、N
	第11回	【テーマ】 アクティブラーニングを取り入れた複合的表現活動① 【計画内容】 1)再現による表現などに観られる「複合的な表現活動」について理解を深めます。 2)「子どもが楽しむオペレッタ」についてグループで話し合い、構想をまとめます。 【準備学習の内容】 「子どもが楽しむオペレッタ」の内容について、各自考えておくこと。				B、H、N
	第12回	【テーマ】 アクティブラーニングを取り入れた複合的表現活動② 【計画内容】 子どもが楽しむオペレッタについて、その活動の意義をとらえながら実践します。 【準備学習の内容】 「子どもが楽しむオペレッタ」の計画書を完成し、提出できるよう準備をしておくこと。				A、B、N
	第13回	【テーマ】 アクティブラーニングを取り入れた複合的表現活動③ 【計画内容】 グループごとに、必要機材(小道具などを含む)の設定を行い、保育者としての表現力を養いながら発表に向けての練習に取り組みます。 【準備学習の内容】 「子どもが楽しむオペレッタ」の発表準備をすすめることが出来るように必要な準備を行っておくこと。				B、N
	第14回	【テーマ】 アクティブラーニングを取り入れた複合的表現活動④ 【計画内容】 グループごとに発表し、その活動の準備の段階から発表までの取り組みに対して評価・反省を行います。また、保育に対する省察の意義や、教育における評価の考え方について理解を深めます。 【準備学習の内容】 「子どもが楽しむオペレッタ」の発表準備及び「反省と評価」の提出準備を進めておくこと。				B、L
	第15回	【テーマ】 振り返りとまとめ 【計画内容】 授業全体を通して、「保育内容表現」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことについて理解を深めます。 【準備学習の内容】 授業全体の復習を行う。				A、K、L
テキスト	プリントを使用します					
参考書	文部科学省、2018年、「幼稚園教育要領解説」、フレーベル館 厚生労働省、2018年、「保育所保育指針解説書」、フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」、フレーベル館					
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		40%	30%	30%	
	補足					
質問への対応	毎回の授業の中で聞き取り、返答します。					
資格	[こ]幼2種_選必、保育士_必修					
その他	課題は15回中に返却します。その後、振り返りを行い、評価を行います。					

科目名	教職概論		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	太田 俊一						
授業の目的	ねらい	講義では、教師としての必要な知識や技能を学ぶとともに教師の仕事の内容について理解を深め、教師としての資質・能力を磨きます。また、現在の教育の問題や課題にどのように向き合っていくかについて、図書・新聞・TV等から情報を基に考察し、自分が教師ならどうするか、意見をミニレポートにまとめたり、発表し合うなどの活動を重視した授業展開を行います。					
	到達目標	(1)教職の具体的な内容と意義を理解できる。 (2)教職の使命と責任を理解し、自らの適正について自覚を持てる。 (3)求められる教師像を理解し、目指す教師像と具体的な課題を説明できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業の進め方や講義全体の内容を説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおくこと。	A、B、F、K				
	第2回	【テーマ】 教員養成と教育課程 【計画内容】 教職課程の履修方法や教員採用検査の対応などを学びます。小学校の免許資格に必要な介護等体験についても把握します。 【準備学習の内容】 プリントやテキストの示された部分を読んでおくこと。	A、B、F、K				
	第3回	【テーマ】 教育の現状と課題 【計画内容】 子どもの生活とチームとしての学校の実情を理解し、課題とされていることを学びます。 【準備学習の内容】 プリントやテキストの示された部分を読んでおくこと。	A、B、F、K				
	第4回	【テーマ】 教職の意義と教師の職務(体罰・懲戒を含む) 【計画内容】 法令に示されている教師の職務や服務にはどのようなものがあるかを理解します。 【準備学習の内容】 プリントやテキストの示された部分を読んでおくこと。	A、B、F、K				
	第5回	【テーマ】 教師の役割と教師の使命 【計画内容】 時代の変遷とともに求められる教師像について理解します。 【準備学習の内容】 プリントやテキストの示された部分を読んでおくこと。	A、B、F、K				
	第6回	【テーマ】 教師の仕事と役割① 【計画内容】 子ども理解の内容や方法を学びます。 【準備学習の内容】 プリントやテキストの示された部分を読んでおくこと。	A、B、F、K				
	第7回	【テーマ】 教師の仕事と役割② 【計画内容】 生きる力を育てる生徒指導や教育相談の在り方を学びます。 【準備学習の内容】 プリントやテキストの示された部分を読んでおくこと。	A、B、F、K				
	第8回	【テーマ】 教師の仕事と役割③ 【計画内容】 情報教育の具体に触れ、どんな内容をどのような計画で教えるのかを学びます。 【準備学習の内容】 プリントやテキストの示された部分を読んでおくこと。	A、B、F、K				
	第9回	【テーマ】 教師の仕事と役割④ 【計画内容】 よい授業の条件を考察しながら学習指導の在り方を学びます。 【準備学習の内容】 プリントやテキストの示された部分を読んでおくこと。	A、B、F、K				
	第10回	【テーマ】 教師の仕事と役割⑤ 【計画内容】 子どもの安全や権利を守るためにどのようなことに気をつけたらよいかを学びます。 【準備学習の内容】 プリントやテキストの示された部分を読んでおくこと。	A、B、F、K				
	第11回	【テーマ】 教師をめぐる諸問題① 【計画内容】 教師はどのような悩みを抱えて仕事をしているかを理解します。 【準備学習の内容】 プリントやテキストの示された部分を読んでおくこと。	A、B、F、K				
	第12回	【テーマ】 教師をめぐる諸問題② 【計画内容】 最近の学級崩壊の事例からその背景を探り学級経営の在り方を学びます。 【準備学習の内容】 プリントやテキストの示された部分を読んでおくこと。	A、B、F、K				
	第13回	【テーマ】 教師をめぐる諸問題③ 【計画内容】 いじめや不登校の問題への適切な対応を学びます。 【準備学習の内容】 プリントやテキストの示された部分を読んでおくこと。	A、B、F、K				
	第14回	【テーマ】 教師の教え 【計画内容】 教育史などから先人の業績やこども観の変遷を学びます。 【準備学習の内容】 プリントやテキストの示された部分を読んでおくこと。	A、B、F、K				
	第15回	【テーマ】 教師への道 【計画内容】 振り返りと話し合い(シェアリング)を行います。求められる教師像と自らの教師像について意見交換します。 【準備学習の内容】 自分が目指す教師像を具体的に説明できるようにしておくこと。	A、B、F、K				
テキスト	吉田辰雄、2013年、『改訂新版 教職入門』、図書文化 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館、4577814471 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』						
参考書	北翔大学・北翔大学短期大学部、2018年、『教育実習の手引き』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分補足		10%	50%	20%	20%	
質問への対応	授業中に対応します。オフィスアワー：太田研究室						
資格	[乙]幼・小2種_必修						
その他	毎回、授業の終わりに受講シートに振り返りを記入すること。						

科目名	教育心理学		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	松田 久美						
授業の目的	ねらい	「学習」と「知的(認知)発達との関係について、心理学の立場から捉えることを通して、「知る」ということ、「わかる」ということ、そして、そうした知的な活動が成り立つための機序について理解します。また、基礎心理学で得られている知見を理解することにより、それらを教育の現場で応用的に生かす方法を考察します。以上を通して、子どもの「知的(認知)発達」と「学習」との関係性を、教育(保育)現場で論理的に解釈する力を身につけ、幼児・児童及び生徒の認知活動を援助する力を得ることを目指します。					
	到達目標	(1)幼児・児童・生徒の心身の発達について理解する。 (2)学習のプロセスと指導のあり方について理解する。 (3)幼児・児童・生徒の知的発達と、指導・評価のあり方との関係性について理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業の概要の説明。 【準備学習の内容】 シラバスに目を通しておく。				A、L	
	第2回	【テーマ】 学習 【計画内容】 「学習」の定義、学習以外の行動、学習の様式、学習理論について理解する。 【準備学習の内容】 「学習」という語について考察しておく。				A、L	
	第3回	【テーマ】 「学習」と関わる脳機能 【計画内容】 「学習」という高次の精神機能と関わる脳部位とその働きを知る。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。				A、L	
	第4回	【テーマ】 記憶と忘却 【計画内容】 短期記憶、長期記憶、宣言的記憶、意味記憶、ワーキングメモリ(作業記憶)などの用語とその意味を知り、忘却理論および記憶のメカニズムを理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。				A、L	
	第5回	【テーマ】 知能 【計画内容】 結晶性知能、流動性知能などの用語とその意味を知り、知能の測定法、知能説について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。				A、C、L	
	第6回	【テーマ】 対人認知 【計画内容】 性格認知、印象の形成、期待効果について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。				A、L	
	第7回	【テーマ】 人格 【計画内容】 パーソナリティ理論、人格の測定法を知り、「人格の発達」について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。				A、L	
	第8回	【テーマ】 「学習」を支えるもの1 【計画内容】 発達の最近接領域、ピグマリオン効果、ゴーレム効果といった「学習」を促進、また逆に阻害する外的要因について理解し、そこでの教師の役割について考察する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。				A、H、L	
	第9回	【テーマ】 「学習」を支えるもの2 【計画内容】 内発的動機づけ、自己効力感、コンピテンス(有能感)、学習性無力感といった「学習」を促進、また逆に阻害する内的要因について理解し、そこでの教師の役割について考察する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。				A、H、L	
	第10回	【テーマ】 欲求と葛藤 【計画内容】 内的適応と外的適応のバランスの重要性を知り、欲求と葛藤(コンフリクト)のメカニズムについて理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。				A、L	
	第11回	【テーマ】 意思決定 【計画内容】 意思決定のプロセス、合理的な意思決定、判断確率について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。				A、C、L	
	第12回	【テーマ】 集団行動及び集団の意思決定 【計画内容】 援助行動、社会的な意思決定、社会的ジレンマ、集団規範について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。				A、L	
	第13回	【テーマ】 言語獲得とことばの遅れ 【計画内容】 言語獲得の生物学的基礎、認知的基礎、及び言語獲得理論を知り、構音障害などのことばの遅れについて理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。				A、C、L	
	第14回	【テーマ】 発達障害の子どもの教育・保育 【計画内容】 発達障害を持つ子どもの指導法について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。				A、L	
	第15回	【テーマ】 教育・保育における評価 【計画内容】 教育評価の目的と方法、及び保育における評価について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習する。				A、L	
テキスト	伊藤健次編著、2014年、『保育に生かす教育心理学』、株式会社みらい、9784860151416						
参考書	吉川成司・関田一彦・鈞治雄、2011年、『はじめて学ぶ教育心理学』、ミネルヴァ書房、9784623058570						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	80%				20%	
補足							
質問への対応	毎回の授業の中で聞き取り、返答します。						
資格	[こ]幼・小2種_必修						
その他	第16回に最終評価のための試験を行います。						

科目名	特別支援教育基礎				授業形態	講義	単位数	1
教員名	荒川 巖							
授業の目的	ねらい	特別支援教育が平成19年から法的に位置づけられた。これにより障がいのある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、適切な指導及び必要な支援を行うことが求められている。特別支援教育並びに障害児保育等について演習等を交えて学ぶ。具体的には、障がいのある子どもを支える理論、各障がいの理解と支援、及び家庭や各機関との連携について学ぶ。						
	到達目標	(1)障がいのある子どもの支援の歴史や障害について正しい考えを述べることができる。 (2)様々な障がいのある子どもについての実態と支援について説明することができる。 (3)教育者として関係機関との連携、保護者支援などの現状と課題について説明することができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 講義概要、受講の心得、講義の進め方、グループ編成、評価方法等。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】 特別支援教育の実際 【計画内容】 就学相談・教育相談、幼稚園・小学校・中学校における学びの場、インクルーシブ教育、関係機関との連携等について学びます。 【準備学習の内容】 配付プリント等を手がかりに、学習内容について押さえておくこと。						A、B
	第3回	【テーマ】 視覚・聴覚障がいの理解と援助 【計画内容】 視覚や聴覚に障害のある子どもの理解と援助について学びます。 【準備学習の内容】 配付プリント等を手がかりに、学習内容について押さえておくこと。						A、B
	第4回	【テーマ】 発達障がいの理異界と援助 【計画内容】 DMS-5における発達障害、ASD、LD、ADHDの子どもの理解と援助について学びます。 【準備学習の内容】 配付プリント等を手がかりに、関係する学習内容について押さえておくこと。						A、D
	第5回	【テーマ】 知的障がいの理解と援助 【計画内容】 知的障がいのある子どもの理解と援助について学びます。 【準備学習の内容】 配付プリント等を手がかりに、関係する学習内容について押さえておくこと。						A、H
	第6回	【テーマ】 通常学級で学ぶ支援が必要な子どもへの理解と援助 【計画内容】 通常学級に在籍する発達障害や軽度知的障がいの子どもの支援や指導について、コーディネーターの役割を学びます。 【準備学習の内容】 配付プリント等を手がかりに、関係する学習内容について押さえておくこと。						A、H
	第7回	【テーマ】 特別支援教育と福祉、家庭支援 【計画内容】 障がいのある子どもや貧困や言葉の問題など特別な教育ニーズをもつ子どもと家庭への福祉と家庭支援について学びます。 【準備学習の内容】 配付プリント等を手がかりに、関係する学習内容について押さえておくこと。						A、J
	第8回	【テーマ】 まとめと振り返り。 【計画内容】 講義内容について振り返り、成果と課題を明確にします。 【準備学習の内容】 今までの学習を振り返り、不確かな部分を整理しておくこと。						L
テキスト	プリントを使用する							
参考書	文部科学省、2017年、『特別支援学校幼稚園部教育要領 小学部中学部学習指導要領』 文部科学省、2017年、『小学校学習指導要領 特別支援教育編』 文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領』							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		30%	30%	
補足				レポート			講義記録	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[こ]幼・小2種_必修							
その他								

科目名	教育方法論(情報機器・教材活用を含む)			授業形態	講義	単位数	2
教員名	荒川 巖						
授業の目的	ねらい	本講義の目的は、学校での教育内容を効果的に教授する一般的な方法について学ぶことにあります。それらの方法は多様であり、過去・現在の優れた教育実践を分析・考察し、その手法について学びます。優れた実践に学び、自分の教育実践に取り入れたい生かしたりしていくことは、教職を目指すものにとってきわめて重要な姿勢であると考えます。さらに現在教育現場に取り入れられているICTについて利用法と教育的価値について学ぶ等、これからの教育技術についても学習します。					
	到達目標	(1)これまでの代表的な教育方法について理解できる。 (2)カリキュラムのあり方について理解できる。 (3)授業のあり方について理解できる。 (4)ICT等、教育の技術について理解できる。 (5)教育評価について理解できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業概要、受講の心得、講義の進め方、グループ編成、評価方法等。 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおくこと。					A
	第2回	【テーマ】 教育方法史①～江戸、明治、大正、昭和(戦前)期の教育～ 【計画内容】 江戸時代は寺小屋、明治期は学制、大正期は自由教育、昭和期は軍国主義教育。倉橋惣三、広岡亮蔵、斎藤喜博等の教育理念と方法について学びます。 【準備学習の内容】 日本の教育史に関する資料を読んでおくこと。					F
	第3回	【テーマ】 教育方法史②～西洋の教育史上における主な教授法の提唱者(前半)～ 【計画内容】 ソクラテス、コメニウス、ルソー、ペスタロッチ、ヘルバルト、フレーベル、デュイ、ブルーム、ブルーナー等の教育理念と方法について学びます。 【準備学習の内容】 西洋の教育史上の主な教授法提唱者に関する資料を見ておくこと。					F
	第4回	【テーマ】 教育方法史③～西洋の教育史上における主な教授法の提唱者(後半)～ 【計画内容】 教育方法史①②で学んだ人物について、グループ討議や教育史年表に整理することで、理解を深めます。 【準備学習の内容】 年表作りのための資料を用意しておくこと。					K
	第5回	【テーマ】 カリキュラム論①～カリキュラム編成の原理と類型～ 【計画内容】 カリキュラムの意味、カリキュラムの類型(児童中心カリキュラム、コア・カリキュラム、潜在カリキュラム等)について学びます。 【準備学習の内容】 カリキュラム関連のキーワードを調べておくこと。					K
	第6回	【テーマ】 カリキュラム論②～戦後の教育課程の変遷～ 【計画内容】 我が国の戦後の教育課程(学習指導要領)の変遷について学びます。 【準備学習の内容】 学習指導要領の変遷の背景となる社会情勢について考察しておくこと。					K
	第7回	【テーマ】 カリキュラム論③～教科書の教育的役割と活用法～ 【計画内容】 実際に児童用教科書を調べ、その教育的役割と教材開発のあり方について学びます。 【準備学習の内容】 小中学生時代の授業と教科書について想起しておくこと。					H
	第8回	【テーマ】 授業論①～授業の構造と意義・学習指導の原理～ 【計画内容】 授業の要素、学習意欲を高める方法についてグループ討議し、優れた教育・指導技術について学びます。 【準備学習の内容】 学習意欲を高める方法について考えておくこと。					H
	第9回	【テーマ】 授業論②～授業を成立させる要件～ 【計画内容】 よい授業づくりのための学習指導案づくり、学習形態の工夫、発問や板書等について学びます。 【準備学習の内容】 授業成立の要件について考えておくこと。					H
	第10回	【テーマ】 指導の技術①～学習集団の育成～ 【計画内容】 課題達成機能と集団維持機能、学級組織づくり、リーダーと学習集団の育成等について学びます。 【準備学習の内容】 集団作りの方法について考えておくこと。					H
	第11回	【テーマ】 指導の技術②～発想法・討議法～ 【計画内容】 概念地図法やBS等の発想法とディベート、パネルディスカッション等の討議法について体験的に学びます。 【準備学習の内容】 発想法と討議法について基本用語を調べておくこと。					I、F
	第12回	【テーマ】 指導の技術③～教育メディアの活用～ 【計画内容】 コンピュータの教育利用(プログラム学習・CAI等)と情報機器や教育メディア、ICTの効果的な活用について学習します。 【準備学習の内容】 教育メディアについての資料を調べておくこと。					B
	第13回	【テーマ】 学力と教育評価①～さまざまな評価方法～ 【計画内容】 学力、絶対評価と相対評価、到達度評価、形成的評価と総括評価、観点別学習状況の評価、自己評価と相互評価、ポートフォリオ評価等について学習します。 【準備学習の内容】 これまでの学習経験を振り返り、自分の評価観についてまとめておくこと。					K
	第14回	【テーマ】 学力と教育評価②～通知表と指導要録～ 【計画内容】 指導要録、通知表の内容と役割について学習します。 【準備学習の内容】 小中学生時代の通知表について想起しておくこと。					K
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 講義を振り返り、成果と課題を明確にします。 【準備学習の内容】 これまでの学習を振り返っておくこと。					L
テキスト	プリントを使用する。						
参考書	柴田義松、2005年、『教育の方法』、学文社 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領』 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』						
成績評価の方法	配分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	補足			30%		40%	30%
質問への対応	授業中に対応します						
資格	[乙]幼・小2種_必修						
その他							

学こども科学  
科専門科目

科目名	教育相談とカウンセリング				授業形態	講義	単位数	2
教員名	松田 久美							
授業の目的	ねらい	教育現場での相談業務におけるカウンセリングに必要な理論及び方法を学びます。心理療法の基礎知識を得、それぞれの発達段階における心の特徴も知ります。また、相談に応じる側が自分自身を知ることの重要性についても理解します。そうした上で、問題を抱えた子どもや保護者への対応として、どのような援助が出来るかについて考察します。ロールプレイなど体験的で、対流的なアプローチ及びグループ・ディスカッションを通して相手の立場で感じたり、考えたりする経験も重ねます。						
	到達目標	(1)教育相談の目的を理解し、支援するために必要な基礎的知識を身に付ける。 (2)幼児・児童・生徒に生じる諸問題の背景について理解し、その対処について考察する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業の概要の説明。 【準備学習の内容】 シラバスに目を通しておく。	A、H					
	第2回	【テーマ】 心理臨床(カウンセリング)に必要な条件(1) 【計画内容】 カウンセリング・マインドの重要性について理解する。 【準備学習の内容】 テキストp. 9-p. 24に目を通しておく。	A、H					
	第3回	【テーマ】 心理臨床(カウンセリング)における条件(2) 【計画内容】 カウンセリングを行う上での自己理解の必要性について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習しておく。	A、H					
	第4回	【テーマ】 心理臨床(カウンセリング)における条件(3) 【計画内容】 教育現場におけるカウンセリングの重要性を知り、傾聴スキルと質問スキルを理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習しておく。	A、N					
	第5回	【テーマ】 カウンセリングに関する理論・心理療法(1) 【計画内容】 カウンセリング(来談者中心療法)・認知療法・行動療法について理解する。他者(相談者)理解の方法と留意点について理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習しておく。	A、N					
	第6回	【テーマ】 カウンセリングに関する理論・心理療法(2) 【計画内容】 精神分析療法(自由連想法)・心理劇(ロールプレイなど)・催眠療法・自律訓練法について理解する。他者(相談者)理解の方法と留意点を理解する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習しておく。	A、N					
	第7回	【テーマ】 幼児期の「心の問題」(1) 【計画内容】 幼児期の特徴を捉え、この時期の「心の問題」について理解する。 【準備学習の内容】 「チック」、「抜毛」という語について調べておく。	A、H					
	第8回	【テーマ】 幼児期の「心の問題」(2) 【計画内容】 幼児期の「心の問題」を示すシグナルを知り、その対応について考察する。 【準備学習の内容】 「場面緘黙」、「反復性腹痛」という語について調べておく。	A、J					
	第9回	【テーマ】 児童期の「心の問題」(1) 【計画内容】 児童期の特徴を捉え、この時期の「心の問題」について理解する。 【準備学習の内容】 「不登校」の定義や実態について事前に確認しておく。	A、J					
	第10回	【テーマ】 児童期の「心の問題」(2) 【計画内容】 児童期の「心の問題」を示すシグナルを知り、その対応について考察する。 【準備学習の内容】 過去に発生した「いじめ問題」について調べておく。	A、J					
	第11回	【テーマ】 思春期・青年期の「心の問題」(1) 【計画内容】 思春期・青年期の特徴を捉えこの時期の「心の問題」について理解する。 【準備学習の内容】 「神経症」、「心身症」という語について調べておく。	A、J、N					
	第12回	【テーマ】 思春期・青年期の「心の問題」(2) 【計画内容】 思春期・青年期の「心の問題」を示すシグナルを知り、その対応について考察する。 【準備学習の内容】 前回の授業内容を復習しておく。	A、J、N					
	第13回	【テーマ】 教員の心のケア 【計画内容】 教員の精神的健康に関する現状とその背景を理解し、改善と予防について考察する。 【準備学習の内容】 援助者自身のケアについて考察しておく。	A、J					
	第14回	【テーマ】 発達障害のある子どもへの対応 【計画内容】 障害のある子ども(本人)への告知や、周囲への開示をめぐる家族の葛藤状況や、教育現場での取り組みについて理解する。 【準備学習の内容】 発達障害のある子どもとその家族への支援について考察しておく。	A、J					
	第15回	【テーマ】 保護者を対象とした教育相談 【計画内容】 教育現場における保護者対応の重要性と複雑さについて理解し、具体的な支援の方法について考察する。 【準備学習の内容】 保護者に対する相談業務内容、及び支援の方法について考察しておく。	A、J、N					
テキスト	向後礼子・山本智子、2014年、『教育相談ワークブック』、ミネルヴァ書房、9784623070558							
参考書	金子智栄子・木村繁、2007年、『子どもの発達理解とカウンセリング』、樹村房、9784883671212							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	60%		20%		20%		
	補足			グループワーク		ロールプレイへの取り組みを含む		
質問への対応	毎回の授業の中で訊き取り、返答します。							
資格	[こ]幼・小2種_必修							
その他	第16回に最終評価のための試験を行います。							

学  
科  
専  
門  
科  
学  
目  
録

科目名	教育実習講義Ⅰ			授業形態	講義	単位数	2
教員名	菜原 桂子、長尾 明也、中島 啓子、松田 久美						
授業の目的	ねらい	教育実習は、大学における教師教育のカリキュラムの中でのみ存在するのではなく、実習校・園との連携の中で指導体制が組織され、教育理論と教育実践が相互に交流しあいながら高められ、教師を志すものの教育的情熱と力量形成の源となるものです。そこで、皆さんは、実習(小学校・幼稚園)に向けて、教育実習の意義と目的、観察、参加、授業・保育実践の基本、実習の心構えなどを学び、実習を意義あるものとします。また、小学校と幼稚園で感謝の気持ちを大切にしながら観察実習することにより、実習への確かな心構えをもつとともに、意欲をもって次年度の実習に臨むことができるようになるのです。					
	到達目標	(1)教育実習の目的や意義について理解できる。 (2)幼稚園の保育の実際、小学校の授業実践の状況がわかる。 (3)教育実習の実践内容や方法がわかる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション・各担当教員より 【計画内容】授業の概要、教育実習を行うにあたり留意点などを説明します。(全教員) 【準備学習の内容】事前に提示された課題をレポートにまとめておくこと。					A
	第2回	【テーマ】幼稚園・こども園・小学校について 【計画内容】小学校での実習について学び、授業を観察します。幼稚園の一日について学び保育を観察します。(全教員) 【準備学習の内容】観察実習の自己課題を観察レポートに書いておくこと。					A、D
	第3回	【テーマ】教育実習の意義と目的・実習形態と方法について 【計画内容】教育実習の意義と目的について説明します。また、実習生という立場について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】観察実習レポートの提出が完了していること。					A、F
	第4回	【テーマ】実習生の心得① 【計画内容】実習校・園の決定、事前対応について説明します。(全教員) 【準備学習の内容】教育実習希望校・園を第3希望まで決めておくこと。					A、F、K
	第5回	【テーマ】実習の心得② 【計画内容】実習の基本的態度、守秘義務と情報管理について学び、小学校と幼稚園の一日の生活の流れと、教育内容について理解します。(全教員) 【準備学習の内容】『教育実習の手引き』を読んでおくこと。					A、F、K
	第6回	【テーマ】こども理解と保育者・教育者に求められる資質 【計画内容】発達を理解を通して、実践について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】前学期の講義で学んだ年齢による発達の特徴について復習しておくこと。					A、F、K
	第7回	【テーマ】指導の基本と実際・日誌の書き方① 【計画内容】幼稚園・小学校の生活に基づいて、子ども理解のポイントについて学びます。また、保育関連用語や文章の基本(文法)について確認します。(全教員) 【準備学習の内容】『教育実習の手引き』を読んでおくこと。保育の関連用語や意味について復習しておくこと。					A、F
	第8回	【テーマ】指導の基本と実際・日誌の書き方② 【計画内容】幼稚園・小学校の生活に基づいて、生活指導のポイントについて学びます。また、日誌の書き方の基本について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】『教育実習の手引き』を読んでおくこと。7回目の講義内容を復習しておくこと。					A、F
	第9回	【テーマ】教材研究と指導の基本及び指導案の作成について 【計画内容】小学校・幼稚園の指導案作成前の教材の研究と指導案の作成の基本について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】『小学校学習指導要領』、『幼稚園教育要領』を読んでおくこと。					A、F、K
	第10回	【テーマ】小・幼指導案の作成① 【計画内容】小学校・幼稚園の指導案の手順、形式、書き方を学びます。(全教員) 【準備学習の内容】『小学校学習指導要領』、『幼稚園教育要領』を読んでおくこと。					A、F、K
	第11回	【テーマ】小・幼指導案の作成② 【計画内容】小学校・幼稚園の指導案を作成します。(全教員) 【準備学習の内容】『小学校学習指導要領』、『幼稚園教育要領』を読んでおくこと。9・10回目の講義内容を復習しておくこと。					A、F、K
	第12回	【テーマ】小・幼・保の指導の基本と実際 【計画内容】2年生の実習報告と実技の交流から学びます。(全教員) 【準備学習の内容】これまでの学びを整理し、2年生から学びたいことを見つけておく。					A、F、H
	第13回	【テーマ】教育実習調書の作成及び実習の事前準備について 【計画内容】実習調書の作成、及び、実習校・校への挨拶の仕方など実習の事前準備について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】実習校・園について、位置や教育目標など情報を得ておくこと。					A、F、H
	第14回	【テーマ】小・幼指導案の作成③ 【計画内容】小学校教育実習コース、作成した指導案に基づき模擬授業をします。幼稚園コース、日案の作成について学びます。(全教員) 【準備学習の内容】模擬授業の準備をしておくこと。参考例を通して予習しておくこと。					A、F
	第15回	【テーマ】小・幼指導案の作成④ 【計画内容】小学校教育実習コース、作成した指導案に基づき模擬授業をします。幼稚園コース、講義のまとめを行います。(全教員) 【準備学習の内容】模擬授業の準備をしておくこと。講義内で使用した資料全てを確認してまとめておくこと。					A、F
テキスト	北翔大学、2019年、『教育実習の手引き』						
参考書	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』、東京書籍 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 内閣府・他、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』、フレーベル館						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		30%	50%	10%	10%	
	補足		模擬授業・保育等	期限厳守			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[乙]幼・小2種_必修						
その他	この科目を修得していなければ「教育実習」ができません。 課題は講義内で返却し、その都度振り返りを行い、第15回にファイルにまとめて最終評価を行います。						

科目名	国語(書写を含む)		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	高橋 さおり						
授業の目的	ねらい	小学校国語科の領域内容を学び、国語科指導の基礎となる力を身に付けます。また、国語科の学習内容をふまえ、実際に話すこと・聞くこと、書くこと、読むことを通じて、保育者・教育者として必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。					
	到達目標	(1)小学校国語科の教科内容について理解することができる。 (2)言語活動の意義を理解し、授業に積極的に参加することができる。 (3)保育者・教育者を目指す上でのコミュニケーション能力の必要性について理解することができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 授業内容や到達目標、評価方法等について説明し、授業の全体を概観します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を読んでおくこと。				A、L	
	第2回	【テーマ】 国語科の目標の理解 【計画内容】 小学校国語科の目標および内容構成について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。				A、L	
	第3回	【テーマ】 「話すこと・聞くこと」(1) 【計画内容】 「話すこと・聞くこと」(低学年・中学年・高学年)の学習内容を学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。				A、L	
	第4回	【テーマ】 「話すこと・聞くこと」(2) 【計画内容】 「話すこと・聞くこと」の学習内容を踏まえ、ディベート実践へ向けた検討を行います。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。				H、L	
	第5回	【テーマ】 「話すこと・聞くこと」(3) 【計画内容】 ディベートを行います。 【準備学習の内容】 ディベートを行うための事前準備をすること。				I、L	
	第6回	【テーマ】 「書くこと」(1) 【計画内容】 「書くこと」(低学年・中学年・高学年)の学習内容を学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。				A、L	
	第7回	【テーマ】 「書くこと」(2) 【計画内容】 「書くこと」の学習内容を踏まえ、様々な文章の書き方について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。				G、L	
	第8回	【テーマ】 「書くこと」(3) 【計画内容】 論作文を書きます。 【準備学習の内容】 論作文を書くための事前準備をすること。				G、L	
	第9回	【テーマ】 「読むこと」(1) 【計画内容】 「読むこと」(低学年・中学年・高学年)の学習内容を学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。				A、L	
	第10回	【テーマ】 「読むこと」(2) 【計画内容】 「読むこと」の学習内容を踏まえ、様々な文章の読み取りについて学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。				A、H、L	
	第11回	【テーマ】 「読むこと」(3) 【計画内容】 「読むこと」の学習内容を踏まえ、教材の取扱いについて学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。				A、H、L	
	第12回	【テーマ】 「言葉」(1) 【計画内容】 言葉の特徴や使い方に関する事項について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。				A、H、L	
	第13回	【テーマ】 「言葉」(2) 【計画内容】 情報の取扱いや我が国の言語文化に関する事項について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。				A、H、L	
	第14回	【テーマ】 書写 【計画内容】 日常生活や学習活動に生かすことのできる書写の能力を育成することについて学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定箇所を読んでおくこと。				B、L	
	第15回	【テーマ】 講義のまとめと振り返り 【計画内容】 これまでの学びを振り返り、言葉を通じたコミュニケーションの意義について考えます。 【準備学習の内容】 授業全体の復習を行うこと。				H、L	
テキスト	文部科学省、『小学校学習指導要領解説 国語編』、東洋館出版社、4491034621						
参考書	プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
補足							
質問への対応	授業初回時に説明します。						
資格	[こ]幼・小2種_選必						
その他	小レポート等については、最終回に講評します。						

科目名	算数		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	荒川 巖						
授業の目的	ねらい	算数科の目標や内容構成について学び、以降の算数科指導法につなげる位置づけです。「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の四領域で重視する「数学的な考え方」「算数的活動」などについて、各領域の典型教材を多数紹介し、実際に解決活動すると共に、子どもの学びの様相に視点を当て、実際に教師役となることで体感的理解を目指します。					
	到達目標	(1)算数科の目標や内容を理解できる。 (2)数学的価値が高く子どもの意欲を喚起する教材を体感的に理解する。 (3)算数的活動を中核とした問題解決型の学習展開を構想することができる。 (4)『小学校学習指導要領解説算数編』や教科書を基に意欲的に調べることができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス 【計画内容】 講義概要、受講の心得、講義の進め方、グループ編成、評価方法等。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。				A	
	第2回	【テーマ】 算数科の目標と内容 【計画内容】 学習指導要領(p.12-p.13、p.18-p.22)を読み、算数科の目標を理解すると共に、四領域を概観します。 【準備学習の内容】 学習指導要領算数科について概要を調べておくこと。				A、B	
	第3回	【テーマ】 算数科教材の系統と関連 【計画内容】 児童用教科書を使い、グループ毎に学年と領域の構成表を埋める活動を通して、小学校算数科の内容を概観します。 【準備学習の内容】 小学校の頃の算数学習を想起しておくこと。				A、B	
	第4回	【テーマ】 「A数と計算(数の表し方)」領域で大切にしたい数学的な考え方と算数的活動① 【計画内容】 整数・小数・分数の仕組みを学びます。 【準備学習の内容】 十進位取り記数法の仕組みについて調べておくこと(教科書p.8-p.34)。				A、H	
	第5回	【テーマ】 「A数と計算(数の表し方)」領域で大切にしたい数学的な考え方と算数的活動② 【計画内容】 四則計算の意味と計算の仕方を考えます。 【準備学習の内容】 小学校で学ぶ四則計算の発達過程を調べておくこと(教科書p.8-p.34)。				A、H	
	第6回	【テーマ】 「B量と測定」領域で大切にしたい数学的な考え方と算数的活動 【計画内容】 量の単位と量の比較(測定の4操作)や測定について学びます。 【準備学習の内容】 小学校で学ぶ量と単位について調べておくこと(p.34-p.40)。				A、H	
	第7回	【テーマ】 「C図形」領域で大切にしたい数学的な考え方と算数的活動 【計画内容】 平面図形と立体図形の意味や性質について学びます。 【準備学習の内容】 小学校で学ぶ平面図形と立体図形について調べておくこと(p.40-p.47)。				A、H	
	第8回	【テーマ】 「D数量関係」領域で大切にしたい数学的な考え方と算数的活動 【計画内容】 「関数」・「式」・「グラフ」について学びます。 【準備学習の内容】 小学校で学ぶグラフについて調べておくこと(教科書p.47-p.53)。				A、H	
	第9回	【テーマ】 「A・B・C・D」四領域のまとめ 【計画内容】 配付したプリントでまとめをします。 【準備学習の内容】 四領域の概要を復習しておくこと。				A、K	
	第10回	【テーマ】 問題解決学習の実際(算数学習の授業展開) 【計画内容】 問題解決学習の指導過程について学びます。 【準備学習の内容】 各学校で作成している学習指導案を収集しておくこと。				A、J	
	第11回	【テーマ】 学習指導案作成にあたって(単元構成と本時の展開) 【計画内容】 単元構成と本時の展開のあり方について学びます。 【準備学習の内容】 同単元の2つの学習指導案を比較検討しておくこと。				A、J	
	第12回	【テーマ】 学習指導案の作成と検討①(指導単元の決定) 【計画内容】 指導案作成グループと単元を決定し、学習指導案を構想します。 【準備学習の内容】 指導してみたい単元決定の見通しをもっておくこと。				H	
	第13回	【テーマ】 学習指導案の作成と検討②(算数的活動の検討) 【計画内容】 算数的活動を取り入れた、本時の指導案を作成します。 【準備学習の内容】 本時の指導案の原案をもって講義に臨むこと。				H	
	第14回	【テーマ】 学習指導案の作成と検討③(教材の作成、発問、板書構成等) 【計画内容】 本時の指導に当たって用意する教材等を作成します。 【準備学習の内容】 教材作成のための道具を用意すること。				H	
	第15回	【テーマ】 これまでの学びの成果と課題のまとめ 【計画内容】 これまでの学びの成果と課題を明確にします。 【準備学習の内容】 講義全体の成果と課題をまとめておくこと。				L	
テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 算数編』、日本文教出版、4536590102						
参考書	プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		40%	30%
補足				学習指導案・教材			講義記録
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[乙]幼・小2種_選必						
その他	これまで算数・数学が得意でなかった学生は是非受講してください。算数の楽しさに触れることができるでしょう。						

学こども専門科目

科目名	生活	授業形態	講義	単位数	2		
教員名	菜原 桂子						
授業の目的	ねらい	小学校の教育課程における生活科の意義や特性について学び、幼児教育からの接続について理解します。また、子どもの可能性を引き出す役割について考察し、小学校低学年における生活科教育のねらいを具体的な活動や体験を通して学びます。					
	到達目標	(1)生活科の意義や改定の趣旨が理解できる。 (2)生活科の内容や特質が理解できる。 (3)保・幼・小の連携について理解できる。 (4)具体的な指導内容についてまとめることができる					
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の全体計画、進め方、評価方法について説明します。自己紹介をかねて生活科の授業のイメージについて出します。15回の授業をポートフォリオ評価のように進める計画をたてます。 【準備学習の内容】『小学校学習指導要領解説生活編』の「総説」を予習すること。			A、B		
	第2回	【テーマ】生活科の誕生と意義 【計画内容】生活科の誕生の背景・教科設定の趣旨と改訂の経緯について説明し、幼児教育・小学校低学年の学習ということからも生活科の意義について学びます。 【準備学習の内容】『小学校学習指導要領解説生活編』の「目標」を予習をすること。			A、B		
	第3回	【テーマ】生活科の目標と保育・幼児教育からの接続について 【計画内容】教科の目標と保育・幼児教育からの接続について学びます。 【準備学習の内容】『小学校学習指導要領解説生活編』の「内容」について予習すること。			A、B		
	第4回	【テーマ】生活科の内容 【計画内容】生活科の特質、活動構成、内容構成の考え方について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに沿って「学校たんけん」の内容について予習すること。			A、B、K		
	第5回	【テーマ】生活科の内容1:「学校と生活」 【計画内容】1年「学校たんけん」のねらいや活動構成・育てたい能力・態度等について学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに沿って「家庭と生活」の内容について予習すること。			A、B、H		
	第6回	【テーマ】生活科の内容2:「家庭と生活」 【計画内容】1・2年「家庭生活における家族や自分の役割」のねらいや活動構成・育てたい能力・態度等について学びます。 【準備学習の内容】「地域と生活」の内容について予習すること。生活科マップの作成の資料を収集すること。			A、B、H		
	第7回	【テーマ】生活科の内容3:「地域と生活」 【計画内容】1・2年「地域の生活」を教材とするための生活科マップの作成とその活用について学びます。「お店やさんたんけん」の活動構成案を作成します。 【準備学習の内容】自宅周辺の児童公園の遊具などを調べてくること。			A、B、F		
	第8回	【テーマ】生活科の内容4:「公共物や公共施設の利用」 【計画内容】1年「公園で遊ぼう」のねらいや活動構成・育てたい能力・態度などについて学びます。「公園で遊ぼう」の指導案を作成します。 【準備学習の内容】配付するプリントに四季の変化の様子・行事などをまとめてくること。			A、B、G		
	第9回	【テーマ】生活科の内容5:「季節の変化と生活」 【計画内容】1・2年「季節の変化と生活」のねらいや活動構成・育てたい能力・態度などについて学びます。季節に触れた外遊びの内容についても考察します。 【準備学習の内容】学んだ内容を生かし、冬(雪)に関する活動構成案を作成してくること。			A、B、K		
	第10回	【テーマ】生活科の内容6:「自然やものを使った遊び」 【計画内容】1・2年「自然やものを使った遊び」に使用できる材料や作成できるもの調べ、活動構成案を作成して学びます。 【準備学習の内容】配付するプリントに沿って「野菜や草花の成長の仕方」などを予習すること。			A、B		
	第11回	【テーマ】生活科の内容7:「動植物の飼育・栽培」 【計画内容】1年「あさがおをさかせよう」・2年「やさいを育てよう」のねらいや活動構成・育てたい能力・態度等について学びます。 【準備学習の内容】配付されたプリントに沿って「生活や出来事」の事例を調べてくること。			A、B、K		
	第12回	【テーマ】生活科の内容8:「生活や出来事の交流」 【計画内容】2年「昔の遊びを調べよう」について、活動構成に敬老会の人々との交流の仕方等を取り入れた案の作成について学びます。 【準備学習の内容】11回目の授業で伝えられた内容を行っておくこと。			A、B		
	第13回	【テーマ】生活科の内容9:「自分の成長」 【計画内容】2年「もうすぐ3年」のねらいや活動構成・育てたい能力・態度について学びます。 【準備学習の内容】13回までの資料プリント・レポート・作成した活動構成案をまとめて確認しておくこと。			A、B、H		
	第14回	【テーマ】生活の講義内容のまとめと振り返り 【計画内容】生活科での子どもの活動の評価の仕方・評価規準について学びます。また、講義全体の学習課題を製本してまとめます。 【準備学習の内容】配付する生活科のまとめのプリントの内容について学び直しをすること。			A、B、F		
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】到達目標について、また授業内で扱った活動構成について、確認をします。 【準備学習の内容】講義で使用したプリント・活動構成案などを冊子にまとめる。			A、B		
テキスト	文部科学省、2019年、『小学校学習指導要領解説 生活編』、東京書籍、4491034648 プリントを使用します						
参考書	鹿毛雅治・清水一豊、2015年、『小学校新学習指導要領ポイントと授業づくり生活』、株式会社東洋館出版社 園部勝章・他、2015年、『まるごと授業生活1』、喜楽研 プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%	20%	30%	
補足							
質問への対応	講義内、終了後、オフィスアワーなどで対応します。						
資格	[こ]幼・小2種_選必						
その他	課題は15回中に返却し振り返りや考察を行います。第14回に製本して最終評価を行います。						

科目名	音楽		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	橋本 卓三、石田 敏明						
授業の目的	ねらい	小学校教育の音楽科の目標と概要、幼児期の音楽について学びます。音楽に関する基礎的な知識を習得し、その活用方法を理解します。加えて、音楽の楽しさや美しさを歌唱および簡易楽器演奏で表現できる仕方を身につけ、小学校、幼児教育での音楽のあり方を学びます。					
	到達目標	(1)音楽科の目標、内容構成について理解できる。 (2)幼児期の音楽について理解できる。 (3)楽典の基礎知識が理解できる。 (4)音楽の表現方法を理解し、身につけることができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業ガイダンス 【計画内容】 授業の紹介をし、授業展開を説明します。また、音楽知識の確認を行います。(橋本卓三) 【準備学習の内容】 シラバスを熟読しておくこと。				A、K	
	第2回	【テーマ】 音楽科の目標と内容 【計画内容】 小学校の音楽科の目標、表現・鑑賞などの内容と『保育所保育指針』・『幼稚園教育要領』に示されている音楽にかかわる目標と内容について学びます。(石田敏明) 【準備学習の内容】 テキストの指定ページを読んでおくこと。				A、K	
	第3回	【テーマ】 音楽の基礎的な理論・技能1 【計画内容】 音楽にかかわる基礎知識である譜表、音名、音符、休符、拍子、楽語について学びます。(橋本卓三) 【準備学習の内容】 テキストの指定ページと配付プリントを読んでおくこと。				A、B、K	
	第4回	【テーマ】 音楽の基礎的な理論・技能2 【計画内容】 音楽にかかわる基礎知識である音程、音階、楽語について学びます。(橋本卓三) 【準備学習の内容】 テキストの指定ページと配付プリントを読んでおくこと。				A、B、K	
	第5回	【テーマ】 音楽の基礎的な理論・技能3 【計画内容】 音楽にかかわる基礎知識である調、和音、楽語について学びます。(石田敏明) 【準備学習の内容】 テキストの指定ページと配付プリントを読んでおくこと。				A、B、K	
	第6回	【テーマ】 歌唱教材について1 【計画内容】 歌唱の意義と発声法・表現法を学びます。(橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲を練習しておくこと。				A、E	
	第7回	【テーマ】 歌唱教材について2 【計画内容】 歌唱の意義と発声法・表現法を学びます。(橋本卓三) 【準備学習の内容】 課題曲を練習しておくこと。				A、E	
	第8回	【テーマ】 音楽の基礎的な理論・技能4 【計画内容】 コードネームについて学びます。(石田敏明) 【準備学習の内容】 テキストの指定ページと配付プリントを読んでおくこと。				A、B、K	
	第9回	【テーマ】 楽器の奏法と器楽教材の表現法1 【計画内容】 器楽の意義とさまざまな楽器の特徴と奏法について学びます。(石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲の楽譜を見ておくこと。				A、E	
	第10回	【テーマ】 楽器の奏法と器楽教材の表現法2 【計画内容】 器楽の意義とさまざまな楽器の特徴と奏法について学びます。(石田敏明) 【準備学習の内容】 課題曲の楽譜を見ておくこと。				A、E	
	第11回	【テーマ】 楽器の奏法と器楽教材の表現法3 【計画内容】 手作り楽器の教育的意義を学び、手作り楽器を制作します。(橋本卓三) 【準備学習の内容】 制作に必要な教材や道具を準備しておくこと。				A、B	
	第12回	【テーマ】 音楽づくり1 【計画内容】 音楽づくりの意義と留意点を学び、グループで音楽づくりを実践します。(橋本卓三) 【準備学習の内容】 配付プリントを読んでおくこと。				B、H	
	第13回	【テーマ】 音楽づくり2 【計画内容】 音楽づくりの意義と留意点を学び、グループで音楽づくりを実践します。(橋本卓三) 【準備学習の内容】 音楽づくりに必要な準備を整えておくこと。				B、H	
	第14回	【テーマ】 音楽づくり3 【計画内容】 音楽づくりの意義と留意点を学び、グループで音楽づくりを実践します。(橋本卓三) 【準備学習の内容】 音楽づくりに必要な準備を整えておくこと。				B、H	
	第15回	【テーマ】 音楽づくり4 【計画内容】 音楽づくりで完成させた作品を発表し、まとめと振り返りを行います。(橋本卓三) 【準備学習の内容】 音楽づくりの発表に必要な準備を整えておくこと。				B、H、L	
テキスト	木村鈴代他著、2017年、『これだけは知ってほしい楽典 はじめの一步』、カワイ出版、9784760940448 松山祐土編、2018年、『こどものうた大百科』、ドレミ楽譜出版社、9784285142037 その他プリントを使用します						
参考書	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 音楽編』、東洋館出版社 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%				20%	40%
補足	発表						
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[こ]幼・小2種_選必						
その他	第16回に最終評価のための筆記試験を行います。 第15回で発表の後、学んだ内容を振り返りながら講評をします。						

科目名	図画工作				授業形態	講義	単位数	2
教員名	伊藤 幸子、入江 彩子							
授業の目的	ねらい	子どもの造形活動の発達過程(幼児画・児童画の発達段階や発達の特徴等)について十分に理解を深め、『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『小学校学習指導要領』の造形表現に関わる内容について学びます。また、教材研究や指導案について学習し、指導案の作成や作品制作、模擬授業を行います。さらに、絵画や工作等の教材を制作します。						
	到達目標	(1)子どもの造形表現の発達と特徴について理解することができる。 (2)『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『小学校学習指導要領』の造形表現に関わる内容について理解することができる。 (3)指導案を作成することができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】 講義概要、講義展開等について説明します。(伊藤幸子・入江彩子) 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。						A
	第2回	【テーマ】子どもの造形表現の発達と特徴1、演習1 【計画内容】 子どもの造形表現の発達と特徴について学びます。絵画や工作等の教材を制作します。(伊藤幸子) 【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておくこと。						A、B
	第3回	【テーマ】子どもの造形表現の発達と特徴2、演習2 【計画内容】 子どもの造形表現の発達と特徴について知識を深めます。絵画や工作等の教材を制作します。(伊藤幸子) 【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておくこと。作品が未完成の場合は完成させておくこと。						A、B
	第4回	【テーマ】子どもの絵をみて1 【計画内容】 子どもの作品をみて、グループディスカッションをします。(伊藤幸子) 【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておくこと。作品が未完成の場合は完成させておくこと。						H、K
	第5回	【テーマ】子どもの絵をみて2 【計画内容】 グループでまとめた内容を発表します。(伊藤幸子) 【準備学習の内容】 発表の準備をしておくこと。						F
	第6回	【テーマ】『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』について、演習3 【計画内容】 『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』に示された造形表現に関わる内容について学びます。絵画や工作等の教材を制作します。(伊藤幸子) 【準備学習の内容】 『保育所保育指針』と『幼稚園教育要領』の「表現」を読んでおくこと。						A、B
	第7回	【テーマ】『小学校学習指導要領』に示された図画工作科の目標と内容、演習4 【計画内容】 『小学校学習指導要領』に示された図画工作科の目標と内容について学びます。絵画や工作等の教材を制作します。(伊藤幸子) 【準備学習の内容】 『小学校学習指導要領解説 図画工作編』の第2章を読んでおくこと。作品が未完成の場合は完成させておくこと。						A、B
	第8回	【テーマ】指導計画・指導案について 【計画内容】 指導計画と指導案について学びます。(伊藤幸子) 【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておくこと。作品が未完成の場合は完成させておくこと。						A
	第9回	【テーマ】教材研究・作品制作・指導案の作成1 【計画内容】 教材研究をし、指導案の作成、作品制作をします。(伊藤幸子) 【準備学習の内容】 配付したプリントを復習しておくこと。						B、E
	第10回	【テーマ】教材研究・作品制作・指導案の作成2 【計画内容】 教材研究をし、指導案の作成、作品制作をします。(伊藤幸子) 【準備学習の内容】 指導案の作成と作品制作を計画的に進めておくこと。						B、E
	第11回	【テーマ】教材研究・作品制作・指導案の作成3 【計画内容】 教材研究をし、指導案の作成、作品制作をします。(伊藤幸子) 【準備学習の内容】 指導案の作成と作品制作を計画的に進めておくこと。						B、E
	第12回	【テーマ】模擬授業・作品発表1 【計画内容】 作成した指導案を基に、模擬授業と作品発表をします。(伊藤幸子・入江彩子) 【準備学習の内容】 模擬授業と作品発表の準備をしておくこと。						F、K
	第13回	【テーマ】模擬授業・作品発表2 【計画内容】 作成した指導案を基に、模擬授業と作品発表をします。(伊藤幸子) 【準備学習の内容】 模擬授業と作品発表の準備をしておくこと。授業の記録が未完成の場合は完成させておくこと。						F、K
	第14回	【テーマ】模擬授業・作品発表3 【計画内容】 作成した指導案を基に、模擬授業と作品発表をします。(伊藤幸子) 【準備学習の内容】 模擬授業と作品発表の準備をしておくこと。授業の記録が未完成の場合は完成させておくこと。						F、K
	第15回	【テーマ】模擬授業・作品発表4、全体のまとめ 【計画内容】 作成した指導案を基に、模擬授業と作品発表をします。講義を振り返り、全体のまとめを行います。(伊藤幸子・入江彩子) 【準備学習の内容】 模擬授業と作品発表の準備をしておくこと。授業の記録が未完成の場合は完成させておくこと。						F、K、L
テキスト	プリントを使用します							
参考書	文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 図画工作編』、日本文芸出版							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%	40%	20%		
補足								
質問への対応	初回講義時に説明します。							
資格	[乙]幼・小2種_選必							
その他	準備する物:参考書、用具セット(※絵の具セットは使用しません。) 第12~15回に、課題(指導案・作品)の講評をします。							

科目名	体育		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	長尾 明也、山本 公輔						
授業の目的	ねらい	幼児期から児童期にける身体活動が、生涯にわたって運動・スポーツを楽しむための基礎的な体力や運動能力を発達させ、様々な活動への意欲や社会性、創造性などを育む機会となることを学びます。また、模擬授業を通じて、実践的な指導力の向上を目指します。					
	到達目標	(1)発育発達に応じて習得される運動技能について理解できる。 (2)幼児期や児童期の発育に応じた運動や運動遊びの指導ができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 【計画内容】 授業の目標を理解し、全15回の授業を概観します。(長尾明也・山本公輔) 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおくこと。			A		
	第2回	【テーマ】 運動遊びの指導 【計画内容】 運動遊びを指導するにあたって、活動構成や教師の援助の在り方について学習します。(長尾明也・山本公輔) 【準備学習の内容】 事前配付プリントを読んでおくこと。			A		
	第3回	【テーマ】 小学校体育科の学習指導 【計画内容】 小学校体育科の授業における指導方法、場の設置、授業評価などの在り方について学びます。(長尾明也・山本公輔) 【準備学習の内容】 事前配付プリントを読んでおくこと。			A、K		
	第4回	【テーマ】 指導案の作成① 【計画内容】 幼児対象と児童対象グループに分かれて、指導案を作成します。(長尾明也・山本公輔) 【準備学習の内容】 参考文献を基に指導案を構想しておくこと。			B、H		
	第5回	【テーマ】 指導案の作成② 【計画内容】 幼児対象と児童対象グループに分かれて、指導案を作成します。(長尾明也・山本公輔) 【準備学習の内容】 参考文献を基に指導案を構想しておくこと。			B、H		
	第6回	【テーマ】 指導案の作成③ 【計画内容】 幼児対象と児童対象グループに分かれて、指導案を作成します。(長尾明也・山本公輔) 【準備学習の内容】 発表者は作成した指導案を熟読し、前時の発表者の指摘事項を振り返っておくこと。			B、H		
	第7回	【テーマ】 模擬授業(1) 【計画内容】 作成した指導案を基に、模擬授業を行う。幼児対象(山本公輔)/児童対象(長尾明也) 【準備学習の内容】 発表者は作成した指導案を基に、授業内容を詳細にシミュレーションしておくこと。			B、L		
	第8回	【テーマ】 模擬授業(2) 【計画内容】 作成した指導案を基に、模擬授業を行う。幼児対象(山本公輔)/児童対象(長尾明也) 【準備学習の内容】 発表者は作成した指導案を基に、授業内容を詳細にシミュレーションしておくこと。			B、L		
	第9回	【テーマ】 模擬授業(3) 【計画内容】 作成した指導案を基に、模擬授業を行う。幼児対象(山本公輔)/児童対象(長尾明也) 【準備学習の内容】 発表者は作成した指導案を基に、授業内容を詳細にシミュレーションしておくこと。			B、L		
	第10回	【テーマ】 模擬授業(4) 【計画内容】 作成した指導案を基に、模擬授業を行う。幼児対象(山本公輔)/児童対象(長尾明也) 【準備学習の内容】 発表者は作成した指導案を基に、授業内容を詳細にシミュレーションしておくこと。			B、L		
	第11回	【テーマ】 模擬授業(5) 【計画内容】 作成した指導案を基に、模擬授業を行う。幼児対象(山本公輔)/児童対象(長尾明也) 【準備学習の内容】 発表者は作成した指導案を基に、授業内容を詳細にシミュレーションしておくこと。			B、L		
	第12回	【テーマ】 模擬授業(6) 【計画内容】 作成した指導案を基に、模擬授業を行う。幼児対象(山本公輔)/児童対象(長尾明也) 【準備学習の内容】 発表者は作成した指導案を基に、授業内容を詳細にシミュレーションしておくこと。			B、L		
	第13回	【テーマ】 模擬授業(7) 【計画内容】 作成した指導案を基に、模擬授業を行う。幼児対象(山本公輔)/児童対象(長尾明也) 【準備学習の内容】 発表者は作成した指導案を基に、授業内容を詳細にシミュレーションしておくこと。			B、L		
	第14回	【テーマ】 模擬授業(8) 【計画内容】 作成した指導案を基に、模擬授業を行う。幼児対象(山本公輔)/児童対象(長尾明也) 【準備学習の内容】 発表者は作成した指導案を基に、授業内容を詳細にシミュレーションしておくこと。			B、L		
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 講義の成果と課題を明確にします。(長尾明也・山本公輔) 【準備学習の内容】 14回までの授業を振り返り、子どもにとっての運動遊びの意義を考えておくこと。			A、L		
テキスト	プリントを使用します。						
参考書	文部科学省、2012年、『幼児期運動指針』 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 体育編』、東洋館出版社						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		35%	35%		30%	
補足			模擬授業	レポート			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。オフィスアワー(4月発表)を、活用してください。						
資格	[こ]幼・小2種 選必						
その他	模擬授業は、こども学科指定のジャージ及びポロシャツを着用してください。						

科目名	幼児体育指導法			授業形態	演習	単位数	2
教員名	長尾 明也						
授業の目的	ねらい	この授業は、こども学科保育コースの必修授業です。公益財団法人日本幼少年体育協会が主催する幼児体育指導者検定2級の資格を取得することを目標とし、幼児期の子どもたちに体育のおもしろさやすばらしさ、からだを動かすことの楽しさを伝える指導者を育成することを目的とします。幼稚園や保育園での保育活動内における「運動あそび」の指導となると専門性に欠けるため、子どもが運動することは大事であることは理解していても運動指導を実際にどのように計画して実施して行えばよいかかわからない、ということで多くの現場から声が上がっています。このような問題を少しでも解決できるように、実践力を養成します。					
	到達目標	(1)幼児体育に関する基本的な知識を理解できる。 (2)子どもの手本として適切な身体表現ができる。 (3)各種運動の基本的な指導方法、補助方法が実践できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】講義① 乳幼児の発育発達論 【計画内容】乳幼児の発達の様相、「利き手」の発達、動機づけと目標、レディネス、臨界期について(感受性期)について学習します。 【準備学習の内容】テキストを熟読しておくこと。				A、K	
	第2回	【テーマ】講義② 幼児体育論 【計画内容】運動(技能)学習の過程、全習法と分習法、教育6原則を学習します。 【準備学習の内容】テキストを熟読しておくこと。				A、K	
	第3回	【テーマ】実技① リズム運動 【計画内容】「たたかえ!野菜レンジャー」の曲に合わせて振付を覚え、リズム運動を体験学習します。 【準備学習の内容】実技ができるように体調を整え、指導内容についてテキストを熟読しておくこと。				E、L	
	第4回	【テーマ】実技② リズム運動 【計画内容】「鳴子の体操Ⅱ」の曲に合わせて振付を覚え、道具を用いたリズム運動を体験学習します。 【準備学習の内容】実技ができるように体調を整え、指導内容についてテキストを熟読しておくこと。				E、L	
	第5回	【テーマ】実技③ マット運動 【計画内容】前転・後転の指導手順、手本の見せ方を実技を通して学習します。 【準備学習の内容】実技ができるように体調を整え、指導内容についてテキストを熟読しておくこと。				E、L	
	第6回	【テーマ】実技④ マット運動 【計画内容】前転・後転の補助方法、マットを使った遊びを実技を通して学習します。 【準備学習の内容】実技ができるように体調を整え、指導内容についてテキストを熟読しておくこと。				E、L	
	第7回	【テーマ】実技⑤ 跳び箱 【計画内容】初歩的な段階から開脚跳びまでの指導手順、手本の見せ方を実技を通して学習します。 【準備学習の内容】実技ができるように体調を整え、指導内容についてテキストを熟読しておくこと。				E、L	
	第8回	【テーマ】実技⑥ 跳び箱 【計画内容】開脚跳びの補助方法を学習します。 【準備学習の内容】実技ができるように体調を整え、指導内容についてテキストを熟読しておくこと。				E、L	
	第9回	【テーマ】実技⑦ 鉄棒 【計画内容】前回り・逆上がり指導手順を実技を通して学習します。 【準備学習の内容】実技ができるように体調を整え、指導内容についてテキストを熟読しておくこと。				E、L	
	第10回	【テーマ】実技⑧ 鉄棒 【計画内容】前回り・逆上がりの補助方法を実技を通して学習します。 【準備学習の内容】実技ができるように体調を整え、指導内容についてテキストを熟読しておくこと。				E、L	
	第11回	【テーマ】実技⑨ なわとび 【計画内容】前まわし、あや跳びの指導手順を学習し、なわを使った遊びを実技を通して学習します。 【準備学習の内容】実技ができるように体調を整え、指導内容についてテキストを熟読しておくこと。				E、L	
	第12回	【テーマ】実技⑩ ボール運動 【計画内容】中あてからドッジボールへの発展、基本的なボール操作やボールを使った遊びを実技を通して学習します。 【準備学習の内容】実技ができるように体調を整え、指導内容についてテキストを熟読しておくこと。				E、L	
	第13回	【テーマ】実技⑪ 基本運動 【計画内容】模倣運動によって発達のバランスを整える遊びを実技を通して学習します。 【準備学習の内容】実技ができるように体調を整え、指導内容についてテキストを熟読しておくこと。				E、L	
	第14回	【テーマ】実技⑫ ゲーム遊び 【計画内容】手軽で簡単な遊びについて実技を通して学習します。 【準備学習の内容】実技ができるように体調を整え、指導内容についてテキストを熟読しておくこと。				E、L	
	第15回	【テーマ】反省とまとめ 【計画内容】これまでに学習した理論および実技について振り返り、子どもに指導できるように復習します。 【準備学習の内容】14回までの授業を振り返り、指導を受けた内容等を復習しておくこと。				A、L	
テキスト	柴岡三千夫、2013年、『幼児体育指導者 公式テキスト2・3級』、タイケン出版 柴岡三千夫、2006年、『幼児体育 応用編、タイケン本社』、4924769355						
参考書	文部科学省、2012年、『幼児期運動指針』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	40%	40%			20%	
補足							
質問への対応	初回講義時に、具体的に説明します。オフィスアワー(4月発表)を参考にしてください。						
資格	[乙]幼児体育指導者検定2級_必修						
その他	保育コース必修。こども学科指定ジャージおよびポロシャツを着用してください。						

学  
こ  
ど  
も  
専  
門  
学  
科  
目  
録

科目名	こどものリズム表現 I		授業形態	演習	単位数	2	
教員名	武井 歌織						
授業の目的	ねらい	みなさんは「リトミックって何ですか?」と聞かれたら、どう答えますか? この授業では、みなさん自身が楽しくリトミックを経験しながら、現場でのピアノ演奏法を具体的に学び、音楽に合わせて動くことの心地良さを体感します。 2・3・4拍子の活動、基礎リズムを手拍子したり、ステップしたりして、音楽と身体運動と精神活動の融合を図るリトミック教育を学びます。					
	到達目標	(1)3歳児のリトミック指導方法がわかる。 (2)リズム・拍子を理解し、動くことができる。 (3)リトミックとは何かを具体的に説明できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 開講式/リトミックについて/楽しいリトミックの経験① 【計画内容】 授業の紹介をし、リトミックの役割を具体的に学びます。実際に身体を動かし、リトミックの経験を行います。 【準備学習の内容】 テキストのp. 2-p. 4を読んでおくこと。	A、B				
	第2回	【テーマ】 楽しいリトミックの経験②/強弱・テンポ・空間・アクセント/基礎的な動き①/基礎リズム①2拍子 【計画内容】 リズムを表現するのに大切な、時間・空間・エネルギーを身体を使って比較しながら学びます。2拍子の基礎リズム、歩行の仕方を学びます。板書した2拍子の基礎リズムは、復習しておくこと。 【準備学習の内容】 初回の内容を復習しておくこと。	B、E				
	第3回	【テーマ】 3歳児指導法-1学期 【計画内容】 3歳児の発育と発達、それに合わせた、幼稚園・保育園でのリトミック指導を学びます。(1学期) 【準備学習の内容】 指定したテキストのp. 10-p. 30を読んでおくこと。	A、B				
	第4回	【テーマ】 リズムの演奏法(3歳児指導法-1学期) 【計画内容】 現場で、子どもたちにリトミックを行う際のピアノ演奏法を学びます。(1学期) 【準備学習の内容】 テキストの中より、前回の授業で指定した曲を練習しておくこと。	B、E				
	第5回	【テーマ】 楽しいリトミックの経験③/基礎的な動き②/基礎リズム②2拍子/拍子① 【計画内容】 リトミックでの歩行・走り方、2拍子基礎リズムを色々な方法で練習、拍子をボールを使って学びます。 【準備学習の内容】 基礎的な動きの復習、2拍子基礎リズムは、動けるように復習しておくこと。	B、E				
	第6回	【テーマ】 3歳児指導法-2学期 【計画内容】 3歳児の発育と発達に合わせた幼稚園・保育園でのリトミック指導法を学びます。(2学期) 【準備学習の内容】 テキストのp. 46-p. 74を読んでおくこと。	A、B				
	第7回	【テーマ】 リズムの演奏法(3歳児指導法-2学期) 【計画内容】 現場で子どもたちにリトミックを行う際のピアノ演奏法を学びます。(2学期) 【準備学習の内容】 テキストの中より、前回の授業で指定した曲を練習しておくこと。	B、E				
	第8回	【テーマ】 楽しいリトミックの経験④/基礎リズム③2拍子/拍子② 【計画内容】 2拍子基礎リズムをより深めるために、実際にリズムを書いて覚えます。2・3・4拍子をカラーボードを使って学びます。 【準備学習の内容】 2拍子基礎リズムを覚えて動けるようにしておくこと。	B、E				
	第9回	【テーマ】 3歳児指導法-3学期 【計画内容】 3歳児の発育と発達に合わせた幼稚園・保育園でのリトミック指導法を学びます。(3学期) 【準備学習の内容】 テキストのp. 86-p. 104を読んでおくこと。	A、B				
	第10回	【テーマ】 リズムの演奏法(3歳児指導法-3学期) 【認定試験公示案内】 【計画内容】 現場で子どもたちにリトミックを行う際のピアノ演奏法を学びます。(3学期)認定試験の公示、具体的な内容を説明します。 【準備学習の内容】 テキストの中より、前回の授業で指定した曲を練習しておくこと。公示された課題を常に復習すること。	B、E				
	第11回	【テーマ】 楽しいリトミックの経験⑤/基礎リズム④3・4拍子/拍子③ 【計画内容】 3拍子・4拍子の基礎リズム、色々な方法で拍子の理解を深めます。 【準備学習の内容】 2拍子基礎リズムが基本となるので、常に復習しておくこと。	B、E				
	第12回	【テーマ】 楽しいリトミックの経験⑥/リズムカノン:導入/リズムフレーズ:2・3拍子 【計画内容】 3拍子のカノンを経験し、カノンの概念形成をします。2・3拍子の基礎リズムを組み合わせ、リズム・フレーズにしていきます。 【準備学習の内容】 2拍子・3拍子の基礎リズムを復習しておくこと。	B、E				
	第13回	【テーマ】 リズムの演奏法(3歳児指導法-1~3学期) 【計画内容】 1~3学期の3歳児指導法より、実際に演奏して、皆で動いてみます。 【準備学習の内容】 資格試験での指定された曲を、すべて練習しておくこと。	B、E				
	第14回	【テーマ】 幼稚園・保育園での演奏/リズム 【計画内容】 これまでのまとめと確認を行います。 【準備学習の内容】 認定試験公示内容に従って、復習・練習を重ねること。	E				
	第15回	【テーマ】 リトミックの理論とダルクローズについて 【計画内容】 リトミックの教育的効果、ダルクローズの理念について学びます。 【準備学習の内容】 テキストのp. 2-p. 4をもう一度読み直してきて下さい。	A、B				
テキスト	1990年、「幼稚園・保育園のためのリトミック 3歳児用」、リトミック研究センター						
参考書	初回講義時に具体的に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		70%			30%	
補足							
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[乙]リトミック幼・保2級_必修						
その他	音楽コース必修。授業は動きやすい服装。底の厚いスニーカーやヒールやブーツは禁止します。						

学こども専門科目

科目名	社会		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	菊地 達夫						
授業の目的	ねらい	新小学校学習指導要領解説「社会編」の各学年の目標、内容、内容の取扱いについて学習します。従前の学習指導要領との比較を通じて、どのように改善されたのか学習します。					
	到達目標	(1)新小学校学習指導要領解説「社会編」の各学年の目標、内容、内容の取扱いについて理解できる。 (2)従前の学習指導要領との比較を通じて、どのように改善されたのか理解できる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業のねらい、到達目標、授業計画、成績評価方法、参考文献について説明します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおくこと。					A
	第2回	【テーマ】 学習指導要領の変遷 【計画内容】 『小学校学習指導要領』社会の変遷について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)を抑えておくこと。					A、K
	第3回	【テーマ】 学習指導要領の改善点 【計画内容】 新旧の学習指導要領の比較をしながら、改善点について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)を抑えておくこと。					A、K
	第4回	【テーマ】 教材研究の方法 【計画内容】 社会科における教材研究の基本と学習指導案の作成について学習します。 【準備学習の内容】 参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)を抑えておくこと。					A、K
	第5回	【テーマ】 3学年の目標・内容 【計画内容】 3学年の目標と内容について学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説社会編』の関係する学習内容を一読しておくこと。					A、K
	第6回	【テーマ】 4学年の目標・内容 【計画内容】 4学年の内容と内容の取扱いについて学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説社会編』の関係する学習内容を一読しておくこと。					A、K
	第7回	【テーマ】 5学年の目標と内容 【計画内容】 5学年の目標、内容、内容の取扱いについて学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説社会編』の関係する学習内容を一読しておくこと。					A、K
	第8回	【テーマ】 6学年の目標と内容 【計画内容】 6学年の目標、内容、内容の取扱いについて学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説社会編』の関係する学習内容を一読しておくこと。					A、K
	第9回	【テーマ】 指導計画の具体的な内容1(施設活用) 【計画内容】 施設活用の事前指導のあり方について学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説社会編』の関係する学習内容を一読しておくこと。					A
	第10回	【テーマ】 指導計画の具体的な内容2(施設活用) 【計画内容】 視聴覚資料の内容について実践的に学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説社会編』の関係する学習内容を一読しておくこと。					A、M
	第11回	【テーマ】 指導計画の具体的な内容3(施設活用) 【計画内容】 博物館資料の内容について実践的に学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説社会編』の関係する学習内容を一読しておくこと。					A、M
	第12回	【テーマ】 指導計画の具体的な内容4(施設活用) 【計画内容】 社会科における体験活動について学習します。 【準備学習の内容】 『新小学校学習指導要領解説社会編』の関係する学習内容を一読しておくこと。					A、M
	第13回	【テーマ】 指導計画の具体的な内容5(施設活用) 【計画内容】 施設活用の学習記録について共有しながら学習します。 【準備学習の内容】 第9回～第12回までの学習内容について整理・確認しておくこと。					H、L
	第14回	【テーマ】 まとめと確認 【計画内容】 これまでの学習内容について確認します。 【準備学習の内容】 理解できていない学習内容について復習しておくこと。					L
	第15回	【テーマ】 まとめと応用 【計画内容】 学習成果の活かし方について説明します。 【準備学習の内容】 理解できていない学習内容について確認しておくこと。					A、K
テキスト	必要に応じてプリントを使用します						
参考書	文部科学省、2017年、『小学校学習指導要領解説 社会編』、東洋館出版社、9784491023724 日本社会科教育学会編、2008年、『社会科授業力の開発小学校編』、明治図書、9784184333161 全国社会科教育学会編、2008年、『小学校の優れた社会科授業の条件』、明治図書、9784184914216						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
補足							
質問への対応	初回授業時に説明します。						
資格	[乙]小2種_選必						
その他	教職課程小2種を取得希望の者は、「社会科指導法」を履修することが望ましい。 課題の結果等は、返却時に講評・補足説明を行います。						

科目名	理科	授業形態	講義	単位数	2		
教員名	太田 俊一						
授業の目的	わら自然と科学という視点から人間形成を促す理科教育について、小学校学習指導要領「理科」の内容を学びながら、子どもたちに理科を好きにする授業をどう展開するか、理科学習を通して子どもの発達をいかに促すか具体的に考えます。 到達目標 (1)理科教育の目標と人間形成のつながりを理解できる。 (2)理科の目標及び内容、各学年の目標と内容が理解できる。 (3)理科でめざす授業のあり方や扱う教材について理解できる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション・小学校3年理科教材研究①(虫めがね、じしゃく、かがみ、回路など) 【計画内容】理科教育の考え方ついて授業の内容のオリエンテーションを行う。小学校3年の理科における自然と科学という視点から、人間形成と自然のかかわりについて学び、教科書を見ながら実際に教材研究を行い、観察実験記録にまとめる。 【準備学習の内容】学習指導要領及び教科書について読んでおくこと。			A、C、H		
	第2回	【テーマ】小学校3年理科教材研究②(虫めがね、じしゃく、かがみ、回路など) 【計画内容】小学校3年の理科における自然と科学という視点から、人間形成と自然のかかわりについて学び、教科書を見ながら実際に教材研究を行い、観察実験記録にまとめる。 【準備学習の内容】学習指導要領及び教科書について読んでおくこと。			A、C、H		
	第3回	【テーマ】小学校3年理科教材研究③(理科新聞/3年) 【計画内容】小学校3年の理科における自然と科学という視点から、人間形成と自然のかかわりについて学び、自分の選んだテーマに沿って、教科書や参考資料を見ながら理科新聞にまとめる。 【準備学習の内容】学習指導要領及び教科書について読んでおくこと。			B、F、G		
	第4回	【テーマ】小学校4年理科教材研究①(星座板、温度計、モーターカーなど) 【計画内容】小学校4年の理科における自然と科学という視点から、人間形成と自然のかかわりについて学び、教科書を見ながら実際に教材研究を行い、観察実験記録にまとめる。 【準備学習の内容】学習指導要領及び教科書について読んでおくこと。			A、C、H		
	第5回	【テーマ】小学校4年理科教材研究②(星座板、温度計、モーターカーなど) 【計画内容】小学校4年の理科における自然と科学という視点から、人間形成と自然のかかわりについて学び、教科書を見ながら実際に教材研究を行い、観察実験記録にまとめる。 【準備学習の内容】学習指導要領及び教科書について読んでおくこと。			A、C、H		
	第6回	【テーマ】小学校4年理科教材研究③(理科新聞/4年) 【計画内容】小学校4年の理科における自然と科学という視点から、人間形成と自然のかかわりについて学び、自分の選んだテーマに沿って、教科書や参考資料を見ながら理科新聞にまとめる。 【準備学習の内容】学習指導要領及び教科書について読んでおくこと。			B、F、G		
	第7回	【テーマ】小学校5年理科教材研究①(電磁石、顕微鏡など) 【計画内容】小学校5年の理科における自然と科学という視点から、人間形成と自然のかかわりについて学び、教科書を見ながら実際に教材研究を行い、観察実験記録にまとめる。 【準備学習の内容】学習指導要領及び教科書について読んでおくこと。			A、C、H		
	第8回	【テーマ】小学校5年理科教材研究②(電磁石、顕微鏡など) 【計画内容】小学校5年の理科における自然と科学という視点から、人間形成と自然のかかわりについて学び、教科書を見ながら実際に教材研究を行い、観察実験記録にまとめる。 【準備学習の内容】学習指導要領及び教科書について読んでおくこと。			A、C、H		
	第9回	【テーマ】小学校5年理科教材研究③(理科新聞/5年) 【計画内容】小学校5年の理科における自然と科学という視点から、人間形成と自然のかかわりについて学び、自分の選んだテーマに沿って、教科書や参考資料を見ながら理科新聞にまとめる。 【準備学習の内容】学習指導要領及び教科書について読んでおくこと。			B、F、G		
	第10回	【テーマ】小学校6年理科教材研究①(てこ実験機、リトマス紙、ふりこなど) 【計画内容】小学校6年の理科における自然と科学という視点から、人間形成と自然のかかわりについて学び、教科書を見ながら実際に教材研究を行い、観察実験記録にまとめる。 【準備学習の内容】学習指導要領及び教科書について読んでおくこと。			A、C、H		
	第11回	【テーマ】小学校6年理科教材研究②(てこ実験機、リトマス紙、ふりこなど) 【計画内容】小学校6年の理科における自然と科学という視点から、人間形成と自然のかかわりについて学び、教科書を見ながら実際に教材研究を行い、観察実験記録にまとめる。 【準備学習の内容】学習指導要領及び教科書について読んでおくこと。			A、C、H		
	第12回	【テーマ】小学校6年理科教材研究③(理科新聞/6年) 【計画内容】小学校6年の理科における自然と科学という視点から、人間形成と自然のかかわりについて学び、自分の選んだテーマに沿って、教科書や参考資料を見ながら理科新聞にまとめる。 【準備学習の内容】学習指導要領及び教科書について読んでおくこと。			B、F、G		
	第13回	【テーマ】身近にある施設を活用した環境学習～博物館授業①～ 【計画内容】大学の近くにある埋蔵文化財センターを活用し、北海道の昔の環境や気候の変化、動植物の変化などを調べたり、学芸員さんから直接お話を聞いてレポートにまとめる。 【準備学習の内容】HPなどでアクセスの仕方、展示物などを調べておくこと。			A、D、K		
	第14回	【テーマ】身近にある施設を活用した環境学習～博物館授業②～ 【計画内容】大学の近くにある埋蔵文化財センターを活用し、北海道の昔の環境や気候の変化、動植物の変化などを調べたり、学芸員さんから直接お話を聞いてレポートにまとめる。 【準備学習の内容】HPなどでアクセスの仕方、展示物などを調べておくこと。			A、D、K		
	第15回	【テーマ】各学年の目標と問題解決の授業のまとめとレポート 【計画内容】理科で育てる各学年の問題解決の資質や能力について学び、理科ではどのような授業を行いたいのかレポートにまとめる。 【準備学習の内容】15回分の観察実験記録、実習の記録などを冊子にまとめるので、整理しておくこと。			A、H、K		
テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領理科編』						
参考書	文科省検定教科書、各社						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		30%	30%	20%	20%	
補足	足		発表	観察実験記録	レポート	理科新聞	
質問への対応	授業中に対応します。オフィスアワー：太田研究室						
資格	[乙]小2種 選必						
その他							

科目名	家庭		授業形態	講義	単位数	2	
教員名	角田 成子						
授業の目的	ねらい	本授業では、学校教育における家庭科教育の意義を認識するとともに、小学校学習指導要領における小学校家庭科の指導内容・方法について研究することをねらいとします。また、家庭科は児童・学校・地域の実情に応じた扱い、実践的・体験的学習、内容間・他教科他領域と関連した扱いが重視されていますので、関連した教材の扱いや効果的な指導についても考えていきます。					
	到達目標	(1)家庭生活に関心をもち、家庭科の意義や内容について理解できる。 (2)家庭生活、衣食住、消費生活と環境の各内容および指導方法を理解できる。 (3)家庭科の教材を研究・分析し、各学年の指導における取り扱いについて考えることができる。 (4)内容間・他教科との関連した指導内容・方法を考えることができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 オリエンテーション 家庭科の現状 【計画内容】 15回の授業内容・展開、家庭科教育の意義や小学校家庭科の現状と中学校への連続性、および新学習指導要領の改訂の要点について理解します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を確認しておくこと。	A、H				
	第2回	【テーマ】 家族・家庭生活の内容 【計画内容】 エコライフレポートを活用し家族の役割や家庭生活の仕事について学びます。 【準備学習の内容】 学習指導要領・プリントを読んでおくこと。	A、B、K				
	第3回	【テーマ】 家庭生活と衣の内容 【計画内容】 衣服の働きや日常着の手入れを理解します。布やボタン等を使って教材を工夫します。 【準備学習の内容】 プリント課題に取り組むこと。	A、D、H				
	第4回	【テーマ】 生活を豊かにする布を使った教材づくり 【計画内容】 製作の手順に必要な材料や手順の理解と簡単な作品を製作する計画を立てる指導方法について学びます。 【準備学習の内容】 プリント課題に取り組むこと。	A、D、K				
	第5回	【テーマ】 食事の役割、日常の食事の大切さ 【計画内容】 調理に必要な材料の分量、手順、調理用具について調理計画を立て理解します。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。	A、H、K				
	第6回	【テーマ】 調理における基礎と危機管理の教材研究 【計画内容】 衛生、安全を配慮した調理器具の扱い、材料に応じた洗い方、切り方、盛り付けについての指導方法を実際に調理実習で学びます。 【準備学習の内容】 プリント課題に取り組むこと。	A、D、K				
	第7回	【テーマ】 栄養のバランスを考えた食事についての教材研究 【計画内容】 栄養素の種類、働き、食品の栄養的な特徴の理解等についての指導方法を実際の献立づくりから考えます。 【準備学習の内容】 プリント課題に取り組むこと。	A、B、H				
	第8回	【テーマ】 快適な住まい方についての教材研究 【計画内容】 住まいの主な働きについてその内容と指導方法を考え合います。 【準備学習の内容】 プリント課題に取り組むこと。	A、H、K				
	第9回	【テーマ】 快適な住まい方と家庭生活 【計画内容】 季節の変化に合わせた生活の大切さ、快適な住まい方の工夫についてのねらいを理解し、指導方法を考えます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。	A、F、H				
	第10回	【テーマ】 家族・家庭生活と衣内容の関連 【計画内容】 生活を豊かにするための布を用いた製作についてのねらいを理解し、指導方法を学びます。 【準備学習の内容】 プリント課題に取り組むこと。	A、D、H				
	第11回	【テーマ】 布を使った教材の工夫 【計画内容】 生活を豊かにする物の製作のねらいについて理解し、指導方法を学びます。 【準備学習の内容】 プリント課題に取り組むこと。	A、D、K				
	第12回	【テーマ】 布を使った教材の工夫 【計画内容】 生活を豊かにする物の製作についての指導の効果的な方法を学び合います。 【準備学習の内容】 プリント課題に取り組むこと。	A、D、L				
	第13回	【テーマ】 消費者生活・環境の教材研究 【計画内容】 物や金銭の使い方と買い物、環境に配慮した生活の工夫についてのねらいを理解し、指導方法を考えます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。	A、F、H				
	第14回	【テーマ】 環境に配慮した生活についての教材研究 【計画内容】 身近な環境との関わりや物の使い方など、家族・家庭生活と関連し、地域の一員としての問題解決的学習について考えます。 【準備学習の内容】 配付したプリントを読んでおくこと。	A、B、K				
	第15回	【テーマ】 小学校家庭科の意義と指導についてのまとめ 【計画内容】 これまでの授業内容を振り返り、学習のまとめをします。 【準備学習の内容】 プリント課題に取り組むこと。	A、K、I				
テキスト	プリントを使用する						
参考書	文部科学省、『小学校新学習指導要領解説 家庭編』、東洋館出版社						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配補	分足		40%	30%	30%	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。						
資格	[こ]小2種_選必						
その他							

学  
科  
ど  
も  
専  
門  
学  
科  
目  
録

科目名	道徳指導法		授業形態	講義	単位数	1	
教員名	高橋 さおり						
授業の目的	ねらい	道徳教育は、教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する教育活動です。本講義では、道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育およびその要となる道徳科の目標や内容、指導方法を理解し、実践的な指導力を身に付けることを目指します。					
	到達目標	(1)道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解することができる。 (2)学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育および道徳科の指導の在り方について理解することができる。 (3)道徳科の学習指導案を作成することができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 授業展開や到達目標、評価方法などについて説明します。授業の全体を概観します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を読んでおくこと。				A、L	
	第2回	【テーマ】 道徳とは何か 【計画内容】 道徳的概念について学び、道徳の本質について考察します。また、道徳性の発達について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第3回	【テーマ】 道徳教育の歴史 【計画内容】 「修身科」と道徳教育、教育勅語と戦後教育について学びます。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。				A、K、L	
	第4回	【テーマ】 道徳教育及び道徳科の目標と内容 【計画内容】 学習指導要領における道徳教育及び道徳科の目標と内容について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第5回	【テーマ】 道徳科の指導方法について 【計画内容】 道徳科の特質を踏まえた指導方法について考察し、学習指導案を作成します。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。				A、K、L	
	第6回	【テーマ】 模擬授業 【計画内容】 模擬授業を実施します。 【準備学習の内容】 模擬授業の準備をすること。				B、L	
	第7回	【テーマ】 模擬授業の検討 【計画内容】 模擬授業の検討を行い、道徳科の特性を踏まえた評価の在り方について学びます。 【準備学習の内容】 模擬授業の振り返りをしておくこと。				H、L	
	第8回	【テーマ】 学修の振り返り 【計画内容】 授業の振り返りを行い、道徳教育の意義についてまとめを行います。 【準備学習の内容】 授業全体の復習をしておくこと。				A、K、L	
テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』、廣済堂あかつき、9784908255359 永田繁雄編、2016年、『小学校新学習指導要領の展開 特別の教科 道徳編』、明治図書、9784182711237						
参考書	プリントを使用します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
補足							
質問への対応	授業初回時に説明します。						
資格	[乙]小2種_必修						
その他	小レポート等については、最終回に講評します。						

科目名	総合的な学習の時間の指導法				授業形態	講義	単位数	1
教員名	荒川 巖							
授業の目的	ねらい	総合的な学習の時間について、教育課程における位置づけや役割を明らかにする。また、現在行われている創意くふうを生かした実践を学習しその価値を捉えると共に、新たな実践を構想展開する資質を身につける。						
	到達目標	(1)小学校に於ける教科指導および教科横断的な学習指導の理論と方法に関する基本的な知識が身についている。 (2)実際に行われている授業実践について知り、評価ができる。 (3)自分なりに総合的な学習の時間を実践する展望をもつことができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 講義概要、受講の心得、講義の進め方、グループ編成、評価方法等。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を読んでおくこと。					A	
	第2回	【テーマ】 「総合的な学習の時間」のねらいと意義 【計画内容】 総合的な学習の時間のねらいと意義及び教育課程への位置づけについて学びます。 【準備学習の内容】 配付資料の指定された箇所を読んでおくこと。					A、K	
	第3回	【テーマ】 「総合的な学習の時間」の計画・実践・評価 【計画内容】 総合的な学習の時間の計画・実践・評価の仕方を学びます。 【準備学習の内容】 配付資料の指定された箇所を読んでおくこと。					A、G、J	
	第4回	【テーマ】 国際交流をテーマとした「総合的な学習の時間」 【計画内容】 国際交流をテーマとした総合的な学習の時間の計画と実践を学びます。 【準備学習の内容】 配付資料の指定された箇所を読んでおくこと。					H、J、N	
	第5回	【テーマ】 キャリア教育をテーマとした「総合的な学習の時間」 【計画内容】 キャリア教育をテーマとした「総合的な学習の時間」の実践を学びます。 【準備学習の内容】 配付資料の指定された箇所を読んでおくこと。					H、J、N	
	第6回	【テーマ】 「総合的な学習の時間」で取り組む生命教育 【計画内容】 植物の栽培と食育を関連させた「総合的な学習の時間」の実践を学びます。 【準備学習の内容】 配付資料の指定された箇所を読んでおくこと。					H、J、N	
	第7回	【テーマ】 「総合的な学習の時間」の時間の構想 【計画内容】 これまでの授業をもとに自分なりに総合的な学習の時間を構想すると共に、指導に必要な教師の力量について学びます。 【準備学習の内容】 事前に総合的な学習の時間を構想しておくこと。					G、H	
	第8回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 講義を振り返り、成果と課題を明確にします。 【準備学習の内容】 今までの学習を振り返り、成果と課題をまとめておくこと。					G、L	
テキスト	プリントを使用する							
参考書	文部科学省、2016年、『小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	40%		40%		20%		
補足								
質問への対応	授業時に随時対応します。							
資格	[乙]小2種_必修							
その他	第9回に最終評価のためのテストを行います。							

科目名	特別活動指導法				授業形態	講義	単位数	1
教員名	高橋 さおり							
授業の目的	ねらい	特別活動は、学校における様々な構成の集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動です。本講義では、学校教育における特別活動の意義を理解し、特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付けることを目指します。						
	到達目標	(1)特別活動の意義および目標や内容を理解することができる。 (2)特別活動の指導の意義や望ましい教師のかかわりについて考察することができる。 (3)特別活動の指導の在り方を踏まえ、指導計画や指導案を作成することができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 講義内容や到達目標、成績評価方法等について説明し、授業の全体を概観します。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を読んでおくこと。					A、L	
	第2回	【テーマ】 特別活動の意義 【計画内容】 教育課程上の位置づけについて学修し、学校教育における特別活動の意義について考察します。学習指導要領の改訂の経緯、改訂の趣旨、改訂の要点について概観します。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、K、L	
	第3回	【テーマ】 特別活動の目標と内容 【計画内容】 学習指導要領における特別活動の目標と内容を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点について学びます。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、K、L	
	第4回	【テーマ】 学級活動の進め方と指導について 【計画内容】 学級活動の目標と内容、教育的意義について学び、指導の在り方について考察します。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、K、L	
	第5回	【テーマ】 児童会活動およびクラブ活動の進め方と指導について 【計画内容】 児童会活動およびクラブ活動の目標と内容、教育的意義について学び、指導の在り方について考察します。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、K、L	
	第6回	【テーマ】 学校行事の進め方と指導について 【計画内容】 学校行事の目標と内容、教育的意義について学び、指導の在り方について考察します。 【準備学習の内容】 テキストの指定された箇所を読んでおくこと。					A、K、L	
	第7回	【テーマ】 特別活動の全体計画と学習指導案の作成 【計画内容】 特別活動の全体計画について学び、指導案を作成します。 【準備学習の内容】 配付されたプリントを読んでおくこと。					A、K、L	
	第8回	【テーマ】 学修の振り返り 【計画内容】 授業の振り返りを行い、特別活動の教育的・現代的意義と学校教育における役割についてまとめを行います。 【準備学習の内容】 授業全体の復習をすること。					A、K、L	
テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 特別活動編』、東洋館出版社、9784491034690							
参考書	プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			70%		30%		
質問への対応	授業初回時に説明します。							
資格	[乙]小2種_必修							
その他	小レポート等については、最終回に講評します。							

科目名	小学校教育教材研究			授業形態	講義	単位数	2
教員名	高橋 さおり、荒川 巖、太田 俊一、菊地 達夫						
授業の目的	ねらい	小学校教科「国語」「社会」「算数」「理科」の学習指導案の作成および模擬授業の実践を通して、より良い授業を構築するための構想力・展開力・評価力(省察力)を身につける。特に、授業を構想する過程における教材研究の意義を知り、教材研究の力を高めることを目的とする。					
	到達目標	(1)各教科の授業を構想する中で、教材研究の力を高めることができる。 (2)学習指導案の作成・分析、模擬授業の実践・分析を通して、授業の構想および展開する力を身に付ける。 (3)模擬授業の実践・分析を通して、省察力を高めることができる。					
授業の計画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業のねらい、到達目標、授業計画、成績処理方法、参考文献について説明します。(全教員) 【準備学習の内容】 シラバスの内容をよく読んでおくこと。	A、L				
	第2回	【テーマ】 授業づくりについて 【計画内容】 授業づくりの基本について説明し、教材研究の意義について考えます。(全教員) 【準備学習の内容】 参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	A、H、L				
	第3回	【テーマ】 学習指導案の作成・分析① 【計画内容】 学習指導案の作成や分析を行います。(全教員) 【準備学習の内容】 参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L				
	第4回	【テーマ】 授業実践の基礎① 【計画内容】 模擬授業の実践・分析や公開授業の参観・分析を行います。(全教員) 【準備学習の内容】 参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L				
	第5回	【テーマ】 学習指導案の作成・分析② 【計画内容】 学習指導案の作成や分析を行います。(全教員) 【準備学習の内容】 参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L				
	第6回	【テーマ】 授業実践の基礎② 【計画内容】 模擬授業の実践・分析や公開授業の参観・分析を行います。(全教員) 【準備学習の内容】 参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L				
	第7回	【テーマ】 学習指導案の作成・分析③ 【計画内容】 学習指導案の作成や分析を行います。(全教員) 【準備学習の内容】 参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L				
	第8回	【テーマ】 授業実践の基礎③ 【計画内容】 模擬授業の実践・分析や公開授業の参観・分析を行います。(全教員) 【準備学習の内容】 参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L				
	第9回	【テーマ】 学習指導案の作成・分析④ 【計画内容】 学習指導案の作成や分析を行います。(全教員) 【準備学習の内容】 参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L				
	第10回	【テーマ】 授業実践の基礎④ 【計画内容】 模擬授業の実践・分析や公開授業の参観・分析を行います。(全教員) 【準備学習の内容】 参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L				
	第11回	【テーマ】 学習指導案の作成・分析⑤ 【計画内容】 学習指導案の作成や分析を行います。(全教員) 【準備学習の内容】 参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L				
	第12回	【テーマ】 授業実践の基礎⑤ 【計画内容】 模擬授業の実践・分析や公開授業の参観・分析を行います。(全教員) 【準備学習の内容】 参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L				
	第13回	【テーマ】 授業づくりのまとめ① 【計画内容】 授業実践を振り返り、授業計画の修正・改善について検討します。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの学習内容について十分整理(振り返り)しておくこと。	H、L				
	第14回	【テーマ】 授業づくりのまとめ② 【計画内容】 授業実践を振り返り、授業計画の修正・改善について検討します。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの学習内容について十分整理(振り返り)しておくこと。	H、L				
	第15回	【テーマ】 授業の振り返り 【計画内容】 授業の計画・実践・省察を通して、授業づくりについて理解を深めます。(全教員) 【準備学習の内容】 これまでの学習内容について十分整理(振り返り)しておくこと。	L				
テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』、東洋館出版社、4491034605						
参考書	適宜、担当者から教科指導に向けた資料・図書を紹介しします						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配補	分足		70%		30%	
質問への対応	初回授業時に具体的に説明します。						
資格							
その他	2年次科目「小学校教育授業研究」への継続的な履修が望ましいです。 学外の授業研究会等へ参加する場合があります。 授業内で課す中間課題等については、随時講評します。						

講義要綱  
SYLLABUS  
短期大学部 1年次

---

2019年4月 発行  
北翔大学・北翔大学短期大学部  
〒069-8511 江別市文京台23番地  
TEL (011) 386-8011  
FAX (011) 387-1542

---



